

むつ市総合経営計画進行管理結果
(令和5年度)

令和6年9月

目次

第1部 むつ市総合経営計画の進行管理概要

1. むつ市総合経営計画の進行管理について |
2. 進行管理の内容 |
3. 進行管理スケジュール |

第2部 施策の進捗状況

1. 各部局の内部評価 |
2. 各施策の重要業績評価指標(KPI)の達成状況 2
3. むつ市総合開発審議会の外部評価 3
4. 市民アンケート 9

第3部 むつ市総合経営計画施策評価調書（令和5年度）

1. 施策評価調書の見方 7
2. 施策評価一覧 15
3. 施策評価調書
 1. 活力あるむつ市の創生 16
 2. 教育・子育て環境の向上 64
 3. 高齢者福祉・医療・暮らしの充実 92
 4. デジタル化の推進 140
 5. 危機管理・防災力の向上 146

第1部 おつ市総合経営計画の進行管理概要

1. おつ市総合経営計画の進行管理について

おつ市総合経営計画（以下、「経営計画」という。）の進行管理は、基本計画に示す56の施策について、進捗状況や達成状況を評価することで、取組の成果や課題を整理し、次年度の取組につなげ、「笑顔かがやく 希望のまち おつ」の実現を図るものです。

2. 進行管理の内容

基本計画に示す56の施策について、「施策評価調書」を作成し、市民アンケート、市各部局による内部評価、おつ市総合開発審議会による外部評価を通じて、施策の進捗状況を総合的に評価します。

3. 進行管理スケジュール

- R5.7月 令和5年度総合経営計画 実施計画の作成
- 10月 令和5年度総合経営計画 実施計画 各部局による内部評価（中間評価）
- 11月 次年度予算編成（～R6.2月）
- R6.3月 次年度予算成立
- 4月 令和5年度総合経営計画 実施計画 各部局による内部評価（年度評価）
市民アンケート調査実施
- 7月 令和6年度第1回おつ市総合開発審議会開催（外部評価）
- 8月 令和6年度第2回おつ市総合開発審議会開催（各施策の審議）
- 9月 進行管理結果の報告（公表）

第2部 施策の進捗状況

1. 各部局の内部評価

令和5年9月30日時点での進捗に基づく中間評価を行った結果、表1のとおり、「A 順調に推移」が12施策（21.4%）、「B 一定の進捗がある」が40施策（71.4%）、「C 進捗は遅れている」が4施策（7.1%）、「D 進捗は大幅に遅れている」はありませんでした。

また、令和6年3月31日時点の達成状況に基づく年度評価を行った結果、表2のとおり「A 順調に推移」が11施策（19.6%）、「B 一定の進捗がある」が44施策（78.6%）、「C 進捗は遅れている」が1施策（5.3%）、「D 進捗は大幅に遅れている」はありませんでした。

56施策中「A 順調に推移」または「B 一定の進捗がある」と評価されたのが、中間評価では52施策（92.8%）、年度評価では55施策（98.2%）と、ほぼ全ての事業で一定以上の進捗が図られているという内部評価となりました。

表1 内部評価（中間評価）による基本方針の区分別 施策進捗状況内訳

基本方針の区分	1.活力あるむつ市の創生	2.教育・子育て環境の向上	3.高齢者福祉・医療・暮らしの充実	4.デジタル化の推進	5.危機管理・防災力の向上	件数	構成比
A・・・順調に推移	5	4	2	1	0	12	21.4%
B・・・一定の進捗がある	13	6	16	2	3	40	71.4%
C・・・進捗は遅れている	1	0	1	0	2	4	7.1%
D・・・進捗は大幅に遅れている	0	0	0	0	0	0	0.0%
合計	19	10	19	3	5	56	100.0%

表2 内部評価（年度評価）による基本方針の区分別 施策進捗状況内訳

基本方針の区分	1.活力あるむつ市の創生	2.教育・子育て環境の向上	3.高齢者福祉・医療・暮らしの充実	4.デジタル化の推進	5.危機管理・防災力の向上	件数	構成比
A・・・順調に推移	4	1	3	2	1	11	19.6%
B・・・一定の進捗がある	15	9	16	1	3	44	78.6%
C・・・進捗は遅れている	0	0	0	0	1	1	5.3%
D・・・進捗は大幅に遅れている	0	0	0	0	0	0	0.0%
合計	19	10	19	3	5	56	100.0%

2. 各施策の重要業績評価指標（KPI）の達成状況

基本計画に示す 56 施策に設定した評価指標は、132 指標あり、令和 5 年度末時点で「A 目標値以上」が 53 指標（40.2%）、「B 目標値に達していないが基準値または前年度より進捗がある」が 30 指標（22.7%）、「C 目標値に達していない及び基準値または前年度より進捗がない」が 28 指標（21.2%）、複数年に一度の調査や年度末時点で数値が把握できない場合などで実績が出ないものが 21 指標（14.3%）となりました。

表3 基本計画の基本方針の区分別 重要業績評価指標（KPI）進捗状況内訳

基本方針の区分	1.活力あるむつ市の創生	2.教育・子育て環境の向上	3.高齢者福祉・医療・暮らしの充実	4.デジタル化の推進	5.危機管理・防災力の向上	件数	構成比
A・・・目標値以上	17	12	16	4	4	53	40.2%
B・・・目標値に達していないが基準値より進捗があるもの	7	10	7	1	5	30	22.7%
C・・・目標値に達していない及び基準値より進捗がないもの	9	9	9	1	0	28	21.2%
D・・・実績が出ないもの	3	1	17	0	0	21	14.3%
合計	36	32	49	6	9	132	100.0%

3. むつ市総合開発審議会の外部評価

むつ市総合開発審議会委員に施策評価調書による施策評価を実施していただき、どれか1つの評価に集約するのではなく、各評価区分（A～D）の割合を外部評価としています。

表 4-1 外部評価による各施策の進捗状況

施策名		内部評価	外部評価										
			順調に推移 (A)		一定の進捗 がある (B)		進捗は遅れて いる (C)		進捗は大幅に 遅れている (D)		わからない (-)		
1 活力ある むつ市の 創生	(1)地方創生	①まち・ひと・しごと創生の推進	B	0	0.0%	17	85.0%	3	15.0%	0	0.0%	0	0.0%
		②川内・大畑・脇野沢地区の持続的発展	B	0	0.0%	16	80.0%	3	15.0%	0	0.0%	1	5.0%
	(2)産業・雇用	①農林水産業の振興	B	0	0.0%	18	90.0%	2	10.0%	0	0.0%	0	0.0%
		②商工業の振興	B	0	0.0%	18	90.0%	2	10.0%	0	0.0%	0	0.0%
		③エネルギー関連産業の育成	B	0	0.0%	17	85.0%	3	15.0%	0	0.0%	0	0.0%
		④新たな産業の創出	B	0	0.0%	8	40.0%	12	60.0%	0	0.0%	0	0.0%
		⑤若者の地元就職の促進	B	0	0.0%	13	65.0%	7	35.0%	0	0.0%	0	0.0%
	(3)ジオパーク	①ジオツーリズムによる交流人口の拡大	B	0	0.0%	18	90.0%	2	10.0%	0	0.0%	0	0.0%
		②資源価値の保全と教育	A	10	50.0%	10	50.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	(4)観光・物産	①広域連携による観光プロモーション	B	0	0.0%	17	85.0%	3	15.0%	0	0.0%	0	0.0%
		②稼げる物産プロモーション	B	2	10.0%	14	70.0%	4	20.0%	0	0.0%	0	0.0%
	(5)景観	①景観の向上と保全	B	3	15.0%	13	65.0%	4	20.0%	0	0.0%	0	0.0%
	(6)市民協働・コミュニティ	①市民協働の施策展開	A	11	55.0%	9	45.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
		②広報広聴の充実	B	2	10.0%	17	85.0%	1	5.0%	0	0.0%	0	0.0%
		③コミュニティ自治の実現	B	1	5.0%	17	85.0%	2	10.0%	0	0.0%	0	0.0%
	(7)男女共同参画・女性活躍	①男女共同参画社会づくりに向けた意識改革	B	2	10.0%	17	85.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	5.0%
		②市民一人ひとりのワーク・ライフ・バランスの実現	B	3	15.0%	12	60.0%	4	20.0%	0	0.0%	1	5.0%
	(8)国際・都市間交流	①姉妹都市等との交流	A	12	60.0%	8	40.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	(9)海洋科学研究拠点	①研究活動環境の充実	A	14	70.0%	6	30.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	2 教育・子育て 環境の 向上	(1)教育	①学力の向上	B	0	0.0%	11	55.0%	9	45.0%	0	0.0%	0
②体育・健康教育の充実			B	3	15.0%	16	80.0%	1	5.0%	0	0.0%	0	0.0%
③夢を育む教育			B	2	10.0%	16	80.0%	1	5.0%	0	0.0%	1	5.0%
④地域とともにある学校			A	13	65.0%	7	35.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
⑤教育基盤の整備			B	2	10.0%	18	90.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
⑥社会教育・文化の充実と文化財保存活用			B	1	5.0%	17	85.0%	2	10.0%	0	0.0%	0	0.0%
⑦変化に対応できる人材の育成			B	4	20.0%	13	65.0%	2	10.0%	0	0.0%	1	5.0%
⑧高等教育機関との連携			B	0	0.0%	16	80.0%	4	20.0%	0	0.0%	0	0.0%
(2)子ども・子育て支援		①妊娠期からの切れ目のない子育て支援	B	1	5.0%	17	85.0%	2	10.0%	0	0.0%	0	0.0%
		②児童福祉の充実	B	1	5.0%	17	85.0%	2	10.0%	0	0.0%	0	0.0%

表 4-2 外部評価による各施策の進捗状況

施策名	内部評価	外部評価												
		順調に推移 (A)		一定の進捗 がある (B)		進捗は遅れて いる (C)		進捗は大幅に 遅れている (D)		わからない (-)				
3 高齢者福祉・医療・暮らしの充実	(1)健康・福祉	①一人ひとりの健康づくりの推進	B	0	0.0%	17	85.0%	3	15.0%	0	0.0%	0	0.0%	
		②健康まちづくりの推進	B	0	0.0%	20	100%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
		③医療体制の充実	B	0	0.0%	16	80.0%	4	20.0%	0	0.0%	0	0.0%	
		④高齢者福祉の充実	A	11	55.0%	7	35.0%	2	10.0%	0	0.0%	0	0.0%	
		⑤障害者福祉の充実	B	2	10.0%	10	50.0%	8	40.0%	0	0.0%	0	0.0%	
		⑥地域福祉の充実	B	2	10.0%	16	80.0%	2	10.0%	0	0.0%	0	0.0%	
		⑦社会保障の充実	A	9	45.0%	9	45.0%	1	5.0%	0	0.0%	1	5.0%	
	(2)スポーツ	①スポーツ活動の充実	B	2	10.0%	16	80.0%	1	5.0%	0	0.0%	1	5.0%	
	(3)環境	①循環型社会の推進	B	0	0.0%	19	95.0%	1	5.0%	0	0.0%	0	0.0%	
		②自然環境の保全	A	3	15.0%	15	75.0%	1	5.0%	0	0.0%	1	5.0%	
		③公害対策の充実	B	1	5.0%	18	90.0%	1	5.0%	0	0.0%	0	0.0%	
		④環境衛生対策、廃棄物対策の充実	B	1	5.0%	14	70.0%	4	20.0%	1	5.0%	0	0.0%	
	(4)コンパクト・プラス・ネットワーク	①暮らしやすいまちの構築	B	0	0.0%	18	90.0%	2	10.0%	0	0.0%	0	0.0%	
		②道路基盤の整備	B	0	0.0%	15	75.0%	4	20.0%	0	0.0%	1	5.0%	
		③公共交通の確保	B	0	0.0%	18	90.0%	2	10.0%	0	0.0%	0	0.0%	
		④広域交通ネットワークの形成	B	2	10.0%	14	70.0%	3	15.0%	0	0.0%	1	5.0%	
	(5)行財政基盤	①財政の健全化	B	1	5.0%	18	90.0%	1	5.0%	0	0.0%	0	0.0%	
		②広域行政の推進	B	0	0.0%	19	95.0%	1	5.0%	0	0.0%	0	0.0%	
		③公共施設マネジメントの推進	B	0	0.0%	17	85.0%	2	10.0%	0	0.0%	1	5.0%	
	4 デジタル化の推進	(1)デジタル実装	①地域DXの実践	A	6	30.0%	13	65.0%	1	5.0%	0	0.0%	0	0.0%
			②自治体DXの推進による効率的な行政運営	A	13	65.0%	6	30.0%	1	5.0%	0	0.0%	0	0.0%
③情報ネットワークの利活用の推進			B	2	10.0%	18	90.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
5 危機管理・防災力の向上	(1)安全・安心	①防災対策の充実	C	0	0.0%	4	20.0%	14	70.0%	1	5.0%	1	5.0%	
		②消防・救急体制の充実	B	1	5.0%	15	75.0%	4	20.0%	0	0.0%	0	0.0%	
		③水道の安全・安定供給の確保	A	8	40.0%	12	60.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
		④交通安全の確保	B	2	10.0%	17	85.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	5.0%	
		⑤防犯対策の充実	B	0	0.0%	18	90.0%	1	5.0%	0	0.0%	1	5.0%	

<外部評価における主な意見>

1. 活力あるむつ市の創生 (2)産業・雇用 ⑤若者の地元就職の促進

- ・ 教育によるところが大きいのではないかと。ジオの学習と同じく、祭や地域活動への参加も教育。観光と言う地域自慢をもっと意識してよいのではないかと。
- 令和5年度は、ボランティア活動やおしまこ流し踊りへの参加など年間29件の地域活動に市内大学生が多数参加しており、令和6年度においても引き続き観光面も含めて、地域の魅力を知ることができる活動への参画を支援してまいりたいと考えております。

1. 活力あるむつ市の創生 (3) ジオパーク

- ・ ジオパークについて市民にはさまざまな学習機会を設けていると思うが、むつ来さまい館のビジターセンターについては物足りなさがあり、全国大会に向けて展示内容の確認、充実が求められるのではないかと。
- 下北ジオパークビジターセンターは令和2年10月にオープンし、令和5年度までに4,600名を超える方々に御来訪いただいております。昨年度は、ユネスコ世界ジオパークへの申請に向けて、英語圏からの来訪者をターゲットとした改修も行っており、下北の全ての魅力を発信するツールが整った状態となっております。展示内容につきましても、現在下北ジオパークで扱っている情報は全て提供できている状態です。展示の仕方に関しましては、改修に相当の費用を要する試算がされている状況ですので、今後の課題として検討しつつ、下北の魅力を多くの方に知っていただけるよう展示の充実をさらに図っていきたいと考えております。

1. 活力あるむつ市の創生 (4) 観光・物産 ① 広域連携による観光プロモーション

- ・ 観光は責任をもって「いらっしやいませ」と言える人がPRしないとお客様との間に矛盾が生じてしまいます。
- 現在、当地域における観光物産団体の合併に向けた取組が進んでおり、これを機に観光客の皆さまをお迎えする体制がより一層整うものと考えております。

1. 活力あるむつ市の創生 (4) 観光・物産 ② 稼げる物産プロモーション

- ・ イベント等は成功を感じるが、継続的な取引、商品には企業にももうひと頑張りしてほしい。
- 物産に関しては、イベント出展、商談会、レストランフェア等を通じた販路の開拓・拡大、補助制度による新商品の開発支援に取り組んでおりますので、今後も事業者と連携して「むつ市のうまい」を国内外にPRしてまいります。

1. 活力あるむつ市の創生 (8) 国際・都市間交流 ① 姉妹都市等との交流

- ・ 交流ですので、来ていただく為の施策がもっと必要だと思う。
- 姉妹都市の会津若松市とは、昭和59年の姉妹都市盟約締結以来、2年ごとの相互訪問、10年ごとの周年行事などを通じて相互に交流を深めております。今年度は40周年ということで、会津若松市へ訪問することとなっておりますが、ジオパーク全国大会には会津若松市を招待しております。令和7年度は相互訪問のうち、会津若松市の方々を迎え入れる年ですので、引き続き交流促進に努めていきたいと考えております。

2. 教育・子育て環境の向上 (1) 教育 ⑥ 社会教育・文化の充実と文化財保存活用

- ・ 文化財に関する事務は生涯学習課に一括しないで、文化財単独の課・室として位置づけていただきたい。
- 市の組織体制の方向性や学芸員を含む職員不足も重なり、部署の設置は難しい状況にあります。一方で、専門部署の設置は、文化財の保存・活用を図るために効果的だと考えますので、引き続き検討してまいります。

2.教育・子育て環境の向上 (1)教育 ⑥社会教育・文化の充実と文化財保存活用

- ・ 文化団体協議会の会員組織と「むつ☆かつ」をもっと繋げていけないものか。
 - 「むつ☆かつ」では、昨年度、文化クラブを開設し、1年経過しましたのでクラブ運営の安定が図られてきたところです。今後は会員組織の皆さまとも連携を図りながら、生徒のニーズに合った活動内容の検討を進めてまいります。

2.教育・子育て環境の向上 (2)子ども・子育て支援 ②児童福祉の充実

- ・ 虐待、ネグレクトを防ぐためにも家族社会的に家庭を観察指導する目も必要ではないか。児童相談所との連携
 - これまで家族社会的視点を意識的に活用する場面はありませんでしたが、家族内の関係性や親の生育歴、子どもの特性や社会との関わりなど、様々な部分に着目しながら支援しております。児童相談所とも、心配な家庭に関する情報共有や役割分担をしながら連携して対応しております。

3.高齢者福祉・医療・暮らしの充実 (1)健康・福祉 ⑤障害者福祉の充実

- ・ むつ養護学校は生徒数増加、施設は拡張、教職員は不足状態にあります。障害者福祉の充実はより求められていくこととなります。学校のコーディネーターは激務です。
 - 市内小中学校でも、特別支援学級に在籍する児童生徒は増加傾向にあり、一人ひとり個別に適切な支援を要することから、教職員の負担も少なからず増えていると考えております。そこで各校では、一部の教員に負担がかからないよう、特別支援コーディネーターを中心に、全教員で組織的に取り組んでおります。さらに、スクールサポーターを配置することで、教員の指導体制を支えるなど、児童生徒一人ひとりへの支援の充実を図っております。

3.高齢者福祉・医療・暮らしの充実 (4)コンパクト・プラス・ネットワーク ③公共交通の確保

- ・ 企業による無料「お買い物バス」には多くの市民が乗っているが事業継続の保証が無い。どう関わっていくのか。JRバス東北でも危機感をもっています。
 - 公共交通の維持・確保という観点からは、お買い物バスが終了した場合は、路線バスを積極的に御利用いただきたいと考えております。また、買い物支援という観点からは、昨年度実施しましたFLATにおいて複数の町内会から要望があり、課題等を明確にするため関係者へのヒアリングやアンケート調査を実施しております。その結果、現時点では困っているという印象は薄い結果となりましたが、2035年に迎える後期高齢者のピークや人口減少など多種多様な課題に対して、市全体で検討が必要だと考えております。

3.高齢者福祉・医療・暮らしの充実 (5)行財政基盤 ②広域行政の推進

- ・ 遠くない将来、下北半島は一つの自治体とならなければ維持できないと思う。リーダーシップを持って肅々と計画をお願いします。
 - 下北圏域の生活機能の確保と地域活性化を図るため、当市が強いリーダーシップを発揮し、下北圏域定住自立圏の取組を進めてまいりたいと考えております。

4. デジタル化の推進 (1) デジタル実装 ③ 情報ネットワークの利活用の推進

- ・ スマホ教室も大切ですね。
 - 今年度は、年間で36回、1回あたり定員10名での開催を予定しており、7月末までに、9回実施し、84名の方に参加いただいております。参加者からも好評をいただいておりますので、引き続き広報むつ等で周知しながら、3月まで毎月実施してまいります。

5. 危機管理・防災力の向上 (1) 安全・安心 ① 防災対策の充実

- ・ 防災士の組織化、役割分担などの明示も必要になってきます。
 - 今年度から新規事業として、自主防災組織内への防災士の配置や若年層の防災リーダーを育成することを目的とした防災士資格取得の助成事業を開始しております。また、県防災士会むつ支部とは、情報共有や市の総合防災訓練へ協力いただくなど、今後もさらなる連携強化を図ってまいります。

5. 危機管理・防災力の向上 (1) 安全・安心 ② 消防・救急体制の充実

- ・ 消防団員の確保と技術向上を願います。
 - 消防団員の確保は、地域防災力の維持を図るためにも重要課題であると認識しております。そのため、市と消防本部では、各種行事で広報するほか、機能別消防団員制度の導入を進めているところです。また、技術の向上では、火災予防運動時の常備消防との連携訓練のほか、勉強会やポンプ運用訓練を実施するなど、個々のスキルアップを図っております。

5. 危機管理・防災力の向上 (1) 安全・安心 ③ 水道の安全・安定供給の確保

- ・ 都会に比べて水道代がとて高い。
 - 市の水道料金は、日本水道協会が示す算定要領及び改定の手引きを基に算定しております。算定にあたっては、人件費や修繕費、減価償却費等の「営業費用」と支払利息や施設の計画的な改修・更新等に必要の費用の「資本費用」とを合わせた「総括原価」の方式を採用しております。水道料金に地域差が生まれる要因としては、記載のとおり、給水地域における地理的要因や歴史的要因、社会的要因、外部不経済の大きく4つが考えられます。いずれにしましても、特別な算定方法は採用しておりませんので、御理解いただければと思います。

その他の意見

- ・ KPI 数値の設定が実情に合っていないものがあるので、実情に合わせるべきと考えます。
 - KPI の目標値につきましては、基準値と最終年度の令和8年度の目標値は策定時のままとし、その間の年度に関しては、前年度の実績値をもとに適宜見直しをしております。御指摘のとおり、実情と乖離している KPI となっている施策もありますので、策定時の設定にこだわらず、実情に合わせて、施策の適切な進捗管理ができるよう検討してまいります。

その他の意見

- ・ 指標そのものの目標値を含め、計画全体の進捗状況については、どこに focus を当てるかによって評価者間に温度差があると考え、全体的に一定の進捗があったものと判断した。
 - 今回から評価を集約するのではなく、それぞれの評価の割合を外部評価の結果とさせていただいておりますので、評価のバラつきについても参考にさせていただき、施策の進捗を図ってまいりたいと考えております。

- ・ おつ市や下北半島の魅力・自慢をジオパークのように、観光や文化面からも子供達に組み立て教えることで郷土愛を高めてもらい、地元のヒーローになってほしい。文化団体協議会の会員の皆さまの知識と経験は次世代への財産である。
 - こどもの時から郷土愛を育むことで、定住やリターンにつながるほか、地域発展への貢献も期待できると考えております。そのためには、文化団体協議会の会員の皆さまをはじめ、専門知識や貴重な経験をお持ちの皆様が、それを地域に還元し、つないでいくことが重要だと考えますので、引き続きの御協力をお願いいたします。

- ・ 一見バラバラに見える各事業は関連づけて考えることで相乗的に効果が期待できるものがあります。さらに学生を巻き込んだら新しい意見や新しい事業が創設されていくのではないのでしょうか。
 - 限られた予算の中では、事業と事業の関連づけや1つの事業でもより大きな効果を得られるよう事業を構築することが重要だと考えております。また、これからのおつ市を創っていくためには、学生や若者の新しい意見が必要不可欠だと考えておりますので、学生や若者にも積極的にまちづくりに携わっていただけるように取り組んでまいりたいと考えております。

- ・ 中間貯蔵施設はメルトダウンのような事故はありえないのだが、事故を想定した対策はしっかりと持つべきだと考える。ジャンボジェット機が突っ込んで来ても壊れないと言う安全性を謳い文句にしていた施設も哀れな末路をたどりました。エネルギー問題に関わる施策はお上から来るのではなく、おつ市から先手を打つ姿勢が大切です。過去のおつ市長には市民の安全性を求めて国会の場にたった方もおりました。これからも凛として臨みましょう。
 - 中間貯蔵施設の安全性につきましては、これまでの事業開始に向けた国の新規規制基準適合性審査において、安全性が確認されている事に加え、国の「原子力災害対策指針」に基づく原子力災害対策重点区域の設定がなく避難計画の策定を必要としない施設となっております。しかしながら、当市ではおつ市地域防災計画（原子力災害対策編）における災害時の連絡体制の構築や、本日県及び事業者と締結する安全協定に基づき、安全確保の取組を進めてまいります。また、中間貯蔵施設が立地することで、電源立地地域対策交付金をはじめとする安定財源の獲得により、様々な地域振興が図られております。今後は、国、県、原子力関連施設の立地自治体、電力会社等が一体となり、「青森県共創会議」を通じて、より具体的な地域振興策を求める等、国、県及び電力会社等と連携し、一層の地域振興の実現に向けて努めてまいります。

4. 市民アンケート

全世代を対象として、むつ市総合経営計画後期基本計画の KPI の達成度等を検証するとともに今後の施策の方向性を検討するため、アンケート調査を実施しました。

<概要>

- 対象者：下記条件に当てはまる市民 45,598 人の中から、無作為に抽出した 2,000 人
・令和 6 年 4 月 1 日現在 満 15 歳以上で少なくとも 1 年以上居住している方
- 調査期間：令和 6 年 4 月 30 日～5 月 22 日
- 回答数：837 人（回答率 41.9%）

<主なアンケート結果>

「むつ市について」

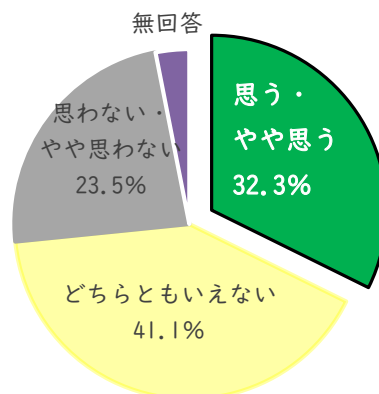
市では、子どもから高齢者まで全ての市民が笑顔で輝き、未来に向かって輝く夢や希望が持てるようなまちの実現を目指しています。現在のお考えにあてはまるものを選んでください。

[設問]むつ市が実施している取組が将来像「笑顔かがやく 希望のまち むつ」の実現につながっていると思いますか。(ひとつに○)

【むつ市の将来像】

「思う」が 6.6%、「やや思う」が 25.7%、「どちらともいえない」が 41.1%、「やや思わない」が 12.5%、「思わない」が 11.0%、「無回答」が 3.1%という結果になりました。

「どちらともいえない」の割合が最も高いことから、将来像の実現に向けて更なる取組の改善や周知が必要であると考えられます。

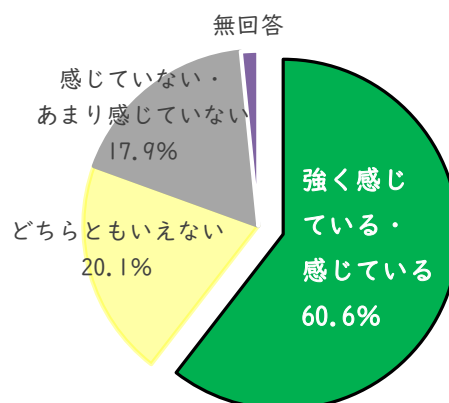


[設問]“自分のまち”として「愛着」を感じていますか。(ひとつに○)

【むつ市への愛着】

「強く感じている」が 9.6%、「感じている」が 51.0%、「どちらともいえない」が 20.1%、「あまり感じていない」が 11.4%、「感じていない」が 6.5%、「無回答」が 1.6%という結果になりました。

約 6 割の方が愛着を感じていると回答していることから、郷土愛が強い市民性であると考えられます。

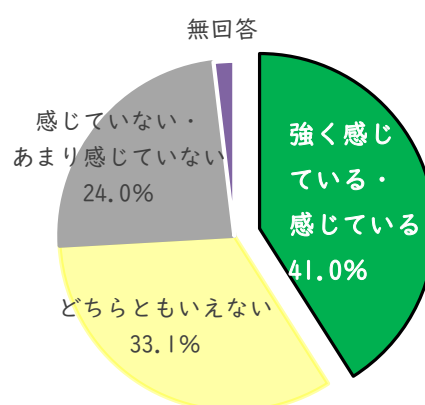


[設問] “自分のまち “として「誇り」を感じていますか。(ひとつに○)

【むつ市への誇り】

「強く感じている」が5.6%、「感じている」が35.4%、「どちらともいえない」が33.1%、「あまり感じていない」が15.5%、「感じていない」が8.5%、「無回答」が1.9%という結果になりました。

むつ市への愛着を感じている方が約6割の一方で、誇りを感じている方が約4割だったことから、市外の方に向けてむつ市を自慢できる方が少なくなる傾向にあると考えられます。

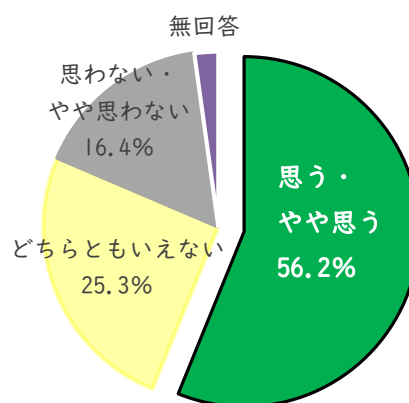


[設問]むつ市に住み続けたいと思いますか。(ひとつに○)

【むつ市への定住意思】

「思う」が34.9%、「やや思う」が21.3%、「どちらともいえない」が25.3%、「やや思わない」が8.4%、「思わない」が8.0%、「無回答」が2.2%という結果になりました。

約6割近くの方がむつ市に住み続けたいと回答しており、郷土愛の強さが表れているものと考えられます。



[設問]むつ市に特に力を入れて取り組んでほしい施策項目を教えてください。(3つまで○)

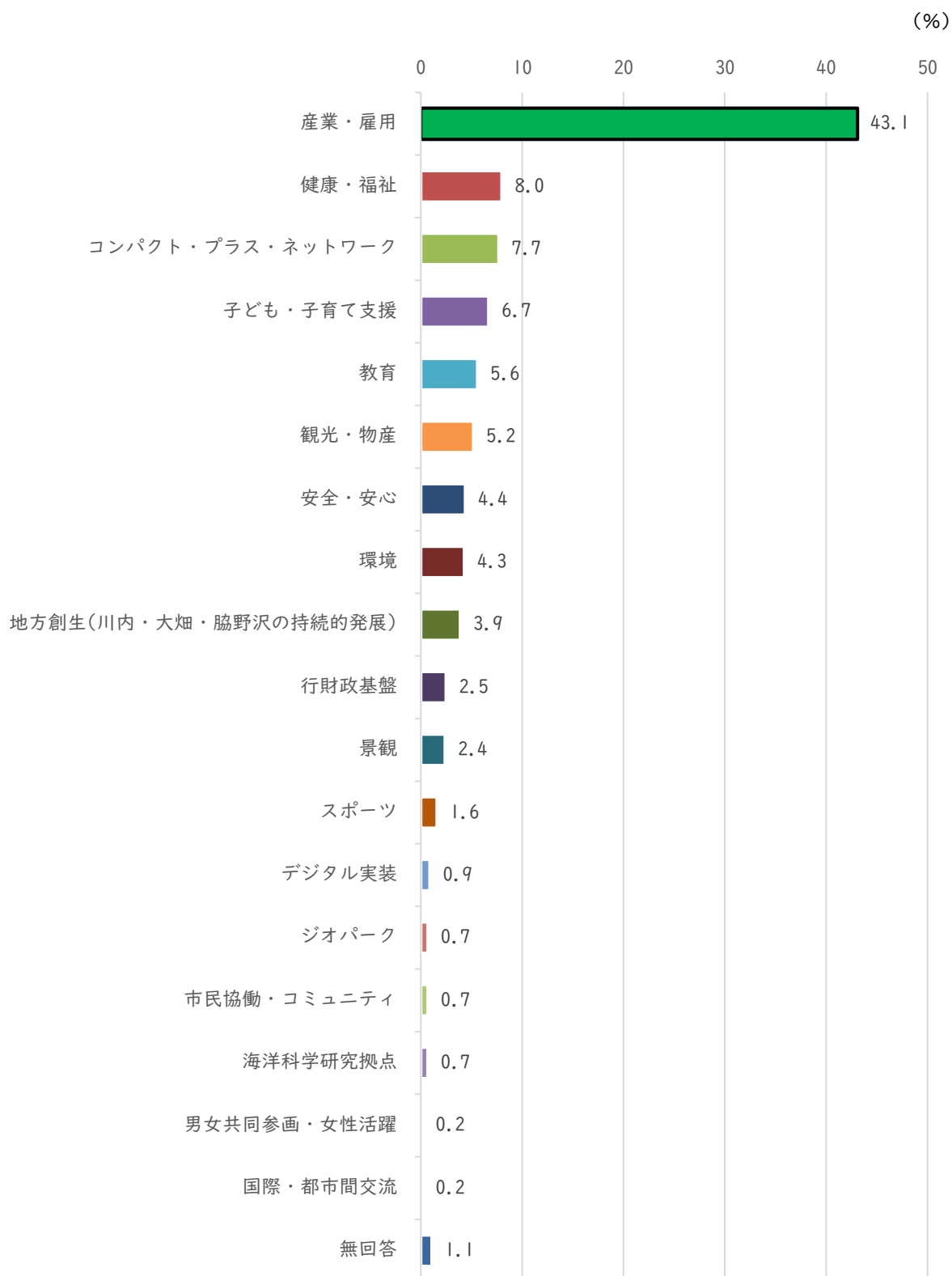
【むつ市に求める施策】

むつ市総合経営計画後期基本計画において位置付けている18の施策項目の中で、特に力を入れて取り組んでほしい施策項目について、3つまで選択可として答えてもらったところ、総回答数が2,137件となりました。

その結果、「産業・雇用」が43.1% (920件) で最も求められているという結果になりました。次いで、「健康・福祉」が8.0% (171件)、「コンパクト・プラス・ネットワーク (道路・基盤整備、公共交通の確保)」が7.7% (164件)、「子ども・子育て支援」が6.7% (144件)、「教育」が5.6% (120件) という結果になりました。

「産業・雇用」が他の施策と比較しても圧倒的に多い結果となった背景には、むつ市の有効求人倍率が1を下回ることもあり、県内の他地域と比べても働く場の選択肢が限られてくることから、働く場や雇用の確保を最も求めていることが考えられます。

特に力を入れて取り組んでほしい施策項目



第3部 むつ市総合経営計画施策評価調書
(令和5年度)

施策評価調書(令和5年度)

1. 施策体系と施策関係部局

基本方針	1. 活力あるむつ市の創生	関係部局
施策項目	(I) 地方創生	企画政策部
施策内容	① まち・ひと・しごと創生の推進	

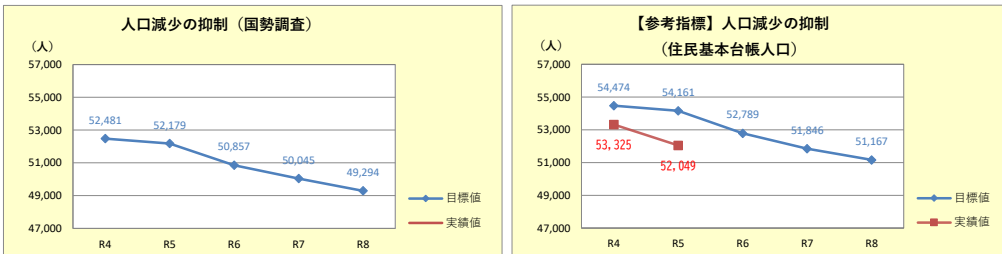
むつ市総合経営計画後期基本計画における「基本方針」「施策項目」「施策内容」及び「施策内容」に最も関係の深い担当部局を記載。

2. 基本計画における指標(KPI)

【上段:目標値 下段:実績値】

指標名	単位	基準値	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
人口減少の抑制(国勢調査)	(人)	54,103	52,481	52,179	50,857	50,045	49,294
【参考指標】人口減少の抑制(住民基本台帳人口)	(人)	56,158	54,474	54,161	52,789	51,846	51,167
		令和2年度	53,325	52,049			

施策の指標(KPI)の各年度または、計画最終年度の目標値と実績値を記載。「-」となっているものは、現時点で数値が把握できないもの(参考とする統計資料が公表されていないものや複数年に一回の調査など)



施策の指標(KPI)の目標値と実績値をグラフ化して記載。

3. 年次目標【令和5年度】

内容	実績(目標)	達成状況報告
企業版ふるさと納税寄附件数	31件(8件)	企業とのマッチング支援サービスを提供する事業者2社と契約することで、新規の企業から計21件(金額850万円)の寄附を集めることができた。結果として、令和5年度は、合計31件(総額3,100万円)の寄附をいただくことができ、事業を実施するための財源確保を図ることができた。
デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ)令和6年度採択件数	1件(1件)	新規1件、継続1件の事業を申請したところ、新規分は不採択となったが、継続事業の「キョウイク(教育・共育・今日行く!)拠点によるまちづくり事業」は採択された。

・令和5年度の施策の進捗を図るための年次目標及び実績を記載。
・達成状況(R6.3.31時点)について記載。

《参考:令和4年度実績》

内容	年次目標	実績	評価区分	取組状況(評価結果)
企業版ふるさと納税寄附件数	6件	7件	B 概ね良好	企業版ふるさと納税の寄附件数、及び交付金の採択件数ともに計画件数を上回ることができたが、デジタル田園都市国家構想交付金において不採択となった事業もあることから、概ね良好とした。
地方創生関連交付金(デジタル交付金含む)令和5年度申請件数	4件	5件		

<参考>
各部局で設定した令和4年度の実績と評価区分・内容を記載。
【評価区分】
A 良好
B 概ね良好
C やや不良
D 不良

4. 関連するSDGsのゴール(17)とターゲット(169)

	1.3		2.4		3.9		4.7		5.5
	6.3		7.1		8.9		9.4		10.2
	11.a		12.b		13.1		14.2		15.4
	16.7		17.17						

関連するSDGsのゴールとターゲットを記載

5. 令和5年度主要事業

【単位：千円】

事業名	事業内容		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
	重要業績評価指標	基準値	決算額	予算額	予定額	予定額	予定額
			目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
企業版ふるさと納税（地方創生応援税制）関連費	むつ市まち・ひと・しごと創生推進事業に対して、企業からの寄附を募る。		43	323	323	323	323
	【寄附企業件数（件）】	8	7	8	12	14	16
	【寄附金額（万円）】	1,310	-	2,000	3,000	3,500	4,000
むつ市産夏秋いちご収益力アップ事業 【デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）活用事業】	夏秋いちごの等級は、上位から秀品、A品、B品、C品の4区分となっており、その内およそ半分がB品、C品である。B品は販売単価が低く、C品は廃棄されている。夏秋いちごでは必ず何割かはB品、C品が発生してしまう。 これらを冷凍いちご等の付加価値商品として販売していくことで、各等級ごとの販売単価が上がり、夏秋いちご農家の収益力アップに直結する。これを推進し、収益力アップを目指し支援していく。 急速冷凍機・冷凍庫等の機械の導入、商品開発に係る資材の購入等に対し、補助対象経費の2分の1以内等を補助率として補助金を交付することで支援する。		-	2,000	-	-	-
	【いちごの収入額（令和4年度補助事業者）（千円）】	6,830	7,513	8,196	-	-	-
	【いちごの収入額（令和5年度補助事業者）（千円）】	29,100	-	32,010	34,920	-	-

施策内容に紐づく事務事業のうち主要な取組（主要事業）を記載。

<事業費>
・R4=決算額
・R5=予算額
・R6~R8=予定額

<重要行政評価指標>
・R4~R8=目標値

6. 施策の進捗状況（内部評価）

区分	選択区分	【評価の理由】
令和5年度施策内容の進捗状況（中間評価）	B	企業版ふるさと納税は、企業の決算期となる2月～3月に行われることが多いが、今年度既に2件の寄附が行われたこと、及び企業とのマッチングを行う事業者との契約準備を進めていることから、概ね良好とした。
		【今後の取組の方向性】 企業版ふるさと納税は、複数のマッチング支援事業者との契約を進めるとともに、過去寄附いただいた企業にリーフレットを送付するなどし、交付金では財務課や事業担当課と申請に向けた協議を重ねて、財源確保に努める。

R5.9.30時点の各部局の内部評価による施策の進捗状況の評価・評価の理由・課題を記載。

【評価区分】
A順調に推移
B一定の進捗がある
C進捗は遅れている
D進捗は大幅に遅れている

区分	選択区分	【評価の理由】
令和5年度施策内容の進捗状況（総合的な内部評価）	B	年次目標に関しては、企業版ふるさと納税の大幅な増加及び交付金も採択されたため「むつ市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の関連事業を実施するための財源を確保することができ「A 良好」と評価できるが、KPIの『人口減少の抑制』に関しては、今後取組の効果が表れてくるものと考えため、施策としては「B 概ね良好」とする。
		【今後の取組の方向性】 人口減少対策に係る取組を推進するため、「むつ市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に関連する事業を実施できるよう、企業版ふるさと納税やデジタル田園都市国家構想交付金の更なる活用を図っていく。

R6.3.31時点の各部局の内部評価による施策の進捗状況の評価・評価の理由・課題を記載。

【評価区分】
A順調に推移
B一定の進捗がある
C進捗は遅れている
D進捗は大幅に遅れている

7. 施策の進捗状況（外部評価）

区分	選択区分	評価割合	【主な意見】	
令和5年度施策内容の進捗状況（総合的な外部評価）	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている - わからない	A	0.0%	
		B	85.0%	
		C	15.0%	
		D	0.0%	
		-	0.0%	

むつ市総合開発審議会委員による施策の進捗状況に対する評価割合を記載。

令和5年度 施策評価一覧

基本方針 施策項目 施策内容	担当部局	担当課	内部評価 (中間)	内部評価 (総合的)	該当 ページ
1. 活力あるむつ市の創生					
(1) 地方創生					
①まち・ひと・しごと創生の推進	企画政策部	企画調整課	B	B	16
②川内・大畑・協野沢地区の持続的発展	企画政策部	企画調整課・分庁舎	B	B	20
(2) 産業・雇用					
①農林水産業の振興	経済部	農林水産業振興課	B	B	22
②商工業の振興	経済部	産業雇用政策課	B	B	25
③エネルギー関連産業の育成	企画政策部、経済部	エネルギー戦略課、産業雇用政策課	B	B	28
④新たな産業の創出	経済部	産業雇用政策課	C	B	31
⑤若者の地元就職の促進	企画政策部、経済部	企画調整課、産業雇用政策課	B	B	34
(3) ジオパーク					
①ジオツーリズムによる交流人口の拡大	企画政策部	ジオパーク推進課	B	B	37
②資源価値の保全と教育	企画政策部	ジオパーク推進課	A	A	40
(4) 観光・物産					
①広域連携による観光プロモーション	経済部	観光戦略課	B	B	42
②稼げる物産プロモーション	経済部	シティプロモーション推進課	B	B	44
(5) 景観					
①景観の向上と保全	都市整備部	都市計画課	B	B	47
(6) 市民協働・コミュニティ					
①市民協働の施策展開	企画政策部	市民連携課	A	A	49
②広報広聴の充実	企画政策部	市民連携課	B	B	51
③コミュニティ自治の実現	企画政策部	市民連携課	B	B	53
(7) 男女共同参画・女性活躍					
①男女共同参画社会づくりに向けた意識改革	企画政策部	市民連携課	B	B	55
②市民一人ひとりのワーク・ライフ・バランスの実現	企画政策部	市民連携課	A	B	57
(8) 国際・都市間交流					
①姉妹都市等の交流	企画政策部	企画調整課、学校教育課	A	A	59
(9) 海洋科学研究拠点					
①研究活動環境の充実	企画政策部	企画調整課	A	A	62
2. 教育・子育て環境の向上					
(1) 教育					
①学力の向上	教育委員会事務局	教委総務課、学校教育課	B	B	64
②体育・健康教育の充実	教育委員会事務局	学校教育課	A	B	67
③夢を育む教育	教育委員会事務局	学校教育課	A	B	70
④地域とともにある学校	教育委員会事務局	学校教育課	A	A	73
⑤教育基盤の整備	教育委員会事務局	教委総務課	B	B	75
⑥社会教育・文化の充実と文化財保存活用	教育委員会事務局	生涯学習課、中央公民館、図書館	B	B	78
⑦変化に対応できる人材の育成	教育委員会事務局	中央公民館	A	B	82
⑧高等教育機関との連携	企画政策部	企画調整課	B	B	84
(2) 子ども・子育て支援					
①妊娠期からの切れ目のない子育て支援	子どもみらい部	子育て支援課	B	B	87
②児童福祉の充実	子どもみらい部	子ども家庭課、子育て支援課	B	B	90
3. 高齢者福祉・医療・暮らしの充実					
(1) 健康・福祉					
①一人ひとりの健康づくりの推進	健康づくり推進部	健康づくり推進課、国保年金課	B	B	92
②健康まちづくりの推進	健康づくり推進部	健康づくり推進課	B	B	95
③医療体制の充実	健康づくり推進部、教育委員会事務局	予防医療・感染症対策課、教委総務課	B	B	98
④高齢者福祉の充実	福祉部	高齢者福祉課	A	A	101
⑤障害者福祉の充実	福祉部	障がい福祉課	C	B	104
⑥地域福祉の充実	福祉部	福祉政策課	B	B	107
⑦社会保障の充実	福祉部、健康づくり推進部	高齢者福祉課、国保年金課	A	A	109
(2) スポーツ					
①スポーツ活動の充実	民生部	市民スポーツ課	B	B	112
(3) 環境					
①循環型社会の推進	民生部	環境政策課	B	B	114
②自然環境の保全	都市整備部、上下水道局	土木維持課、下水道課	B	A	116
③公害対策の充実	民生部	環境政策課	B	B	118
④環境衛生対策、廃棄物対策の充実	民生部	環境政策課	B	B	120
(4) コンパクト・プラス・ネットワーク					
①暮らしやすいまちの構築	都市整備部、上下水道局	都市計画課、下水道課	B	B	122
②道路基盤の整備	都市整備部、上下水道局	都市計画課、土木維持課	B	B	125
③公共交通の確保	企画政策部	企画調整課	B	B	128
④広域交通ネットワークの形成	企画政策部	企画調整課	B	B	131
(5) 行財政基盤					
①財政の健全化	財務部	財務課、税務課	B	B	133
②広域行政の推進	企画政策部	企画調整課	B	B	136
③公共施設マネジメントの推進	財務部	管財・施設経営課	B	B	138
4. デジタル化の推進					
(1) デジタル実装					
①地域DXの実践	総務部	行政改革推進課、総合情報課	B	A	140
②自治体DXによる効率的な行政運営	総務部	行政改革推進課	A	A	142
③情報ネットワークの利活用の推進	総務部	行政改革推進課	B	B	144
5. 危機管理・防災力の向上					
(1) 安全・安心					
①防災対策の充実	総務部	防災安全課	C	C	146
②消防・救急体制の充実	総務部	防災安全課	C	B	149
③水道の安全・安定供給の確保	上下水道局	水道課	B	A	151
④交通安全の確保	民生部	環境政策課	B	B	153
⑤防犯対策の充実	福祉部、経済部	福祉政策課、産業雇用政策課	B	B	155

施策評価調書(令和5年度)

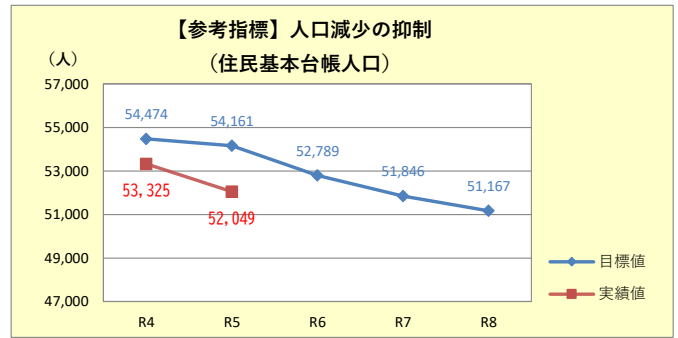
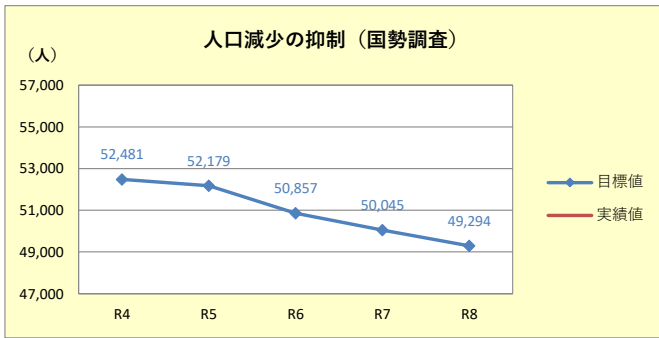
1. 施策体系と施策関係部局

基本方針	1. 活力あるむつ市の創生	関係部局
施策項目	(1) 地方創生	企画政策部
施策内容	① まち・ひと・しごと創生の推進	

2. 基本計画における指標(KPI)

【上段:目標値 下段:実績値】

指標名	単位	基準値	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
人口減少の抑制(国勢調査)	(人)	54,103 令和2年度	52,481	52,179	50,857	50,045	49,294
【参考指標】人口減少の抑制(住民基本台帳人口)	(人)	56,158 令和2年度	54,474	54,161	52,789	51,846	51,167



3. 年次目標【令和5年度】

内容	実績(目標)	達成状況報告
企業版ふるさと納税寄付件数	31件(8件)	企業とのマッチング支援サービスを提供する事業者2社と契約することで、新規の企業から計21件(金額850万円)の寄附を集めることができた。 結果として、令和5年度は、合計31件(総額3,100万円)の寄附をいただくことができ、事業を実施するための財源確保を図ることができた。
デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ)令和6年度採択件数	1件(1件)	新規1件、継続1件の事業を申請したところ、新規分は不採択となったが、継続事業の「キョウイク(教育・共育・今日行く!)拠点によるまちづくり事業」は採択された。

《参考:令和4年度実績》

内容	年次目標	実績	評価区分	取組状況(評価結果)
企業版ふるさと納税寄付件数	6件	7件	B 概ね良好	企業版ふるさと納税の寄付件数、及び交付金の採択件数ともに計画件数を上回ることができたが、デジタル田園都市国家構想交付金において不採択となった事業もあることから、概ね良好とした。
地方創生関連交付金(デジタル交付金含む)令和5年度申請件数	4件	5件		

4. 関連するSDGsのゴール(17)とターゲット(169)

	1.3		2.4		3.9		4.7		5.5
	6.3		7.1		8.9		9.4		10.2
	11.a		12.b		13.1		14.2		15.4
	16.7		17.17						

5. 令和5年度主要事業

【単位:千円】

事業名	事業内容		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
			決算額	予算額	予定額	予定額	予定額
	重要業績評価指標	基準値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
企業版ふるさと納税(地方創生活援税制)関連費	むつ市まち・ひと・しごと創生推進事業に対して、企業からの寄附を募る。		43	323	323	323	323
	【寄附企業件数(件)】	8	7	8	12	14	16
	【寄附金額(万円)】	1,310	-	2,000	3,000	3,500	4,000
むつ市産夏秋いちご収益力アップ事業 【デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ)活用事業】	夏秋いちごの等級は、上位から秀品、A品、B品、C品の4区分となっており、その内およそ半分がB品、C品である。B品は販売単価が低く、C品は廃棄されている。夏秋いちごでは必ず何割かはB品、C品が発生してしまう。 これらを冷凍いちご等の付加価値商品として販売していくことで、各等級ごとの販売単価が上がり、夏秋いちご農家の収益力アップに直結する。これを推進し、収益力アップを目指し支援していく。 急速冷凍機・冷凍庫等の機械の導入、商品開発に係わる資材の購入等に対し、補助対象経費の2分の1以内等を補助率として補助金を交付することで支援する。		-	2,000	-	-	-
	【いちごの収入額(令和4年度補助事業者)(千円)】	6,830	7,513	8,196	-	-	-
	【いちごの収入額(令和5年度補助事業者)(千円)】	29,100	-	32,010	34,920	-	-
地域特産品活用促進事業 【デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ)活用事業】	ご当地自衛隊グルメを活用し、活動団体並びに事業者の支援や各種のプロモーションを行い、地域経済の活性化を図る。 「大湊海軍コロッケ」、「大湊海自カレー」、「大湊Sora空っ!」については各種のイベントやPR活動により県内での認知度が高まっている。 今後も全国の自衛隊基地と連携しながら、全国で開催される自衛隊イベント等に参加し、更なるブランド化を目指す。		3,599	4,100	4,100	4,100	4,100
	【大湊海自カレー提供食数(食)】	6,282	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000
	【大湊Sora空っ!提供食数(食)】	7,163	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000
「むつ市のうまいは日本一!」ステップアップ事業 【デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ)活用事業】	「むつ市のうまいは日本一!」事業は、平成29年度で10年を経過し、今後も積極的に取り組むこととしており、平成30年3月には「むつ市のうまいは日本一推進条例」を制定したところである。 事業者においては販路開拓のステップアップを図ってもらうため、国内外の商談会等への参加費用や、新商品開発等に取り組む市内事業者を支援するための補助金制度活用を促進する。		1,341	2,100	2,100	2,100	2,100
	【むつ市のうまい!販路開拓支援補助金(件)】	2	5	5	5	5	5
	【むつ市新商品開発等支援補助金(件)】	13	6	6	6	6	6
むつ市のうまい!山の幸ブランディング事業 【デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ)活用事業】	陸奥湾と津軽海峡に囲まれた特性を活かし、海峡サーモンやホタテなど海産物の認知度は高く、これまで各種マーケットで販路が開拓されてきたが、海産物以外の特産品の認知度が低いことから、出荷量が安定してきた「下北牛」や「かぼちゃ」をメインに、実食を伴う各種プロモーションを展開することで、山の幸の認知度向上を図り、販路の開拓に繋げる。		-	5,000	5,000	5,000	-
	【新規取引件数(件)】	-	-	20	20	20	-
	【レストランフェア等商品提供数(食)】	-	-	1,000	1,000	1,000	-

事業名	事業内容		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
			決算額	予算額	予定額	予定額	予定額
	重要業績評価指標	基準値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
下北圏域地場産品販路拡大事業 【デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ)活用事業】	下北圏域が誇る特産品の首都圏における販路拡大やブランディングにより、農林水産業の振興や、地域経済の発展を図る。 下北圏域の市町村で実行委員会を組織し、商談会や首都圏の飲食店でのレストランフェア等、目的達成のため各種事業を実施する。		972	528	528	528	528
	【新規取引件数(件)】	18	15	20	20	20	15
	【下北圏域地場産品販路拡大トラックセール売上高(円)】	520,000	-	520,000	520,000	520,000	520,000
むつ市のうまい直送便「M-ロジ」事業 【デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ)活用事業】	新型コロナウイルス感染症の影響により、外食需要の落ち込み等でこれまで以上に競争が激化する国内市場において、カスタマイズしたトラックを導入することで新たな物流システムを構築し、地域の特産品の販路拡大を加速させ、地域の生産者・事業者の所得向上、一次産業の振興、地域経済の成長、関係人口の増加に寄与する。		5,000	5,000	5,000	5,000	5,000
	【トラック運送稼働率(%)】	50	55	60	65	65	65
		R3年度					
Aomori Global Advance Project 【デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ)活用事業】	シンガポール国立大学(NUS)からの短期留学生在がむつ市等へ滞在し、地域ならではの体験や県内の大学生・高校生との交流をとおして地域の文化・価値観へ理解を深める。 また、地域の大学生とむつ市内の生産者等への訪問をとおし、シンガポールマーケットにおける市特産品の競争力向上・認知度向上に向けた販売戦略を検討・実践し、地域の産業の高度化を図る。		6,500	6,474	6,474	6,474	6,474
	【SNSフォロワー数(人)】	-	1,000	3,000	5,000	7,000	10,000
	【インバウンドツアー催行件数(件)】	-	-	1	1	1	1
	【シンガポールでの新規取引件数(件)】	-	-	3	3	3	3
		-					
ICT活用事業(ドローン活用事業) 【デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ)活用事業】	昨今ニホンザルがむつ市全域に活動域を広げており、農作物等に被害を与えている。ドローンを活用することで、野猿監視人のサルの追い払いにかかる業務負担量が軽減ができることから、より迅速な被害対策が可能となり、農作物等被害の軽減が期待できる。		495	495	-	-	-
	【ニホンザルによる農作物被害金額(千円)】	1,114	779	779	-	-	-
キョウイク(教育・共育・今日行く!)拠点によるまちづくり事業 【デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ)活用事業】	地元の高等教育機関を核とした地元雇用やUターン就職等の人材定着、地域内での企業、創業を促す人材育成、「知」の集積、高等教育機関及び研究活動への援助等の事業を通じ、むつ下北地域の可能性を最大限に引き出し、地域経済の活性化、発展に寄与することを目的として、産官学連携により設立されたむつ下北未来創造協議会に対し負担金を支出するもの。		10,912	10,912	10,912	10,912	10,912
	【本事業による市内就職者数(人)】	7	5	6	6	11	13
むつサテライトキャンパス事業 【デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ)活用事業】	高等教育機会の充実、滞在型学習の支援及び大学と連携した事業実施の拠点とするため、むつ市、弘前大学及び青森中央学院大学の三者共同で平成27年10月6日に「弘前大学・青森中央学院大学むつサテライトキャンパス」を開設し、運営している。 主に公開講座や滞在型学習支援の事業を行っており、むつ市民や各大学の学生の人材育成に取り組む。		505	1,780	1,277	1,277	1,277
	【「社会教育の充実」における満足度の向上(点)】	-	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0
	【地域研修の誘致(大学生の受入)】	347	400	450	500	550	600
	【社会人、主婦、高校生向けの講座(講座)】	7	10	10	10	10	10

6. 施策の進捗状況（内部評価）

令和5年度施策内容 の進捗状況 (中間評価)	区分 A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	選択区分 B	【評価の理由】 企業版ふるさと納税は、企業の決算期となる2月～3月に行われることが多いが、今年度既に2件の寄附が行われたこと、及び企業とのマッチングを行う事業者との契約準備を進めていることから、概ね良好とした。
			【今後の取組の方向性】 企業版ふるさと納税は、複数のマッチング支援事業者との契約を進めるとともに、過去寄附いただいた企業にリーフレットを送付するなどし、交付金では財務課や事業担当課と申請に向けた協議を重ねて、財源確保に努める。

令和5年度施策内容 の進捗状況 (総合的な内部評価)	区分 A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	選択区分 B	【評価の理由】 年次目標に関しては、企業版ふるさと納税の大幅な増加及び交付金も採択されたため「むつ市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の関連事業を実施するための財源を確保することができ「A 良好」と評価できるが、KPIの『人口減少の抑制』に関しては、今後取組の効果が表れてくるものと考えため、施策としては「B 概ね良好」とする。
			【今後の取組の方向性】 人口減少対策に係る取組を推進するため、「むつ市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に関連する事業を実施できるよう、企業版ふるさと納税やデジタル田園都市国家構想交付金の更なる活用を図っていく。

7. 施策の進捗状況（外部評価）

令和5年度施策内容 の進捗状況 (総合的な外部評価)	区分 A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている - わからない	選択区分	評価割合		【主な意見】
			A	0.0%	
			B	85.0%	
			C	15.0%	
			D	0.0%	
			-	0.0%	

施策評価調書(令和5年度)

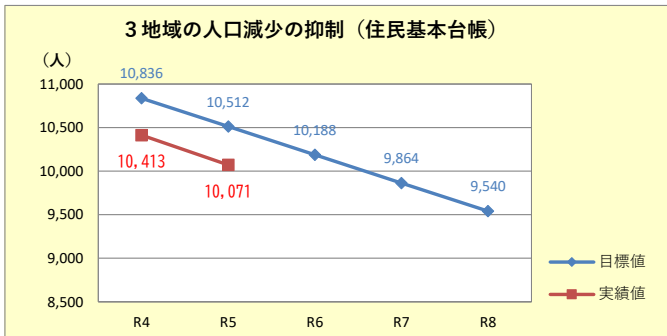
1. 施策体系と施策関係部局

基本方針	1. 活力あるむつ市の創生	関係部局
施策項目	(1) 地方創生	企画政策部
施策内容	② 川内・大畑・脇野沢地区の持続的発展	分庁舎

2. 基本計画における指標(KPI)

【上段:目標値 下段:実績値】

指標名	単位	基準値	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
3地域の人口減少の抑制(住民基本台帳)	(人)	11,160	10,836	10,512	10,188	9,864	9,540
		令和2年度	10,413	10,071			



3. 年次目標【令和5年度】

内容	実績(目標)	達成状況報告
地域おこし協力隊員数	4人(6人)	川内地区では、ホタテフェスティバル、星空教室、スノー×ライトフェス2024、Jazzの夕べ、畑マタギ展の開催などで地域の賑わいを創出すると共に、脇野沢地区ではタラ漁に参加するなど、担い手不足の地域での活躍もあった。 3月末で3名の隊員が任期満了となり活動を終えたが、うち1名が同地区に残り、(一社)むつ市脇野沢農業振興公社で蕎麦づくりに従事している。 令和6年4月からは新規隊員が1名追加となり、合計2名の隊員で活動を開始する。

《参考:令和4年度実績》

内容	年次目標	実績	評価区分	取組状況(評価結果)
地域おこし協力隊員数	4人	3人	B 概ね良好	隊員が3名に増えたことにより、幅広い事業を企画・開催し地域を巻き込んだ活動を実施することができたものの、隊員採用予定数に満たなかったため概ね良好とした。

4. 関連するSDGsのゴール(17)とターゲット(169)

	1.3		2.4		3.9		4.7		5.5
	6.3		7.1		8.9		9.4		10.2
	11.a		12.b		13.1		14.2		15.4
	16.7		17.17						

5. 令和5年度主要事業

【単位:千円】

事業名	事業内容		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
			決算額	予算額	予定額	予定額	予定額
	重要業績評価指標	基準値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
地域おこし協力隊設置事業	国の地域おこし協力隊制度を利用し、イルカやジオパークといった地域資源を活用した観光アクティビティの開発、社会教育事業、環境保全活動の実施をコーディネートする人材を確保することで、新たなビジネスの創出、地域づくり、活性化に取り組むもの。		14,914	23,383	32,983	32,983	32,983
	【地域おこし協力隊員数(人)】	1 R3年度	4	6	6	6	6

6. 施策の進捗状況(内部評価)

令和5年度施策内容の進捗状況(中間評価)	区分	選択区分	【評価の理由】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	B	<p>4人体制となり、幅広い事業を企画・開催できた。引き続き、地域を盛り上げるイベントの開催ができるよう企画を行っている。 また、隊員数が目標値6人に対し4名のため、引き続き隊員の確保に努める。</p> <p>【今後の取組の方向性】 隊員が増えたことで、引き続き地域資源を活用した観光アクティビティの開発やイベントを実施し地域活性化を目指す。</p>

令和5年度施策内容の進捗状況(総合的な内部評価)	区分	選択区分	【評価の理由】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	B	<p>6人体制を計画していたが、4名での活動となった。 それぞれ4名の隊員が個々の力を発揮し、さまざまなイベント等の開催を通して地域活性化に取り組むことができた。 さらに任期満了隊員のうち1名が脇野沢地区で活動を続けており、同地区の課題である人口減少、担い手不足等の課題解決に向け取り組んでいる。 KPIの『人口減少の抑制』に関しては、今後取組の効果が表れてくるものと考えため、施策としては「B 概ね良好」とする。</p> <p>【今後の取組の方向性】 引き続き地域資源を活用した観光アクティビティの開発やイベントを実施し地域活性化を目指す。さらに、外国人材を含めた隊員の確保に努めるとともに、任期満了となる隊員の地域定着を図っていく。</p>

7. 施策の進捗状況(外部評価)

令和5年度施策内容の進捗状況(総合的な外部評価)	区分	選択区分	評価割合		【主な意見】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている - わからない			A	
			B	80.0%	
			C	15.0%	
			D	0.0%	
			-	5.0%	

施策評価調書(令和5年度)

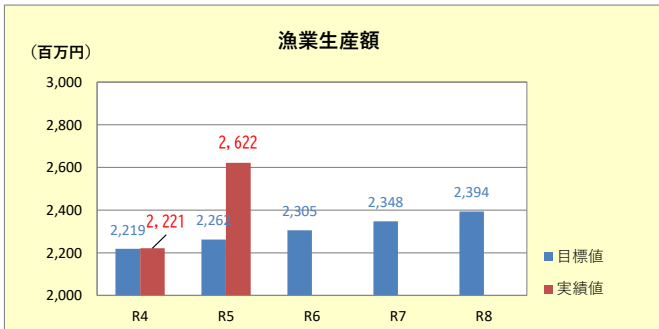
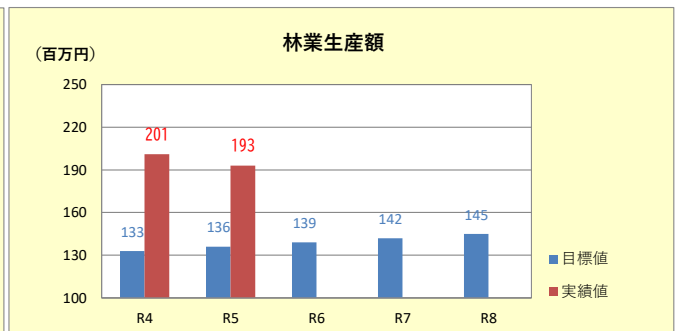
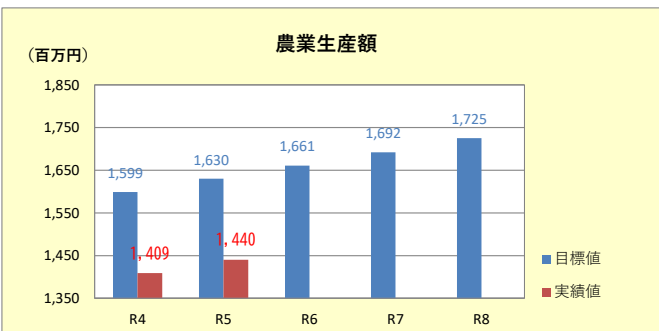
1. 施策体系と施策関係部局

基本方針	1. 活力あるむつ市の創生	関係部局
施策項目	(2)産業・雇用	経済部
施策内容	①農林水産業の振興	

2. 基本計画における指標(KPI)

【上段:目標値 下段:実績値】

指標名	単位	基準値	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
農業生産額	(百万円)	1,568	1,599	1,630	1,661	1,692	1,725
		令和2年度	1,409	1,440			
林業生産額	(百万円)	130	133	136	139	142	145
		令和2年度	201	193			
漁業生産額	(百万円)	2,176	2,219	2,262	2,305	2,348	2,394
		令和2年度	2,221	2,622			



3. 年次目標【令和5年度】

内容	実績(目標)	達成状況報告
50歳未満の新規就農者数	1人(2人)	むつ市産夏秋いちご収益力アップ事業では、1団体に対して補助金を交付し、市有牛貸付事業では、2件の畜産農家に対して市場導入牛を貸付し、予定通り事業を完了した。 50歳未満の新規就農者数は、目標に届かず1名であったが、現在、令和6年4月の就農開始に向け、20代男性1名が研修中である。
森林整備面積の拡大	27.25ha(22ha)	豊かな森づくり補助金において、再造林に係る申請は、4件あり、合計で目標値を5.75ha上回る面積の再造林が実施された。
ナマコの漁獲量増加	136t(178t)	川内地区では10月、むつ地区では3月に増殖場造成事業が完了し、脇野沢地区では11月に稚ナマコの放流事業が完了した。

《参考:令和4年度実績》

内容	年次目標	実績	評価区分	取組状況(評価結果)
農業生産額	1,599百万円	1,409百万円	B 概ね良好	各事業とも予定どおり遂行されており、概ね良好と判断した。
林業生産額	133百万円	201百万円		
漁業生産額	2,219百万円	2,221百万円		

4. 関連するSDGsのゴール(17)とターゲット(169)

	8.3		9.4		14.1		15.4		
---	-----	---	-----	---	------	--	------	--	--

5. 令和5年度主要事業

【単位:千円】

事業名	事業内容		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
	重要業績評価指標	基準値	決算額	予算額	予定額	予定額	予定額
			目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
むつ市産夏秋いちご収益力アップ事業 【デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ)活用事業】	夏秋いちごの等級は、上位から秀品、A品、B品、C品の4区分となっており、その内およそ半分がB品、C品である。B品は販売単価が低く、C品は廃棄されている。夏秋いちごでは必ず何割かはB品、C品が発生してしまう。 これらを冷凍いちご等の付加価値商品として販売していくことで、各等級ごとの販売単価が上がり、夏秋いちご農家の収益力アップに直結する。これを押し進め、収益力アップを目指し支援していく。 急速冷凍機・冷凍庫等の機械の導入、商品開発に係わる資材の購入等に対し、補助対象経費の2分の1以内等を補助率として補助金を交付することで支援する。		-	2,000	-	-	-
	【いちごの収入額(令和4年度補助事業者)(千円)】	6,830 R3年度	7,513	8,196	-	-	-
	【いちごの収入額(令和5年度補助事業者)(千円)】	29,100 R4年度	-	32,010	34,920	-	-
市有牛貸付事業	市有牛の貸付及び譲渡により、有畜農業の普及を図り、畜産の振興及び農業経営の安定を図る。		1,522	1,800	1,800	1,800	1,800
	【市場導入牛頭数(頭)】	2 R3年度	2	2	2	2	2
むつ市豊かな森づくり補助金	むつ市の約8割を占める豊かな森林をみらいにつなげるため、事業者による森づくりを推進し、水源涵養や地球温暖化の防止等の森林の持つ多面的機能の発揮や林業の振興を図ることを目的とする。 青森県造林補助事業により造林や間伐等の森林整備を行った事業者に対して、市補助金を上乗せ交付する。特に再造林とその後の下刈りは補助率を上げることで事業者の負担が大幅に軽減される。		8,085	13,659	15,000	16,000	16,000
	【森林整備面積(ha)】	377 平均値	385	395	405	415	424
	【造林面積(ha)】	18 平均値	20	22	23	25	27
ナマコ資源増殖推進事業	環境の変化に強く、安定して高価格が期待できるナマコは、近年の陸奥湾の漁業にあっては、ホタテガイと並ぶ最重要魚種に位置付けられている。 本事業は、ホタテガイを活用したナマコ増殖場造成や稚ナマコ購入・放流など、漁協が実施するナマコ資源の増殖を目的とする各種事業に係る経費の一部を補助することにより、漁業所得の向上や漁家経営の安定化を図る。		2,880	3,380	3,380	3,380	3,380
	【湾内漁協ナマコ漁獲量(t)】	162 R4年度	162	178	196	215	237
各種種苗放流支援事業	水産物の各種種苗放流に係る経費の一部を補助することにより、水産資源の維持増大及び漁業生産の安定を図る。		1,975	1,975	1,975	1,975	1,975
	【サクラマス漁獲数量(市全体)(t)】	41 R4年度	41	45	49	54	60
	【アワビ漁獲数量(大畑町漁協)(t)】	0.7 R4年度	0.7	0.7	0.8	0.9	1.0

6. 施策の進捗状況（内部評価）

令和5年度施策内容 の進捗状況 (中間評価)	区分	選択区分	【評価の理由】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	B	各事業とも予定どおり遂行されている。
			【今後の取組の方向性】
			引き続き、農林水産業を振興する各種事業を推進しながら、1次産業の生産者を支援し、生産額の向上や経営の安定化に努めていく。

令和5年度施策内容 の進捗状況 (総合的な内部評価)	区分	選択区分	【評価の理由】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	B	各事業とも予定どおり遂行されている。
			【今後の取組の方向性】
			引き続き、農林水産業を振興する各種事業を推進しながら、1次産業の生産者を支援し、生産額の向上や経営の安定化に努めていく。

7. 施策の進捗状況（外部評価）

令和5年度施策内容 の進捗状況 (総合的な外部評価)	区分	選択区分	評価割合		【主な意見】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている - わからない		A	0.0%	
			B	90.0%	
			C	10.0%	
			D	0.0%	
			-	0.0%	

施策評価調書(令和5年度)

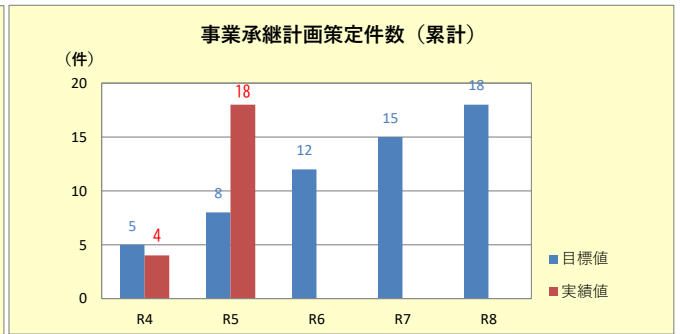
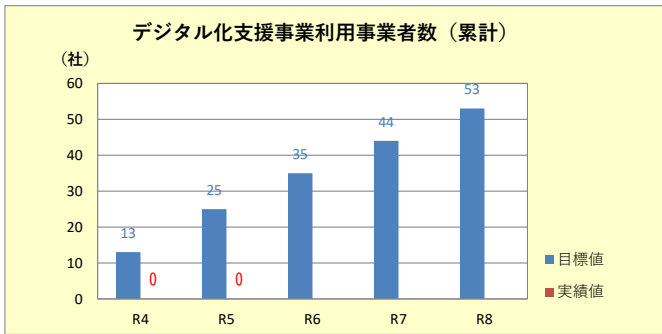
1. 施策体系と施策関係部局

基本方針	1. 活力あるむつ市の創生	関係部局
施策項目	(2)産業・雇用	経済部
施策内容	②商工業の振興	

2. 基本計画における指標(KPI)

【上段:目標値 下段:実績値】

指標名	単位	基準値	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
デジタル化支援事業利用事業者数(累計)	(社)	13 令和2年度	13	25	35	44	53
事業承継計画策定件数(累計)	(件)	6 令和2年度	5	8	12	15	18
			4	18			



3. 年次目標【令和5年度】

内容	実績(目標)	達成状況報告
デジタル地域通貨 事業者向けセミナー開催数	0回(2回)	市職員向け勉強会を開催し、26名が参加した。(8月) また、市内におけるキャッシュレス決済の普及状況やニーズを把握するため、市民向け及び事業者向けアンケートを実施した。(9月) 事業者向けセミナーは実施できていないが、9月に実施したアンケート結果を集計し、キャッシュレス決済対応状況や今後対応してほしい場所、市民や事業者の本事業への関心度等を把握することができた。

《参考:令和4年度実績》

内容	年次目標	実績	評価区分	取組状況(評価結果)
まちゼミ参加者数	500人	577人	A 良好	コロナ禍において会員の講座参加率が低迷しているが、新規会員6店舗の講座参加をフォローしながら、参加店舗数、講座数、参加者数ともに前を上回り、満足度の高い内容で実施できた。また、外部講師による講演を実施し、先進地域の取組の共有、助言等により事業改善に取り組んでいる。

4. 関連するSDGsのゴール(17)とターゲット(169)

	8.2		8.3		8.9		9.2		11.a
--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	------

5. 令和5年度主要事業

【単位：千円】

事業名	事業内容		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
	重要業績評価指標	基準値	決算額	予算額	予定額	予定額	予定額
むつ市商工会補助金	むつ市商工会補助金要綱に基づき、商工業者の振興と地域の活性化の推進、社会一般の福祉の増進に資するため、両商工会が行う各種事業に対し、予算の範囲内で補助を行う。		3,600	3,600	3,600	3,600	3,600
	【経営指導相談件数(件)】	1,692 R3年度	1,700	1,700	1,700	1,700	1,700
	【金融の斡旋または推薦件数(件)】	44 R3年度	50	50	50	50	50
むつ商工会議所補助金	むつ商工会議所補助金要綱に基づき、商工業者の振興と地域の活性化の推進、社会一般の福祉の増進に資するため、同所が行う各種事業に対し、予算の範囲内で補助を行う。補助内容は会報の作成や産業祭りのようなイベントに係る経費、空き店舗家賃補助、青年部・女性会への補助など。		7,718	8,218	8,218	8,218	8,218
	【相談指導件数(件)】	2,085 R3年度	2,100	2,100	2,100	2,100	2,100
	【金融の斡旋または推薦件数(件)】	65 R3年度	70	70	70	70	70
	【デジタル化支援事業利用者数(件)】	3 R3年度	10	10	10	10	10
中小企業経営安定化支援事業	市内中小企業の活性化と経営安定に資するため、運転資金及び設備資金に係る特別保証融資制度を設け、県内4金融機関に対して原資預託するとともに、融資を受けた事業者に対して信用保証料補給を行う。		226,473	229,000	229,000	229,000	229,000
	【制度融資利用件数(件)】	111 R3年度	130	130	130	130	130
デジタル地域通貨事業	全国的に拡大しているキャッシュレス決済の普及を促進するとともに、地域内経済の循環を高めて市内中小企業者の生産性向上及び業務効率化を図るため、デジタル地域通貨を導入し、持続可能かつ効果的な運用を推進する。		-	3,188	30,000	20,000	20,000
	【デジタル地域通貨事業者向けセミナー開催(回)】	-	-	2	-	-	-

6. 施策の進捗状況(内部評価)

	区分	選択区分	【評価の理由】
令和5年度施策内容の進捗状況(中間評価)	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	B	デジタル地域通貨の普及促進のために必要不可欠となる各施策との連携を見据えて、市職員のデジタル地域通貨に対する理解を深めることができた。 なお、事業者向けセミナーは、2~3月に開催する見込みである。
			【今後の取組の方向性】 引き続き、セミナー等により市全体の機運醸成を図るとともに、持続可能性の高い仕組み及び運営体制の構築に向けて調査・研究を推進し、関係機関との調整を図る。

	区分	選択区分	【評価の理由】
令和5年度施策内容の進捗状況(総合的な内部評価)	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	B	導入調査業務委託については、事業者から契約解除の申出があり期間途中で契約解除することになったが、アンケート調査の結果により、市内におけるキャッシュレス決済対応状況や事業への関心度を把握することができた。
			【今後の取組の方向性】 引き続き地域経済活性化のため、商工会議所及び商工会へ運営補助を行い、中小企業に対しても特別融資制度の周知を行う。地域通貨事業については他地域の導入状況、経済効果などの情報収集をし、事業の方向性について検討をする。

7. 施策の進捗状況(外部評価)

	区分	選択区分	評価割合		【主な意見】
令和5年度施策内容 の進捗状況 (総合的な外部評価)	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている - わからない	/	A	0.0%	/
			B	90.0%	
			C	10.0%	
			D	0.0%	
			-	0.0%	

施策評価調書(令和5年度)

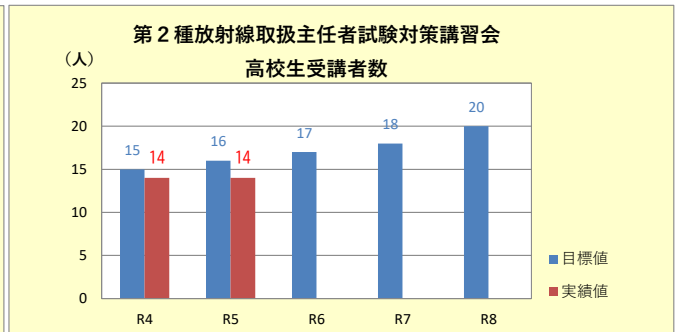
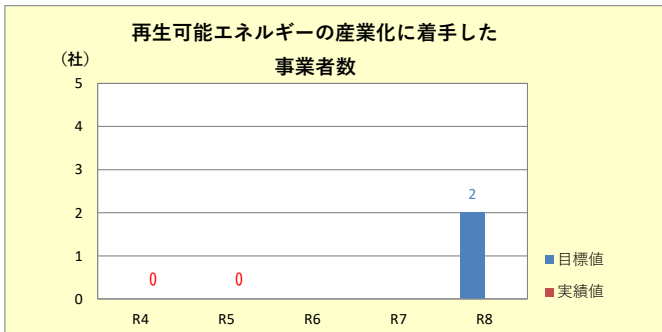
1. 施策体系と施策関係部局

基本方針	1. 活力あるむつ市の創生	関係部局
施策項目	(2)産業・雇用	企画政策部
施策内容	③エネルギー関連産業の育成	経済部

2. 基本計画における指標(KPI)

[上段:目標値 下段:実績値]

指標名	単位	基準値	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
再生可能エネルギーの産業化に着手した事業者数	(社)	-					2
第2種放射線取扱主任者試験対策講習会 高校生受講者数	(人)	14	15	16	17	18	20
		令和3年度	14	14			



3. 年次目標【令和5年度】

内容	実績(目標)	達成状況報告
エネルギー関連施設見学会等におけるアンケートで「理解できた」又は「意義があった」との回答	91.9%(80%)	一般市民や市内高校生を対象とした各種エネルギー関連施設の見学会のほか、市内高校生を対象としたエネルギー出前授業を実施した。 【主な見学施設】東海第二発電所、柏崎刈羽原子力発電所、六ヶ所原子燃料サイクル施設、大間原子力発電所建設現場 ほか 【参加者数】一般市民21名、高校生114名
第2種放射線取扱主任者試験対策講習会高校生受講者数	14人(16人)	第14回第2種放射線取扱主任者試験受験対策講習会を実施した(R5.1月~7月)。 ⇒受講者数19人(一般5人、高校生14人) 受講者・合格者の減少傾向が続いている状況であったため、高校や企業の意見を踏まえ、現行の講習会に替わり、エックス線作業主任者資格取得講習会を実施した。(R6.1月~3月)。 ⇒受講者数12人(一般8人、高校生4人)

《参考:令和4年度実績》

内容	年次目標	実績	評価区分	取組状況(評価結果)
エネルギー関連施設見学会等におけるアンケートで「理解できた」又は「意義があった」との回答	8割以上	92.7%	B 概ね良好	見学会参加者を実施したアンケートにおいて「見学会は意義のあるものだった」という回答が90%以上あり、年次目標を達成できた。 第14回第2種放射線取扱主任者試験受験対策講習会を1月から開催しており、高校生申込数はわずかに目標数に達しなかったものの前回と同数を獲得した。
第2種放射線取扱主任者試験対策講習会高校生受講者数	15人	14人		

4. 関連するSDGsのゴール(17)とターゲット(169)

	7.1		7.2		8.2		9.4		12.2
--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	------

5. 令和5年度主要事業

【単位:千円】

事業名	事業内容		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
	重要業績評価指標	基準値	決算額	予算額	予定額	予定額	予定額
			目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
広報・調査等交付金事業	当市に立地する「使用済燃料中間貯蔵施設」及び周辺に建設されている原子力発電施設について、広報・調査等交付金を活用した施設見学会や職員研修などの広報活動等を実施することで、市民の原子力やエネルギー政策に関する知識の普及を図る。		8,187	14,307	14,307	14,307	14,307
	【市民の見学会参加者数(人)】	101 R3年度	150	180	180	180	180
	【研修等参加職員数(人)】	0 R3年度	20	20	20	20	20
	【エネルギー関連施設見学会等におけるアンケートで「理解できた」又は「意義があった」との回答(%)】	100 R3年度	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0
太陽の恵み基金事業	公共施設に太陽光発電システムを導入することで得られる電気料金の節減分を原資として造成した「太陽の恵み基金」を活用し、市民の再生可能エネルギー導入支援等を行う。 また、基金の一部を植栽活動等の自然環境保全事業にも充当している。		651	651	165	-	-
	【住宅用太陽光発電システム導入支援事業費補助金交付実績(%)】	85.7 R3年度	100	100	-	-	-
燧岳周辺地域地熱開発事業	「むつ市燧岳周辺地熱開発研究会」の継続開催や周辺住民等を対象とした意見交換会、先進地見学会等の理解促進活動をはじめ、開発事業者との連携による地熱資源開発の推進に取り組む。		2,028	4,125	4,125	4,125	4,125
	【地熱発電所等参加者理解度(%)】	- -	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0
	【燧岳地熱座談会等参加者数(人)】	50 R3年度	90	90	90	90	90
地域企業連携強化事業	地域人材育成の一環として、エネルギー関連講習会のテキスト代を補助することで、受験生の拡大を図る。		2,893	2,892	2,892	2,892	2,892
	【高校生受講者数(人)】	14 R3年度	15	16	17	18	20
	【国家資格(第2種放射線取扱主任者)試験合格率(%)】	0 R3年度	21	全国平均値	全国平均値	全国平均値	全国平均値

6. 施策の進捗状況（内部評価）

令和5年度施策内容 の進捗状況 (中間評価)	区分	選択区分	【評価の理由】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	B	【評価の理由】 見学会参加者に実施したアンケートにおける「見学会は意義のあるものだった」または「知りたかったことが理解できた」という回答が90%以上あり、年次目標達成に向けて順調に進んでいる。 第14回第2種放射線取扱主任者試験受験対策講習会を滞りなく完了することができた。
		【今後の取組の方向性】 引き続き、年次目標達成に向けて、エネルギー政策に関する理解促進事業を進めていく。 第2種放射線取扱主任者試験受験対策講習会について、平成22年度から毎年実施してきたが、受講者・合格者の減少傾向が続いている状況であった。当該講習会については、高校や企業の意見を踏まえ、所期の目的を達成したと判断できることから、これに替わる新たな資格取得の取組を検討・決定し、実施する。	

令和5年度施策内容 の進捗状況 (総合的な内部評価)	区分	選択区分	【評価の理由】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	B	【評価の理由】 見学会参加者に実施したアンケートにおける「見学会は意義のあるものだった」または「知りたかったことが理解できた」という回答が90%以上あり数値目標を達成することが出来た。 受講者数は計画値を達成できなかったものの、エネルギー関連施設への理解促進や人材育成が図られたものと捉えている。
		【今後の取組の方向性】 引き続き、年次目標達成に向けて、エネルギー政策に関する理解促進事業を進めていく。 講習会は、所期の目標が達成されたとらえ終了し、今後は、地元企業の受注機会の増加と新たな産業興しを目指し、エネルギー関連産業の企業誘致や受注確保を見据えた会員の技術習得へ事業の切替を行っていくことで、エネルギー産業の育成に努めていく。	

7. 施策の進捗状況（外部評価）

令和5年度施策内容 の進捗状況 (総合的な外部評価)	区分	選択区分	評価割合		【主な意見】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている - わからない			A	
			B	85.0%	
			C	15.0%	
			D	0.0%	
			-	0.0%	

施策評価調書(令和5年度)

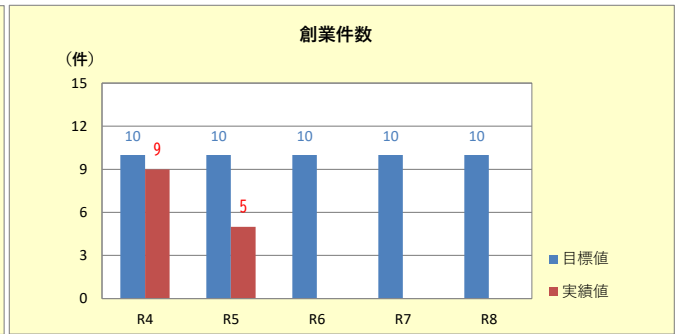
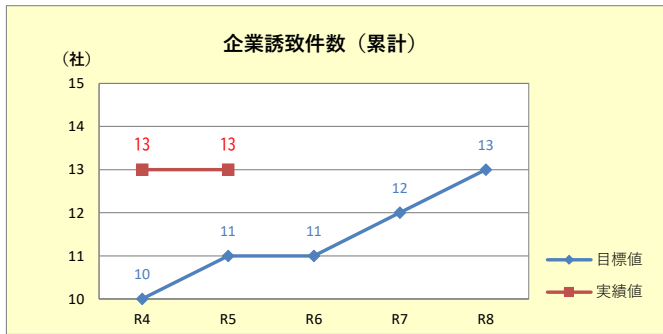
1. 施策体系と施策関係部局

基本方針	1. 活力あるむつ市の創生	関係部局
施策項目	(2)産業・雇用	経済部
施策内容	④新たな産業の創出	

2. 基本計画における指標(KPI)

[上段:目標値 下段:実績値]

指標名	単位	基準値	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
企業誘致件数(累計)	(社)	10	10	11	11	12	13
		令和2年度	13	13			
創業件数	(件)	8	10	10	10	10	10
		令和2年度	9	5			



3. 年次目標【令和5年度】

内容	実績(目標)	達成状況報告
企業誘致相談件数	7件(5件)	誘致企業の支援:株式会社寅福本社農場見学会 9月18日、19日実施(56名参加) 当市の企業誘致に係る支援制度や立地を検討する上での土地の購入などの問い合わせがあったが、具体的な誘致には結びつかなかった。(相談件数 7件)
創業支援対象者件数	112件(86件)	4~3月の創業支援対象者件数 112件 創業件数 5件 【創業相談ルーム】毎月第1・第3木曜日 【創業支援セミナー】9月9日、3月16日 【創業塾】10月~11月(計5回)

《参考:令和4年度実績》

内容	年次目標	実績	評価区分	取組状況(評価結果)
企業誘致相談件数	5件	4件	B 概ね良好	コールセンターやIT関連企業からの相談・問合せは減少傾向にあるが、これまでの取組から3件の誘致企業立地が実現し、約170名の雇用が創出された。 創業支援対象件数及び創業件数は計画値(対象件数86件、創業件数10件)と概ね同規模であり、次年度以降も引き続き計画達成を目標とする。
創業支援対象件数	86件	82件		

4. 関連するSDGsのゴール(17)とターゲット(169)

	5.5		8.2		8.3		8.8		8.9
	9.4		10.2		11.a		17.17		

5. 令和5年度主要事業

【単位：千円】

事業名	事業内容		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
	重要業績評価指標	基準値	決算額	予算額	予定額	予定額	予定額
企業誘致推進事業	産業の振興と雇用の創出を図るため、(財)電源地域振興センター「企業誘致支援サービス事業」等を活用した企業動向調査の他、「あおり産業立地フェア」及び「企業誘致セミナー」に参加し立地を検討する企業に対し市のPR活動を行うほか、誘致企業への支援としてむつ市企業誘致促進条例に基づき、申請があった企業に対して助成金を交付し、新たな立地企業の誘致に取り組む。		9,393	853	11,105	2,453	853
	【新規誘致企業数(件)】	1 R3年度	2	1	1	1	1
創業支援事業	新たなビジネス創出を支援し雇用機会の創出に繋げるため下北地域広域創業支援等事業計画に基づき創業支援を実施する。		800	1,153	1,153	1,153	1,153
	【創業相談件数(件)】	91 R3年度	86	86	86	86	86
	【創業実績(件)】	10 R3年度	10	10	10	10	10

6. 施策の進捗状況(内部評価)

	区分	選択区分	【評価の理由】
令和5年度施策内容の進捗状況(中間評価)	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	C	企業からの問合せは定期的にあるが、当市の助成対象外の業種や企業誘致に該当しないものが多くを占めた。 創業支援対象者件数は前年度同時期(21件)より多く、年次目標を達成する見込みである。創業件数は、前年度同時期(3件)と同規模である。
			【今後の取組の方向性】 2月には青森県主催の「あおり産業立地フェア」が東京と大阪の2会場で開催され、関係資料を会場で展示・配布し、大阪会場ではアピールのためのプレゼンテーションが行われる。市の誘致企業への支援制度等を関東、関西企業へアピールできることから、これを機に相談・問合せ件数の増加及び誘致企業の立地件数の増加につなげたい。 引き続き関係機関と連携し、創業希望者のニーズに沿った支援を実施する。

	区分	選択区分	【評価の理由】
令和5年度施策内容の進捗状況(総合的な内部評価)	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	B	企業からの問合せは定期的にあるが、当市の助成対象外の業種や企業誘致に該当しないものが多くを占めたが、相談件数は目標を上回ることができた。 創業支援対象者件数が計画値を大幅に上回る結果となった。創業者数は計画値には届かなかったが、創業支援セミナーで実施したアンケートでは「事前の知識が無かったにも関わらず、理解しやすい内容で要点を押さえることができた」といった意見があり、好評であった。
			【今後の取組の方向性】 海上自衛隊及び電力関係施設のメンテナンス等を行っている企業への訪問や当地域への立地の相談を受けた企業へ地元の民間企業と協力しながら継続的に誘致活動を展開していく。 支援制度の周知に努め、関係機関と連携し、創業希望者のニーズに沿った支援を実施する。

7. 施策の進捗状況（外部評価）

	区分	選択区分	評価割合		【主な意見】
令和5年度施策内容 の進捗状況 (総合的な外部評価)	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている - わからない	/	A	0.0%	「創業支援対象者」という言葉が何を指しているのかがよくわかりませんでした。実際に創業支援を行った方なのか、それとも支援前の方なのか、どちらを指しているものなのでしょうか。
			B	40.0%	
			C	60.0%	
			D	0.0%	
			-	0.0%	

施策評価調書(令和5年度)

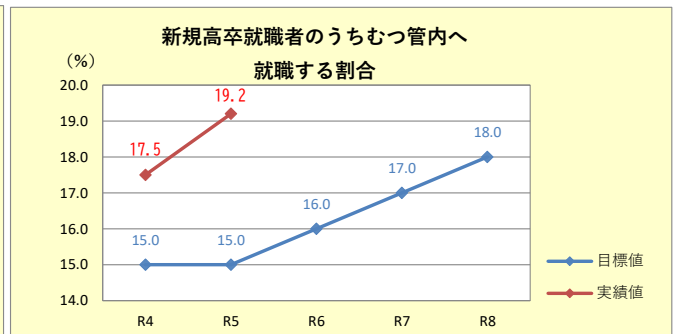
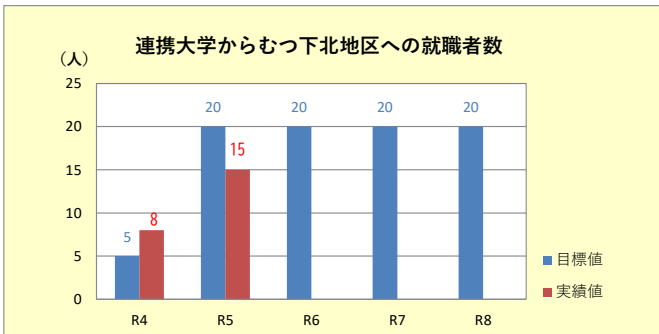
1. 施策体系と施策関係部局

基本方針	1. 活力あるむつ市の創生	関係部局
施策項目	(2)産業・雇用	企画政策部
施策内容	⑤若者の地元就職の促進	経済部

2. 基本計画における指標(KPI)

【上段:目標値 下段:実績値】

指標名	単位	基準値	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
連携大学からむつ下北地区への就職者数	(人)	16	5	20	20	20	20
		令和2年度	8	15			
新規高卒就職者のうちむつ管内へ就職する割合	(%)	15.0	15.0	15.0	16.0	17.0	18.0
		令和2年度	17.5	19.2			



3. 年次目標【令和5年度】

内容	実績(目標)	達成状況報告
インターンシップ受入者数	12人(20人)	市内6企業が共育型インターンシップを実施し、県内大学生10名を受け入れた。また、従来型インターンシップとしてむつ総合病院が県内大学生2名を受け入れている。
大学への企業紹介件数	6件(10件)	県内大学生32名(弘前大学、青森大学、青森公立大学)の参加があり、市内6企業の紹介を行った。
企業見学会参加者数	62人(80人)	市内高校生62人(むつ工業高等学校、大湊高等学校、大間高等学校、田名部高等学校定時制)の参加があり、市内8企業の紹介を行った。また、ガイドブックを作成し、県内高等学校、大学、関係団体等に計1,198部を配布した。

《参考:令和4年度実績》

内容	年次目標	実績	評価区分	取組状況(評価結果)
インターンシップ受入者数	20人	17人	B 概ね良好	将来市内企業への就職に繋がる事業として効果的であり、学生と企業双方の成長のみならず、地域の成長にも繋がる事業であると評価できる。 優良企業見学会の参加者が99名であり、非常に好評であった。ガイドブックについても、幅広く配布し、市内企業の情報やむつ市で働く魅力を多くの若者に紹介することができた。次年度以降も継続して開催することが望まれている。
大学への企業紹介件数	8件	10件		
職場見学会参加者数	60名	99名		

4. 関連するSDGsのゴール(17)とターゲット(169)

	8.6		8.9		9.4		17.17		
--	-----	--	-----	--	-----	--	-------	--	--

5. 令和5年度主要事業

【単位:千円】

事業名	事業内容		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
	重要業績評価指標	基準値	決算額	予算額	予定額	予定額	予定額
青森創生人財育成・定着推進事業	県内大学・自治体・企業等がオール青森体制で産学官民協働の広域ネットワークを形成し、卒業生の地元就職率の向上及び雇用創出に取り組むことで青森地域の課題である人口減少の解決に取り組む。		724	350	1,049	1,049	1,049
	【インターンシップ受入者数(人)】	16 R元年度	20	20	20	20	20
	【大学への企業紹介件数(件)】	7 R元年度	8	10	12	14	16
新規高卒者市内定着支援事業	新規高卒者のむつ管内就職者数の減少と就職や進学を契機とした若者の流出が大きな課題となっていることから、高校生やUターン希望者等の若者向けに、地元企業の魅力や職業の紹介を目的とした企業見学会を実施するほか、むつ市で働きながら暮らす魅力を伝えるためのガイドブックを作成・配付することで、地元就職の意欲を高め、新規高卒者等の地元定着及び地元企業における人材不足解消を図る。		2,260	2,432	2,432	2,432	2,432
	【企業見学会参加者数(人)】	76 R3年度	80	80	80	80	80

6. 施策の進捗状況(内部評価)

	区分	選択区分	【評価の理由】
令和5年度施策内容の進捗状況(中間評価)	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	B	<p>将来市内企業への就職に繋がる事業として効果的であり、学生と企業双方の成長のみならず、地域の成長にも繋がる事業であると評価できる。</p> <p>高校・企業など関係者間の調整を行い、10、11月に企業等見学会を実施できる見込みである。</p>
			<p>【今後の取組の方向性】</p> <p>市内企業への就職に繋がる効果的な事業であるため、今後も継続的に実施していく。</p> <p>地域の人材の確保のため、企業等見学会を実施し、できる限り多くの学校・生徒に参加してもらえよう、関係者間の調整を図っていく。</p>

	区分	選択区分	【評価の理由】
令和5年度施策内容の進捗状況(総合的な内部評価)	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	B	<p>将来市内企業への就職に繋がる事業として効果的であり、学生と企業双方の成長のみならず、地域の成長にも繋がる事業であると評価できる。</p> <p>企業見学会にて実施したアンケートでは「自分の職の選択肢を広げることができ、企業の方々とお話のできることで将来の夢に1歩近づける体験となった」などの意見があり、非常に好評であった。ガイドブックについても、幅広く配布し、市内企業の情報やむつ市で働く魅力を多くの若者に紹介することができた。</p>
			<p>【今後の取組の方向性】</p> <p>市内企業への就職に繋がる効果的な事業であるため、今後も継続的に実施していく。</p> <p>地域の人材の確保のため、引き続き企業等見学会を実施し、できる限り多くの学校・生徒に参加してもらえよう、関係者間の調整を図っていく。また、人材の確保・定着に向け、より企業やむつ市で働く魅力を伝える広報手段を検討していく。</p>

7. 施策の進捗状況（外部評価）

	区分	選択区分	評価割合		【主な意見】
				A	
令和5年度施策内容 の進捗状況 (総合的な外部評価)	A 順調に推移	/	B	65.0%	共育型インターンシップを実施し、10名の学生を受け入れたとありますが、この10名のうち、むつ市内の企業に就職した学生はどれくらいいたのでしょうか。令和5年度の総合的内部評価に「将来市内企業への就職につながる事業として効果的」とありましたので、どの程度の効果があるのか、実績を示してほしいと思いました。
	B 一定の進捗がある		C	35.0%	
	C 進捗は遅れている		D	0.0%	
	D 進捗は大幅に遅れている		-	0.0%	
	- わからない				

施策評価調書(令和5年度)

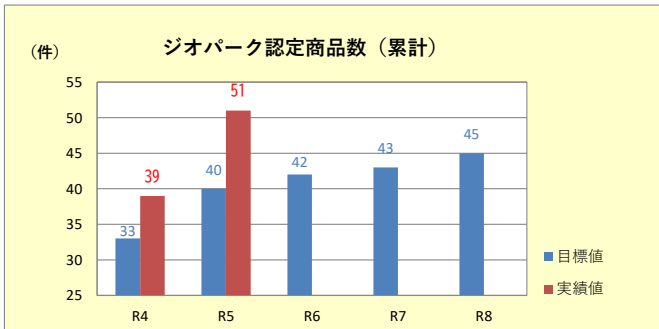
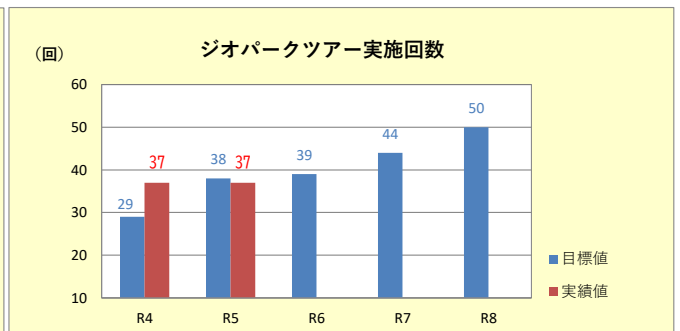
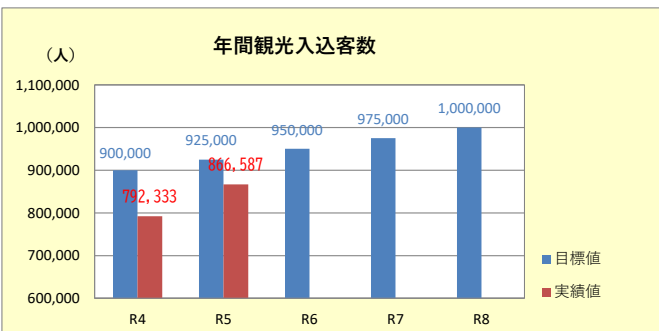
1. 施策体系と施策関係部局

基本方針	1. 活力あるむつ市の創生	関係部局
施策項目	(3)ジオパーク	企画政策部
施策内容	①ジオツーリズムによる交流人口の拡大	

2. 基本計画における指標(KPI)

[上段:目標値 下段:実績値]

指標名	単位	基準値	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
年間観光入込客数	(人)	825,055	900,000	925,000	950,000	975,000	1,000,000
		令和元年	792,333	866,587			
ジオパークツアー実施回数	(回)	24	29	38	39	44	50
		令和3年度	37	37			
ジオパーク認定商品数(累計)	(件)	31	33	40	42	43	45
		令和3年度	39	51			



3. 年次目標【令和5年度】

内容	実績(目標)	達成状況報告
年間観光入込客数	86.6万人(92.5万人)	日本ジオパーク全国大会の開催も控え、報道機関を活用したPRやSNSを通じた発信により、全国からの関心が高まっている。全国大会で実施するツアーも新たに10本制作することができた。
ツアー実施回数	37回(38回)	学校の現地学習でのガイド派遣は、29件で1,353名が参加。観光ツアー、個人旅行でのガイド派遣は、8件で155人が参加。件数は計画値を下回ったが、参加人数は増加傾向にある。
ジオパーク認定商品数(累計)	51件(40件)	新規認定は過去最高の13件、未更新1件。日本ジオパーク全国大会の開催も控えており、ジオパークを活用した地域振興の取組が活発に展開されている。

《参考:令和4年度実績》

内容	年次目標	実績	評価区分	取組状況(評価結果)
年間観光入込客数	90万人	79.2万人	B 概ね良好	下北郷土芸能公演や認定商品の新規認定など、地域の活性化を図ることができた。下北管内のイベントにも積極的に参加し、地域内の交流促進に努めることができた。また、NHKブラタモリの収録では、十分なプロモーションを行うことができ、今後の来訪者増加が期待できる。
ツアー実施回数	29回/下北地域	37回		
ジオパーク認定商品数(累計)	33件	39件		

4. 関連するSDGsのゴール(17)とターゲット(169)

	8.9		11.4		17.17			
---	-----	---	------	---	-------	--	--	--

5. 令和5年度主要事業

【単位:千円】

事業名	事業内容		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
			決算額	予算額	予定額	予定額	予定額
	重要業績評価指標	基準値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
下北ジオパーク推進事業①	下北ジオパーク認定ガイドが案内する常設のジオパークガイドツアーに加え、団体向けジオツアーが定期的に開催されるとともに、外国人のみで訪れても困らずにジオパークを楽しめる環境を整えることを目標に、ガイドの事務局でもある“しもきたTABIあしずと”と連携したジオツアーの企画作成や、ジオパーク認定商品の周知強化・販売促進を行い、下北ジオパークのブランド力向上を図る。 令和6年に予定されている日本ジオパーク全国大会下北大会の開催により、下北の魅力を伝えられるよう取組を強化していく。		20,684	20,572	30,172	20,572	20,572
	【年間観光入込客数(人)】	825,055 R元年度	900,000	925,000	950,000	975,000	1,000,000
	【ジオパークツアー実施回数(回)】	24 R3年度	29	38	42	46	50
	【ジオパーク認定商品数(累計)(件)】	31 R3年度	33	40	42	43	45

6. 施策の進捗状況(内部評価)

区分	選択区分	【評価の理由】
		令和5年度施策内容の進捗状況(中間評価)

区分	選択区分	【評価の理由】
		令和5年度施策内容の進捗状況(総合的な内部評価)

7. 施策の進捗状況（外部評価）

	区分	選択区分	評価割合		【主な意見】
令和5年度施策内容 の進捗状況 (総合的な外部評価)	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている - わからない	/	A	0.0%	/
			B	90.0%	
			C	10.0%	
			D	0.0%	
			-	0.0%	

施策評価調書(令和5年度)

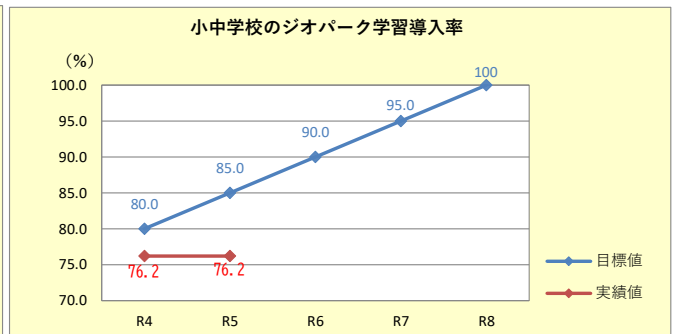
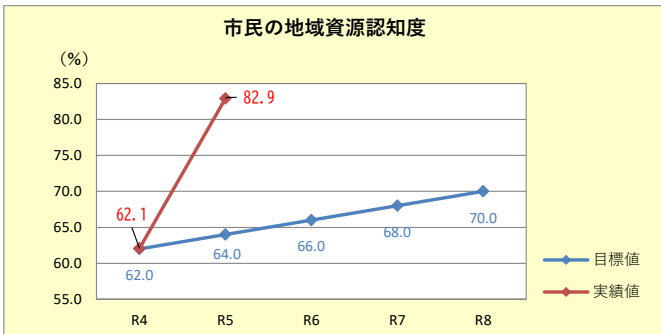
1. 施策体系と施策関係部局

基本方針	1. 活力あるむつ市の創生	関係部局
施策項目	(3)ジオパーク	企画政策部
施策内容	②資源価値の保全と教育	

2. 基本計画における指標(KPI)

【上段:目標値 下段:実績値】

指標名	単位	基準値	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
市民の地域資源認知度	(%)	59.5	62.0	64.0	66.0	68.0	70.0
		令和2年度	62.1	82.9			
小中学校のジオパーク学習導入率	(%)	77.0	80.0	85.0	90.0	95.0	100
		令和2年度	76.2	76.2			



3. 年次目標【令和5年度】

内容	実績(目標)	達成状況報告
学校教育と連携したジオパーク教育の推進	22校(18校)	教育促進事業費補助金活用校5校を含む18校が学習・活動発表会に参加。その他、ジオパークガイドを利用した現地学習など合計22校がジオパーク教育に取り組み、地域資源の価値を児童・生徒に伝え、郷土愛の醸成を図ることができた。
出前講座・座談会の実施	36回(27回)	計画以上の実績となった。詳細は、出前講座19件で参加者767人、その他講演17件で参加者337人。下北管内教育機関をはじめ地域団体向けの講座も実施し、下北ジオパークの魅力を伝え、地域資源認知度の向上を図ることができた。
気軽に参加できる保全活動の実施	53人 (参加者35人(累計))	計3回の勉強会を実施し、53人が参加。モニタリング確認書は87件の提出があり、地域全体で地域資源の保全に取り組むことができた。

《参考:令和4年度実績》

内容	年次目標	実績	評価区分	取組状況(評価結果)
学校教育と連携したジオパーク教育の推進	17校	19校	B 概ね良好	出前講座は多くの方々に利用いただき、目標値を上回る見込。モニタリング勉強会では豪雨被害を受けた地域を訪れ、災害のメカニズムについても理解を深めることができた。NHKプラタモリの収録では、下北半島の成り立ちにも触れることができ、下北ジオパークの理解力向上を図ることができた。
出前講座・座談会の実施	25回	32回		
気軽に参加できる保全活動の実施	参加者30人(累計)	42人		

4. 関連するSDGsのゴール(17)とターゲット(169)

	1.5		4.1		5.1		11.4		12.b
	13.1		14.1		15.1		17.17		

5. 令和5年度主要事業

【単位：千円】

事業名	事業内容		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
	重要業績評価指標	基準値	決算額	予算額	予定額	予定額	予定額
			目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
下北ジオパーク推進事業②	下北固有の地質遺産や地域資源の価値を、地域に住む私たちが最大限に享受し、地域の素晴らしさを知り、郷土愛が育まれる地域となることを目標に、学校及び社会教育の場において、ジオパークの知識を誰もが気軽に入手でき、ジオパーク活動に参加できる体制づくりを支援する。		1,044	1,250	1,250	1,250	1,250
	【市民の地域資源認知(%)】	59.5	61.0	63.0	65.0	67.0	70.0
	【小中学校のジオパーク学習導入率(%)】	77.0	81.0	85.0	90.0	95.0	100.0

6. 施策の進捗状況(内部評価)

令和5年度施策内容の進捗状況 (中間評価)	区分	選択区分	【評価の理由】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	A	【評価の理由】 教育機関に限らず、広い分野に向けて出前講座を実施している。地域住民が主体となり、下北ジオパークの活動に賛同・参加する人数は年々増加傾向にあり、良好な状況である。 【今後の取組の方向性】 令和5年度の取組は計画値以上の実績が見込まれているが、令和6年度には日本ジオパーク全国大会の開催に加えて、再認定審査が控えていることから、引き続きジオパーク学習の推進、モニタリングによる地域環境の点検等を地域住民と共に取り組み、下北ジオパークの価値を認識し高めていくこととする。

令和5年度施策内容の進捗状況 (総合的な内部評価)	区分	選択区分	【評価の理由】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	A	【評価の理由】 教育機関に限らず、広い分野に向けて出前講座を実施している。地域住民が主体となり、下北ジオパークの活動に賛同・参加する人数は年々増加傾向にあり、良好な状況である。 【今後の取組の方向性】 令和6年度には日本ジオパーク全国大会の開催に加えて、再認定審査が控えていることから、引き続きジオパーク学習の推進、モニタリングによる地域環境の点検等を地域住民と共に取り組み、下北ジオパークの価値を認識し高めていくこととする。

7. 施策の進捗状況(外部評価)

令和5年度施策内容の進捗状況 (総合的な外部評価)	区分	選択区分	評価割合		【主な意見】
A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている - わからない			A	50.0%	ジオパークについて市民にはさまざまな学習機会を設けていると思うが、かさまい館のビジターセンターについては物足りなさがあり、全国大会に向けて展示内容の確認、充実が求められるのではないかと。
			B	50.0%	
			C	0.0%	
			D	0.0%	
			-	0.0%	

施策評価調書(令和5年度)

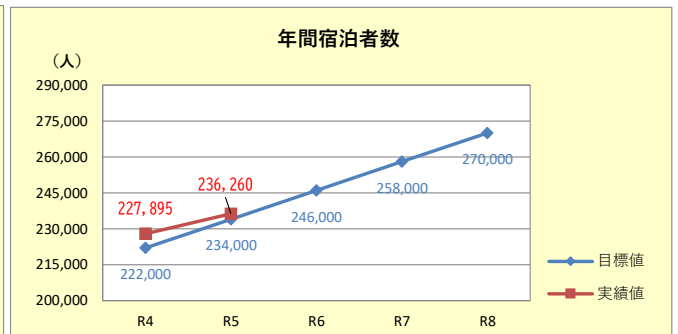
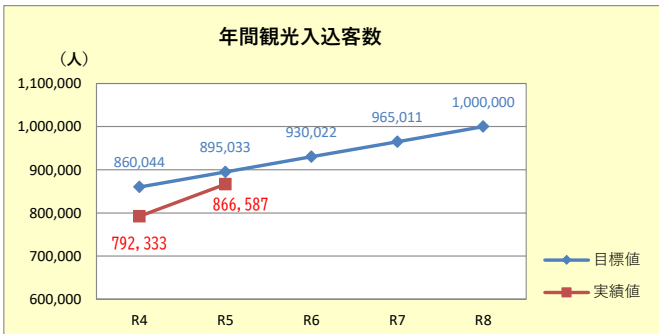
1. 施策体系と施策関係部局

基本方針	1. 活力あるむつ市の創生	関係部局
施策項目	(4)観光・物産	経済部
施策内容	①広域連携による観光プロモーション	

2. 基本計画における指標(KPI)

【上段:目標値 下段:実績値】

指標名	単位	基準値	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
年間観光入込客数	(人)	825,055	860,044	895,033	930,022	965,011	1,000,000
		令和元年	792,333	866,587			
年間宿泊者数	(人)	210,776	222,000	234,000	246,000	258,000	270,000
		令和元年	227,895	236,260			



3. 年次目標【令和5年度】

内容	実績(目標)	達成状況報告
各種広報媒体を活用した効果的な地域の魅力発信	12回(12回)	webサイトや各種SNS等で下北半島内の各地域の観光・食・イベントなどの情報をきめ細やかに発信することにより、下北半島の魅力を伝え、認知度向上に貢献することができた。 また、定期的にDMOが販売する旅行商品等を紹介し、稼げる観光地域づくりの取組を推進することができた。
観光ガイドの育成	13回(12回)	日本ジオパーク全国大会に向けて、会員ガイドによる内部研修や外部講師を招いての研修を実施し、ジオパークに関する知識の取得やガイドスキルの向上を図った。 また、ガイド志望者を対象に行う講習会の補助等も行った結果、新たに7名がガイドとし認定され、ガイドの確保につなげることができた。

《参考:令和4年度実績》

内容	年次目標	実績	評価区分	取組状況(評価結果)
各種広報媒体を活用した効果的な地域の魅力発信	12回	12回	B 概ね良好	イベントの開催及び参加、SNS等を活用したDMOによるプレゼントキャンペーンや夜景予報士によるTwitter配信など、効果的に地域の魅力を発信することができた。下北ジオパークガイドについても、各種研修や勉強会に参加することで質の向上が図られており、概ね良好と考える。
観光ガイドの育成	12回	13回		

4. 関連するSDGsのゴール(17)とターゲット(169)

	8.9		9.b		11.4				
--	-----	--	-----	--	------	--	--	--	--

5. 令和5年度主要事業

【単位:千円】

事業名	事業内容		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
	重要業績評価指標	基準値	決算額	予算額	予定額	予定額	予定額
			目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
下北ジオパークによる観光地域づくり(しもきたDMO)推進事業	下北半島6自治体における観光振興の舵取り役を担う一般社団法人しもきたTABIあしすへの会費及び負担金を拠出する。		13,826	13,824	13,824	13,824	13,824
	【観光客入込数(人)】	825,055 R元年度	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000

6. 施策の進捗状況(内部評価)

令和5年度施策内容の進捗状況(中間評価)	区分	選択区分	【評価の理由】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	B	<p>【評価の理由】</p> <p>SNSを活用し下北地域の食やアクティビティ、イベントを効果的に情報発信しており、地域の魅力向上に務められている。ジオパークガイドについては、ガイドが自主的に企画・運営に携わるなど質の向上が図られており、概ね良好である。</p> <p>【今後の取組の方向性】</p> <p>今後もSNS等を活用した積極的かつ効率的な情報発信、ガイドの質の向上に努め、認知度及び顧客満足度向上を目指した企画を検討・実施しながら、誘客促進事業を進める。</p>

令和5年度施策内容の進捗状況(総合的な内部評価)	区分	選択区分	【評価の理由】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	B	<p>【評価の理由】</p> <p>SNSを活用し下北地域の食やアクティビティ、イベントを効果的に情報発信しており、地域の魅力向上に務められている。ジオパークガイドについては、ガイドが自主的に企画・運営に携わるなど質の向上が図られており、概ね良好である。</p> <p>【今後の取組の方向性】</p> <p>今後もSNS等を活用した積極的かつ効率的な情報発信、ガイドの質の向上に努め、認知度及び顧客満足度向上を目指した企画を検討・実施しながら、誘客促進事業を進める。 また、インバウンド対応のためのガイドの確保に努める。</p>

7. 施策の進捗状況(外部評価)

令和5年度施策内容の進捗状況(総合的な外部評価)	区分	選択区分	評価割合		【主な意見】
			A	B	
A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている - わからない			0.0%	85.0%	観光は責任をもって「いらっしやいませ」と言える人がPRしないとお客様との間に矛盾が生じてしまいます。
			15.0%	0.0%	
			0.0%	0.0%	

施策評価調書(令和5年度)

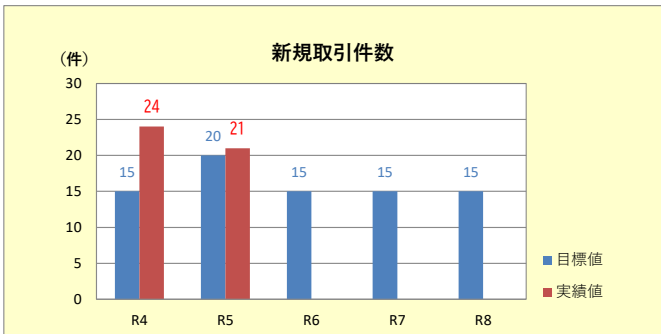
1. 施策体系と施策関係部局

基本方針	1. 活力あるむつ市の創生	関係部局
施策項目	(4)観光・物産	経済部
施策内容	②稼げる物産プロモーション	

2. 基本計画における指標(KPI)

[上段:目標値 下段:実績値]

指標名	単位	基準値	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
新規取引件数	(件)	11	15	20	15	15	15
		令和2年度	24	21			
産品購入意欲度 全国市町村魅力度ランキング	(位)	142	-	-	-	-	100
		令和2年度	廃止	⇒	⇒	⇒	⇒



3. 年次目標【令和5年度】

内容	実績(目標)	達成状況報告
新規取引件数	21件(20件)	レストランフェアで注目された地元食材がフェア参加外のレストランでも採用されるなど、地域ブランド力の向上に寄与。為替変動や地政学リスクに対応するため海外市場へのプロモーションも積極的に実施。新たな販路開拓が進んでいる。
産品想起率 全国市町村魅力度ランキング	89位(30位以内)	大湊地方隊イベントや10市大祭典への参加などご当地グルメの積極的なプロモーションを展開。また、首都圏の著名飲食店やスーパーを介して特産品の認知度向上と販路開拓を実施した。特に、全5総監部の海自カレーをワンプレートにした全国初の取組や、東京での大湊自衛隊グルメイベントの開催は注目を集めた。
ふるさと納税寄附額	約1億3,196万円 (2億円)	事業者説明会や事業者訪問を行い新たな返礼品の発掘に努めたほか、ガイドブックの全面刷新や、地元事業者への取材を行い、その内容をSNSを通じて積極的に発信した。また、地場産品基準の見直しを行い、新たな返礼品の発掘にも努めた。

《参考:令和4年度実績》

内容	年次目標	実績	評価区分	取組状況(評価結果)
新規取引件数	15件	24件	B 概ね良好	各種イベントに参加し効果的なプロモーションが展開できたが、ふるさと納税では昨年度に比べ寄附額が低調な状態が続いている。全国市町村魅力度ランキングの調査項目「産品購入意欲度」が廃止されたため、来年度からは他の目標値を用いる。
産品購入意欲度 全国市町村魅力度ランキング	100位以内	-		
ふるさと納税寄附額	2億円	約1億3,400万円		

4. 関連するSDGsのゴール(17)とターゲット(169)

	8.2		8.9		9.1		9.2		11.3
--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	------

5. 令和5年度主要事業

【単位:千円】

事業名	事業内容		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
	重要業績評価指標	基準値	決算額	予算額	予定額	予定額	予定額
			目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
「むつ市のうまいは日本一！」推進プロジェクト事業「全国販路開拓支援事業」	<p>当市で生産される製品の多くが供給量の絶対数が少ないため、新規取引の成立を阻害する原因となっており、当地域の販売戦略は供給量の少なさをカバーしつつ販路拡大を可能とするビジネスモデルが必要となっている。</p> <p>このことから、客単価の高いホテルや飲食店関係者向けの販売促進を行い、小規模でも安定した取引を可能とする販路の開拓を推進するものである。</p> <p>その他、スーパーマーケットトレードショーの青森県枠にブースを確保し、販路開拓を目指す事業者を支援する。</p>		734	2,525	2,525	2,525	2,525
	【新規取引件数(件)】	18 R3年度	15	20	20	20	15
下北圏域地場産品販路拡大事業 【デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ)活用事業】	<p>下北圏域が誇る特産品の首都圏における販路拡大やブランディングにより、農林水産業の振興や、地域経済の発展を図る。</p> <p>下北圏域の市町村で実行委員会を組織し、商談会や首都圏の飲食店でのレストランフェア等、目的達成のため各種事業を実施する。</p>		972	528	528	528	528
	【新規取引件数(件)】	18 R3年度	15	20	20	20	15
	【下北圏域地場産品販路拡大ト ラックセール売上高(円)】	520,000 R4年度	-	520,000	520,000	520,000	520,000
むつ市のうまい!山の幸ブランディング事業 【デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ)活用事業】	<p>陸奥湾と津軽海峡に囲まれた特性を活かし、海峡サーモンやホタテなど海産物の認知度は高く、これまで各種マーケットで販路が開拓されてきたが、海産物以外の特産品の認知度が低いことから、出荷量が安定してきた「下北牛」や「かぼちゃ」をメインに、実食を伴う各種プロモーションを展開することで、山の幸の認知度向上を図り、販路の開拓に繋げる。</p>		-	5,000	5,000	5,000	-
	【新規取引件数(件)】	-	-	20	20	20	-
	【レストランフェア等商品提供数(食)】	-	-	1,000	1,000	1,000	-
「むつ市のうまいは日本一！」推進プロジェクト事業	<p>地域の特産品を市内外に積極的にPRすることにより、一次産業の活性化と地域経済の発展を促進する事業である。主要事業の一つである地産地消運動は、地域の安心・安全な食材を、地域内で率先して消費しようという取組であり、協力店が出店する特産品販売の機会を継続的に設けており、市民の認知度も高い。安心・安全な市産品の有用性を認識し、地産地消を促進できる場として、来場者・事業者から開催を望む声は多い。</p> <p>その他、福島県磐梯町「道の駅ばんだい」での「むつ海鮮祭」など、県外イベントに出展し、特産品の販売とプロモーションを行っているほか、PRキャラクターを活用し、特産品の販路開拓・拡大につながる事業を展開している。</p>		7,150	6,883	6,883	6,883	6,883
	【地産地消運動実施率(%)】	75 R3年度	80	80	80	80	80
地域特産品活用促進事業 【デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ)活用事業】	<p>ご当地自衛隊グルメを活用し、活動団体並びに事業者の支援や各種のプロモーションを行い、地域経済の活性化を図る。</p> <p>「大湊海軍コロッケ」、「大湊海自カレー」、「大湊Sora空っ!」については各種のイベントやPR活動により県内での認知度が高まっている。</p> <p>今後も全国の自衛隊基地と連携しながら、全国で開催される自衛隊イベント等に参加し、更なるブランド化を目指す。</p>		3,599	4,100	4,100	4,100	4,100
	【大湊海自カレー提供食数(食)】	6,282 R3年度	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000
	【大湊Sora空っ!提供食数(食)】	7,163 R3年度	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000

事業名	事業内容		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
			決算額	予算額	予定額	予定額	予定額
	重要業績評価指標	基準値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
ふるさと納税事業	魅力あるむつ市を目指し、各種事業遂行に要する財源の確保及びふるさと納税を活用したむつ市特産品の全国的普及を図ることで、販売額の向上を推進し、生産者の所得を向上させ、生産現場の活性化に貢献するものである。総務省が示す制度の趣旨に従い、効果的に事業を展開することとしている		98,273	96,974	92,000	92,000	92,000
	【寄附受入額(千円)】	204,209 R3年度	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000

6. 施策の進捗状況(内部評価)

令和5年度施策内容の進捗状況(中間評価)	区分	選択区分	【評価の理由】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	B	<p>各種イベントに参加し効果的にPRすることができたことに加え、生産者及び事業者を積極的に巻き込んでいくことで、当事者自らが販路を拡大していくノウハウを育てることができている。ふるさと納税については、前年度と同程度の推移を見せており、引き続き寄附額2億円を目指す。</p> <p>【今後の取組の方向性】</p> <p>生産者・事業者との積極的な商談、PRの場を創出し、販路の開拓を進めていく。</p> <p>「スーパーマーケットトレードショー」への参加、「都内での海自カレーフェア」の開催により、認知度向上と販路開拓を図る。</p> <p>引き続き既存返礼品のプロモーション、新商品の開発に努め、寄附額の増額に努める。</p>

令和5年度施策内容の進捗状況(総合的な内部評価)	区分	選択区分	【評価の理由】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	B	<p>各種イベントへの参加と効果的なプロモーション展開により、新規取引件数が目標を達成した。一方で、商品の想起率は目標未達だが、来年度以降も新たなプロモーション継続により注目度を高め、全国的な知名度の向上を図る。</p> <p>ふるさと納税に関しては、天候不順による返礼品の欠品と地場産品基準の変更によりラインナップに影響が出たため、目標額には未達となった。</p> <p>【今後の取組の方向性】</p> <p>高付加価値を生み出す商談およびPRの機会を創出し、所得向上に繋げる。</p> <p>大湊自衛隊グルメの新規提供店舗募集に注力する。これにより、ご当地グルメとしての魅力向上に繋げる。</p> <p>既存の返礼品プロモーションの継続と新規返礼品の追加に努める。さらに、天候不順などによる欠品リスクに対応できるよう返礼品の多様化と供給の安定化を図る。</p>

7. 施策の進捗状況(外部評価)

令和5年度施策内容の進捗状況(総合的な外部評価)	区分	選択区分	評価割合		【主な意見】
A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている - わからない			A	10.0%	イベント等は成功を感じるが、継続的な取引、商品には企業にもうひと頑張りしてもらいたい。
			B	70.0%	
			C	20.0%	
			D	0.0%	
			-	0.0%	

施策評価調書(令和5年度)

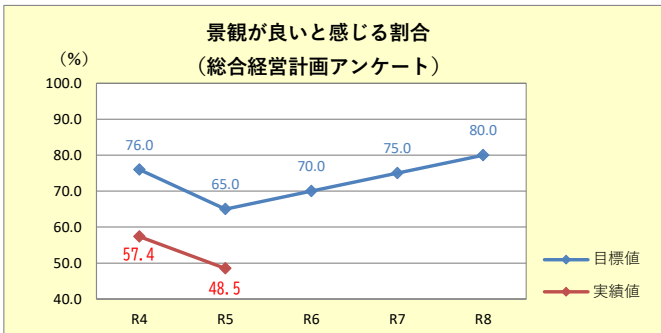
1. 施策体系と施策関係部局

基本方針	1. 活力あるむつ市の創生	関係部局
施策項目	(5) 景観	都市整備部
施策内容	① 景観の向上と保全	

2. 基本計画における指標(KPI)

【上段: 目標値 下段: 実績値】

指標名	単位	基準値	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
景観が良いと感じる割合 (総合経営計画アンケート)	(%)	73.1	76.0	65.0	70.0	75.0	80.0
		令和2年度	57.4	48.5			



3. 年次目標【令和5年度】

内容	実績(目標)	達成状況報告
景観重要樹木のライトアップ	1箇所(1箇所)	景観重要樹木「銀杏木のダイチョウ」の紅葉時期にライトアップを行い、今年度の業務を計画どおりに完了した。
駅前広場のライトアップ	1箇所(1箇所)	下北駅前広場の植栽用照明設備の設置を行い、今年度の業務を計画どおりに完了した。

《参考: 令和4年度実績》

内容	年次目標	実績	評価区分	取組状況(評価結果)
景観重要建築物及び景観重要樹木への標識設置	9箇所	9箇所	A 良好	新たに景観重要建築物や景観重要樹木が指定された際には、標識の設置を進め、景観資源の啓発に努める。また、ライトアップ事業等による景観形成については、次年度以降も継続して実施していく。
景観重要樹木のライトアップ	1箇所	1箇所		

4. 関連するSDGsのゴール(17)とターゲット(169)

	8.9		11.3		11.a		15.a		
--	-----	--	------	--	------	--	------	--	--

5. 令和5年度主要事業

【単位:千円】

事業名	事業内容		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
	重要業績評価指標	基準値	決算額	予算額	予定額	予定額	予定額
			目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
みどりと景観創造事業	令和3年6月に策定した「むつ市景観計画」を推進するため、市民や事業者とともに本市独自の恵まれた景観資源の保全・活用によるまちづくりに取り組むこと、ふるさとへの愛着や景観への関心を深めるとともに、地域の魅力向上及びにぎわいの創出を図る。		2,812	3,131	1,421	1,421	1,421
	【景観が良いと感じる割合(%)】	72.2 R3年度	60.0	65.0	70.0	75.0	80.0

6. 施策の進捗状況(内部評価)

令和5年度施策内容の進捗状況(中間評価)	区分	選択区分	【評価の理由】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	B	概ね計画どおりに事業を進められており、概ね良好と考える。 【今後の取組の方向性】 景観重要樹木ライトアップ事業については、紅葉が始まる11月上旬の点灯開始を目指し、業務委託の発注作業を進める。 駅前広場ライトアップ事業については、受注者との連携を図り、10月中の完了を目指す。

令和5年度施策内容の進捗状況(総合的な内部評価)	区分	選択区分	【評価の理由】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	B	今年度の事業を計画どおりに実施できたため概ね良好とした。 【今後の取組の方向性】 次年度以降においても、景観重要樹木のライトアップ等、景観資源の保全・活用等により、良好な景観の創出に取り組んでいく。

7. 施策の進捗状況(外部評価)

令和5年度施策内容の進捗状況(総合的な外部評価)	区分	選択区分	評価割合		【主な意見】
A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている - わからない			A	15.0%	令和5年度のKPIの目標値が下がっている理由について教えてください。また、実績値も大きく下がっていますが、なぜ景観がよいと考える人の割合が減ったのか(景観が悪くなったと考える人がなぜ増えたのか)、その理由について教えてください。
			B	65.0%	
			C	20.0%	
			D	0.0%	
			-	0.0%	

施策評価調書(令和5年度)

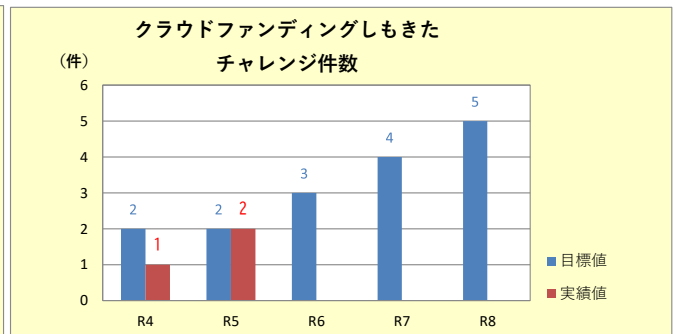
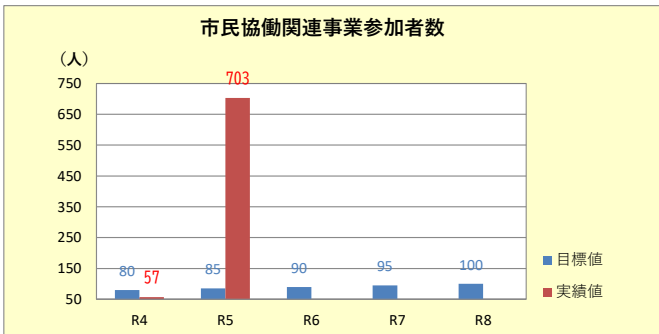
1. 施策体系と施策関係部局

基本方針	1. 活力あるむつ市の創生	関係部局
施策項目	(6)市民協働・コミュニティ	企画政策部
施策内容	①市民協働の施策展開	

2. 基本計画における指標(KPI)

【上段:目標値 下段:実績値】

指標名	単位	基準値	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
市民協働関連事業参加者数	(人)	75	80	85	90	95	100
		令和元年度	57	703			
クラウドファンディングしもきたチャレンジ件数	(件)	1	2	2	3	4	5
		令和3年度	1	2			



3. 年次目標【令和5年度】

内容	実績(目標)	達成状況報告
スマイル・トークリレー「FLAT」参加者数	703人(85人)	3月末までに703人(44団体)が参加し、主に市長の公約をもとに対話を実施してきた。
クラウドファンディングしもきたチャレンジ件数	2件(2件)	起案者のサポートに務め、2件をプロジェクト達成へ導いた。 支援金額:2,297,696円 支援者数:252人

《参考:令和4年度実績》

内容	年次目標	実績	評価区分	取組状況(評価結果)
ご近所知恵だし会議	50人参加	57人	B 概ね良好	目標値以上の参加があった。年度内の実施は1件だったが、次年度早々に1件実施が見込まれている。成果報告を終え、事業について他団体や県から高い評価を得ている。
クラウドファンディングしもきたチャレンジ件数	2件	1件		
プロボノチャレンジ	1件	1件		

4. 関連するSDGsのゴール(17)とターゲット(169)

	11.3		17.17					
--	------	--	-------	--	--	--	--	--

5. 令和5年度主要事業

【単位:千円】

事業名	事業内容		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
	重要業績評価指標	基準値	決算額	予算額	予定額	予定額	予定額
市民協働まちづくり事業	市民や各種コミュニティのつながりを生み出し、市民協働のまちづくりを推進するため、先進事例を紹介する講演会や「ご近所知恵だし会議」などの地域課題解決に向けたワークショップを開催する。		33	164	311	311	311
		【市民協働関連事業参加者数(人)】	75	50	85	90	95
クラウドファンディングしもきた運営事業	起案者へのサポート体制の拡充を図るため、クラウドファンディングしもきたを活用して資金調達した事業に対し、助成プロジェクトに要する経費のうち、手数料分の17%を(上限20万円)を支援するための財源を徴取する。		70	70	70	70	70
		【クラウドファンディングしもきたチャレンジ件数(件)】	1	2	2	3	4

6. 施策の進捗状況(内部評価)

区分	選択区分	【評価の理由】
令和5年度施策内容の進捗状況(中間評価)	A	スマイル・トークリレー「FLAT」は、目標を大幅に上回る参加があった。 目標通りのチャレンジ件数があった。
		【今後の取組の方向性】 スマイル・トークリレー「FLAT」は、継続して事業を実施する。 引き続き啓発活動に力を入れるとともに、起案者のサポート体制の充実に努める。

区分	選択区分	【評価の理由】
令和5年度施策内容の進捗状況(総合的な内部評価)	A	スマイル・トークリレー「FLAT」参加者数の目標を大幅に上回る参加があった。 クラウドファンディングしもきたは、目標通りのチャレンジ件数があった。
		【今後の取組の方向性】 スマイル・トークリレー「FLAT」は、継続して事業を実施する。 クラウドファンディングしもきたは、引き続き啓発活動に力を入れるとともに、起案者のサポート体制の充実に努める。

7. 施策の進捗状況(外部評価)

区分	選択区分	評価割合	【主な意見】	
令和5年度施策内容の進捗状況(総合的な外部評価)	/	A	55.0%	/
		B	45.0%	
		C	0.0%	
		D	0.0%	
		-	0.0%	

施策評価調書(令和5年度)

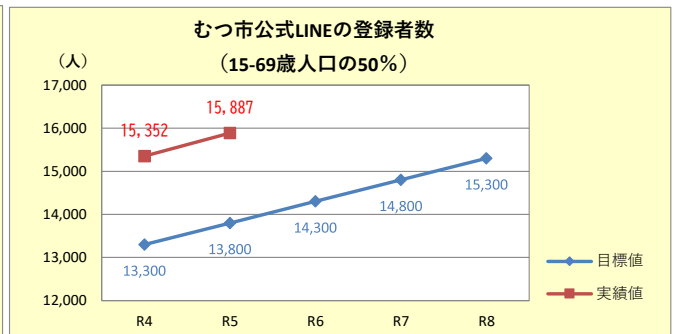
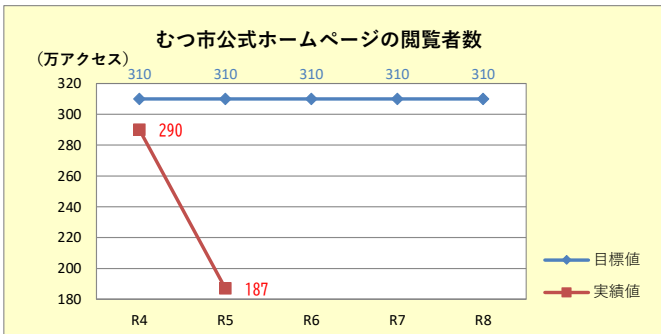
1. 施策体系と施策関係部局

基本方針	1. 活力あるむつ市の創生	関係部局
施策項目	(6)市民協働・コミュニティ	企画政策部
施策内容	②広報広聴の充実	

2. 基本計画における指標(KPI)

[上段:目標値 下段:実績値]

指標名	単位	基準値	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
むつ市公式ホームページの閲覧者数	(万アクセス)	275	310	310	310	310	310
		令和元年度	290	187			
むつ市公式LINEの登録者数 (15-69歳人口の50%)	(人)	12,800	13,300	13,800	14,300	14,800	15,300
		令和3年度	15,352	15,887			



3. 年次目標【令和5年度】

内容	実績(目標)	達成状況報告
公式ホームページの年間アクセス数	187万アクセス (310万アクセス)	昨年度までのコロナ禍の情報発信が無くなったこと、また、市の公式SNSでの発信を受け取ることが定着したことにより、公式HPの閲覧数が減少したことが原因であると思われる。
公式LINEの登録者数	15,887人 (13,800人)	計画値を達成している。 ※実績値は、ラインオフィシャルアカウント ターゲットリーチ数によるもの。

《参考:令和4年度実績》

内容	年次目標	実績	評価区分	取組状況(評価結果)
公式ホームページの年間アクセス数	350万アクセス	290万アクセス	B 概ね良好	LINEをはじめ各種SNSでの発信によりHPへのアクセス数がコロナ前と比べ増加している。また、R4のHPリニューアルによりHPをご覧になった方が気軽にメールで問い合わせができる仕組みも整えたことで広報広聴の充実が図られていると考える。
公式LINEの登録者数	15,360人	15,352人		

4. 関連するSDGsのゴール(17)とターゲット(169)

	11.3		17.17					
--	------	--	-------	--	--	--	--	--

5. 令和5年度主要事業

[単位:千円]

事業名	事業内容		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
	重要業績評価指標	基準値	決算額	予算額	予定額	予定額	予定額
			目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
ホームページシステム保守業務委託	市内外に迅速かつ正確な情報提供を行うためホームページを運用。職員の作成支援と閲覧者の利便性(アクセシビリティ・ユーザビリティ)の向上を目的にCMS(コンテンツマネジメントシステム)を導入している。	275 R元年度	1,584	1,584	1,584	1,584	1,584
			310	310	310	310	310

事業名	事業内容		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
			決算額	予算額	予定額	予定額	予定額
	重要業績評価指標	基準値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
広報紙発行事業	「みんながつながるむつ市の総合情報誌」として、市政情報のみならず、市民及び各種団体の取り組みを紹介する「広報むつ」を年12回発行し、市政への参画を図り協働のまちづくりを実現に結びつける。		23,845	16,335	16,335	16,335	16,335
	【発行部数(部/月)】	22,000 R3年度	21,500	21,500	21,500	21,500	21,500
SNS配信事業	市政情報をスマートフォンへ直接届けられるプッシュ通知型のLINEをはじめ、防災かまふせメール、市民が情報へアクセスするプル型のTwitter、Facebook、YouTube、TikTokなど、さまざまなSNSをそのSNSごとの利用者属性やSNSの特性を活かして、むつ市の情報を届けるべき相手に伝わる広報を意識して情報展開を行う。		0	0	0	0	0
	【LINE登録者数(人)】	13,401 R3年度	13,300	13,800	14,300	14,800	15,300
市民の声データベースシステム保守事業	庁内各部署窓口へ寄せられる意見や提言、要望等を担当する職員の業務の効率化及び負担軽減と情報の集約による全庁的な情報共有を図ることを目的に、平成23年度から「市民の声データベースシステム」を開始し、様々な意見要望に対する進捗状況や回答等をシステム管理している。		427	448	448	448	448
	【ホームページアクセス数(万件)】	275 R元年度	310	310	310	310	310

6. 施策の進捗状況(内部評価)

令和5年度施策内容の進捗状況 (中間評価)	区分	選択区分	【評価の理由】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	B	<p>HPのアクセス数は減少しているが、こちらについては、コロナ関連(陽性者数等)の情報発信が無くなったこと、市公式SNSでのプッシュ型通知により市政情報を受け取ることが定着化したことによるものであると思われる。ラインの登録者数については、計画値を既に達成しているが、今後もわかりやすく市政情報を発信することで、登録者数を維持していきたい。</p> <p>【今後の取組の方向性】 広報むつ、公式HP、公式SNS等、各種情報発信ツールを複合的に活用して、効果的に地域住民に情報発信を図っていく。</p>

令和5年度施策内容の進捗状況 (総合的な内部評価)	区分	選択区分	【評価の理由】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	B	<p>HPのアクセス数は減少しているが、コロナ関連の情報発信が無くなったこと、市公式SNSでのプッシュ型通知により市政情報を受け取ることが定着化したことによるものであると思われる。ラインの登録者数については計画値を既に達成しているが、今後もわかりやすく、またニーズに応じた市政情報を発信することで、登録者数を維持していきたい。</p> <p>【今後の取組の方向性】 広報むつ、公式HP、公式SNS等、各種情報発信ツールを複合的に活用して、効果的に地域住民に情報発信を図っていく。</p>

7. 施策の進捗状況(外部評価)

令和5年度施策内容の進捗状況 (総合的な外部評価)	区分	選択区分	評価割合		【主な意見】
A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている - わからない			A	10.0%	
			B	85.0%	
			C	5.0%	
			D	0.0%	
			-	0.0%	

施策評価調書(令和5年度)

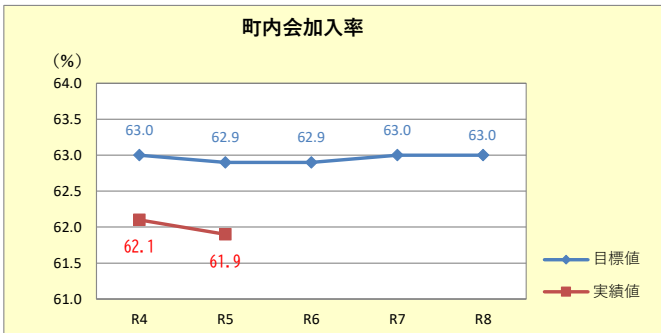
1. 施策体系と施策関係部局

基本方針	1. 活力あるむつ市の創生	関係部局
施策項目	(6)市民協働・コミュニティ	企画政策部
施策内容	③コミュニティ自治の実現	

2. 基本計画における指標(KPI)

【上段:目標値 下段:実績値】

指標名	単位	基準値	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
町内会加入率	(%)	62.8	63.0	62.9	62.9	63.0	63.0
		令和3年度	62.1	61.9			



3. 年次目標【令和5年度】

内容	実績(目標)	達成状況報告
地域の明るい未来づくり応援補助金等による町内会活動支援件数	162件(162件)	地域の明るい未来づくり応援補助金における地域コミュニティ・チャレンジ事業の交付決定を全162町内会に行った。 なお、地域の明るい未来づくり応援補助金における活動及び活動拠点等整備に係る補助金については、3町内会に交付決定予定。 ・地域コミュニティ・チャレンジ事業(計7,856,570円) ・活動拠点等整備に係る補助(計3,167,843円)
コミュニティ助成件数	2件(2件)	採択結果が下記のとおり確定した。 ・一般助成(2町内会) 計4,500,000円

《参考:令和4年度実績》

内容	年次目標	実績	評価区分	取組状況(評価結果)
地域の明るい未来づくり応援補助金等による町内会活動支援(全町内会への補助金支出)	163件	162件	B 概ね良好	必要に応じて各種補助金申請に係る支援をするなど、市と町内会の友好な関係を保っている。また各種補助金とも、申請した町内会については手続きが順調に完了したことを鑑み、概ね良好としている。
コミュニティ助成事業(申請可能件数の活用)	6件	2件		

4. 関連するSDGsのゴール(17)とターゲット(169)

	3.6		11.3		17.17			
--	-----	--	------	--	-------	--	--	--

5. 令和5年度主要事業

【単位:千円】

事業名	事業内容		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
	重要業績評価指標	基準値	決算額	予算額	予定額	予定額	予定額
地域コミュニティ保全事業	地域社会の維持及び形成に資する地域的な共同活動を支援し、もって住民福祉の向上を図り市民協働及び市民自治のまちづくりを推進するため、町内会等が行う自主的な市民活動の実施や活動拠点の整備に要する経費について、町内会等に対し補助金を交付する。また、町内会やNPO、ボランティア団体などによる市民の自主的な地域活動を支援することにより、活力のあるコミュニティづくりを実現するため、多岐にわたる市民団体の様々な活動に市民が安心して参加できるよう導入した市民活動保険制度の周知を図る。		8,954	9,659	9,659	9,659	9,659
	【町内会加入率(%)】	62.8 R3年度	63.0	63.0	63.0	63.0	63.0
地域コミュニティ助成事業	(一財)自治総合センターが宝くじの社会貢献広報事業として実施する「コミュニティ助成事業」を活用。コミュニティ組織(自治会、町内会等)が活動するための備品や集会施設の整備を行うことで、地域におけるコミュニティ活動を推進し、地域社会の健全な発展と住民福祉の向上を図る。		8,500	6,100	6,100	6,100	6,100
	【コミュニティ助成事業採択件数(件)】	3 R3年度	4	4	4	4	4

6. 施策の進捗状況(内部評価)

令和5年度施策内容の進捗状況(中間評価)	区分	選択区分	【評価の理由】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	B	

令和5年度施策内容の進捗状況(総合的な内部評価)	区分	選択区分	【評価の理由】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	B	

7. 施策の進捗状況(外部評価)

令和5年度施策内容の進捗状況(総合的な外部評価)	区分	選択区分	評価割合		【主な意見】
A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている - わからない			A	5.0%	
			B	85.0%	
			C	10.0%	
			D	0.0%	
			-	0.0%	

施策評価調書(令和5年度)

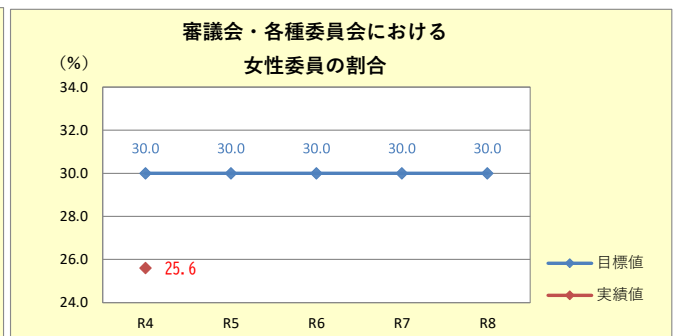
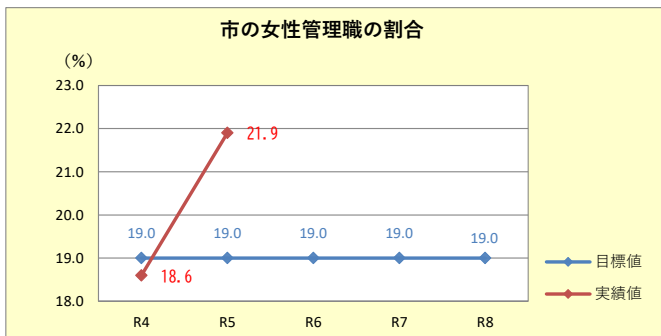
1. 施策体系と施策関係部局

基本方針	1. 活力あるむつ市の創生	関係部局
施策項目	(7)男女共同参画・女性活躍	企画政策部
施策内容	①男女共同参画社会づくりに向けた意識改革	

2. 基本計画における指標(KPI)

【上段:目標値 下段:実績値】

指標名	単位	基準値	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
市の女性管理職の割合	(%)	17.9	19.0	19.0	19.0	19.0	19.0
		令和3年度	18.6	21.9			
審議会・各種委員会における女性委員の割合	(%)	25.4	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0
		令和3年度	25.6	—			



3. 年次目標【令和5年度】

内容	実績(目標)	達成状況報告
市の女性管理職の割合	21.9%(19.0%)	第3次むつ市男女共同参画推進基本計画に基づき、女性の政策・方針決定への参画拡大を図るため、啓蒙活動を実施した。 令和6年度中に第3次むつ市男女共同参画推進実施計画を策定するため、資料を作成中。
審議会・各種委員会における女性委員の割合	※参考値25.6%(30.0%)	自治体の審議会などに参画できる人材の育成を目的とする『あおりウイメンズアカデミー』を開催し、7名が受講を修了した。 ※翌年7月に内閣府所管調査を実施するため、最新が令和4年度の数値となる。

《参考:令和4年度実績》

内容	年次目標	実績	評価区分	取組状況(評価結果)
市の女性管理職の割合	19.0%	18.6%	B 概ね良好	第3次むつ市男女共同参画推進基本計画策定のための諮問機関である男女共同参画推進委員会委員の委嘱及び委員会への諮問し、委員会による審議を経て答申いただき、計画を策定し公開できた。
審議会・各種委員会における女性委員の割合	30.0%	25.6%		

4. 関連するSDGsのゴール(17)とターゲット(169)

	5.5		8.5		10.4		11.3		17.17
--	-----	--	-----	--	------	--	------	--	-------

5. 令和5年度主要事業

【単位:千円】

事業名	事業内容		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
	重要業績評価指標	基準値	決算額	予算額	予定額	予定額	予定額
			目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
男女共同参画推進事業	男女共同参画社会の形成を総合的かつ計画的に推進するため、男女共同参画基本計画策定に係る審議、男女共同参画社会の推進・啓発方法等について調査審議する。男女共同参画推進委員会に係る費用。		156	239	239	239	239
	【市の女性管理職の割合(%)】	17.9 R3年度	19.0	19.0	19.0	19.0	19.0
	【審議会・各種委員会における女性委員の割合(%)】	25.4 R3年度	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0

6. 施策の進捗状況(内部評価)

令和5年度施策内容の進捗状況 (中間評価)	区分	選択区分	【評価の理由】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	B	【評価の理由】 前年に比べ女性管理職及び委員の割合が増加したほか、市本庁舎内でのパネル展示や市図書館への図書貸出コーナー設置などによる啓発活動、下北文化会館にて『あおもりウィメンズアカデミー』を開催することができた。 【今後の取組の方向性】 第3次むつ市男女共同参画推進基本計画に基づき、男女共同参画社会の実現に向けた取り組みを進めるため、年度内に男女共同参画推進委員会を実施し、基本計画に係る実施計画の策定を目指す。

令和5年度施策内容の進捗状況 (総合的な内部評価)	区分	選択区分	【評価の理由】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	B	【評価の理由】 前年に比べ女性管理職及び委員の割合が増加したほか、市本庁舎内でのパネル展示や市図書館への図書貸出コーナー設置などによる啓発活動、下北文化会館にて『あおもりウィメンズアカデミー』を開催することができた。 【今後の取組の方向性】 第3次むつ市男女共同参画推進基本計画に基づき、男女共同参画社会の実現に向けた取り組みを進めるため、年度内に男女共同参画推進委員会を実施し、基本計画に係る実施計画の策定を目指す。

7. 施策の進捗状況(外部評価)

令和5年度施策内容の進捗状況 (総合的な外部評価)	区分	選択区分	評価割合		【主な意見】
			A	10.0%	
			B	85.0%	
			C	0.0%	
			D	0.0%	
			-	5.0%	

施策評価調書(令和5年度)

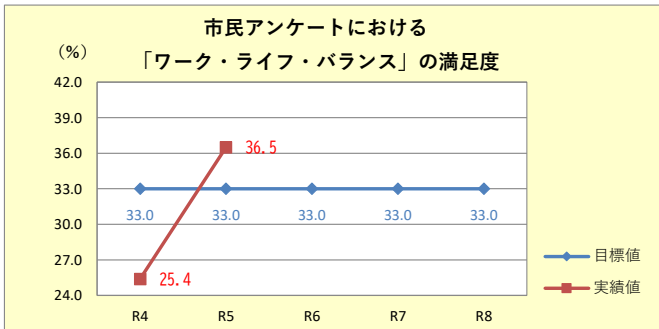
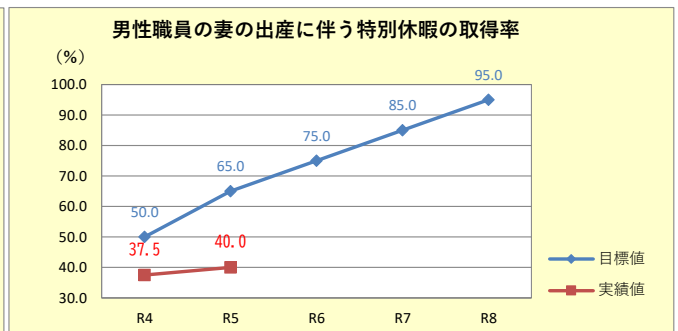
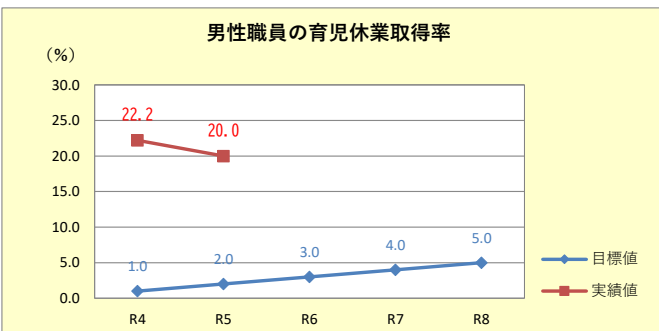
1. 施策体系と施策関係部局

基本方針	1. 活力あるむつ市の創生	関係部局
施策項目	(7)男女共同参画・女性活躍	企画政策部
施策内容	②市民一人ひとりのワーク・ライフ・バランスの実現	

2. 基本計画における指標(KPI)

【上段:目標値 下段:実績値】

指標名	単位	基準値	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
男性職員の育児休業取得率	(%)	0 令和2年度	1.0	2.0	3.0	4.0	5.0
男性職員の妻の出産に伴う特別休暇の取得率	(%)	44.0 令和2年度	50.0	65.0	75.0	85.0	95.0
市民アンケートにおける「ワーク・ライフ・バランス」の満足度	(%)	- -	33.0	33.0	33.0	33.0	33.0



3. 年次目標【令和5年度】

内容	実績(目標)	達成状況報告
男性職員の育児休業取得率	20.0%(2.0%)	男性職員の育児休業取得率の目標を達成した(5人中1人が取得)。
男性職員の妻の出産に伴う特別休暇の取得率	40.0%(65.0%)	妻の出産に伴う特別休暇の取得率の目標を下回った(5人中2人が取得)。

《参考:令和4年度実績》

内容	年次目標	実績	評価区分	取組状況(評価結果)
男性職員の育児休業取得率	1.0%	22.2%	B 概ね良好	市本庁舎での女性活躍やジェンダー平等に関するパネル展示、市図書館への図書貸出コーナー設置などによる啓発のほか、下北文化会館でジェンダー視点を取り入れた避難所運営訓練を実施した。また、女性活躍推進法に関する部分を明記した第3次むつ市男女共同参画推進基本計画を作成した。
男性職員の妻の出産に伴う特別休暇の取得率	50.0%	37.5%		

4. 関連するSDGsのゴール(17)とターゲット(169)

	5.1		8.5		10.4		11.3		17.17
---	-----	---	-----	---	------	--	------	---	-------

5. 令和5年度主要事業

【単位:千円】

事業名	事業内容		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
	重要業績評価指標	基準値	決算額	予算額	予定額	予定額	予定額
			目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
男女共同参画推進事業	男女共同参画社会の形成を総合的かつ計画的に推進するため、男女共同参画基本計画策定に係る審議、男女共同参画社会の推進・啓発方法等について調査審議する。男女共同参画推進委員会に係る費用。		156	239	239	239	239
	【市の女性管理職の割合(%)】	17.9 R3年度	19.0	19.0	19.0	19.0	19.0
	【審議会・各種委員会における女性委員の割合(%)】	25.4 R3年度	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0

6. 施策の進捗状況(内部評価)

令和5年度施策内容の進捗状況(中間評価)	区分	選択区分	【評価の理由】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	A	<p>取組状況報告のとおり、市における男性職員の休暇に関する目標値の達成は、男性の家事・育児への積極的な参画を現すものであり、固定的な性別役割分担意識の見直しにつながっているものである。</p> <p>【今後の取組の方向性】 女性活躍推進法に関する部分を明記した第3次むつ市男女共同参画推進基本計画に基づき、男女共同参画社会の実現に向け、女性のみならず男性の働き方等を含めて、個人の意識や社会の体制を変革し、一人ひとりのワーク・ライフ・バランスの実現に取り組む。</p>

令和5年度施策内容の進捗状況(総合的な内部評価)	区分	選択区分	【評価の理由】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	B	<p>一部、計画値の達成には至らなかったものの、市における男性職員の意識は高まり、固定的な性別役割分担意識の見直しに繋がっている。</p> <p>【今後の取組の方向性】 女性活躍推進法に関する部分を明記した第3次むつ市男女共同参画推進基本計画に基づき、男女共同参画社会の実現に向け、女性のみならず男性の働き方等を含めて、個人の意識や社会の体制を変革し、一人ひとりのワーク・ライフ・バランスの実現に取り組む。</p>

7. 施策の進捗状況(外部評価)

令和5年度施策内容の進捗状況(総合的な外部評価)	区分	選択区分	評価割合		【主な意見】
A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている - わからない			A	15.0%	
			B	60.0%	
			C	20.0%	
			D	0.0%	
			-	5.0%	

施策評価調書(令和5年度)

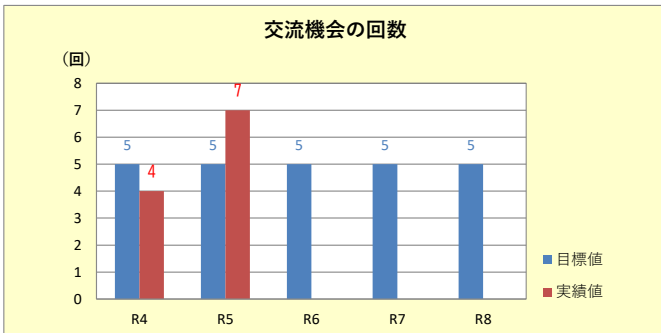
1. 施策体系と施策関係部局

基本方針	1. 活力あるむつ市の創生	関係部局
施策項目	(8)国際・都市間交流	企画政策部
施策内容	①姉妹都市等との交流	

2. 基本計画における指標(KPI)

【上段:目標値 下段:実績値】

指標名	単位	基準値	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
交流機会の回数	(回)	3	5	5	5	5	5
		令和元年度	4	7			



3. 年次目標【令和5年度】

内容	実績(目標)	達成状況報告
会津若松市との交流回数	6回(4回)	<ul style="list-style-type: none"> ・9月18日 よさこい斗南(むつ)公演(會舞道郷人) ・9月22日～24日 交流都市懇親会、会津まつり先人感謝祭及び出陣式へ参加(市長及び課員5名) ・9月22日～24日 市内高等教育機関学生による郷土歴史学習並びに会津藩公行列参加(学生8名) ・10月14・15日 MGF2023会津若松市出店 ・11月2日～4日 会津地産地消まつり出店(陸奥湾産ベビーホタテの販売) ・1月26日～ 会津若松市内小中学校へ陸奥湾産冷凍ベビーホタテの無償提供
ポートエンジェルズ市との交流回数	1回(1回)	ジュニア大使10名は、代表としての自覚をもって活動に取り組み、発表や交流についても好評を得た。帰国後も周囲に「伝える」という使命を果たそうとしたり、英語学習を一層頑張ろうとする姿から、目標は達成されたと考ええる。
ムチュリンガル教室実施施設数	18施設(18施設)	希望する保育施設全てでムチュリンガル教室を開催できた。

《参考:令和4年度実績》

内容	年次目標	実績	評価区分	取組状況(評価結果)
会津若松市との交流回数	5回	4回	B 概ね良好	交流回数は計画値に届かなかったが、会津若松市との訪問受入事業を実施するなど、概ね計画どおり実施することができたことから、概ね良好とする。
ムチュリンガル教室実施施設数	18施設	18施設		

4. 関連するSDGsのゴール(17)とターゲット(169)

	4.7		5.1		10.2		11.a		14.a
	15.6		16.7		17.14				

5. 令和5年度主要事業

【単位:千円】

事業名	事業内容		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
	重要業績評価指標	基準値	決算額	予算額	予定額	予定額	予定額
会津若松市姉妹都市交流事業	会津若松市との姉妹都市盟約以来継続している相互訪問事業(4年に1度ずつ相互に訪問する)。令和6年度に姉妹都市締結40周年のため、会津若松市を訪問する。		1,230	472	1,659	472	1,851
	【民間団体による交流(回)】	3 R元年度	2	2	2	2	2
国際交流事業	市の国際交流事業推進のため、国際交流推進員の活動により、市民への国際理解啓発活動を行うとともに、地域の国際化を推進する。 また、平成28年度から国際交流推進員が市内の幼稚園・保育園に訪問しての「幼児向け英語推進プログラム(英語で遊ぼうムチュリンガル教室)」を実施している。		8,167	8,182	8,712	8,852	8,872
	【国際交流イベント開催回数(回)】	37 R3年度	50	50	50	50	50
	【ムチュリンガル教室実施施設数(施設)】	18 R3年度	18	18	18	18	18
ジュニア大使派遣事業	姉妹都市交流を通し、次代を担う人材の育成に資する。 むつ市内の中学生がアメリカ合衆国ポートエンジェルス市の生徒との交流を通して、語学力の向上を図り、まちづくり・文化・生活様式等について発表する。		-	8,890	7,688	7,688	7,688
	【ジュニア大使アンケート(段階)】	4 R3年度	3	3	3	3	3
	【ジュニア大使派遣人数(人)】	10 R3年度	-	10	10	10	10
中華民国陽明国民中学との友好交流事業	旧川内町立川内中学校と中華民国陽明国民中学との姉妹校交流を引き継ぎ、中華民国の中学生と文化交流を図る。		-	395	425	425	425
	【陽明国民中学との交流回数(回)】	1 R3年度	-	1	1	1	1

6. 施策の進捗状況(内部評価)

	区分	選択区分	【評価の理由】
令和5年度施策内容の進捗状況(中間評価)	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	A	予定通り交流を行うことができている。また新たに市内の高等教育機関の学生による会津藩公行列への参加が実現できた。 ポートエンジェルス市への訪問に向けて計画的に事業を進められていることから、良好と評価する。
			【今後の取組の方向性】 会津若松市がMGF2024へ出店予定。ALPS処理水放出による風評被害等の影響を受けた市内ホタテ加工事業者の支援として「会津地産地消まつり」へ参加予定。ホタテ支援策として会津若松市内小学校の給食へホタテを提供予定。 姉妹都市交流、ムチュリンガル教室ともに例年通り進められているため、今後も継続して実施する。

	区分	選択区分	【評価の理由】
令和5年度施策内容の進捗状況(総合的な内部評価)	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	A	会津若松市とは計画以上の連携事業を実施。 ジュニア大使の派遣は、コロナ禍以後、4年ぶりに実施できたが、以前と同様に有意義な事業であったと評価している。 ムチュリンガル教室は、計画的に事業を進められていることから、良好と評価する。
			【今後の取組の方向性】 令和6年度は姉妹都市盟約締結から40年の節目の年である。記念式典や調印式を実施する外、市内事業者等によるイベントを開催するなど、地域をあげた取組を目指す。 台湾(高雄市)等との交流も見据えながら、今後の事業を検討していく。姉妹都市交流、ムチュリンガル教室ともに例年通り進められているため、今後も継続して実施する。

7. 施策の進捗状況（外部評価）

	区分	選択区分	評価割合		【主な意見】
	令和5年度施策内容 の進捗状況 (総合的な外部評価)		A 順調に推移	A	
B 一定の進捗がある		B	40.0%		
C 進捗は遅れている		C	0.0%		
D 進捗は大幅に遅れている		D	0.0%		
- わからない		-	0.0%		

施策評価調書(令和5年度)

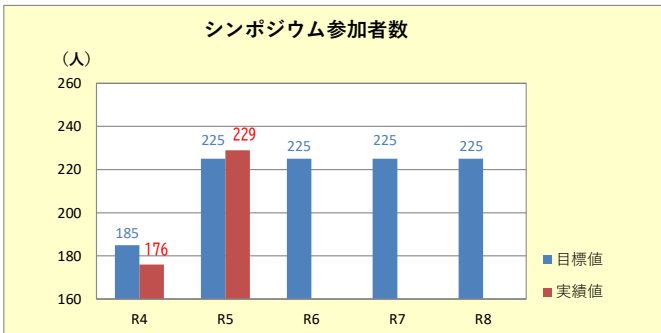
1. 施策体系と施策関係部局

基本方針	1. 活力あるむつ市の創生	関係部局
施策項目	(9)海洋科学研究拠点	企画政策部
施策内容	①研究活動環境の充実	

2. 基本計画における指標(KPI)

[上段:目標値 下段:実績値]

指標名	単位	基準値	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
シンポジウム参加者数	(人)	175	185	225	225	225	225
		令和3年度	176	229			



3. 年次目標【令和5年度】

内容	実績(目標)	達成状況報告
シンポジウム参加者数	229人(225人)	11月28日に開催された「第19回むつ海洋・環境科学シンポジウム」には229人が来場。むつ工業高校生による発表や研究機関等の成果発表もあり、例年以上の来場者を達成した。また新型コロナウイルス感染症のため中止をしていた懇親会を再開し、62名の関係者が親睦を深めた。
むつ科学技術館開館記念イベント等の来客者数	1,053人(1,200人)	7月23日に市との共催で「むつ科学技術館開館記念イベント」が開催され、1,053人が来場した。霧箱実験、工作体験など多数の企画を開催し、来場者に満足していただけるイベントとなった。

《参考:令和4年度実績》

内容	年次目標	実績	評価区分	取組状況(評価結果)
イベント来客数(イベント合計)	320人	491人	A 良好	令和5年1月28日に開催したむつ科学技術館来館者50万人達成記念報告会では189名の来場があり、海の子保育園による太鼓の演奏や、サイエンスクラブOBの発表、弘前大学教授の特別講演などが行われ、地域住民の科学の普及に向けたイベント開催となったため良好とする。

4. 関連するSDGsのゴール(17)とターゲット(169)

	4.4		6.3		7.1		8.3		9.5
	11.a		12.4		10.3		14.2		15.1
	16.7		17.17						

5. 令和5年度主要事業

【単位:千円】

事業名	事業内容		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
	重要業績評価指標	基準値	決算額	予算額	予定額	予定額	予定額
			目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
市内4研究機関支援事業費	海洋研究に関わる国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人日本海洋科学振興財団、国立研究開発法人日本原子力研究開発機構青森研究開発センター及び公益財団法人日本分析センターの4機関が、地球環境の保全等に向けた世界レベルの活動と情報発信を行っており、毎年11月に同研究機関、青森県及びむつ主催で海洋・環境科学シンポジウムを開催し、研究成果を発表する。		70	228	228	228	228
	【シンポジウムの参加者数の増加(人)】	175 R3年度	225	225	225	225	225

6. 施策の進捗状況(内部評価)

令和5年度施策内容の進捗状況(中間評価)	区分	選択区分	【評価の理由】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	A	<p>7月に開催された「むつ科学技術館開館記念イベント」は、4年ぶりの通常開催ということで、昨年度の126名を大幅に越える来場者数となった。イベントでは様々な企画が催され、来場者に満足いただける内容となった。</p> <p>【今後の取組の方向性】</p> <p>11月に開催されるむつ海洋・環境科学シンポジウムに向けて、研究機関と連携し、イベント開催の周知を図り、地球環境の保全に向けた世界レベルの活動とその研究成果について多くの地域住民に理解してもらうことを目指す。</p>

令和5年度施策内容の進捗状況(総合的な内部評価)	区分	選択区分	【評価の理由】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	A	<p>7月に開催された「むつ科学技術館開館記念イベント」は昨年度の126名を大幅に越える来場者数を達成。さらに、11月の「第19回むつ海洋・環境科学シンポジウム」も昨年度の176人を越える来場者を達成し、地域の皆さまへ研究機関等の活動について広く周知することができた。</p> <p>【今後の取組の方向性】</p> <p>「みらい」の後継船である北極域研究船「みらいⅡ」の母港を引き続きむつ市関根地区とするための要望を続けると共に、7月に開催される「むつ科学技術館開館記念イベント」及び11月に開催されるむつ海洋・環境科学シンポジウムに向けて、研究機関と連携し、イベント開催の周知を図り、地球環境の保全に向けた世界レベルの活動とその研究成果について多くの地域住民に理解してもらうことを目指す。</p>

7. 施策の進捗状況(外部評価)

令和5年度施策内容の進捗状況(総合的な外部評価)	区分	選択区分	評価割合		【主な意見】
A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている - わからない			A	70.0%	
			B	30.0%	
			C	0.0%	
			D	0.0%	
			-	0.0%	

施策評価調書(令和5年度)

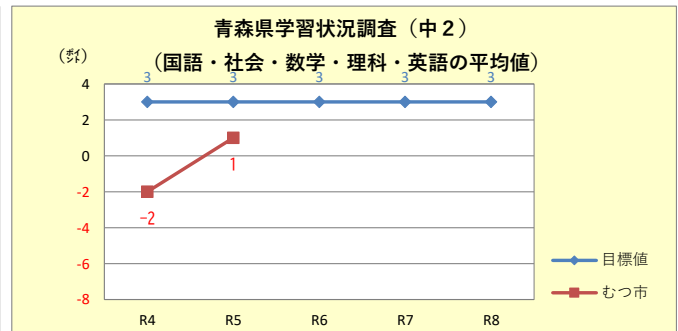
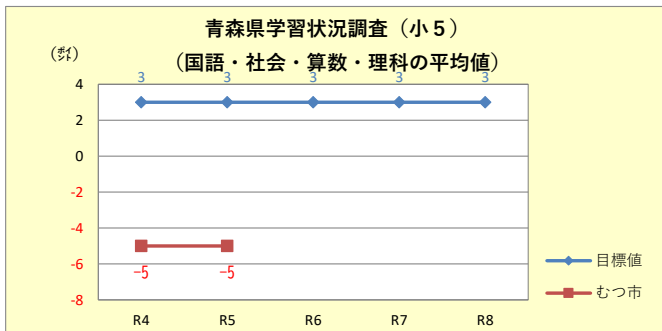
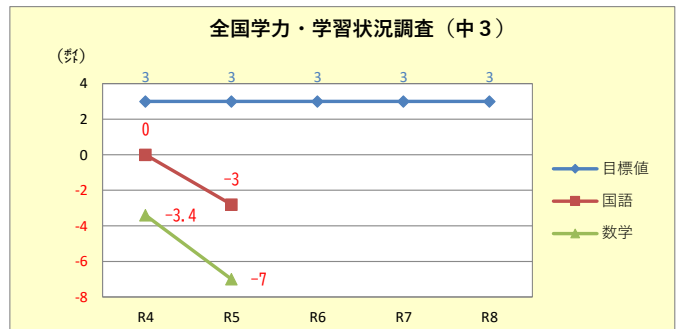
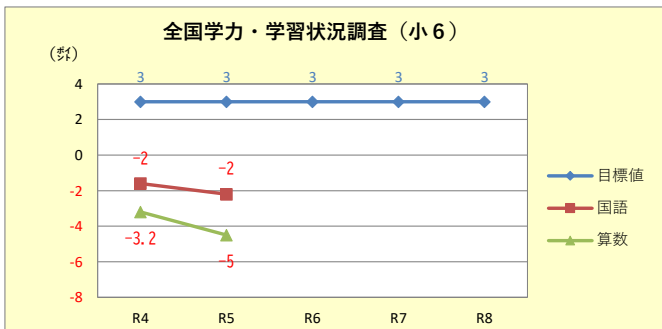
1. 施策体系と施策関係部局

基本方針	2. 教育・子育て環境の向上	関係部局
施策項目	(1) 教育	教育委員会事務局
施策内容	① 学力の向上	

2. 基本計画における指標(KPI)

【上段:全国又は県の値 下段:むつ市の値】

指標名	単位	基準値	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
全国学力・学習状況調査(小6・国語)	(点)	64.7	65.6	67.2	3 _点 上回る	3 _点 上回る	3 _点 上回る
		令和3年度	64	65			
全国学力・学習状況調査(小6・算数)	(点)	70.2	63.2	62.5	3 _点 上回る	3 _点 上回る	3 _点 上回る
		令和3年度	60	58			
全国学力・学習状況調査(小6・理科)	(点)	-	63.3	-	3 _点 上回る	3 _点 上回る	3 _点 上回る
		令和3年度	61	-			
全国学力・学習状況調査(中3・国語)	(点)	64.6	69.0	69.8	3 _点 上回る	3 _点 上回る	3 _点 上回る
		令和3年度	69	67			
全国学力・学習状況調査(中3・数学)	(点)	57.2	51.4	51.0	3 _点 上回る	3 _点 上回る	3 _点 上回る
		令和3年度	48	44			
全国学力・学習状況調査(中3・その他)	(点)	-	49.3	45.6	3 _点 上回る	3 _点 上回る	3 _点 上回る
		令和3年度	理科47	英語40			
青森県学習状況調査(小5) (国語・社会・算数・理科の平均値)	(点)	58	63	62	-	-	3 _点 上回る
		令和3年度	58	57	廃止	⇒	⇒
青森県学習状況調査(中2) (国語・社会・数学・理科・英語の平均値)	(点)	51	51	48	-	-	3 _点 上回る
		令和3年度	49	49	廃止	⇒	⇒



3. 年次目標【令和5年度】



内容	実績(目標)	達成状況報告
全国学力・学習状況調査、県学習状況調査において県平均通過率を上回る	<全国学力・学習状況調査> 下回る <県学習状況調査> 中学校は上回る (全国平均値、県平均値を上回る)	全国学力・学習状況調査の結果、小学校、中学校ともに全ての教科で全国平均と県平均を下回った。また、青森県学習状況調査の結果、小学校は、全ての教科で県平均を下回ったが、中学校は、県平均を上回る教科があり、全体でも県平均を1ポイント上回った。 青森県学習状況調査の結果をもとに、通過率の低かった問題をピックアップした上で、小・中教科別の「事後指導のポイント」を作成し、各校に配付した。 ※青森県学習状況調査は、今年度で廃止。

内容	実績(目標)	達成状況報告
学習者用デジタル教材の導入 (前年度の使用回数との比較)	小:前年比1.06↑ 中:前年比0.86↓ (前年度を上回る)	学校や教科によって使用回数に差が生じてはいるが、概ね前年度と同程度の使用回数であり、授業中での使用に加え、朝自習や家庭学習などでも使用するなど、活用が図られている。 (実績値は、前年度の累計使用回数を「100」としたときの比較【R6.2月末時点】)
新聞を活用した学習への支援	全小中学校配備 (全小中学校配備)	5月より、小学校5・6年生及び中学校全学年の各学級に希望する新聞を1部配備し、活用いただいている。 紙媒体だけではなく、東奥日報電子版を教員が活用したり、児童生徒に活用させたりするなど、新聞を読む習慣づくりに一定の役割を果たしている。

《参考:令和4年度実績》

内容	年次目標	実績	評価区分	取組状況(評価結果)
全国学力・学習状況調査、県学習状況調査において県平均通過率を上回る	全国平均値、 県平均値を上回る	下回る	C やや不良	昨年度に比べ、全国平均、県平均を下回る教科が増加した。 昨年度に比べて教科数が増えたことで、授業だけでなく、朝自習や家庭学習等で活用する学校が増えた。 ニュースや時事に関心を持つようになったと回答した割合は、昨年度とほぼ同値であったが、新聞を週1日以上読む児童生徒の割合は21%(昨年度34%)と減少した。新聞と児童生徒をどのように結び付けていけるかが課題である。
学習者用デジタル教材の導入 (前年度の使用回数との比較)	小学校4倍 中学校5倍	小学校11.0倍 中学校38.9倍		
新聞を活用した学習への支援	全小中学校配備	全小中学校配備		

4. 関連するSDGsのゴール(17)とターゲット(169)

	4.1		10.2					
---	-----	---	------	--	--	--	--	--

5. 令和5年度主要事業

【単位:千円】

事業名	事業内容		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
	重要業績評価指標	基準値	決算額	予算額	予定額	予定額	予定額
学力向上推進事業	学力調査の実施と分析を行い、実態を踏まえた学力の向上と教師の指導力の向上を図る。 活用力(思考力・判断力・表現力等)の育成と知識及び技能の確かな習得に向けて、各種学力調査結果の分析を生かした学習指導等について指導・助言する。 この事業は毎年継続され、児童生徒の学力の推移についての分析資料としている。 本市の児童生徒の基礎学力の定着に向けて、小学校では国語、社会、算数、理科の4教科、中学校では国語、社会、数学、理科、英語の5教科のデジタル教材を購入する。		8,599	11,574	12,162	12,162	12,162
	【県平均通過率を上回る(小5)】	-3	3	3	3	3	3
	【県平均通過率を上回る(中2)】	-3	3	3	3	3	3
	【学習者用デジタル教材の前年度比使用回数(倍)】	-	小学校:4 中学校:5	小学校:4 中学校:5	小学校:4 中学校:5	小学校:4 中学校:5	小学校:4 中学校:5
新聞を活用した学習への支援事業	本市の小・中学生が新聞に親しみ、新聞を読む習慣を身につけるとともに、授業等で新聞を活用した教育活動を推進するため、小学校5・6年生及び中学校全学年の各学級に希望する新聞を1部配備する。		2,663	2,944	3,000	3,500	3,500
	【児童生徒アンケート(小中学生)】	41.0	50.0	50.0	60.0	60.0	60.0
各種研修講座関係費	小・中学校教職員及び幼稚園教員や保育園保育士の専門性向上と地域の教育課題解決に向けて研修講座を開催し、むつ下北地区の教育水準の向上を図る。		216	400	321	321	321
	【講座受講者割合(小・中学校)】	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	
	【講座受講者割合(幼稚園)】	-	80.0	80.0	80.0	80.0	

6. 施策の進捗状況（内部評価）

令和5年度施策内容 の進捗状況 (中間評価)	区分 A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	選択区分 B	【評価の理由】 全国・県平均を下回る教科が多かったが、結果をもとにして事後指導用の資料を市内全小中学校へ提供した。 学校訪問や説明会等において、随時デジタル教材の活用を周知してきた。 小学校4校、中学校2校が新聞出前授業を実施した。(今後実施も含む)
			【今後の取組の方向性】 学力向上アクションプラン等の取組とも関連させながら、授業改善に向けた指導・助言に努める。 より充実した取組になるよう、AIドリルの導入も検討していく。 児童生徒個々のタブレットからも閲覧できる電子版の活用も、周知していく。

令和5年度施策内容 の進捗状況 (総合的な内部評価)	区分 A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	選択区分 B	【評価の理由】 学習状況調査は、全国・県平均を下回る教科が多かったが、結果をもとにして事後指導用の資料を市内全小中学校へ提供した。 デジタル教材を生かした取組について、随時各校へ周知してきた。 小学校4校、中学校2校が新聞出前授業を実施した。
			【今後の取組の方向性】 県学習状況調査の廃止に伴い、学力向上アクションプラン等と関連させながら、取組を充実させる。 AIドリルを導入することから、その活用の仕方を周知していく。 紙媒体と電子版それぞれの利点を生かした活用を今後も依頼していく。

7. 施策の進捗状況（外部評価）

令和5年度施策内容 の進捗状況 (総合的な外部評価)	区分 A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている - わからない	選択区分	評価割合		【主な意見】
			A	0.0%	
			B	55.0%	
			C	45.0%	
			D	0.0%	
			-	0.0%	

施策評価調書(令和5年度)

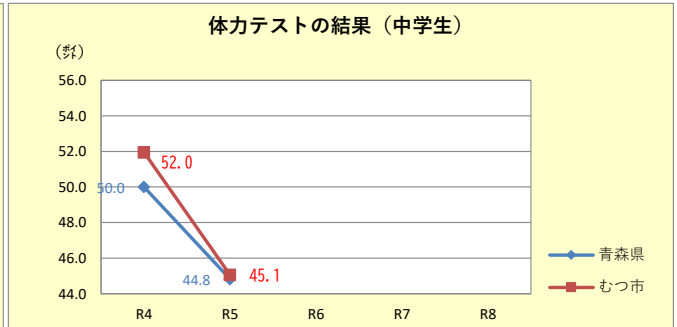
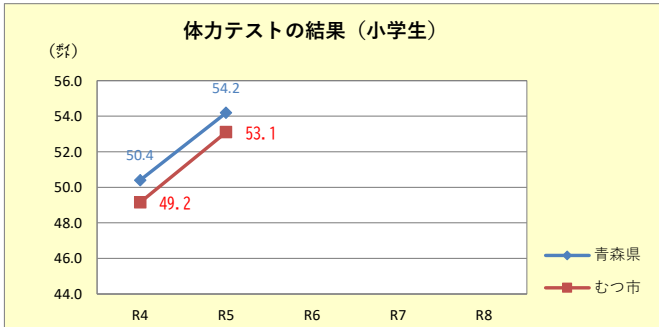
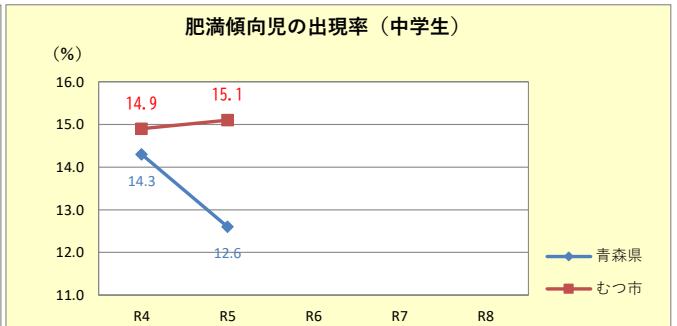
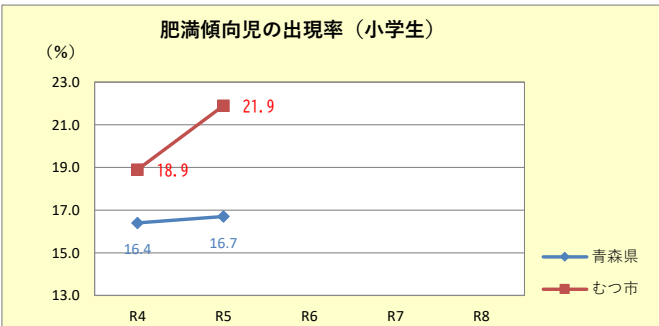
1. 施策体系と施策関係部局

基本方針	2. 教育・子育て環境の向上	関係部局
施策項目	(1) 教育	教育委員会事務局
施策内容	② 体育・健康教育の充実	

2. 基本計画における指標(KPI)

【上段: 県の値 下段: むつ市の値】

指標名	単位	基準値	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
肥満傾向児の出現率(小学生)	(%)	13.55	16.4	16.7	県平均下回る	県平均下回る	県平均下回る
		令和3年度	18.9	21.9			
肥満傾向児の出現率(中学生)	(%)	13.82	14.3	12.6	県平均下回る	県平均下回る	県平均下回る
		令和3年度	14.9	15.1			
体カテストの結果(小学生)	(ポイ)	55.10	50.4	54.2	県平均上回る	県平均上回る	県平均上回る
		令和3年度	49.2	53.1			
体カテストの結果(中学生)	(ポイ)	45.91	50.0	44.8	県平均上回る	県平均上回る	県平均上回る
		令和3年度	52.0	45.1			



3. 年次目標【令和5年度】

内容	実績(目標)	達成状況報告
健康の未来を変えるプロジェクト授業実施	3校(1校以上実施)	7月に正津川小学校において、健康の未来を変える授業として弘前大学の中路教授にお越しいただき、地域の方々もお招きして講演を行った。 田名部中学校と大平中学校の2校においても、予定通り事業を実施することができた。その中で、QOL健診を取り入れたことにより、参加生徒は自身の健康状態をもとに、今後の生活習慣について見直すことができた。
新体カテスト実施	小: 下回る / 中: 上回る (県平均値を上回る)	今年度の体カテストの結果()内は県平均。 小5男子: 51.15 (52.69) / 小5女子: 55.04 (55.68) 中2男子: 42.20 (42.05) / 中2女子: 47.92 (47.60)

《参考：令和4年度実績》				
内容	年次目標	実績	評価区分	取組状況(評価結果)
健康の未来を変えるプロジェクト授業実施	1校以上実施	1校	B 概ね良好	次年度の実施希望校が3校となり、事業の一層の充実に向け取組を進めることが可能となった。 小学校では県平均に届かなかったものの、中学校では男女とも県平均を上回り、日常的に体力の向上が図られていることの証左となった。 市内の学校から、自校の危機管理マニュアル改訂について問い合わせが入るなど、今回改訂した危機管理マニュアル活用に向けた取組が始まってきている。
新体力テスト実施	県平均を上回る	小:下回る/中:上回る		
学校危機管理マニュアル改訂	改訂版発行	冊子発行		

4. 関連するSDGsのゴール(17)とターゲット(169)

	3.7		4.7		10.2				
---	-----	---	-----	---	------	--	--	--	--

5. 令和5年度主要事業

【単位：千円】

事業名	事業内容		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
	重要業績評価指標	基準値	決算額	予算額	予定額	予定額	予定額
			目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
「健康の未来」を変える授業プロジェクト	社会医学の第一人者である弘前大学大学院医学研究科の中路重之特任教授の協力を得て、むつ市の健康課題の解決に向けた系統的な授業モデルと推進体制の構築に向け取り組む。 これまでの実践を基に作成した指導事例集を参考に、希望校で健康教育を進める。		39	77	77	77	77
	【実施校数(校)】	2 R3年度	2	2	2	2	2
小学生スポーツ文化活動・中学生部活動推進事業	小学校の運動部活動から地域スポーツ活動への移行にあたって、保護者、学校、スポーツ少年団等の関係者の理解と協力体制のもと、児童がスポーツ・文化活動に親しめる環境づくりを推進する。 中学校における望ましい部活動の在り方を検討するために協議会において、部活動指導員の運用状況の報告と、令和5年度から段階的に進められる土日の学校部活動の地域移行について検討する。		393	906	845	845	845
	【部活動指導員数(人)】	1 R3年度	1	2	2	2	2
	【スポーツ安全保険加入者数(外部指導者)(人)】	14 R3年度	15	15	15	15	15

6. 施策の進捗状況(内部評価)

	区分	選択区分	【評価の理由】
令和5年度施策内容の進捗状況(中間評価)	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	A	QOL健診を取り入れ、児童生徒一人一人が健康の大切さを自分事として考えられるよう、内容の充実が図られている。 予定どおり、市内全小中学校で実施することができた。
			【今後の取組の方向性】 次年度に向け、中路教授と連携を図りながら、日程・内容の調整を進めていく。 結果を踏まえ、次年度の計画訪問等で体力の保持増進について、各校に周知していく。

令和5年度施策内容 の進捗状況 (総合的な内部評価)	区分 A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	選択区分 B	【評価の理由】 QOL健診を取り入れ、児童生徒一人一人が健康の大切さを自分事として考えられるよう、内容の充実が図ることができた。 体力テストでは、中2が県平均を上回った。しかし、肥満傾向出現率は、小・中とも高い傾向にある。
			【今後の取組の方向性】 次年度は、合同実施を提案したりするなど、できるだけ多くの学校の児童生徒が関われるように、中路教授と連絡調整を図りながら事業を進めていく。 結果を踏まえ、次年度の計画訪問等で体力の保持増進について、各校に周知していく。

7. 施策の進捗状況(外部評価)

令和5年度施策内容 の進捗状況 (総合的な外部評価)	区分 A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている - わからない	選択区分	評価割合		【主な意見】 KPIのR5年度の小学生の肥満傾向児の出現率が大きくなっていますが、この理由と今後の対策についてお聞かせください。
			A	15.0%	
			B	80.0%	
			C	5.0%	
			D	0.0%	
			-	0.0%	

施策評価調書(令和5年度)

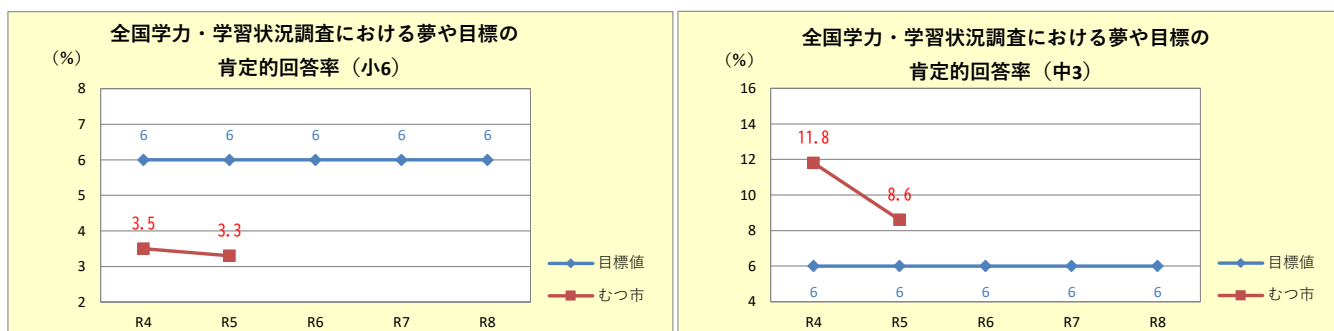
1. 施策体系と施策関係部局

基本方針	2. 教育・子育て環境の向上	関係部局
施策項目	(1)教育	教育委員会事務局
施策内容	③夢を育む教育	

2. 基本計画における指標(KPI)

【上段:全国の値 下段:むつ市の値】

指標名	単位	基準値	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
全国学力・学習状況調査における夢や目標の肯定的回答率(小6)	(%)	80.3	79.8	81.5	6割以上回る	6割以上回る	6割以上回る
		令和3年度	83.3	84.8			
全国学力・学習状況調査における夢や目標の肯定的回答率(中3)	(%)	68.6	67.3	66.3	6割以上回る	6割以上回る	6割以上回る
		令和3年度	79.1	74.9			



3. 年次目標【令和5年度】

内容	実績(目標)	達成状況報告
キャリア教育講演会での児童生徒によるA評価の割合	88.3%(80%)	キャリア教育推進事業(キャリア教育講演会)は、予定どおり小学校6校、中学校4校で実施することができた。
スクールサポーターの配置(特別支援教育の充実)	33名(33名)	特別支援教育研修講座を開催し、教員、スクールサポーターの資質向上を図った。また、幼稚園・保育園訪問を行い、来年度小学校入学予定の年長児について情報収集し、市役所関係課や小学校と情報共有した。 次年度、小学校(小学部)入学の年長児が、安心して新年度のスタートができるよう、入学先の小学校や特別支援学校に情報提供を行った。
不登校児童生徒への支援(教育相談室開設)相談室入室者の割合	11.5%(30%)	不登校等の悩みを抱える児童生徒の保護者との教育相談、並びに適応指導教室に通室する児童生徒への教育的ニーズに沿った支援を行った。 また、不登校支援に携わるスタッフの資質・向上のため、研修の機会を確保に努めた。 教育相談や適応指導教室での対応をはじめ、各校とも丁寧に情報共有した。実績値は入室者数に基づくため、中間報告(28.1%)より低下しているが、悩みを抱える児童生徒及び保護者に寄り添った支援を行うことにより、情緒の安定、自己肯定感の向上を図ることができた。

《参考：令和4年度実績》

内容	年次目標	実績	評価区分	取組状況(評価結果)
キャリア教育講演会での児童生徒によるA評価の割合	80%	99%	B 概ね良好	昨年度よりも申込みをした学校が2校増え、9校の学校で本事業を活用いただいている。今年度は、各学校の実態に応じて講師を選択できるように、新しく医師、プロ津軽三味線奏者や青森地方気象台の方に事業の講師依頼をした結果、これらの講師に対する学校からの希望が多くなり、学校の要望に応えられるものであった。 校長の勤務評定や学校アンケートの結果、ポジティブ評価が96%であったことから、各校の教育活動を支える重要な事業となっていると捉えられ、良好であると言える。 3月末までに来室相談30件、電話相談5件に対応した。そのうち不登校を主訴とする児童生徒21名が適応指導教室を利用した。通室によって内面的エネルギーが蓄えられ、様々なことに挑戦する意欲が生まれ、早期に学校復帰につながるケースもあった。
スクールサポーターの配置(特別支援教育の充実)	33名	33名		
不登校児童生徒への支援(教育相談室開設)	30%	29.3%		

4. 関連するSDGsのゴール(17)とターゲット(169)

	4.7		10.2						
---	-----	---	------	--	--	--	--	--	--

5. 令和5年度主要事業

【単位：千円】

事業名	事業内容		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
	重要業績評価指標	基準値	決算額	予算額	予定額	予定額	予定額
			目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
キャリア教育推進事業	キャリア教育の一環として、むつ下北または青森県出身者を中心に様々な分野で活躍をしている方の講話を聴く体験を通して、将来の職業に対する意識や学習意欲を向上させ、本市の未来を担う人材を育成することにつなげる。		155	652	819	819	819
	【児童生徒アンケート(%)】	98.0 R3年度	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0
スクールサポーター配置事業	小・中学校の通常学級並びに特別支援学級に在籍する多動傾向や要介助など、特別な配慮を必要とする児童生徒の学校生活を支援するために、希望する支援対象児童生徒在籍校へスクールサポーターを配置するものである。 各学校の要望と学校教育課で確認した児童生徒の状況をもとに、緊急性や必要感の高い学校にスクールサポーターを配置し、児童生徒の支援にあたっていただく。		45,736	49,553	49,164	49,164	49,164
	【スクールサポーター配置(人)】	33 R3年度	33	33	33	33	33
教育相談室費	教育研修センターにむつ市教育相談室を設置して、不登校傾向の児童生徒やその保護者、関係教職員に対して、教育相談員による教育相談活動を実施する。		5,282	5,428	5,428	5,428	5,428
	【不登校児童生徒のうち相談室来室者の割合(%)】	35.0 R3年度	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0
外国語指導助手派遣事業	小学校での外国語活動及び外国語科、中学校での外国語科、小・中学校での諸活動にALTを派遣することによって、児童生徒が我が国や諸外国の文化と伝統について関心と理解を深めるとともに、英語によるコミュニケーション能力の素地と基礎を養うものである。		18,403	19,228	20,534	20,954	21,014
	【外国語指導助手勤務評定(10点満点)(点)】	7.3 R3年度	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0

6. 施策の進捗状況（内部評価）

令和5年度施策内容 の進捗状況 (中間評価)	区分	選択区分	【評価の理由】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	A	<p>申込みをした学校が昨年度よりも1校増え、各校から好評を得ている。 学校現場の声からは、各校の教育活動を支える重要な事業となっていることがわかる。 スタッフの資質向上に向け、定期的に研修の場を設けている。</p> <p>【今後の取組の方向性】 今後も、より一層児童生徒や各学校のニーズに応えられるよう、事業内容の見直しを進めていく。 ハローワークへの求人票提出や、ホームページへの掲載等により、引き続き人材確保に取り組んでいく。 悩みを抱える児童生徒の居場所づくりや学校復帰に向けて、今後も充実した支援を行っていく。</p>

令和5年度施策内容 の進捗状況 (総合的な内部評価)	区分	選択区分	【評価の理由】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	B	<p>申込みをした学校が昨年度よりも1校増え、各校から好評を得た。 学校現場や関係機関からの声からは、各校の教育活動を支える重要な事業となっていることがわかる。 定期的にスタッフ研修の場を設ける等、資質向上に向けて取り組んだ。</p> <p>【今後の取組の方向性】 次年度は、別事業に移行し、学校が自由に講師を選定することができるようにした。 スクールサポーターの3名増を生かし、より学校のニーズに応じていくことができるよう進めていく。 悩みを抱える児童生徒の居場所づくりや学校復帰に向けて、新事業による検証も進めていく。</p>

7. 施策の進捗状況（外部評価）

令和5年度施策内容 の進捗状況 (総合的な外部評価)	区分	選択区分	評価割合		【主な意見】
			A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている - わからない		
			B	80.0%	
			C	5.0%	
			D	0.0%	
			-	5.0%	

施策評価調書(令和5年度)

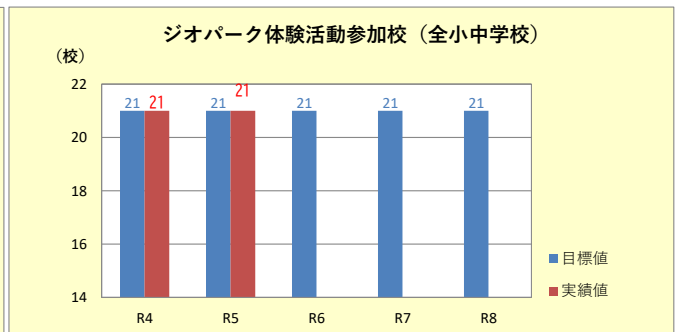
1. 施策体系と施策関係部局

基本方針	2. 教育・子育て環境の向上	関係部局
施策項目	(1)教育	教育委員会事務局
施策内容	④地域とともにある学校	

2. 基本計画における指標(KPI)

[上段:目標値 下段:実績値]

指標名	単位	基準値	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
学校運営協議会会議の結果を踏まえ、学校運営の改善、地域住民との共同活動に取り組んだ割合	(%)	65.0	100	100	100	100	100
		令和3年度	100	100			
ジオパーク体験活動参加校(全小中学校)	(校)	22	21	21	21	21	21
		令和3年度	21	21			



3. 年次目標【令和5年度】

内容	実績(目標)	達成状況報告
学校運営協議会開催	全小・中学校(全小・中学校)	開催回数 全小中学校(地区開催含む) 51回 出席者数 延べ306人 全学校で開催し、地域の意見を学校運営に反映させる取組ができた。
ジオパーク体験活動推進事業	12校(12校)	ジオパーク体験活動推進事業には、小学校5校、中学校7校が申請し、計画どおりジオパークを含めた体験活動が実施された。 ジオパーク体験活動推進事業を活用した学校に、児童生徒へのアンケートを実施し、次年度に向けた計画立案の参考とした。

《参考:令和4年度実績》

内容	年次目標	実績	評価区分	取組状況(評価結果)
学校運営協議会開催	全小・中学校	全小・中学校	A 良好	全小・中学校で学校運営協議会が開催され、委員の皆様の学校運営に関する理解が深まった。 各校では児童生徒の実態や地域の実情に応じたジオパーク学習を実施しており、活動内容も見学や体験活動など多岐にわたっている。また、ジオパーク推進課や生涯学習課、TABIあしすど等に出前授業の講師や見学のガイドを依頼し、活動の充実を図っている。
ジオパーク体験活動推進事業	10校	13校		

4. 関連するSDGsのゴール(17)とターゲット(169)

	4.1		10.2		14.2		15.2		
--	-----	--	------	--	------	--	------	--	--

5. 令和5年度主要事業

【単位:千円】

事業名	事業内容		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
	重要業績評価指標	基準値	決算額	予算額	予定額	予定額	予定額
コミュニティ・スクール	変化の激しい社会の中で複雑化・困難化する学校課題を解決し、学校と地域が連携・協働することで、子ども達のより良い成長を支えていく環境を整備するため、コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)の導入による学校づくりを推進する。コミュニティ・スクールの設置は、中学校ブロックに1つ設置することを基本とする。		965	1,996	1,996	1,996	1,996
	【ブロックにおける会議実施状況(%)】	100 R3年度	100	100	100	100	100
ジオパーク体験活動推進事業	ジオサイトの見学や学習活動を実施する小・中学校に対して、移動に要するバス借上料等必要な経費の一部を助成する。		1,654	1,887	1,946	2,000	2,000
	【ジオパーク体験活動推進事業活用校数(校)】	-	10	12	21	21	21
	【児童生徒アンケート(%)】	75.0 R3年度	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0

6. 施策の進捗状況(内部評価)

	区分	選択区分	【評価の理由】
令和5年度施策内容の進捗状況(中間評価)	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	A	全小・中学校で学校運営協議会が開催され、委員の皆様の学校運営に関する理解が深まった。 各校では、児童生徒の実態や地域の実情に応じた学習を実施しており、活動内容も見学や体験活動など多岐にわたっている。
			【今後の取組の方向性】 会議の運営状況や、学校運営の改善につながったかどうかを報告書等をもとにして確認する。 各校のジオパーク学習の充実に向けて、更なる支援を進める。

	区分	選択区分	【評価の理由】
令和5年度施策内容の進捗状況(総合的な内部評価)	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	A	全小・中学校で学校運営協議会が開催され、委員の皆様の学校運営に関する理解が深まった。 児童生徒のアンケートでは、「今までより地域に興味をもつようになった」が74%(前年度同値)、「地域学習で学んだ場所に行ってみよう」が71%(前年度64%)と、本事業が一定の役割を果たしていることがわかる。
			【今後の取組の方向性】 会議の運営状況や、学校運営の改善につながったかどうかを報告書等をもとにして確認する。 各校では、児童生徒の実態や地域の実情に応じた学習を実施しており、活動内容も見学や体験活動など多岐にわたっている。今後も、各校のジオパーク学習の充実に向けて更なる支援を進める。

7. 施策の進捗状況(外部評価)

令和5年度施策内容の進捗状況(総合的な外部評価)	区分	選択区分	評価割合		【主な意見】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている - わからない		A	65.0%	
			B	35.0%	
			C	0.0%	
			D	0.0%	
			-	0.0%	

施策評価調書(令和5年度)

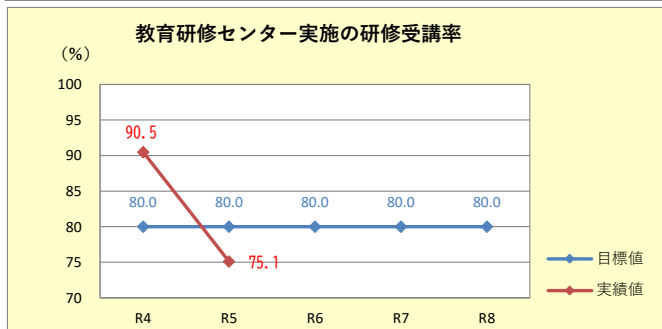
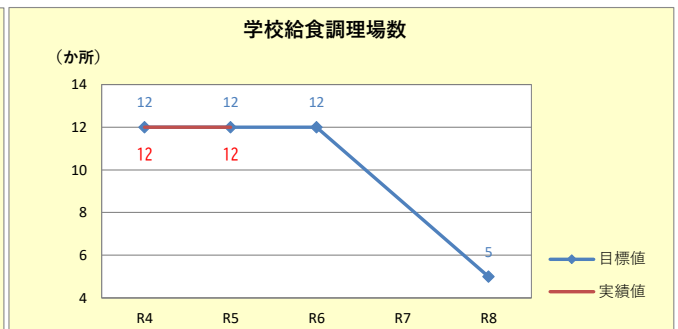
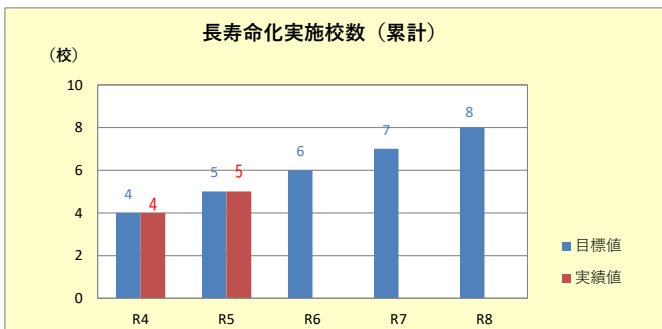
1. 施策体系と施策関係部局

基本方針	2. 教育・子育て環境の向上	関係部局
施策項目	(1)教育	教育委員会事務局
施策内容	⑤教育基盤の整備	

2. 基本計画における指標(KPI)

【上段:目標値 下段:実績値】

指標名	単位	基準値	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
長寿命化実施校数(累計)	(校)	3	4	5	6	7	8
		令和3年度	4	5			
学校給食調理場数	(か所)	12	12	12	12		5
		令和3年度	12	12			
教育研修センター実施の研修受講率	(%)	-	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0
		-	90.5	75.1			



3. 年次目標【令和5年度】

内容	実績(目標)	達成状況報告
長寿命化実施校数	1校(1校)	生徒の安全に十分配慮しながら予定通りに工事を進めることができ、令和5年12月18日で工事が完了した。底からの剥落の危険性は解消されて、安全性の確保が図られた。
(仮称)むつ市防災食育センター建設工事(予定通りの工事進捗)	12.7%(12.6%)	毎月1回の定例会議のほか、工事、監理、意図伝達の受注各社と随時協議を重ねながら、工程表通りに工事は進捗している。
教育研修センター実施の研修受講率	75.1%(80.0%)	夏季休業中の研修講座は、予定されていた12講座を実施することができた。実績値は計画値に届かなかったものの、研修参加者からは相応の満足度が得られている。

《参考：令和4年度実績》				
内容	年次目標	実績	評価区分	取組状況(評価結果)
長寿命化実施校数	1校	1校	A 良好	受注者、学校側と密に調整を図りながら予定通りに完工しており、施設長寿命化及び学習環境の改善を図ることができた。 本体工事に向けた各種調査、実施設計とも予定された委託期間内に完了しており、令和7年度の操業開始に向け順調な進捗が図られた。 講師との事前の打合せが綿密に行われ、充実した講座となった。受講者による評価では、肯定的評価が90%を超えるなど、概ね好評であった。
(仮称)むつ市防災食育センター実施設計	実施設計の完了	完了		
教育研修センター実施の研修受講率	80%	90.5%		

4. 関連するSDGsのゴール(17)とターゲット(169)

	4.3		10.2		11.3				
---	-----	---	------	---	------	--	--	--	--

5. 令和5年度主要事業

【単位：千円】

事業名	事業内容		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	
	重要業績評価指標	基準値	決算額 目標値	予算額 目標値	予定額 目標値	予定額 目標値	予定額 目標値	
小中学校整備事業	本市の学校施設の多くは昭和40年代から昭和50年代に建設されているため、老朽化の進行が顕著であり、毎年多額の修繕・改修の費用が発生している。 児童生徒が安全に、安心して学べるような学習環境を確保していく観点から、令和3年3月に策定されたむつ市学校施設の長寿命化計画に基づき、市内小中学校において長寿命化を中心とした計画的な老朽化対策を実施していく。 令和5年度においては、玄関底の剥落が生じている大平中学校において、玄関底の改修工事を施工する。後年度においても、個々の施設の状況を確認しながら、優先順位を判断し、費用負担の平準化を図りながら計画的に改修を進めていく。		50,732	8,120	0	0	0	
		【長寿命化実施校数(か所)】	3 R3年度	4	5	6	7	8
(仮称)むつ市防災食育センター建設事業	平時においては、衛生管理が充実した安心・安全な学校給食を提供するために使用し、災害時には防災機能を果たすことのできる総合的施設を建設することで、学校給食と防災両面の環境改善・向上を図る。 令和7年度より運用を開始し、令和11年度までに西通学校給食センター(H25.4運用開始)の対象エリアである川内・脇野沢地区を除く市内全域の小中学校へ学校給食を配送する。		19,653	102,487	2,939,746	4,466	1,075	
		【学校給食調理場数(か所)】	12 R3年度	12	12	12	4	3
弘前大学教育学部との連携推進事業	弘前大学との連携を通し教職員の資質向上を図るとともに、むつ市の学校が抱える教育課題の解決を図る。 ラボ・パス実験教室では、科学実験を通して科学への関心を高めるとともに、大学生との交流によるキャリア教育の推進を図る。		48	48	48	48	48	
		【弘前大学講師による研修講座受講者数(人)】	165 R3年度	165	165	165	165	165
		【ラボ・パス実験教室参加児童生徒数(人)】	-	62	73	5	14	42

6. 施策の進捗状況（内部評価）

令和5年度施策内容 の進捗状況 （中間評価）	区分	選択区分	【評価の理由】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	B	【評価の理由】 長寿命化は、計画通りに工事が進捗している。 防災食育センターは、計画通りに工事が進捗している。 受講率は計画値に達していないが、これまでのところ、予定していた講座をすべて実施できている。
		【今後の取組の方向性】 10月には文化祭も予定されていることから、生徒及び来訪者の安全に十分配慮しながら工事を進める。 工事関係者と随時協議を重ねながら、操業開始に遅れが生じないように事業を進めていく。 次年度に向けて、講座を精選している。なお、「学びの連携推進講座」については、「総合的な探究の時間」について、むつ下北の高等学校との連携を計画している。	

令和5年度施策内容 の進捗状況 （総合的な内部評価）	区分	選択区分	【評価の理由】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	B	【評価の理由】 長寿命化は計画通りに工事が完了した。 防災食育センターの令和5年度施工予定部分は計画通りの進捗が図られた。 研修受講率は計画値に達しなかったが、予定していた講座をすべて実施できた。
		【今後の取組の方向性】 長寿命化は安全な教育環境の確保に向け、各学校の状況を注視しながら必要な工事を進めていく。 防災食育センターは工事関係者と随時協議を重ねながら、操業開始に遅れが生じないように事業を進めていく。 講座内容を再検討し、次年度に向けて講座を精選した。また、「学びの連携推進講座」については、「総合的な探究の時間」について、むつ下北の高等学校との連携のもと実施することとした。	

7. 施策の進捗状況（外部評価）

令和5年度施策内容 の進捗状況 （総合的な外部評価）	区分	選択区分	評価割合		【主な意見】
			A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている - わからない		
		B	90.0%		
		C	0.0%		
		D	0.0%		
		-	0.0%		

施策評価調書(令和5年度)

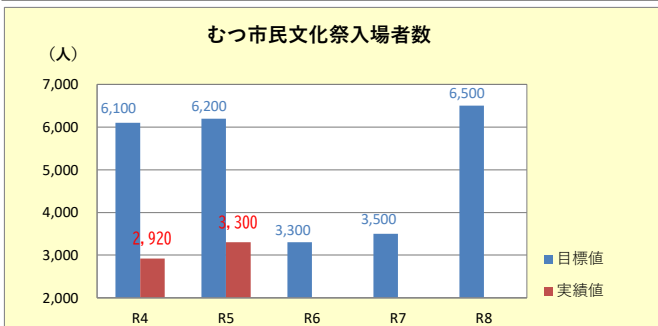
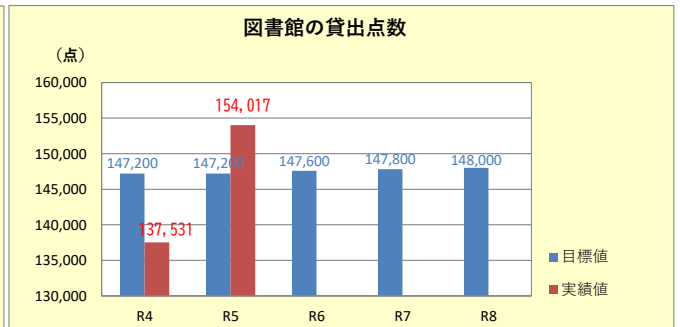
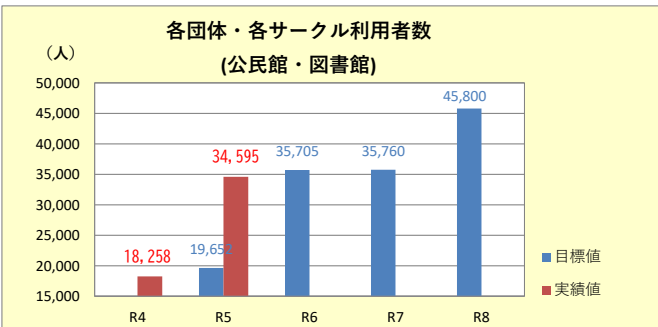
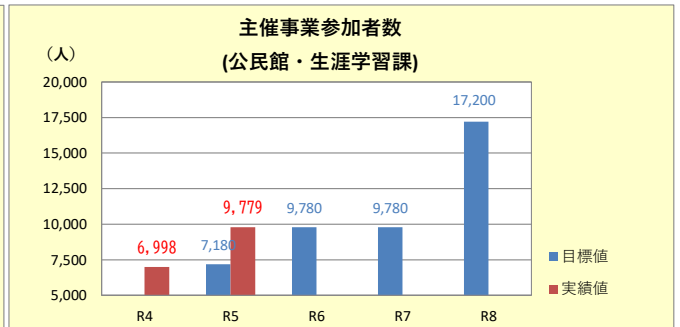
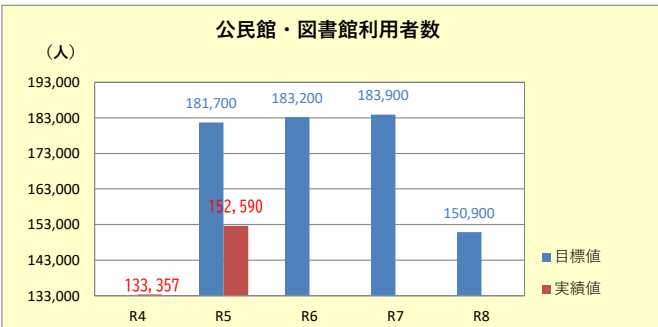
1. 施策体系と施策関係部局

基本方針	2. 教育・子育て環境の向上	関係部局
施策項目	(1)教育	教育委員会事務局
施策内容	⑥社会教育・文化の充実と文化財保存活用	

2. 基本計画における指標(KPI)

[上段:目標値 下段:実績値]

指標名	単位	基準値	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
公民館・図書館利用者数	(人)	150,021		181,700	183,200	183,900	150,900
		令和2年度	133,357	152,590			
主催事業参加者数 (公民館・生涯学習課)	(人)	16,526		7,180	9,780	9,780	17,200
		令和元、2年度	6,998	9,779			
各団体・各サークル利用者数 (公民館・図書館)	(人)	45,673		19,652	35,705	35,760	45,800
		令和2年度	18,258	34,595			
図書館の貸出点数	(点)	147,000	147,200	147,200	147,600	147,800	148,000
		令和3年度	137,531	154,017			
むつ市民文化祭入場者数	(人)	6,136	6,100	6,200	3,300	3,500	6,500
		令和元年度	2,920	3,300			



3. 年次目標【令和5年度】

内容	実績(目標)	達成状況報告
自然観察会参加人数(延べ)	61人(80人)	四季の自然観察会を実施。 春 芦崎自然観察 5月21日 参加者16人 夏 天体観察 8月25日 参加者20人 秋 川内川溪谷 10月14日 参加者17人 冬 川内川周辺 1月21日 参加者10人
むつ市民大学 公開講座参加者数(延べ)	375人(330人)	むつ市民大学公開講座を、5月～2月で10回開催予定で10回実施済み。 主な公開講座のテーマ「下北ジオパーク」「大湊ネブタの制作について」「大規模災害に備えて」「音楽で健康寿命を延ばそう」「むつ市地域おこし協力隊の活動」「むつ市長として今伝えたいこと」
図書館主催イベントの 参加人数(延べ)	3,385人(2,500人)	今年度新たに、川島雄三WEEKと題した上映会と企画展を開催したところ利用者から好評を得た。またクーリングシェルター設置期間中に独自事業として映画上映をしたところ、来館人数の増加へつながった。 魅力ある自主事業の開催を心がけたことにより参加者から好評を得た。推し本等の企画展示では、利用者の関心を集め読書活動の活性化にもつながった。
むつ☆かつへの参加生徒数	217人(255人)	4月の体験期間を経て、5月から、文化クラブ10種類、スポーツクラブ3種類が「むつ☆かつ」を開始している。計画値を下回っているものの、部活動を選択しない生徒の半分以上が参加している。年間を通じて、大きな支障も無く、新たな形で地域クラブ運営を展開することができた。

《参考：令和4年度実績》

内容	年次目標	実績	評価区分	取組状況(評価結果)
スタンプラリーの参加人数延べ	1,450人	1,399人	B 概ね良好	スタンプラリーは、市民・児童から好評を得ている。 自然観察会、文化賞・文化奨励賞受賞者紹介展は、市民から好評を得ている。 市民大学公開講座については、施設見学が中止になったが、それ以外の講座については予定どおり実施しており、学びの場を提供することができている。 令和5年度からの一部種目の地域クラブ化に向け、運営実施主体の設立や関係者等との協議検討を進めており、概ねスケジュール通りに進捗している。
自然観察会参加者人数	60人	43人		
文化賞・文化奨励賞受賞者紹介 入場者数	100人	132人		
むつ市民大学公開講座参加者数	380人	306人		
むつ市版 総合型文化・スポーツクラブ創設への準備	中学校文化部活動の 地域移行	地域文化・スポーツクラブ 設立準備室の設置 むつ☆かつ設立総会の実施		

4. 関連するSDGsのゴール(17)とターゲット(169)

	4.7		10.2		11.7				
---	-----	---	------	---	------	--	--	--	--

5. 令和5年度主要事業

【単位:千円】

事業名	事業内容		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
	重要業績評価指標	基準値	決算額	予算額	予定額	予定額	予定額
			目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
地域学校協働活動推進事業	地域と学校が連携・協働し、地域全体で子供たちの学びや成長を支えるとともに、学校を核とした地域づくりを目指す、青森県学校・家庭・地域連携協力推進事業に基づいた補助事業。(補助率 国1/3、県1/3、市1/3) また、音楽によるまちづくり事業、芸術鑑賞教室事業、自然観察会なども本事業に含め、地域と学校との連携・協働を一層深めながら、地域学校協働活動を推進する。		78	83	83	83	83
	【地域学校協働本部事業実施回数(回)】	8	9	10	11	12	13
	【地域学校協働本部事業延べ参加者数(人)】	181	180	200	220	240	260
	【地域学校協働本部事業延べ協力者数(人)】	82	90	100	110	120	130
		R3年度					
むつ市民大学	市民の多種多様化する学習ニーズに応え、生きがいの創造を促進し、「自ら学び、自ら運営する」ことを基本方針に現代課題等の一般教育や専門知識を学習する機会の提供を図る。 市民の生涯学習及び社会参加活動に資することを目的に、「いつでも・どこでも・だれでも参加出来るむつ市民大学」とし、生涯学習社会への構築に努める。		527	746	746	746	746
	【主催事業参加者数(公民館・生涯学習課)(人)】	353	360	360	360	360	360
		R3年度					
図書館を活用した社会教育推進事業	これまで図書館で行われてきた自主事業をさらに活性化させ来館者の増加を図り、単に図書等の貸出数の増だけでなく地域の交流の場を提供する。		209	357	357	357	357
	【主催イベントの延べ参加者人数(人)】	2,240	2,370	2,500	2,500	2,500	2,500
		R3年度					
地域文化・スポーツクラブ推進事業	国からの中学校の運動部活動及び文化部活動の地域移行についての提言を踏まえ、市として令和4年10月25日に「地域文化・スポーツクラブ設立準備室」を設置し、中学校部活動の地域移行及び「総合型クラブ」の設立に向け準備を進めている。 令和5年度より、中学生が文化・スポーツ活動に気軽に親しみ、愉しむ環境を整えながら文化・スポーツ活動の振興を図るため、活動の実施主体である「むつ市文化・スポーツクラブ(愛称:むつ☆かつ)」を立ち上げ、中学校部活動の地域移行を段階的に進めていく。		950	135,776	-	-	-
	【むつ☆かつへの参加生徒数(%)】	-	-	20.0	21.0	22.0	23.0
		-					

6. 施策の進捗状況（内部評価）

令和5年度施策内容 の進捗状況 (中間評価)	区分	選択区分	【評価の理由】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	B	【評価の理由】 自然観察会は定員以上の申し込みがあり、気軽に参加できる自然学習の場として定着している。 予定どおり実施し、学びの場を提供することができている。 図書館主催事業及びイベント等に関する参加状況はおおむね良好である。 計画値を下回っているものの、中学生全体の約16%が「むつ☆かつ」へ参加し、さらに部活動を選択しない生徒のうち半分以上が参加していることから、新たな放課後活動の受け皿となっているものと認め「概ね良好」と判断する。 【今後の取組の方向性】 春夏秋冬、年4回の観察会を継続していく。 運営委員と協議し、登録者及び参加者が興味ある内容や地域の課題等を題材として公開講座を開催していく。 今後も魅力ある自主事業を展開し読書活動の活性化に努める。 「むつ☆かつ」において、既存クラブの運営維持を図りながら、特に文化クラブに所属する生徒に成果発表する機会を創出することで、生徒自身が目標ややりがいを持てるような活動を目指す。また、令和6年度以降の新たに地域移行する種目について、学校をはじめとした関係団体等との連携しながら検討・推進する。

令和5年度施策内容 の進捗状況 (総合的な内部評価)	区分	選択区分	【評価の理由】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	B	【評価の理由】 自然観察会は定員以上の申し込みがあり、気軽に参加できる自然学習の場として定着している。今年度の参加率は76%となっている。 むつ市民大学を予定どおり実施し、主催事業の中で学びの場を提供することができた。アンケートでは「大変満足」「満足」が89%であった。 図書館主催事業及びイベント等に関する参加状況はおおむね良好であった。 計画値を下回っているものの、中学生全体の約16%が「むつ☆かつ」へ参加し、さらに生徒・保護者アンケートにおいて得られた回答の大多数が本事業に対して満足度の高い内容となっており、概ね良好な事業展開であった。 【今後の取組の方向性】 春夏秋冬、年4回の観察会を継続していく。次年度からは名称を「自然観察学習会」へ変更する。 運営委員の主体的活動を支援し、登録者及び参加者の興味ある内容や、地域の話題を題材として公開講座を開催していく。 今後も魅力ある自主事業を展開し読書活動の活性化を図る。 「むつ☆かつ」において、既存クラブの運営維持を図りながら、特に文化クラブに所属する生徒に、目標ややりがいを持てるような活動を目指す。また、令和7年度に地域移行する種目について円滑に進められるよう、学校や関係団体等との連携、調整をはかる。

7. 施策の進捗状況（外部評価）

令和5年度施策内容 の進捗状況 (総合的な外部評価)	区分	選択区分	評価割合	【主な意見】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている - わからない			A 5.0% B 85.0% C 10.0% D 0.0% - 0.0%

施策評価調書(令和5年度)

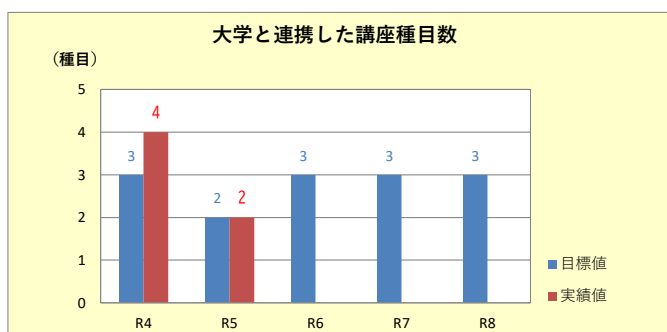
1. 施策体系と施策関係部局

基本方針	2. 教育・子育て環境の向上	関係部局
施策項目	(1)教育	教育委員会事務局
施策内容	⑦変化に対応できる人材の育成	

2. 基本計画における指標(KPI)

【上段:目標値 下段:実績値】

指標名	単位	基準値	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
大学と連携した講座種目数	(種目)	-	3	2	3	3	3
		令和3年度	4	2			



3. 年次目標【令和5年度】

内容	実績(目標)	達成状況報告
新たな知識を習得するため、高等教育機関と連携した講座を開設する。	2種目(2種目)	9月に放送大学公開講演会を開催し、参加者は28名であった。 10月に青森大学むつキャンパスで、2月は中央公民館で、青森大学教授を講師に市民大学講座を開催。 10月「なぜ、今SDGsなのか」受講者25人 2月「健康を保つ植物ポリフェノール」受講者35人

《参考:令和4年度実績》

内容	年次目標	実績	評価区分	取組状況(評価結果)
新たな知識を習得するため、高等教育機関と連携した講座を開設する。	1講座	4講座	B 概ね良好	今年度開校した「青森大学むつキャンパス」内で開催する初めての試みであったが、キャンパス内に初めて訪れた方や、リモートによる講演も初体験の方も多く、概ね好評であった。 東大ラクロス部員による勉強相談会及びラクロス体験会には、難関大への進学を目指す高校生や運動部活動に取り組む高校生が延べ39名参加し、クイズ大会については市内の小中学生24名が参加した。いずれの企画についても概ね好評であった。

4. 関連するSDGsのゴール(17)とターゲット(169)

	4.7		10.2		11.7				
--	-----	--	------	--	------	--	--	--	--

5. 令和5年度主要事業

【単位：千円】

事業名	事業内容		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
	重要業績評価指標	基準値	決算額	予算額	予定額	予定額	予定額
むつ市民大学	市民の多種多様化する学習ニーズに応え、生きがいの創造を促進し、「自ら学び、自ら運営する」ことを基本方針に現代課題等の一般教育や専門知識を学習する機会の提供を図る。 市民の生涯学習及び社会参加活動に資することを目的に、「いつでも・どこでも・だれでも参加出来るむつ市民大学」とし、生涯学習社会への構築に努める。		527	746	746	746	746
		【市民大学公開講座参加者(人)】	353 R3年度	360	360	360	360

6. 施策の進捗状況(内部評価)

令和5年度施策内容の進捗状況(中間評価)	区分	選択区分	【評価の理由】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	A	講演内容についてのアンケートは「とても良かった」「良かった」が95%であった。 【今後の取組の方向性】 今後も継続して開催していく。SNS等での周知も検討する。

令和5年度施策内容の進捗状況(総合的な内部評価)	区分	選択区分	【評価の理由】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	B	9月の講演内容についてのアンケートは「とても良かった」「良かった」が95%であった。市民大学講座のアンケートは、10月は「大変満足」「満足」が87%、2月は95%であった。 【今後の取組の方向性】 受講者(市民)のニーズを把握し、高等教育機関と連携を深めながら、現代社会や地域での課題をテーマに、大学を活用した講座等の開設を推進していく。SNS等での周知も検討する。

7. 施策の進捗状況(外部評価)

令和5年度施策内容の進捗状況(総合的な外部評価)	区分	選択区分	評価割合		【主な意見】
A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている - わからない			A	20.0%	
			B	65.0%	
			C	10.0%	
			D	0.0%	
			-	5.0%	

施策評価調書(令和5年度)

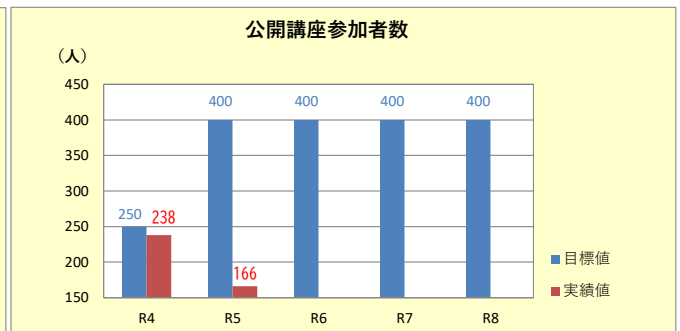
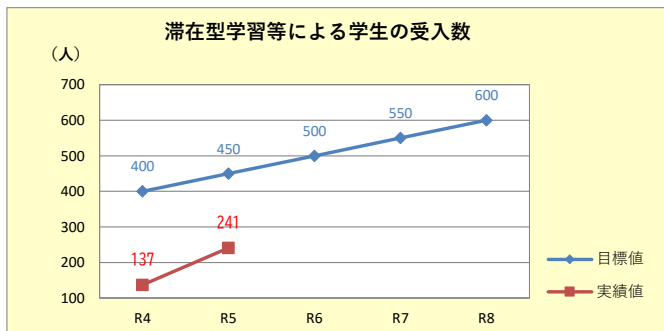
1. 施策体系と施策関係部局

基本方針	2. 教育・子育て環境の向上	関係部局
施策項目	(1) 教育	企画政策部
施策内容	⑧ 高等教育機関との連携	

2. 基本計画における指標(KPI)

[上段:目標値 下段:実績値]

指標名	単位	基準値	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
滞在型学習等による学生の受入数	(人)	347	400	450	500	550	600
		令和元年度	137	241			
公開講座参加者数	(人)	278	250	400	400	400	400
		令和元年度	238	166			



3. 年次目標【令和5年度】

内容	実績(目標)	達成状況報告
滞在型学習による学生の受入数	241人(300人)	弘前大学、青森中央学院大学、青森大学の学生241名の滞在中を受入し、市内教育機関と連携した学習事業や下北をフィールドとした野外学習を行った。
公開講座実施	6講座(10講座)	実施を予定していた6講座(ジオパークや食育、法律)全てが完了した。
キャンパス祭学生参加者数	150人(150人)	令和5年10月29日(日)に開催し、弘前大学・青森中央学院大学・青森大学・青森明の星短期大学の学生150名が参加。

《参考:令和4年度実績》

内容	年次目標	実績	評価区分	取組状況(評価結果)
滞在型学習等による学生の受入数	400人	137人	C やや不良	協定を結ぶ4大学との連携により、まちの賑わい創出及び地域経済の活性化に繋げることができた。また、滞在型学習を活用したことのある団体がリーダーになっていることに加え、新たな団体からの相談も増えている。しかしながら、コロナ禍における大学等の活動制限もあり、受入人数は計画値に達することができなかった。 当初予定していた講座は実施できたものの、公開講座の充実につなげることはできなかったことから、やや不良とした。
公開講座実施	10講座	8講座		

4. 関連するSDGsのゴール(17)とターゲット(169)

	4.3		8.6		9.4		10.2		11.3
	17.17								

5. 令和5年度主要事業

【単位：千円】

事業名	事業内容		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
	重要業績評価指標	基準値	決算額	予算額	予定額	予定額	予定額
			目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
むつサテライトキャンパス事業	高等教育機会の充実、滞在型学習の支援及び大学と連携した事業実施の拠点とするため、むつ市、弘前大学及び青森中央学院大学の三者共同で平成27年10月6日に「弘前大学・青森中央学院大学むつサテライトキャンパス」を開設し、運営している。主に公開講座や滞在型学習支援の事業を行っており、むつ市民や各大学の学生の人財育成に取り組む。		505	1,780	1,277	1,277	1,277
	【「社会教育の充実」における満足度の向上(点)】	-	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0
	【地域研修の誘致(大学生の受入)(人)】	347 R元年度	400	450	500	550	600
	【社会人、主婦、高校生向けの講座(講座)】	7 R元年度	10	10	10	10	10
むつ下北未来創生キャンパス活用促進事業	金谷公園と一体的に、学び、交流、文化、コミュニケーションの拠点として令和4年4月に開設した「むつ下北未来創生キャンパス」の活用促進を図るため、市内にキャンパスを置く、青森大学、青森明の星短期大学、従来よりサテライトキャンパスとして当市と連携している弘前大学、青森中央学院大学の合同大学祭を中心に、商工会議所とのコラボレーション、市内飲食店の出店等により、学生と地域住民の交流促進、賑わいの創出、地域経済の活性化等を図る。		3,066	3,072	3,072	3,072	3,072
	【合同キャンパス祭への大学生参加者数(人)】	- -	100	115	130	145	150

6. 施策の進捗状況(内部評価)

	区分	選択区分	【評価の理由】
令和5年度施策内容の進捗状況(中間評価)	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	B	新規団体からの申込が増加したが、受入人数は目標値の達成が難しいため、やや不良と評価する。 当初予定していた講座を概ね実施することができた。 多くの学生が参加し、キャンパス祭を大いに盛り上げることができ、来場者数も昨年度に比べて大幅に増加した。(約2,000人→約3,000人)
			【今後の取組の方向性】 滞在型学習事業の活用促進のための広い周知に努める。 各講座の受講者アンケート結果を分析し、市民ニーズにあった質の高い講座を今後は実施する。また、実演を含む講座が好評のため、継続して実施していく。 来年度も多くの学生に参加していただき、地域住民の交流促進、賑わいの創出、地域経済の活性化を図る。

	区分	選択区分	【評価の理由】
令和5年度施策内容の進捗状況(総合的な内部評価)	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	B	滞在型学習は新規団体からの申込が増加したが、受入人数は目標値を下回ったため、やや不良と評価する。 計画値よりは少ないが、当初予定していた講座を全て実施することができた。 多くの学生が参加し、キャンパス祭を大いに盛り上げることができ、来場者数も昨年度に比べて大幅に増加した。(約2,000人→約3,000人)
			【今後の取組の方向性】 滞在型学習事業の活用促進のための広い周知に努める。 各講座の受講者アンケート結果を分析し、市民ニーズにあった質の高い講座を今後は実施する。また、実演を含む講座が好評のため、継続して実施していく。 来年度も多くの学生に参加していただき、地域住民の交流促進、賑わいの創出、地域経済の活性化を図る。

7. 施策の進捗状況（外部評価）

	区分	選択区分	評価割合		【主な意見】
令和5年度施策内容 の進捗状況 (総合的な外部評価)	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている - わからない	/	A	0.0%	/
			B	80.0%	
			C	20.0%	
			D	0.0%	
			-	0.0%	

施策評価調書(令和5年度)

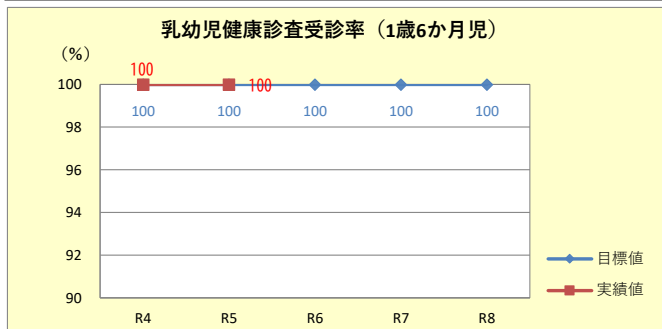
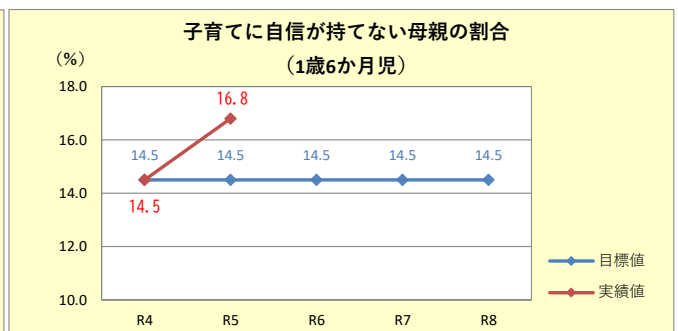
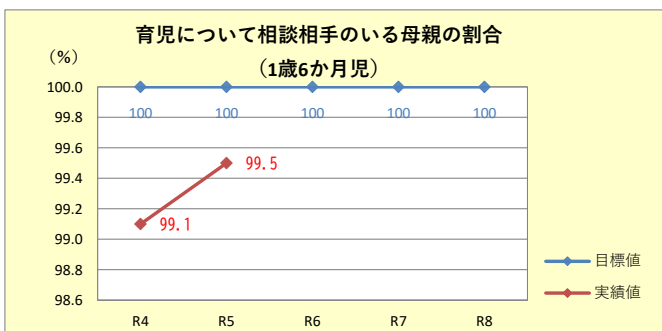
1. 施策体系と施策関係部局

基本方針	2. 教育・子育て環境の向上	関係部局
施策項目	(2)子ども・子育て支援	子どもみらい部
施策内容	①妊娠期からの切れ目のない子育て支援	

2. 基本計画における指標(KPI)

【上段:目標値 下段:実績値】

指標名	単位	基準値	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
育児について相談相手のいる母親の割合 (1歳6か月児)	(%)	98.7	100	100	100	100	100
		令和2年度	99.1	99.5			
子育てに自信が持てない母親の割合 (1歳6か月児)	(%)	18.1	14.5	14.5	14.5	14.5	14.5
		令和2年度	14.5	16.8			
乳幼児健康診査受診率(1歳6か月児)	(%)	96.8	100	100	100	100	100
		令和2年度	100	100			



3. 年次目標【令和5年度】

内容	実績(目標)	達成状況報告
育児に自信のもてない母の割合(1歳6ヶ月児)	16.8%(14.5%以下)	保健師、看護師、子育てコンシェルジュ等による妊娠・出産・育児に関する電話や対面による相談を実施するとともに、母子健康手帳交付時や出生届に来庁した乳児等を対象に各種サービス等について説明しながらセルフプランを作成し、個々の状況に応じた支援を行うことにより、育児負担や育児不安の軽減に努めた。
乳幼児健康診査受診率(1歳6ヶ月児)	100%(100%)	乳幼児健診を実施し、健康状態の確認、助言及び保健指導を行った。未受診の場合には、欠席の連絡をいただくとともに、通知や電話により受診勧奨し、受診率の向上を図った。 【1歳6か月児健診実績】 対象241人、受診241人、受診率100%

《参考：令和4年度実績》				
内容	年次目標	実績	評価区分	取組状況(評価結果)
育児に自信の持てない母の割合(1歳6ヶ月児)	14.5%以下	13.3%	A 良好	育児に自信の持てない母の割合は目標値を達成した。個々に応じた相談、情報提供を行うとともに、『にっこりっこ』の普及啓発を強化して実施することができた。 未受診児対応マニュアルに基づき受診勧奨を実施し、受診率は目標値を達成した。
乳幼児健康診査受診率(1歳6ヶ月児)	100%	100%		

4. 関連するSDGsのゴール(17)とターゲット(169)

	1.3		2.2		3.2		4.2		5.4
	10.4		11.7						

5. 令和5年度主要事業

【単位：千円】

事業名	事業内容		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
	重要業績評価指標	基準値	決算額	予算額	予定額	予定額	予定額
			目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
Smile Kids Office にっこりっこ 運営事業	妊娠期から子育て期にわたる様々なニーズに対応し、安心して過ごせるように切れ目のない支援を提供するむつ市子育て世代包括支援センターとして開設。子どもみらい部を「にっこりっこ」の総合相談窓口として、各庁舎及びキッズパークを地域相談窓口として、母子保健施策と子育て支援施策の一体的な提供を行い、妊産婦や乳幼児に関する包括的な支援を行う。		3,829	4,701	4,701	4,701	4,701
	【子育てに自信の持てない母親の割合(1歳6か月児)(%)】	15.9 R3年度	14.5	14.5	14.5	14.5	14.5
	【子育てに自信の持てない母親の割合(3歳児)(%)】	17.4 R3年度	15.0	15.0	15.0	15.0	15.0
乳幼児健康診査事業費	運動機能、視聴覚などの障がい、精神発達の遅滞などの障がいをもつ幼児を早期に発見し、心身障害の進行を未然に防止するとともに、個々の生活習慣の確立、おし歯の予防、栄養、育児に関する支援を行い、幼児の健康保持及び増進を図る(母子保健法第12条)。対象の月齢に合わせ、身体発育・精神発達に関して小児科医及び歯科医師の診察、耳鼻科医師による総合的な健康診査を実施する。保健師などによる保健相談なども併せて実施する。また、健康増進計画の施策でもある、う歯保有数の減少を目指し、歯科衛生士によるブラッシング指導を実施する。その他、低身長や肥満、斜視(視力障害)、難聴の異常の早期発見に努めるとともに言語や情緒の発達など、軽度の精神発達遅滞を早期発見し、就学までに必要な療育支援が行われるよう支援する。身体的な疾病のスクリーニングだけではなく子育て支援や虐待の早期発見・予防に努める。		8,201	6,149	6,149	6,149	6,149
	【健診受診率(%、10か月児：1歳6か月児)】	95.1:99.3 R3年度	100:100	100:100	100:100	100:100	100:100
	【健診受診率(%、2歳児：3歳児)】	97.4:98.9 R3年度	100:100	100:100	100:100	100:100	100:100
	【精密検査受診率(%、10か月児：1歳6か月児)】	100:81.3 R3年度	100:100	100:100	100:100	100:100	100:100
	【精密検査受診率(%、2歳児：3歳児)】	88.9:81.4 R3年度	100:100	100:100	100:100	100:100	100:100
	【乳幼児健診に満足している者(1歳6か月児)(%)】	31.1 R3年度	48.0	33.0	38.0	43.0	48.0
	【乳幼児健診に満足している者(3歳児)(%)】	24.1 R3年度	40.0	28.0	32.0	36.0	40.0

6. 施策の進捗状況（内部評価）

令和5年度施策内容 の進捗状況 (中間評価)	区分	選択区分	【評価の理由】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	B	<p>電話や面談による相談を実施し、育児不安等の軽減に努めることができたこと、また、1歳6か月児健診をはじめとする乳幼児健診を実施し、子ども及び保護者に対する支援を実施することができたこと、年次目標値には及ばなかったものの、目標値に近い値であることから、概ね良好と評価した。</p> <p>【今後の取組の方向性】 健診未受診者に対する受診勧奨を行い、受診率の向上を図るとともに、電話相談、来庁による相談及び健診等による支援を継続して実施し、保護者が安心して育児できるように支援していく。</p>

令和5年度施策内容 の進捗状況 (総合的な内部評価)	区分	選択区分	【評価の理由】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	B	<p>1歳6か月児健診における育児に自信が持てない保護者の割合は目標値を下回ったものの、1歳6か月児健診受診率は目標値の100%を達成したこと、また、電話や面談による相談や健診を通して子どもや家族個々の状況に応じた支援を実施し、家族の育児不安等の軽減に向けた取り組みを実施したことから、概ね良好と評価した。</p> <p>【今後の取組の方向性】 電話、来庁等による相談や健診において、個々の状況に応じた個別支援を実施するとともに、妊娠・出産・子育てに関する情報提供を行い、子どもの健やかな成長と家族が安心して子育てできることへつなげていく。</p>

7. 施策の進捗状況（外部評価）

令和5年度施策内容 の進捗状況 (総合的な外部評価)	区分	選択区分	評価割合		【主な意見】
			A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている - わからない		
			B	85.0%	
			C	10.0%	
			D	0.0%	
			-	0.0%	

施策評価調書(令和5年度)

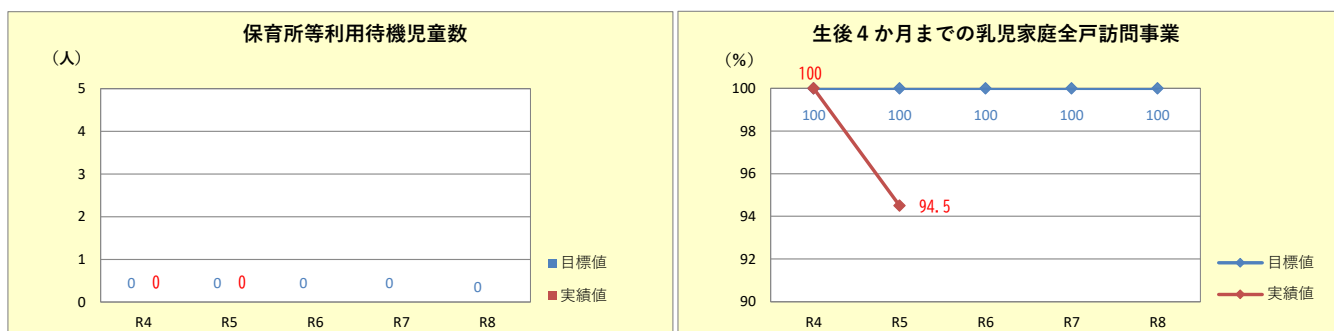
1. 施策体系と施策関係部局

基本方針	2. 教育・子育て環境の向上	関係部局
施策項目	(2)子ども・子育て支援	子どもみらい部
施策内容	②児童福祉の充実	

2. 基本計画における指標(KPI)

【上段:目標値 下段:実績値】

指標名	単位	基準値	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
保育所等利用待機児童数	(人)	4	0	0	0	0	0
		令和2年度	0	0			
生後4か月までの乳児家庭全戸訪問事業	(%)	99.3	100	100	100	100	100
		令和2年度	100	94.5			



3. 年次目標【令和5年度】

内容	実績(目標)	達成状況報告
保育施設の(増)改築への補助金交付(令和4~5年度)	1施設(1施設)	令和5月12月本体工事完了。令和6年3月旧園舎解体工事完了により事業完成。(対象施設:柳町ひまわり保育園)
生後4か月までの乳児家庭全戸訪問率	94.5%(100%)	里帰りや入院中など、年度内に訪問出来なかったケースはあるが、今後も実施に向けて、訪問日程の調整を継続する。それ以外のケースについては、訪問を実施し、子育ての孤立化防止を図ることが出来た。

《参考:令和4年度実績》

内容	年次目標	実績	評価区分	取組状況(評価結果)
保育施設の(増)改築への補助金交付(令和4~5年度)	1施設	1施設	B 概ね良好	建築工事契約及び着工に多少の遅れが見られたが、R6.3月末の完成に向けて予定通り進行している。 全世帯へ訪問し育児に関する情報を提供することで、育児に対する不安の軽減と子育ての孤立化防止に繋げることが出来た。
生後4か月までの乳児家庭全戸訪問率	100%	100%		

4. 関連するSDGsのゴール(17)とターゲット(169)

	1.2		3.2		3.8		4.2		10.2
	11.7								

5. 令和5年度主要事業

【単位:千円】

事業名	事業内容		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
	重要業績評価指標	基準値	決算額	予算額	予定額	予定額	予定額
			目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
むつ市就学前教育・保育施設整備費補助金事業	待機児童の解消もしくは子育て環境の整備・充実を図るため、保育施設の整備に要する経費について、予算の範囲内において、補助金を交付する。		106,470	114,604	106,470	106,470	106,470
	【事業実施施設数(施設)】	1	1	1	1	1	
	【保育所等利用待機児童数(人)】	0	0	0	0	0	
生後4か月までの全戸訪問事業	生後4か月までの乳児がいる全ての家庭を保健師等の資格を持つ訪問員が訪問し、子育ての孤立化防止のため、様々な不安や悩みを聞き、アドバイスや子育て支援に関する地域の情報を提供するなどのサポートを行い、乳児の健全な育成を図る。		879	1,473	1,473	1,473	1,473
	【家庭訪問率(%)】	100	100	100	100	100	
		R3年度					

6. 施策の進捗状況

令和5年度施策内容の進捗状況 (中間評価)	区分	選択区分	【評価の理由】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	B	<p>当初の予定通り進められている。 訪問率90.6%は昨年度同時期の85.9%を上回っている。</p> <p>【今後の取組の方向性】 適宜進捗状況を確認し、令和6年3月末の完成・供用開始を目指す。 訪問率100%を目指すとともに、転入世帯も対象にするなど、子育ての孤立化防止に繋がられるよう継続していく。</p>

令和5年度施策内容の進捗状況 (総合的な内部評価)	区分	選択区分	【評価の理由】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	B	<p>工事は当初の予定通り事業完成。 里帰りや入院中など、日程調整がつかなかったケース以外は、訪問することができた。</p> <p>【今後の取組の方向性】 子育て環境の整備・充実を図るため、教育・保育施設整備に対する支援を継続していく。 訪問率100%を目指すとともに、今後も育児に対する不安や負担感が軽減されるよう支援していく。</p>

7. 施策の進捗状況(外部評価)

令和5年度施策内容の進捗状況 (総合的な外部評価)	区分	選択区分	評価割合		【主な意見】
A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている - わからない			A	5.0%	虐待、ネグレクトを防ぐためにも家族社会的に家庭を観察指導する目も必要ではないか。 児童相談所との連携
			B	85.0%	
			C	10.0%	
			D	0.0%	
			-	0.0%	

施策評価調書(令和5年度)

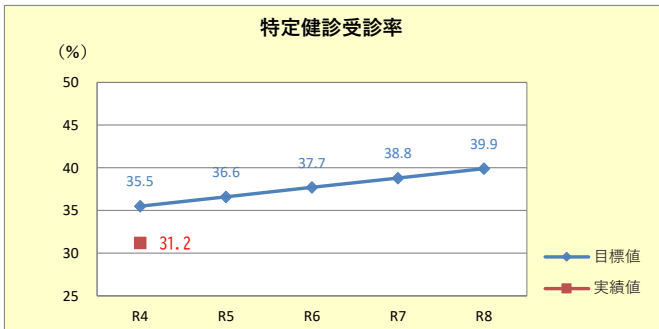
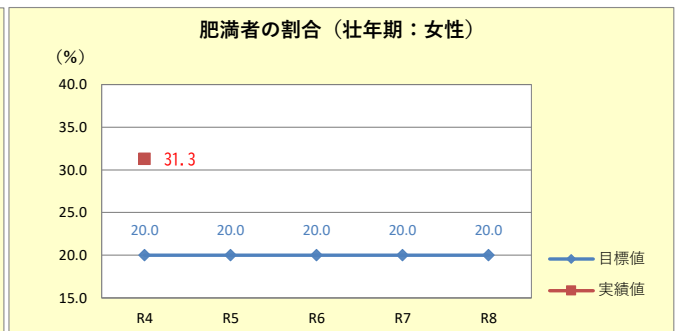
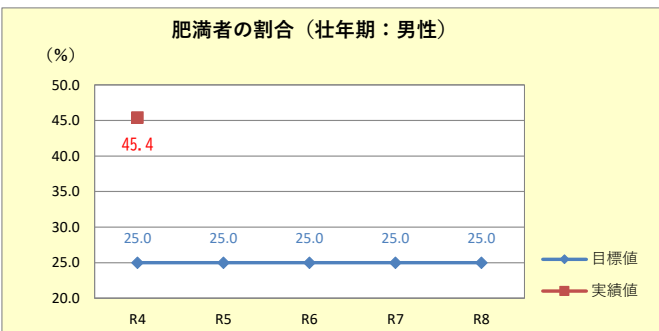
1. 施策体系と施策関係部局

基本方針	3. 高齢者福祉・医療・暮らしの充実	関係部局
施策項目	(1)健康・福祉	健康づくり推進部
施策内容	①一人ひとりの健康づくりの推進	

2. 基本計画における指標(KPI)

[上段:目標値 下段:実績値]

指標名	単位	基準値	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
肥満者の割合(壮年期:男性)	(%)	47.1	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0
		令和2年度	45.4	—			
肥満者の割合(壮年期:女性)	(%)	28.2	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0
		令和2年度	31.3	—			
特定健診受診率	(%)	34.4	35.5	36.6	37.7	38.8	39.9
		令和元年度	31.2	—			



3. 年次目標【令和5年度】

内容	実績(目標)	達成状況報告
BMI25以上の方の割合(健幸アップ)	1.5%増加(10%減少)	参加者の初回測定において、BMI25以上の方の割合は36.3%であった。参加者の肥満率を減少させるため、9月に自治体対抗歩数イベントを1ヶ月間開催した。参加者の最終測定において、BMI25以上の方の割合は30.0%であり増加となったが、BMI25以上(初回測定)の方の約半数にBMI値の減少が見られた。
特定健康診査未受診者に対する受診勧奨はがきの送付回数	3回(3回)	6月(6,644通)と8月(6,298通)に特定健診の受診や申込をしていない方を対象に受診勧奨を送付した。また、国保加入手続きのため来庁した方へチラシを渡し、個別に特定健診の案内を行った。 1月9日に特定健診の受診や申込をしていない対象者へ、受診勧奨通知を2,894通発送した。個別健診や人間ドックの受診を勧めた。

《参考:令和4年度実績》

内容	年次目標	実績	評価区分	取組状況(評価結果)
BMI25以上の方の割合(健幸アップ)	75%減少	0%	B 概ね良好	目標は達成できなかったが、参加者の34%程度に体重減少が見られたこと、また体脂肪や筋肉量については開始時の7月と終了時の12月で大きな変化はなく、現状を維持できたことは、一定の成果と考えられる。特定健診未受診者に対する受診勧奨通知を計画通り進めることができています。
特定健康診査未受診者に対する受診勧奨はがきの送付回数	3回	3回		

4. 関連するSDGsのゴール(17)とターゲット(169)

	3.4		3.d		4.7		8.8		
---	-----	---	-----	---	-----	--	-----	--	--

5. 令和5年度主要事業

【単位:千円】

事業名	事業内容		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
			決算額	予算額	予定額	予定額	予定額
	重要業績評価指標	基準値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
健幸アップ事業	株式会社タニタヘルスリンクが展開しているカラダ診断アプリやウォーキングアプリ、食事記録アプリを導入し、参加者はポイントを貯め、貯まったポイントをむつ市の地域共通商品券などへ交換することで行動変容へのインセンティブ効果を図り、健康増進を推進していく。		11,717	8,956	0	0	0
	【事業参加者:肥満者(BMI25以上の者)の減少(%)】	-0.8 R4年度	50.0	10.0	10.0	10.0	10.0
	【事業参加における活動量(歩数)の増加(歩)】	△153 R4年度	1,000	1,000	1,001	1,001	1,002
	【健康意識・健康行動の変化(%)】	1.3 R4年度	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0
特定健康診査事業(未受診者受診勧奨)	特定健康診査受診率向上のため未受診者に対し受診勧奨を実施する。AI(人工知能)により対象者の健診受診行動を分析し、対象者のタイプ別に内容を変えた受診勧奨を行うことで、受診率向上を目指す。被保険者自身の健康に対する関心を高め、特定健診の対象となる40代から一年に一度の特定健康診査受診の習慣化を図る。令和4年度の未受診者への受診勧奨通知回数は3回。受診勧奨通知のパターン数は7種類。国保加入手続きに窓口に来た方へチラシを渡しながらか受診案内を行う。健診予約について、健診受付専用コールセンターおよびWEB予約「けんしん予約AITEL」により実施し、健診予約体制を整備(令和4年度~)。		36,749	45,756	45,756	45,756	45,756
	【特定健康診査受診率(%)】	34.4 R元年度	35.5	36.6	37.7	38.8	39.9

6. 施策の進捗状況(内部評価)

令和5年度施策内容の進捗状況(中間評価)	区分	選択区分	【評価の理由】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	B	<p>9月の自治体対抗歩数イベントでは参加者343名、そのうちゴール達成者は166名であり、半数程度の方が達成できていた。特定健診未受診者に対する受診勧奨を予定どおり進めることができている。</p> <p>【今後の取組の方向性】</p> <p>11月にウォーキングとエクササイズをテーマにした運動イベント、11月~12月に体脂肪の減少率上位者に景品を進呈する脂肪燃焼イベントを実施し、参加者の運動や肥満解消の意欲を高める。令和6年1月に3回目の特定健康診査受診勧奨を送付する予定。個別通知や窓口での受診勧奨のほか、効果的な受診勧奨の方法を研究していく。</p>

令和5年度施策内容の進捗状況(総合的な内部評価)	区分	選択区分	【評価の理由】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	B	<p>BMI25以上の参加者の割合はあまり減少せず、計画値の10%減少まで到達することができなかったものの、BMI25以上の方の約半数に体重減少が見られ、事業の一定の効果はあったものと考えられる。特定健診未受診者に対する受診勧奨を予定どおり進めることができている。</p> <p>【今後の取組の方向性】</p> <p>令和6年度は事業期間を令和5年度より2ヶ月間延長し、歩数や体組成測定によるポイントをより貯めやすく設定することで、より運動習慣の定着を促す。また運動習慣のない参加者にも歩くことの意識づけや測定の習慣化を強化していく。特定健診受診勧奨通知(3回)は、令和6年度も継続予定である。資料内容も対象者へ分かりやすく興味をひく内容としていく。</p>

7. 施策の進捗状況(外部評価)

	区分	選択区分	評価割合		【主な意見】
				A	
令和5年度施策内容 の進捗状況 (総合的な外部評価)	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている - わからない	/	B	85.0%	
			C	15.0%	
			D	0.0%	
			-	0.0%	

施策評価調書(令和5年度)

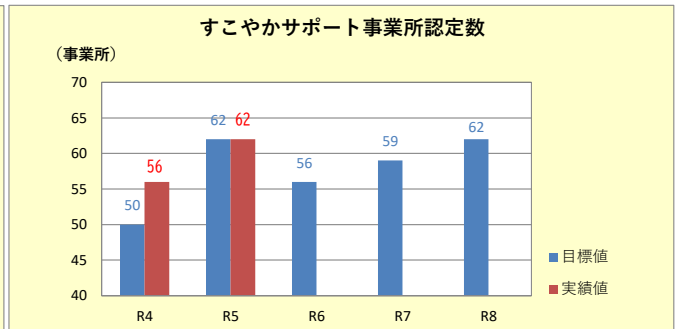
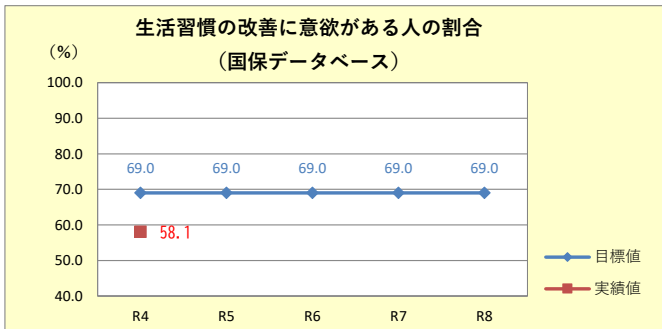
1. 施策体系と施策関係部局

基本方針	3. 高齢者福祉・医療・暮らしの充実	関係部局
施策項目	(1)健康・福祉	健康づくり推進部
施策内容	②健康まちづくりの推進	

2. 基本計画における指標(KPI)

【上段:目標値 下段:実績値】

指標名	単位	基準値	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
生活習慣の改善に意欲がある人の割合 (国保データベース)	(%)	57.1	69.0	69.0	69.0	69.0	69.0
		令和元年度	58.1	-	-	-	-
すこやかサポート事業所認定数	(事業所)	47	50	62	56	59	62
		令和2年度	56	62	-	-	-



3. 年次目標【令和5年度】

内容	実績(目標)	達成状況報告
歩数データ送信率	75.8%(80%以上)	9月に自治体対抗歩数イベントを開催。事業終了時のデータ送信率は75.8%(805人中610人)となり、計画値の80%に到達することができなかった。
すこやかサポート事業所新規認定数	6事業所(5事業所)	健康づくりに取り組んでいる事業所に対し、個別訪問を実施することで6事業所の認定となった。また、健康教育においても実施事業所数は増加している。
事業所への機器貸し出し回数	32回(20回)	4月に健やか隊員とすこやかサポート事業所向けにPRチラシを配布。5月~6月にかけて、健康測定機器の使い方等を事業所ごとに伝え、測定機器設置をPRした。健やか隊員とすこやかサポート事業所に個別でフォローアップおよびPRを行ったことで、目標を達成することができた。

《参考:令和4年度実績》

内容	年次目標	実績	評価区分	取組状況(評価結果)
歩数データ送信率(健幸アップ)	80%以上	77.1%	B 概ね良好	送信の習慣が定着している参加者も増え、事業終了月は77%となったが、全体を通すと72.1%であり、目標値には到達しなかった。すこやかサポート事業所新規認定数は、計画値までの認定には至らなかった。定期的に事業所等での活動支援があり、結果として目標を大きく上回り活動できた。
すこやかサポート事業所新規認定数	10事業所	7事業所		
育成した健やか隊員の活動回数	30回	54回		

4. 関連するSDGsのゴール(17)とターゲット(169)

	3.4		3.d		4.7		8.8		11.a
--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	------

5. 令和5年度主要事業

【単位：千円】

事業名	事業内容		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
	重要業績評価指標	基準値	決算額	予算額	予定額	予定額	予定額
			目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
健幸アップ事業	株式会社タニタヘルスリンクが展開しているカラダ診断アプリやウォーキングアプリ、食事記録アプリを導入し、参加者はポイントを貯め、貯まったポイントをむつ市の地域共通商品券などへ交換することで行動変容へのインセンティブ効果を図り、健康増進を推進していく。		11,717	8,956	0	0	0
	【事業参加者：肥満者(BMI25以上の者)の減少(%)】	-0.8 R4年度	50.0	10.0	10.0	10.0	10.0
	【事業参加における活動量(歩数)の増加(歩)】	△153 R4年度	1,000	1,000	1,001	1,001	1,002
	【健康意識・健康行動の変化(%)】	1.3 R4年度	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0
すこやかサポート事業所認定事業	積極的に健康づくりに取り組んでいる事業所を認定することにより、働き盛り世代の健康づくりを推進するとともに、その取組を広く市民に公表し、市全体の健康づくりに取り組む。		41	97	97	97	97
	【新規認定事業所数(事業所)】	2 R3年度	10	5	5	5	5
健やか隊員育成事業	30～50代の働き盛りの年代へ「健やか隊員育成プログラム」に基づき、健康教室を行い「自分の健康に目を向けること」そして「職場の健康づくりに反映させること」を目的に実施する。 また、令和3年度より、むつ市内の健やか隊員育成研修会を終了した者の活動支援を個別に対応し、強化することとしている。		332	469	469	469	469
	【育成した隊員の活動支援(回)】	34 R3年度	30	40	40	40	40

6. 施策の進捗状況(内部評価)

	区分	選択区分	【評価の理由】
令和5年度施策内容の進捗状況 (中間評価)	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	B	歩数イベントの開催月は送信率が増加したが、計画値には至っていない。 新規認定申請はあるが、計画値までの認定には至っていない。 9月時点で測定器設置回数は15回となっており、計画は概ね良好である。
			【今後の取組の方向性】 事業所での修了測定会等の機会に、アプリの使い方が不明な方について説明の機会を設ける。 新たな事業所に事業の周知を図り、健康づくりをサポートしている事業所の認定に努める。 10月に健やか隊員とすこやかサポート事業所向けに再度測定器設置PRチラシを広報していく。新しくすこやかサポート事業所として認定された事業所へもPRしていく。

	区分	選択区分	【評価の理由】
令和4年度施策内容の進捗状況 (総合的な内部評価)	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	B	事業所訪問時に必要に応じてデータ送信の説明を行ったが、目標値には至らなかった。 実績値は6事業所となり目標値を達成している。 健やか隊員が事業所で健康測定会を開催できるように支援したことにより、目標を上回る実績となった。
			【今後の取組の方向性】 希望する事業所へ説明会を実施し、アプリの利用方法を周知する。歩数によるポイントの付与のハードルを2段階にし、運動意識の低い方でもポイントが少しずつ貯まるように設定する。 新たな事業所に事業の周知を図り、従業員の健康づくりをサポートしている事業所の認定に努める。 引き続き職域への健康づくりを支援していく。

7. 施策の進捗状況(外部評価)

	区分	選択区分	評価割合		【主な意見】
令和5年度施策内容 の進捗状況 (総合的な外部評価)	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている - わからない	/	A	0.0%	/
			B	100.0%	
			C	0.0%	
			D	0.0%	
			-	0.0%	

施策評価調書(令和5年度)

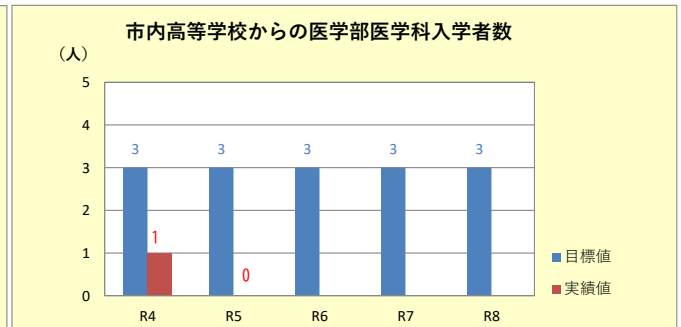
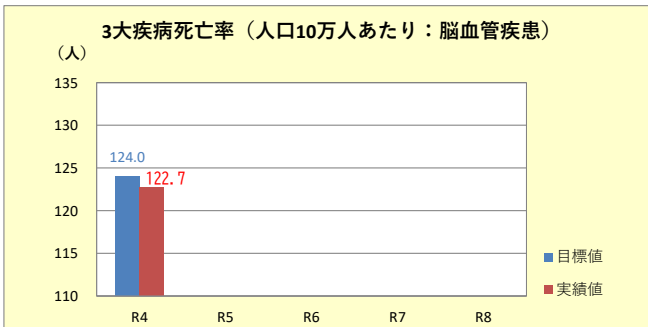
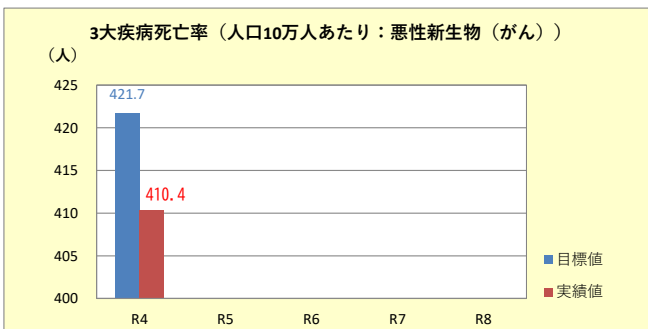
1. 施策体系と施策関係部局

基本方針	3. 高齢者福祉・医療・暮らしの充実	関係部局
施策項目	(1)健康・福祉	健康づくり推進部
施策内容	③医療体制の充実	教育委員会事務局

2. 基本計画における指標(KPI)

【上段:目標値 下段:実績値】

指標名	単位	基準値	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
3大疾病死亡率(人口10万人あたり: 悪性新生物(がん))	(人)	413.3	421.7	県死亡率下回る	県死亡率下回る	県死亡率下回る	県死亡率下回る
		令和元年	410.4	—			
3大疾病死亡率(人口10万人あたり: 心疾患)	(人)	226.2	246.7	県死亡率下回る	県死亡率下回る	県死亡率下回る	県死亡率下回る
		令和元年	226.3	—			
3大疾病死亡率(人口10万人あたり: 脳血管疾患)	(人)	129.9	124.0	県死亡率下回る	県死亡率下回る	県死亡率下回る	県死亡率下回る
		令和元年	122.7	—			
市内高等学校からの医学部医学科 入学者数	(人)	—	3	3	3	3	3
		—	1	0			





3. 年次目標【令和5年度】

内容	実績(目標)	達成状況報告
一部事務組合下北医療センター負担金の適正な執行	計画どおり負担 (計画どおり負担)	第4・四半期まで納付済み。
医学部修学助成金交付対象者	0人(3人)	今年度は新規交付申請はなく、継続者からの申請に基づき5名に交付した。次年度の募集について、広報むつ2月号への掲載依頼及び市内高等学校3年生へのチラシ配布による周知活動を実施。令和6年度募集要項の制定、ホームページ掲載及び継続予定者へ申請案内の送付。
東大生・医学部生	0人 (東大生1人) (医学部生3人)	8月に田名部高校・大湊高校2、3年生を対象に第1回夏期講習会を行い、31名が参加した。12月は34名、3月は38名が参加し、3月の講習会ではまさかり高校OBで東京大学4年生の大塚小麦との座談会も行い、勉強方法や学生生活についてのアドバイスを受けた。

《参考：令和4年度実績》				
内容	年次目標	実績	評価区分	取組状況(評価結果)
一部事務組合下北医療センター負担金の適正な執行	計画どおり負担	計画どおり負担	B 概ね良好	計画どおりに負担することができた。目標値の3名には届かなかったものの、3年ぶりに新規交付申請があったことは、一定の成果があったものと考えている。また、感染状況を踏まえながら、これまでのリモート形式による開催のノウハウを生かして夏期及び冬期講習会を、また、春期講習会の一部対面により無事開催することができた。
医学部修学助成金交付対象者	3人	1人		

4. 関連するSDGsのゴール(17)とターゲット(169)

	3.8		11.a					
---	-----	---	------	--	--	--	--	--

5. 令和5年度主要事業

【単位：千円】

事業名	事業内容		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
	重要業績評価指標	基準値	決算額	予算額	予定額	予定額	予定額
			目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
下北医療センター負担金	一部事務組合下北医療センター負担金条例に基づき、組合の経費のうち、病院、診療所に係る経費以外の経費の負担。		41,519	44,892	44,982	44,892	44,892
	【-】	-	-	-	-	-	-
財政の健全化(下北医療センター負担金)	病院及び診療所の経営基盤の安定化を図るため、下北医療センターに対し、公営企業の繰出基準に基づく支援を行う。		1,755,840	2,033,675	1,939,393	1,779,568	2,032,270
	【-】	-	-	-	-	-	-
むつ市大学医学部修学助成金	当市では、人口10万人当たりの医師数が全国平均を大きく下回るといった深刻な医師不足の状態にある。このような状況を改善するためには、地元から医師を目指す人材の育成を図ることが、地域医療の確保に非常に効果的な手段であると考え。地域への愛着や貢献意欲を持った若者が医師を目指し、医学部へ進学し、卒業後は地域の医療に貢献するといったサイクルを作ることにより、地域からの医師の流出に歯止めをかけ、地元へ定着する医師の増加が期待されることから、市内高等学校から医学部医学科へ進学した者に対して一定額の助成金を交付する。		2,500	4,000	5,000	5,000	6,500
	【新規助成対象者(人)】	0	3	3	3	3	3
		R3年度					
まさかり高校医学部進学・特進コース運営事業	医師になりたい、世界で活躍したいといった志を持ち、その手段として難関大学や医学部への進学を希望する子供たちの夢や志を叶えるため、予備校の講師を招き、夏休み等の長期休業中に講習会を開催(夏期、冬期及び春期の3回を予定)する。受講対象者は、むつ下北活性化応援プロジェクト「まさかり高校」に加入している市内の高校で、田名部高等学校、大湊高等学校の生徒とする。		1,700	5,421	5,421	5,421	5,421
	【東大生・医学部生(人)】	1	4	4	4	4	4
		R3年度					

6. 施策の進捗状況（内部評価）

令和5年度施策内容 の進捗状況 (中間評価)	区分 A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	選択区分 B	【評価の理由】 計画どおりに負担することができた。 新規交付申請は無かったが、募集から決定通知及び交付について滞りなく実施した。 講習会に参加した生徒が次の講習会にも参加しており、関心の高さがうかがえた。
			【今後の取組の方向性】 引き続き、計画どおりに負担していく。 引き続き、わかりやすく効果的な周知に努めてまいりたい。 継続して実施していきたい。

令和5年度施策内容 の進捗状況 (総合的な内部評価)	区分 A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	選択区分 B	【評価の理由】 下北医療センター負担金は、計画どおりに負担することができた。 医学部修学助成金の新規交付申請は無かったが、募集から決定通知及び交付について滞りなく実施した。 講習会に参加した生徒が次の講習会にも参加しており、関心の高さがうかがえた。
			【今後の取組の方向性】 引き続き、負担金を計画どおりに負担していく。 引き続き、医学部修学助成金についてわかりやすく効果的な周知に努めてまいりたい。 講習会を継続して実施していきたい。

7. 施策の進捗状況（外部評価）

令和5年度施策内容 の進捗状況 (総合的な外部評価)	区分 A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている - わからない	選択区分	評価割合		【主な意見】
			A	0.0%	
			B	80.0%	
			C	20.0%	
			D	0.0%	
			-	0.0%	

施策評価調書(令和5年度)

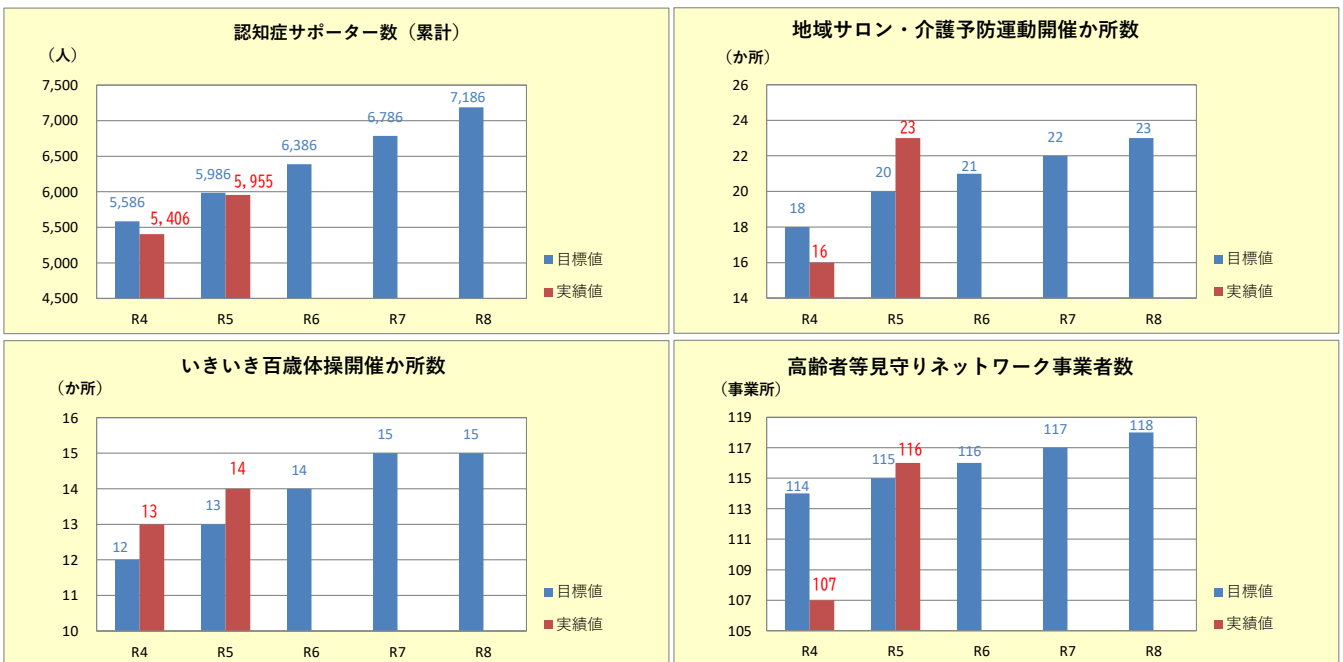
1. 施策体系と施策関係部局

基本方針	3. 高齢者福祉・医療・暮らしの充実	関係部局
施策項目	(1)健康・福祉	福祉部
施策内容	④高齢者福祉の充実	

2. 基本計画における指標(KPI)

[上段:目標値 下段:実績値]

指標名	単位	基準値	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
認知症サポーター数(累計)	(人)	4,848	5,586	5,986	6,386	6,786	7,186
		令和2年度	5,406	5,955			
地域サロン・介護予防運動開催か所数	(か所)	15	18	20	21	22	23
		令和2年度	16	23			
いきいき百歳体操開催か所数	(か所)	10	12	13	14	15	15
		令和2年度	13	14			
高齢者等見守りネットワーク事業者数	(事業所)	113	114	115	116	117	118
		令和2年度	107	116			




3. 年次目標【令和5年度】

内容	実績(目標)	達成状況報告
認知症サポーター数(累計)	5,955人(5,986人)	年度内に22回の養成講座を行い、549人が受講した。累計で5,955人となった。
地域サロン・介護予防運動開催か所数	23か所(20か所)	新規で7か所開始し、23か所の支援を行っている。
いきいき百歳体操開催か所数	14か所(13か所)	新規で1か所開始し、14か所となった。昨年度からの継続団体13か所中、11か所でリハビリ専門職と連携した体力測定と評価を行った。また、体験会を4回開催した。
高齢者等見守りネットワーク事業者数	116事業者(115事業者)	7月に市内郵便局13者と「みんなで見守る協定」を締結した。 9月にみまもり通信を発行し、全120事業者へ郵送した。 3月にみまもり通信を発行し、全116事業者へ郵送した。高齢者等見守りネットワーク事業者は廃業により116事業者へ減少している。

《参考：令和4年度実績》				
内容	年次目標	実績	評価区分	取組状況(評価結果)
認知症サポーター数(累計)	5,586人	5,406人	B 概ね良好	認知症サポーター数は、年間400人(累計5,586人)の養成を目標としていたが、年間養成者数336人(達成率84%)で年度内の目標に達しておらず、今後も養成講座の周知を行っていく。 地域サロンは、新規1か所と合わせて16か所なり、地域の通いの場として定着している。 いきいき百歳体操は、新規に3か所立ち上がり目標を上回る13か所となった。体力測定では、体操の効果を実感でき、活動を継続する動機付けとなっている。 「みまもり通信」を2回発行し、事業者に見守りに関する情報提供を行うことが出来た。また、市内郵便局13者との連携協定締結は、協定内容の精査のため、次年度に延期となったが、協定が締結され次第、目標達成の見込みとなっている。
地域サロン・介護予防運動開催か所数	18か所	16か所		
いきいき百歳体操開催か所数	12か所	13か所		
高齢者等見守りネットワーク事業者数	114事業者	107事業者		

4. 関連するSDGsのゴール(17)とターゲット(169)

	3.8		11.3						
---	-----	---	------	--	--	--	--	--	--

5. 令和5年度主要事業

【単位：千円】

事業名	事業内容		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
	重要業績評価指標	基準値	決算額 目標値	予算額 目標値	予定額 目標値	予定額 目標値	予定額 目標値
認知症サポーター等養成事業	高齢化の進行にともない認知症高齢者の増加が見込まれる中、認知症の方やその家族を地域で見守り支えていくために、認知症や認知症の方への対応方法について正しく理解し地域全体で支えていくことが必要となるため、地域での見守りを行うサポーターを養成する。		130	146	146	146	146
	【認知症サポーター数(累計)(人)】	4,848 R2年度	5,586	5,986	6,386	6,786	7,186
一般介護予防事業	主に65歳以上の方及びその支援のために関わる方を対象に、介護予防の普及啓発を行うとともに、誰でも一緒に参加できる介護予防活動の地域展開を目指して、介護予防に資する住民主体の介護予防活動の支援を行う。		14,919	16,042	17,896	16,042	16,042
	【地域サロン・介護予防運動開催箇所数(か所)】	15 R2年度	18	20	21	22	23
	【いきいき百歳体操開催箇所数(か所)】	10 R2年度	12	13	14	15	15
認知症等高齢者見守り事業(家族介護支援事業)	むつ市認知症サポート事業所認定やむつ市認知症サポート団体認定、むつ市高齢者等見守りネットワーク事業、むつ市認知症SOSネットワーク事業等により、認知症の人が住み慣れた地域で安心して暮らすことができるまちづくりの推進に資するため、見守り体制を構築する。		148	262	262	262	262
	【高齢者等見守りネットワーク事業者数(事業所)】	113 R2年度	114	115	116	117	118
	【認知症SOSネットワーク登録者数(人)】	21 R2年度	25	25	25	25	25

6. 施策の進捗状況（内部評価）

令和5年度施策内容 の進捗状況 (中間評価)	区分	選択区分	【評価の理由】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	A	【評価の理由】 半年間で受講者数が年度内養成目標(400人)の約半数に達し順調に推移している。(※累計者数は令和4年度までのコロナ禍による受講者減少の影響を受け、目標値に達していない) 新規で開始した地域サロンは、定期的に開催されており、通いの場として定着している。 体力測定により利用者が体操の効果を実感できており、活動継続の動機付けとなっている。新規団体の立ち上げはなかったが、体験会をうけ年度内の立ち上げを目指している団体がある。 新たに13者と協定締結し、計画値を上回る事業所数となった。また、みまもり通信を発行し、全事業者に見守りに関する情報提供を行った。
			【今後の取組の方向性】 認知症の理解を促進させるため、今後も認知症サポーター養成講座を周知し実施する。 住民主体の介護予防活動(地域サロン、いきいき百歳体操)は、介護予防の他、高齢者の通いの場となり、地域づくりに繋がることから、引き続き取組を実施する。 高齢者等見守りネットワーク事業は、地域全体で高齢者等を見守る取組となることから引き続き事業者への周知、協力を依頼する。

令和5年度施策内容 の進捗状況 (総合的な内部評価)	区分	選択区分	【評価の理由】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	A	【評価の理由】 年度内養成目標(400人)を上回り達成している。(※累計者数は令和4年度までのコロナ禍による受講者減少の影響を受け、目標値に達していない) 新規で開始した地域サロンは、定期的に開催されており、通いの場として定着している。 体力測定により利用者が体操の効果を実感できており、活動継続の動機付けとなっている。体験会から立ち上げにつながった団体があった。 みまもり通信を2回発行し、全事業者に見守りに関する情報提供を行った。
			【今後の取組の方向性】 認知症の理解を促進させるため、今後も認知症サポーター養成講座を周知し実施する。 住民主体の介護予防活動(地域サロン、いきいき百歳体操)は、介護予防の他、高齢者の通いの場となり、地域づくりに繋がることから、引き続き取組を実施する。 高齢者等見守りネットワーク事業は、地域全体で高齢者等を見守る取組となることから引き続き事業者への周知、協力を依頼する。

7. 施策の進捗状況（外部評価）

令和5年度施策内容 の進捗状況 (総合的な外部評価)	区分	選択区分	評価割合		【主な意見】
			A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている - わからない	A	
	B	35.0%			
	C	10.0%			
	D	0.0%			
	-	0.0%			

施策評価調書(令和5年度)

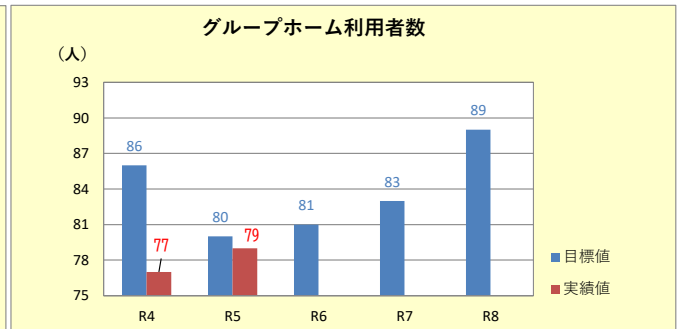
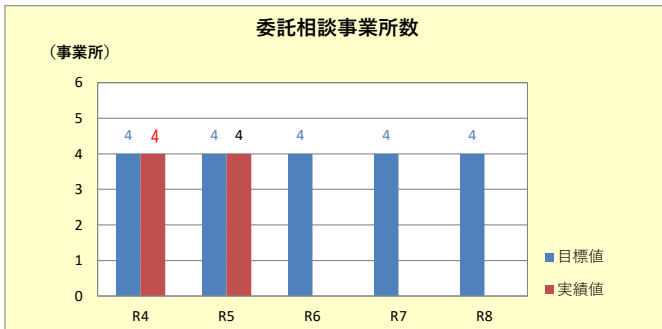
1. 施策体系と施策関係部局

基本方針	3. 高齢者福祉・医療・暮らしの充実	関係部局
施策項目	(1)健康・福祉	福祉部
施策内容	⑤障害者福祉の充実	

2. 基本計画における指標(KPI)

[上段:目標値 下段:実績値]

指標名	単位	基準値	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
委託相談事業所数	(事業所)	4	4	4	4	4	4
		令和2年度	4	4			
グループホーム利用者数	(人)	76	86	80	81	83	89
		令和2年度	77	79			



3. 年次目標【令和5年度】

内容	実績(目標)	達成状況報告
障がい福祉相談会・障がい福祉サービス説明会、障がいに関する研修会の来場者、参加者数	220人(150人)	<ul style="list-style-type: none"> ○むつ市役所新採用職員研修(5月)【手話講座】受講人数:15人 ○出前講座(大畑地区民生委員児童委員)手話講座(5月)【受講人数:24人】、障がい者の支援について(7月)【受講人数:22人】 ○障がい福祉パンフレットを作成(10月) ○11/13~17日に「障がい福祉サービス展示会」を実施(場所:むつ市役所開放エリア) ○自立支援協議会研修会・勉強会 <ul style="list-style-type: none"> (1月)医療的ケア児支援部会勉強会【参加人数:53人】 (2月)子ども・教育支援部会勉強会【参加人数:54人】 (3月)自立支援協議会研修会【参加人数:52人】 ※障がい者就業・生活支援センターと共催
委託相談支援事業所への相談件数	565件(1,500件)	3月までの相談件数:565件(昨年度同時期:1,208件)

《参考:令和4年度実績》

内容	年次目標	実績	評価区分	取組状況(評価結果)
障がい福祉相談会・障がい福祉サービス説明会、障がいに関する研修会の来場者、参加者数	150人	231人	B 概ね良好	年間通して、自立支援協議会研修会・勉強会への参加者は124人、出前講座等受講者数は107人と計画値以上の参加・受講人数があり、概ね良好と評価。 相談支援事業では、相談支援事業所が悩みを抱えた方からの相談内容を「相談記録票」により市と情報共有することで、相談者への対応内容を把握するほか、内容によっては市と連携して対応するなどし、相談者の支援に努めた。
委託相談支援事業所への相談件数	1,500人	1,208人		

4. 関連するSDGsのゴール(17)とターゲット(169)

	3.8		10.2		11.7		16.6		
--	-----	--	------	--	------	--	------	--	--

5. 令和5年度主要事業

【単位:千円】

事業名	事業内容		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
	重要業績評価指標	基準値	決算額	予算額	予定額	予定額	予定額
理解促進研修・啓発事業	障がい福祉サービス展示会の開催に合わせて「障害福祉パンフレット」を作成し、障がいをお持ちの方やその家族等から、サービス利用等の相談対応や情報提供を行う。また、障がいのない方にも来場してもらうことで、障がいのある方の特性や各障害支援事業所を知ってもらい、障がいへの理解促進と啓発を図る。 また、福祉関係者を対象とした研修会や各種団体の要望に応じた出前講座を実施し、障がいのある方への対応について知識を深め、地域で暮らす障がいのある方が安心して生活できるよう支援する。		222	584	432	432	432
	【研修会や出前講座等への参加者数(人)】	44 R3年度	150	150	150	150	150
	【障がい福祉展示会参加事業所(事業所)】	29 R3年度	30	30	30	30	30
相談支援事業	障がいをお持ちの方やその家族等からの相談に応じ、必要な情報提供等を行いサービス利用等の支援へつなげるため、市内の4事業所(となみ療護園、ハートランドさくら、ばれっと、ら・ぼるて)に相談業務を委託し、相談体制の強化を図ることで、個々の特性に合ったサービス利用につながるよう支援を行う。地域自立支援協議会では、専門部会を設置し、各部門の専門的な意見が聞ける場となるよう、相談支援体制の強化を図る。		9,663	9,779	9,779	9,707	9,779
	【相談件数(件)】	1,072 R3年度	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500

6. 施策の進捗状況(内部評価)

区分	選択区分	【評価の理由】
		【今後の取組の方向性】

令和5年度施策内容の進捗状況(中間評価)	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	C	<p>市の新採用職員を対象に手話講座を実施したほか、出前講座として、民生委員児童委員へ手話や障がい者支援に関する講座を実施し、障がいのある方に対する理解の促進を図った。</p> <p>相談支援事業では、悩みを抱えた方の相談内容を相談記録票で市と情報共有し、連携した支援に努めた。相談件数が昨年度同時期実績と比較し半減していることについては、新規相談者が減少していること、精神不安定により相談支援員が多くの支援をしていた居宅の方が、入院または施設入所したことで対応件数が減少したことが要因となっている。</p> <p>【今後の取組の方向性】</p> <p>障がい福祉パンフレットを作成し、市内障害福祉サービス事業所等へ配布するほか、「障がい福祉サービス展示会」を、11/13～17日の期間で実施し、障害福祉サービス事業所や当事者団体の紹介を行う。自立支援協議会では1月に医療的ケア児支援部会の勉強会、2月に子ども・教育支援部会の勉強会、3月に障がい者就業・生活支援センターと共催で研修会を実施する予定。今後も障がいに対する理解促進を図るため、研修会等の実施や情報の充実、周知に努める。また、相談支援事業についても、障がいのある方が安心して暮らせるよう支援するため、相談事業所と連携し、引き続き実施していく。</p>
----------------------	--	---	--

	区分	選択区分	【評価の理由】
	令和5年度施策内容 の進捗状況 (総合的な内部評価)	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	B
			<p>【今後の取組の方向性】</p> <p>今後も障がいに対する理解促進を図るため、研修会等の実施や情報の充実、周知に努める。また、相談支援事業についても、障がいのある方が安心して暮らせるよう支援するため、相談事業所と連携し、引き続き実施していく。</p> <p>相談件数が減少していることについては、今後計画値の変更を検討する。</p>

7. 施策の進捗状況(外部評価)

	区分	選択区分	評価割合		【主な意見】
	令和5年度施策内容 の進捗状況 (総合的な外部評価)	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている - わからない		A	
			B	50.0%	
			C	40.0%	
			D	0.0%	
			-	0.0%	

施策評価調書(令和5年度)

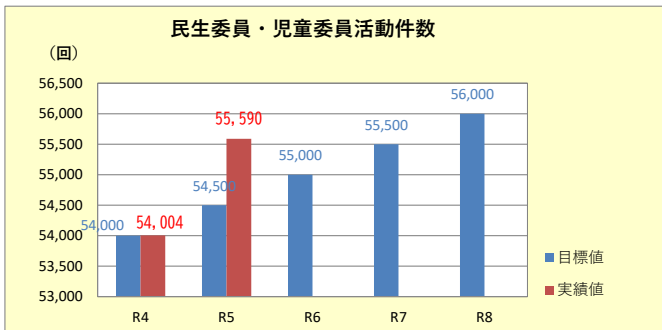
1. 施策体系と施策関係部局

基本方針	3. 高齢者福祉・医療・暮らしの充実	関係部局
施策項目	(1)健康・福祉	福祉部
施策内容	⑥地域福祉の充実	

2. 基本計画における指標(KPI)

【上段:目標値 下段:実績値】

指標名	単位	基準値	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
民生委員・児童委員活動件数	(回)	55,386	54,000	54,500	55,000	55,500	56,000
		令和2年度	54,004	55,590			



3. 年次目標【令和5年度】

内容	実績(目標)	達成状況報告
民生委員・児童委員活動件数	55,590回(54,500回)	各地区での研修会のほか、県民生委員児童委員協議会主催の研修会へも参加し、支援技術向上に努めた。

《参考:令和4年度実績》

内容	年次目標	実績	評価区分	取組状況(評価結果)
民生委員・児童委員活動件数	54,000回	54,004回	B 概ね良好	民生委員・児童委員の支援技術向上につながるような研修会や、出前講座を活用し、計画的に活動を実施していることから、概ね良好と考えられる。

4. 関連するSDGsのゴール(17)とターゲット(169)

	3.8		17.17					
--	-----	--	-------	--	--	--	--	--

5. 令和5年度主要事業

【単位:千円】

事業名	事業内容		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
	重要業績評価指標	基準値	決算額	予算額	予定額	予定額	予定額
			目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
民生委員・児童委員活動	高齢者や障がい者の安否確認及び見守り、子ども達への声掛けに加え、介護保険や各種福祉サービスが受けられるよう、行政機関や施設などのパイプ役の他、様々な相談を受ける等、民生委員・児童委員協議会が組織され活動している。		11,492	11,810	12,128	12,446	12,764
		【民生委員・児童委員活動件数(回)】	53,061 R3年度	54,000	54,500	55,000	55,500

6. 施策の進捗状況（内部評価）

令和5年度施策内容 の進捗状況 (中間評価)	区分	選択区分	【評価の理由】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	B	民生委員・児童委員の支援技術向上につながるような研修会や、出前講座を活用し、計画的に活動を実施していることから、概ね良好と考えられる。 【今後の取組の方向性】 民生委員児童委員協議会の活動を支援し、研修や情報交換を通じて資質向上を図ることにより、家庭訪問や見守り活動の強化につなげていく。

令和5年度施策内容 の進捗状況 (総合的な内部評価)	区分	選択区分	【評価の理由】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	B	民生委員・児童委員の支援技術向上につながるような研修会や、出前講座を活用し、計画的に活動を実施していることから、概ね良好と考えられる。 【今後の取組の方向性】 民生委員児童委員協議会の活動を支援し、研修や情報交換を通じて資質向上を図ることにより、家庭訪問や見守り活動の強化につなげていく。

7. 施策の進捗状況（外部評価）

令和5年度施策内容 の進捗状況 (総合的な外部評価)	区分	選択区分	評価割合		【主な意見】
			A	10.0%	
			B	80.0%	
			C	10.0%	
			D	0.0%	
			-	0.0%	

施策評価調書(令和5年度)

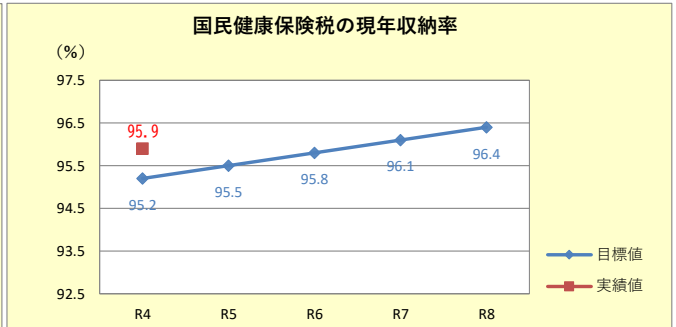
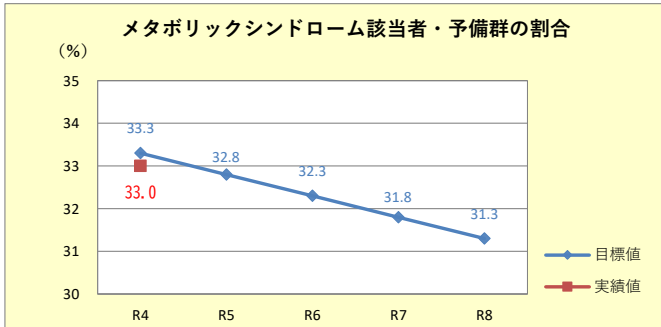
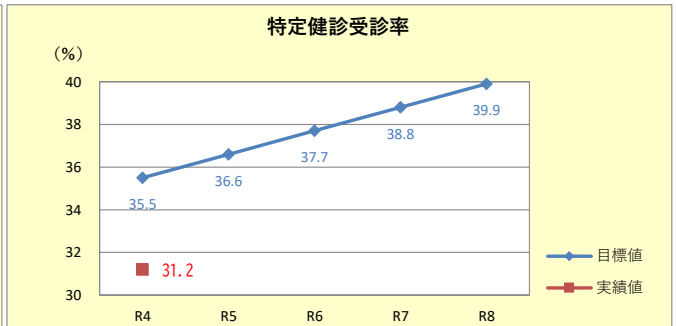
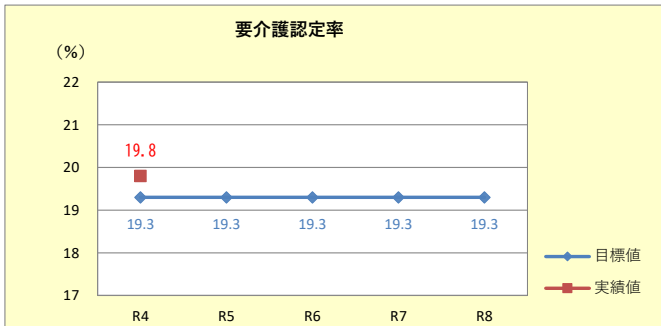
1. 施策体系と施策関係部局

基本方針	3. 高齢者福祉・医療・暮らしの充実	関係部局
施策項目	(1)健康・福祉	福祉部
施策内容	⑦社会保障の充実	健康づくり推進部

2. 基本計画における指標(KPI)

[上段:目標値 下段:実績値]

指標名	単位	基準値	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
要介護認定率	(%)	19.3	19.3	19.3	19.3	19.3	19.3
		令和2年度	19.8	-	-	-	-
特定健診受診率	(%)	34.4	35.5	36.6	37.7	38.8	39.9
		令和元年度	31.2	-	-	-	-
メタボリックシンドローム該当者・予備群の割合	(%)	33.8	33.3	32.8	32.3	31.8	31.3
		令和2年度	33.0	-	-	-	-
国民健康保険税の現年収納率	(%)	94.9	95.2	95.5	95.8	96.1	96.4
		令和元年度	95.9	-	-	-	-



3. 年次目標【令和5年度】

内容	年次(目標)	達成状況報告
地域サロン・介護予防運動開催か所数	23か所(20か所)	新規で7か所開始し、23か所の支援を行っている。
いきいき百歳体操開催か所数	14か所(13か所)	新規で1か所開始し、14か所となった。昨年度からの継続団体13か所中、11か所でリハビリ専門職と連携した体力測定と評価を行った。また、体験会を4回開催した。
特定健康診査未受診者に対する受診勧奨はがきの送付回数	3回(3回)	6月(6,644通)と8月(6,298通)に特定健診の受診や申込をしていない方を対象に受診勧奨を送付した。また、国保加入手続きのため来庁した方へチラシを渡し、個別に特定健診の案内を行った。 1月9日に特定健診の受診や申込をしていない対象者へ、受診勧奨通知を2,894通発送した。個別健診や人間ドックの受診を勧めた。

《参考：令和4年度実績》				
内容	年次目標	実績	評価区分	取組状況(評価結果)
地域サロン・介護予防運動開催か所数	18か所	16か所	B 概ね良好	地域サロンは、新規1か所と合わせて16か所となり、地域の通いの場として定着している。また、いきいき百歳体操は、新規に3か所立ち上がり目標を上回る13か所となった。いきいき百歳体操の場で行う体力測定では、体操の効果を実感でき、活動を継続する動機付けとなっている。要介護認定率は19.4%(令和5年1月)と横ばいで推移した。 特定健診未受診者に対する受診勧奨通知を計画通り進めることができています。
いきいき百歳体操開催か所数	12か所	13か所		
特定健康診査未受診者に対する受診勧奨はがきの送付回数	3回	3回		

4. 関連するSDGsのゴール(17)とターゲット(169)

	3.4		3.d					
---	-----	---	-----	--	--	--	--	--

5. 令和5年度主要事業

【単位：千円】

事業名	事業内容		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
	重要業績評価指標	基準値	決算額	予算額	予定額	予定額	予定額
			目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
一般介護予防事業	主に65歳以上の方及びその支援のために関わる方を対象に、介護予防の普及啓発を行うとともに、誰でも一緒に参加できる介護予防活動の地域展開を目指して、介護予防に資する住民主体の介護予防活動の支援を行います。		14,919	16,042	17,896	16,042	16,042
	【地域サロン・介護予防運動開催箇所数(か所)】	R2年度 15	18	20	21	22	23
	【いきいき百歳体操開催箇所数(か所)】	R2年度 10	12	13	14	15	15
特定健康診査事業(未受診者受診勧奨)	特定健康診査受診率向上のため未受診者に対し受診勧奨を実施する。AI(人工知能)対象者の健診受診行動を分析し、対象者のタイプ別に内容を変えた受診勧奨を行うことで、受診率向上を目指す。被保険者自身の健康に対する関心を高め、特定健診の対象となる40代から一年に一度の特定健康診査受診の習慣化を図る。令和4年度の未受診者への受診勧奨通知回数は3回。受診勧奨通知のパターン数は7種類。国保加入手続きに窓口に来た方へチラシを渡しながら受診案内を行う。 健診予約について、健診受付専用コールセンターおよびWEB予約「けんしん予約AITEI」により実施し、健診予約体制を整備(令和4年度～)。		36,749	45,756	45,756	45,756	45,756
	【特定健康診査受診率(%)】	R元年度 34.4	35.5	36.6	37.7	38.8	39.9

6. 施策の進捗状況(内部評価)

令和5年度施策内容の進捗状況(中間評価)	区分	選択区分	【評価の理由】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	A	

令和5年度施策内容 の進捗状況 (総合的な内部評価)	区分 A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	選択区分 A	【評価の理由】 新規で開始した地域サロンは定期的に開催されており通いの場として定着している。 体力測定により利用者が体操の効果を実感できており、活動継続の動機付けとなっている。体験会から立ち上げにつながった団体があった。 特定健診未受診者に対する受診勧奨を予定どおり進めることができている。
			【今後の取組の方向性】 高齢化の進行により要介護認定者数の増加が見込まれているが、高齢者が介護を必要とする状態にならないように引き続き介護予防の取組を推進する。 特定健診受診勧奨通知(3回)は、令和6年度も継続を予定しており、特定健診の受診を促し、疾病の早期予防、健康増進のための保健事業の取組を推進する。

7. 施策の進捗状況(外部評価)

令和5年度施策内容 の進捗状況 (総合的な外部評価)	区分 A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている - わからない	選択区分	評価割合		【主な意見】
			A	45.0%	
			B	45.0%	
			C	5.0%	
			D	0.0%	
			-	5.0%	

施策評価調書(令和5年度)

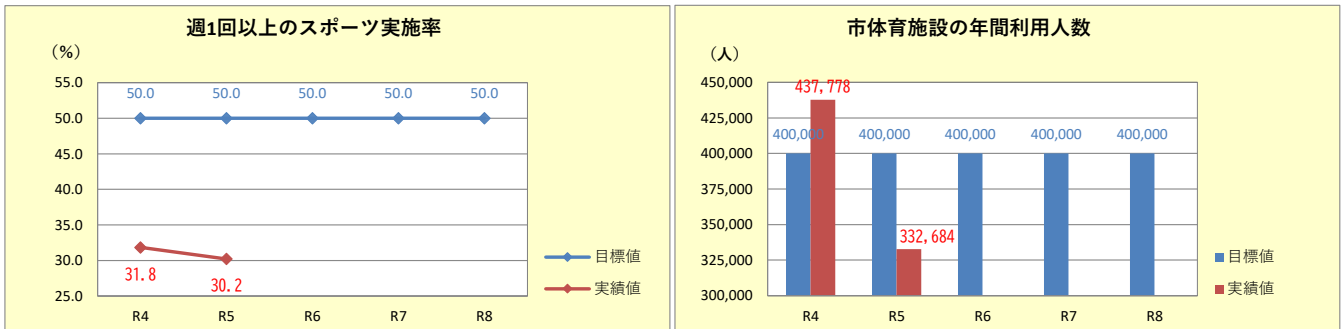
1. 施策体系と施策関係部局

基本方針	3. 高齢者福祉・医療・暮らしの充実	関係部局
施策項目	(2)スポーツ	民生部
施策内容	①スポーツ活動の充実	

2. 基本計画における指標(KPI)

[上段:目標値 下段:実績値]

指標名	単位	基準値	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
週1回以上のスポーツ実施率	(%)	46.2	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0
		令和2年度	31.8	30.2			
市体育施設の年間利用人数	(人)	354,914	400,000	400,000	400,000	400,000	400,000
		令和2年度	437,778	332,684			



3. 年次目標【令和5年度】

内容	実績(目標)	達成状況報告
スポーツ教室等実施回数	339回(300回)	各教室を概ね予定通りに開催することができた。 ・市民スポーツ教室(ソフトバレー、バドミントン、ペタンク、テニス) ・ボルダリング教室 ・プロによるバスケットボール教室 ・水泳教室 など 市に代わり特定非営利活動法人むつ市スポーツ協会が実施するスポーツ教室の他、指定管理施設において指定管理者が開催する教室等の実施により、計画値を上回る実績となった。
むつ市スポーツ施設整備計画の策定	策定(策定)	計画の策定に向けて、各施設の基本情報の把握、現況評価及び環境評価を実施した。 また、市民アンケートを実施し、その内容を取り入れた整備計画の素案を作成した。 令和6年4月1日から令和16年3月31日までを計画期間とする「むつ市スポーツ施設整備計画」を令和6年3月に策定した。

《参考:令和4年度実績》

内容	年次目標	実績	評価区分	取組状況(評価結果)
スポーツ教室等実施回数	300回	408回	B 概ね良好	各種スポーツ教室は計画を上回る回数を開催することができた。 テニスコート改修工事は、コロナウイルス及び半導体不足の影響から予定より少し遅れたが、無事に工事は完了した。
むつ運動公園テニスコート改修工事の完了(工事実施率)	100%	100%		

4. 関連するSDGsのゴール(17)とターゲット(169)

	3.d		11.3		15.b		17.17		
--	-----	--	------	--	------	--	-------	--	--

5. 令和5年度主要事業

【単位:千円】

事業名	事業内容		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
	重要業績評価指標	基準値	決算額	予算額	予定額	予定額	予定額
スポーツ環境整備事業	各種スポーツ教室を実施し、市民がスポーツを行う機会を創出するとともに、トップアスリートに触れる機会を提供し、スポーツへの関心と技術の向上を図る。		1,364	1,340	2,126	2,126	2,126
	【スポーツ教室・大会等参加者数(人)】	1,641 R3年度	1,723	1,809	1,899	1,993	2,092
	【運動競技指導者資格受講件数(件)】	25 R3年度	25	25	25	25	25
スポーツ推進審議会費	むつ市推進審議会委員は、国のスポーツ基本法第31条の規程に基づき設置され、市長の諮問に応じてスポーツの推進に関する重要事項について調査審議することを職務とする。 令和5年度は、令和6～15年度を計画期間としたむつ市スポーツ施設整備計画の策定にあたり審議会を開催する。令和6年度以降は、必要に応じて審議会を開催する。		-	452	133	133	133
	【むつ市スポーツ施設整備計画の策定】	-	-	策定	-	-	-
	【むつ市スポーツ推進審議会の開催(回)】	-	-	5	-	-	-

6. 施策の進捗状況(内部評価)

令和5年度施策内容の進捗状況(中間評価)	区分	選択区分	【評価の理由】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	B	【評価の理由】 各スポーツ教室は概ね計画通りに開催している。 むつ市スポーツ施設整備計画についても、策定に向けた取組を順調に進めている。 【今後の取組の方向性】 広報を行いながら、各種スポーツ教室を開催していく。 むつ市スポーツ施設整備計画の策定については、スポーツ推進審議会の開催及びパブリックコメントを実施し、適切な計画の策定に努める。

令和5年度施策内容の進捗状況(総合的な内部評価)	区分	選択区分	【評価の理由】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	B	【評価の理由】 各スポーツ教室は概ね計画通りに開催した。 むつ市スポーツ施設整備計画を令和6年3月に策定した。 【今後の取組の方向性】 広報を行いながら、各種スポーツ教室を開催していく。 むつ市スポーツ施設整備計画に則り、各スポーツ施設を整備できるよう必要な措置を講じていく。

7. 施策の進捗状況(外部評価)

令和5年度施策内容の進捗状況(総合的な外部評価)	区分	選択区分	評価割合		【主な意見】
A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている - わからない			A	10.0%	
			B	80.0%	
			C	5.0%	
			D	0.0%	
			-	5.0%	

施策評価調書(令和5年度)

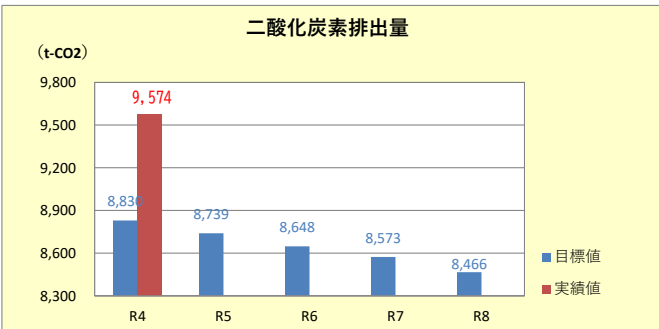
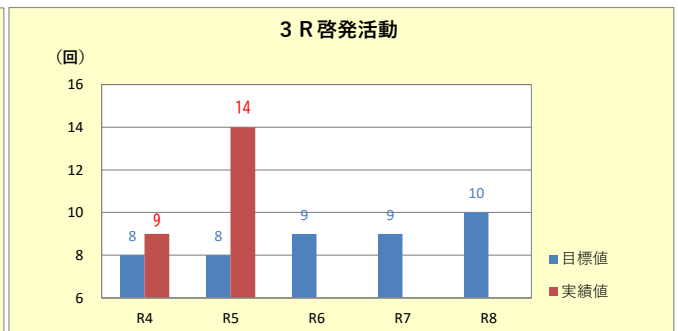
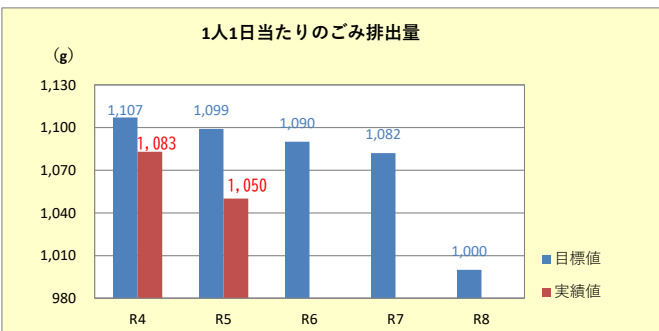
1. 施策体系と施策関係部局

基本方針	3. 高齢者福祉・医療・暮らしの充実	関係部局
施策項目	(3)環境	民生部
施策内容	①循環型社会の推進	

2. 基本計画における指標(KPI)

[上段:目標値 下段:実績値]

指標名	単位	基準値	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
1人1日当たりのごみ排出量	(g)	1,089	1,107	1,099	1,090	1,082	1,000
		直近平均値	1,083	1,050			
3R啓発活動	(回)	8	8	8	9	9	10
		直近平均値	9	14			
二酸化炭素排出量	(t-CO2)	9,103	8,830	8,739	8,648	8,573	8,466
		令和元年度	9,574	-			



3. 年次目標【令和5年度】

内容	実績(目標)	達成状況報告
小型家電等回収啓発活動	10回(8回)	5~3月までフリーマーケットイベント回収を月1回ずつ10回実施している。実施時には食品ロス等の啓発も併せて行うことができた。
出前講座(段ボールコンポスト、食品ロス等啓発活動)	4回(4回)	段ボールコンポスト及び食品ロスについて出前講座を1回実施している。コンポストの資機材の提供数は最終的に81個と前年度を超えて伸びている。利用者アンケートでも肯定的な回答をいただいている。

《参考:令和4年度実績》

内容	年次目標	実績	評価区分	取組状況(評価結果)
小型家電等回収啓発活動	8回	9回	B 概ね良好	新型コロナウイルス感染症等の影響により、フリーマーケットイベント回収、啓発活動の実施回数も減少してはいるが、ホームページや広報むつで啓発記事の掲載を行い、段ボールコンポストに関して資機材の提供が前年度と比べても増加しており、ごみ減量への取組が浸透しつつある。
段ボールコンポスト資機材配布件数	35個	41個		

4. 関連するSDGsのゴール(17)とターゲット(169)

	11.6		12.4		12.5		13.3		
--	------	--	------	--	------	--	------	--	--

5. 令和5年度主要事業

【単位:千円】

事業名	事業内容		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
	重要業績評価指標	基準値	決算額	予算額	予定額	予定額	予定額
			目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
廃棄物減量等推進審議会運営事業	一般廃棄物の様々な問題案件に対して、市民の意見を取り込むために審議会を開催する。		92	440	169	169	169
	【1人1日当たりのごみ排出量(g)】	1,089 平均値	1,107	1,099	1,090	1,082	1,000
	【3R啓発活動(回)】	8 平均値	8	8	9	9	10
市指定ごみ袋関連事業	市指定ごみ袋の作成し、ごみの減量を図る。		51,763	70,853	56,784	56,826	56,784
	【1人1日当たりのごみ排出量(g)】	1,089 平均値	1,107	1,099	1,090	1,082	1,000
	【3R啓発活動(回)】	8 平均値	8	8	9	9	10
下北地域広域行政事務組合負担金	ごみ処理施設「アクセス・グリーン」及び汚泥再生(し尿)処理施設「むつ衛生センター」の管理運営に伴う経費係る負担金。		2,104,550	3,475,332	1,400,000	1,400,000	1,400,000
	【1人1日当たりのごみ排出量(g)】	1,089 平均値	1,107	1,099	1,090	1,082	1,000
	【3R啓発活動(回)】	8 平均値	8	8	9	9	10

6. 施策の進捗状況

令和5年度施策内容の進捗状況 (中間評価)	区分	選択区分	【評価の理由】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	B	フリーマーケットや出前講座、段ボールコンポストの資機材の提供も、通常どおり実施することができ、段ボールコンポスト資機材の提供は前年度と比べても、広報等での啓発活動の成果が大幅に増加しており、ごみ減量への取組が浸透しつつある。 【今後の取組の方向性】 引き続き、フリーマーケットや出前講座、広報むつ、ホームページ等を活用しごみの減量化に向けた活動に取り組んでいきたい。

令和5年度施策内容の進捗状況 (総合的な内部評価)	区分	選択区分	【評価の理由】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	B	フリーマーケットや出前講座、段ボールコンポストの資機材の提供も、通常どおり実施することができ、段ボールコンポスト資機材の提供は前年度と比べても、広報等での啓発活動の成果が大幅に増加しており、ごみ減量への取組が浸透しつつある。 【今後の取組の方向性】 引き続き、フリーマーケットや出前講座、広報むつ、ホームページ等を活用しごみの減量化に向けた取組の活動に取り組んでいきたい。

7. 施策の進捗状況(外部評価)

令和5年度施策内容の進捗状況 (総合的な外部評価)	区分	選択区分	評価割合		【主な意見】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている - わからない	/	A	0.0%	
			B	95.0%	
			C	5.0%	
			D	0.0%	
			-	0.0%	

施策評価調書(令和5年度)

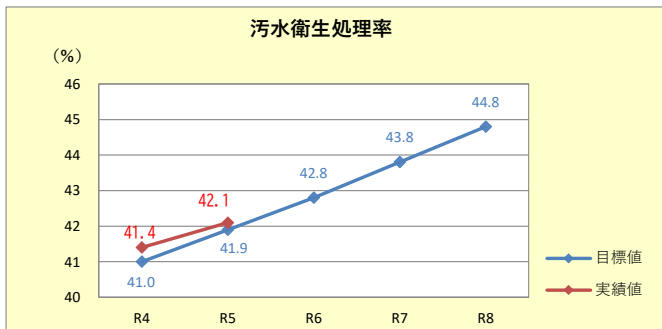
1. 施策体系と施策関係部局

基本方針	3. 高齢者福祉・医療・暮らしの充実	関係部局
施策項目	(3)環境	都市整備部
施策内容	②自然環境の保全	上下水道局

2. 基本計画における指標(KPI)

【上段:目標値 下段:実績値】

指標名	単位	基準値	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
親水護岸の整備延長	(m)	750	-	-	-	-	1,000
		令和3年度	R3完了済	⇒	⇒	⇒	⇒
汚水衛生処理率	(%)	40.2	41.0	41.9	42.8	43.8	44.8
		令和3年度	41.4	42.1			



3. 年次目標【令和5年度】

内容	実績(目標)	達成状況報告
汚水衛生処理率	42.1%(41.9%)	下水道接続の案内、合併処理浄化槽設置整備補助金の広報は順調にできた。(浄化槽補助14件、下水道接続48件)

《参考:令和4年度実績》

内容	年次目標	実績	評価区分	取組状況(評価結果)
田名部川環境整備事業	2箇所	2箇所	A 良好	歩道の春季利用開始に合わせて事業を進め、良好と考える。 汚水衛生処理率向上に向け、下水道への接続、合併浄化槽の設置について、郵送や広報むつでの広報活動ができており、良好と考える。
汚水衛生処理率	41%	41%		

4. 関連するSDGsのゴール(17)とターゲット(169)

	3.7		3.9		6.2		13.1		14.1
	15.1								

5. 令和5年度主要事業

【単位：千円】

事業名	事業内容		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
	重要業績評価指標	基準値	決算額	予算額	予定額	予定額	予定額
			目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
下水道排水設備工事費補助金・浄化槽設置整備事業費補助金事業	汚水衛生処理率の向上のため、公共下水道事業で整備された区域の市民の皆様へ下水道接続の案内を行い、接続工事費に対して補助金を交付する。また、公共下水道事業及び漁業集落排水処理事業区域外で、汲取りトイレや単独処理浄化槽から合併処理浄化槽へ設置替えを実施する個人に対して浄化槽設置整備補助金制度を広報する。		13,896	21,552	21,552	21,552	21,552
	【汚水衛生処理率(%)】	40.2 R3年度	41.0	41.9	42.8	43.8	44.8

6. 施策の進捗状況(内部評価)

令和5年度施策内容の進捗状況 (中間評価)	区分	選択区分	【評価の理由】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	B	<p>汚水衛生処理率向上に向け、郵送や広報むつでの広報活動ができており、概ね良好と考える。</p> <p>【今後の取組の方向性】 今後も継続して広報活動を続け、汚水衛生処理率の向上を目指す。</p>

令和5年度施策内容の進捗状況 (総合的な内部評価)	区分	選択区分	【評価の理由】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	A	<p>汚水衛生処理率向上に向け、下水道への接続、合併浄化槽の設置について、郵送や広報むつでの広報活動ができており、良好と考える。</p> <p>【今後の取組の方向性】 補助金の拡充について周知するなど、今後も広報活動を継続することで接続しやすい環境をつくり、汚水衛生処理率の向上を目指す。</p>

7. 施策の進捗状況(外部評価)

令和5年度施策内容の進捗状況 (総合的な外部評価)	区分	選択区分	評価割合		【主な意見】
A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている - わからない			A	15.0%	
			B	75.0%	
			C	5.0%	
			D	0.0%	
			-	5.0%	

施策評価調書(令和5年度)

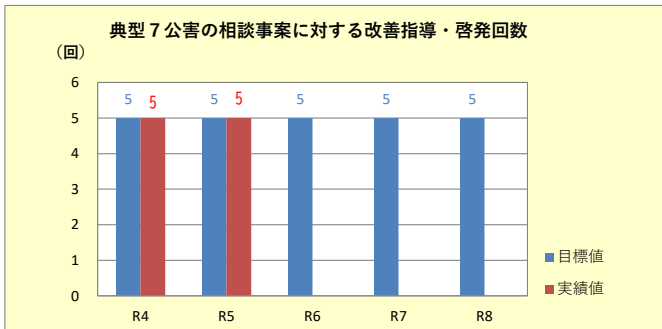
1. 施策体系と施策関係部局

基本方針	3. 高齢者福祉・医療・暮らしの充実	関係部局
施策項目	(3)環境	民生部
施策内容	③公害対策の充実	

2. 基本計画における指標(KPI)

【上段:目標値 下段:実績値】

指標名	単位	基準値	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
典型7公害の相談事案に対する改善指導・啓発回数	(回)	-	5	5	5	5	5
		令和3年度	5	5			



3. 年次目標【令和5年度】

内容	実績(目標)	達成状況報告
典型7公害に係る啓発活動	5回(5回)	市内の河川に係る水質検査の結果をHPで公表したほか、航空機騒音の発生について周知してきた。 冬期に多発する油漏れ等についても、各関係機関と連携し対応を行った。引き続き啓発に努めるほか、各種法令に基づく手続きについて広報していく。

《参考:令和4年度実績》

内容	年次目標	実績	評価区分	取組状況(評価結果)
典型7公害に係る啓発活動	5回	5回	B 概ね良好	情報提供及び苦情があった際には現場確認を行い正確な状況把握に努め、情報を記録し共有した。航空機等の騒音などの相談に対し、HPによる周知や事業所への注意喚起を行った。

4. 関連するSDGsのゴール(17)とターゲット(169)

	11.6		12.8		13.3				
--	------	--	------	--	------	--	--	--	--

5. 令和5年度主要事業

【単位:千円】

事業名	事業内容		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
	重要業績評価指標	基準値	決算額	予算額	予定額	予定額	予定額
公害対策費	公害の発生を未然に防止するため、環境に関する各種調査を実施し状況を把握する。公害に係る苦情について、調査・測定等を行い解決を図る。		1,051	1,520	1,523	1,520	1,523
	【典型7公害の相談事案に対する改善指導・啓発回数(件)】	-	5	5	5	5	5
騒音・振動対策事業	騒音・振動に係る公害の防止に努めるため、市内主要道路を交通量が一定と判断される区間に分け、それぞれの区間の道路状況や騒音状況を面的評価システムに入力・設定することによって面的評価を行い、環境基準の達成度を環境省へ報告するものである。専門的知識を要するため専門業者へ委託し実施する。		748	1,230	1,630	1,230	1,430
	【典型7公害の相談事案に対する改善指導・啓発回数(件)】	-	5	5	5	5	5

6. 施策の進捗状況

	区分	選択区分	【評価の理由】
令和5年度施策内容の進捗状況 (中間評価)	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	B	情報提供及び苦情があった際には現場確認を行い、正確な状況把握に努め、情報を記録し共有した。水質検査結果や騒音発生等の情報をHPIにより周知した。
			【今後の取組の方向性】 市内河川の水質検査及び自動車騒音調査を継続して実施。市民の方から相談があった際には速やかに調査等を行い、他市の対応事例や関係機関とも連携を図りながら早期に解決ができるよう対応していく。

	区分	選択区分	【評価の理由】
令和5年度施策内容の進捗状況 (総合的な内部評価)	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	B	情報提供及び苦情があった際には、関係機関と連携し、現場確認を行い、正確な状況把握に努め、情報を記録し共有した。水質検査結果や騒音発生等の情報をHPIにより周知した。
			【今後の取組の方向性】 市内河川の水質検査及び自動車騒音調査を継続して実施。市民の方から相談や苦情があった際には速やかに調査等を行い、他市の対応事例や関係機関とも連携を図りながら早期に解決ができるよう対応していく。

7. 施策の進捗状況(外部評価)

	区分	選択区分	評価割合		【主な意見】
令和5年度施策内容の進捗状況 (総合的な外部評価)	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている - わからない	/	A	5.0%	/
			B	90.0%	
			C	5.0%	
			D	0.0%	
			-	0.0%	

施策評価調書(令和5年度)

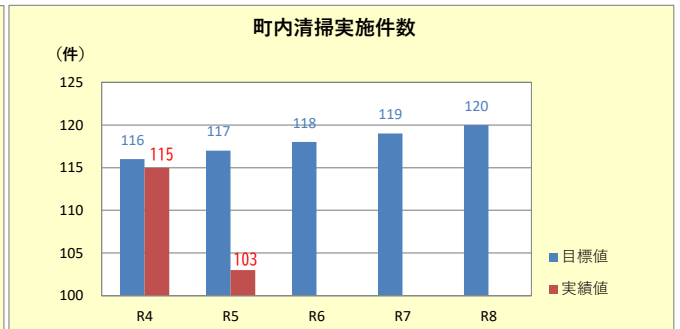
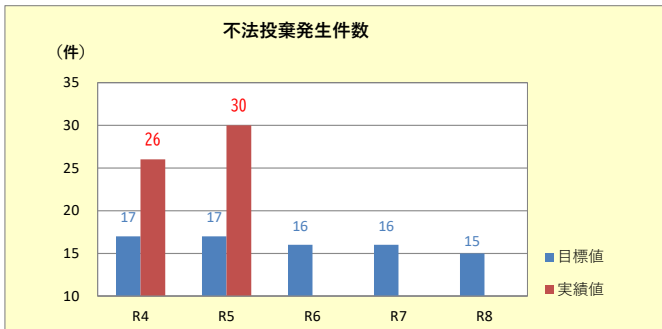
1. 施策体系と施策関係部局

基本方針	3. 高齢者福祉・医療・暮らしの充実	関係部局
施策項目	(3)環境	民生部
施策内容	④環境衛生対策、廃棄物対策の充実	

2. 基本計画における指標(KPI)

【上段:目標値 下段:実績値】

指標名	単位	基準値	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
不法投棄発生件数	(件)	18	17	17	16	16	15
		直近平均値	26	30			
町内清掃実施件数	(件)	113	116	117	118	119	120
		直近平均値	115	103			



3. 年次目標【令和5年度】

内容	実績(目標)	達成状況報告
適切なごみ分別啓発活動	12回(12回)	広報むつに家庭に優しいごみ情報として適切なおみ分別の記事を掲載し、正しいごみ分別がごみ減量やリサイクルにつながることを伝えることができています。また、ごみ分別に係る出前講座を1回実施した。
不法投棄防止対策	6回(4回)	不法投棄現場に更に看板を設置し、結果26枚を設置した。その後のパトロールや監視カメラの設置も継続して行っており、状況は改善している。

《参考:令和4年度実績》

内容	年次目標	実績	評価区分	取組状況(評価結果)
適切なごみ分別啓発活動	12回	12回	B 概ね良好	リサイクル等につながる広報啓発活動及び不法投棄に対するパトロールや監視カメラ設置によって監視対策も強化され、その後も不法投棄されておらず、効果があるものと認められたため、概ね良好とする。
不法投棄防止対策	3回	3回		

4. 関連するSDGsのゴール(17)とターゲット(169)

	11.6		12.4		12.5		13.3		
--	------	--	------	--	------	--	------	--	--

5. 令和5年度主要事業

【単位:千円】

事業名	事業内容		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
	重要業績評価指標	基準値	決算額	予算額	予定額	予定額	予定額
清掃関係事業(大掃除、じん芥処理)	廃棄物の処理及び清掃に関する法律第5条(清潔の保持)により、春・秋の大掃除を実施する。また、道路上で轢死した動物の死骸に対して、地域住民の生活衛生を保つため、迅速にじん芥処理を実施する。		1,504	1,212	1,212	1,172	1,172
	【不法投棄発生件数(件)】	18 平均値	17	17	16	16	15
	【町内清掃実施件数(件)】	113 平均値	116	117	118	119	120
資源ごみ回収事業	ごみの減量化及びリサイクルの推進、並びに容器包装リサイクル法への対応のため、資源ごみの集団回収を実施する。		14,124	15,726	15,729	15,729	15,729
	【1人1日当たりのごみ排出量(g)】	1,089 平均値	1,107	1,099	1,090	1,082	1,000
ごみ収集運搬事業	むつ市内から排出される生活系ごみの収集及び運搬を委託する。		281,925	295,949	298,049	298,049	298,049
	【不法投棄発生件数(件)】	-	-	-	-	-	-
不法投棄対策事業	不法投棄に伴う、撤去回収や防止・抑制を行う。		121	137	129	129	129
	【不法投棄発生件数(件)】	18 平均値	17	17	16	16	15

6. 施策の進捗状況

令和5年度施策内容の進捗状況 (中間評価)	区分	選択区分	【評価の理由】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	B	【評価の理由】 リサイクル等につながる広報啓発活動及び不法投棄に対するパトロールや監視カメラ設置によって監視対策も強化されており、概ね良好とする。 【今後の取組の方向性】 引き続きリサイクル効果につながる活動や不法投棄防止のパトロールや監視を行い、環境維持に向けた取り組みを進める。

令和5年度施策内容の進捗状況 (総合的な内部評価)	区分	選択区分	【評価の理由】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	B	【評価の理由】 リサイクル等につながる広報啓発活動及び不法投棄に対するパトロールや監視カメラ設置によって監視対策も強化されており、概ね良好とする。 【今後の取組の方向性】 引き続きリサイクル効果につながる活動や不法投棄防止のパトロールや監視を行い、環境維持に向けた取り組みを進める。

7. 施策の進捗状況(外部評価)

令和5年度施策内容の進捗状況 (総合的な外部評価)	区分	選択区分	評価割合		【主な意見】
A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている - わからない	B	B	A	5.0%	令和5年度の中間評価と総合的な内部評価において「評価の理由」と「今後の取組の方向性」が同じであることにやや疑問を感じます。KPIを見ると不法投棄発生件数は増加傾向にあるにもかかわらず、3の年次目標においては「状況は改善している」と達成状況を評価している点についても、そのように評価した理由について教えてください。
			B	70.0%	
			C	20.0%	
			D	5.0%	
			-	0.0%	

施策評価調書(令和5年度)

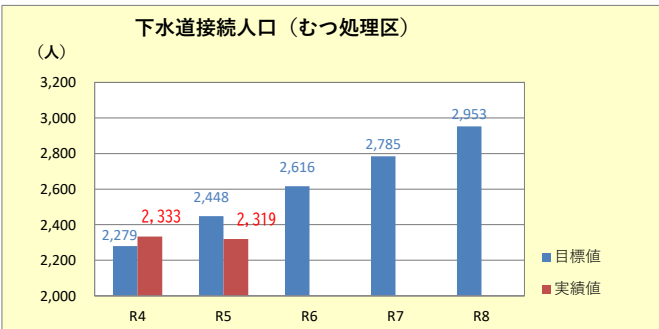
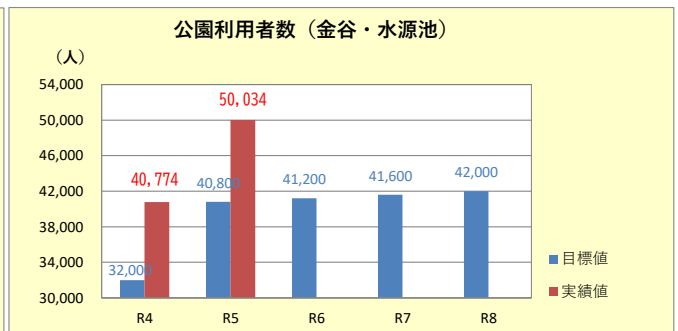
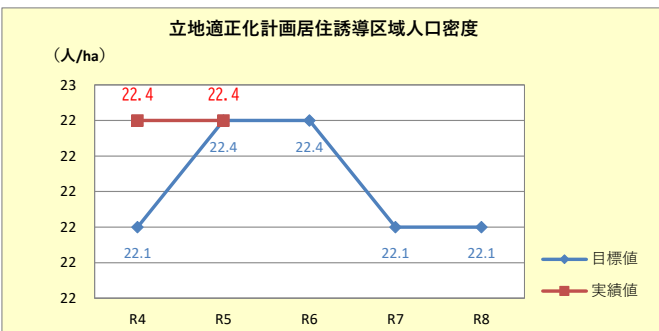
1. 施策体系と施策関係部局

基本方針	3. 高齢者福祉・医療・暮らしの充実	関係部局
施策項目	(4)コンパクト・プラス・ネットワーク	都市整備部
施策内容	①暮らしやすいまちの構築	上下水道局

2. 基本計画における指標(KPI)

[上段:目標値 下段:実績値]

指標名	単位	基準値	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
立地適正化計画居住誘導区域人口密度	(人/ha)	22.1	22.1	22.4	22.4	22.1	22.1
		平成22年度	22.4	22.4			
公園利用者数(金谷・水源池)	(人)	28,010	32,000	40,800	41,200	41,600	42,000
		令和2年度	40,774	50,034			
下水道接続人口(むつ処理区)	(人)	2,111	2,279	2,448	2,616	2,785	2,953
		令和3年度	2,333	2,319			



3. 年次目標【令和5年度】

内容	実績(目標)	達成状況報告
コンパクトシティ推進整備事業の実施箇所数	2箇所(2箇所)	市道新町昭和町線における歩行空間等の整備工事は12月に完成した。市道西町線の歩道整備に向けた用地調査業務は3月に完成し、用地買収も順調に進めることができた。
金谷都市拠点地区都市構造再編集集中支援事業進捗率	40.8%(45.1%)	用地買収及び物件移転補償については、対象物件の移転に時間を要し、次年度への繰越となっている。工事については、歩行空間整備が2月、駐車場整備及び広場整備が3月に完成した。
下水道接続人口(むつ処理区)	2,319人(2,448人)	下水道接続対象区域における人口減少が進む中であって、下水道に係る広報活動・接続を適切に行う事ができた。(下水道接続48件)

《参考:令和4年度実績》

内容	年次目標	実績	評価区分	取組状況(評価結果)
コンパクトシティ推進整備事業の実施箇所数	3箇所	2箇所	B 概ね良好	コンパクトシティ推進整備事業については、市道西町線の事業が繰越となったものの、他の2事業は概ね計画どおりに完了し、概ね良好と考える。 下水道事業については、下水道への接続人口向上に向け、郵送や広報むつでの広報活動ができており、良好と考える。
下水道接続人口(むつ処理区)	2,279人	2,333人		

4. 関連するSDGsのゴール(17)とターゲット(169)

	6.2		11.3		11.7		13.1		13.3
	14.1		15.1		17.17				

5. 令和5年度主要事業

【単位:千円】

事業名	事業内容		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
	重要業績評価指標	基準値	決算額	予算額	予定額	予定額	予定額
			目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
コンパクトシティ推進整備事業(昭和町地区交通安全対策事業)	コンパクトシティの推進にあたり、立地適正化計画で人口密度の維持を目標として定めた居住誘導区域において、スピード感をもって居住環境の支障となる都市基盤施設の整備を行うことで、官民連携による「安全・安心して暮らしやすく歩きたくなるまちづくり」を推進する。		114,128	96,955	100,000	50,000	-
	【居住誘導区域人口密度(人/ha)】	22.4 R3年度	22.4	22.4	22.4	22.4	22.4
金谷都市拠点地区都市構造再編集中支援事業	本地区は、金谷公園を中心におつ総合病院、下北文化会館、小学校、屋内遊戯施設、大学キャンパス、認定こども園等が立地し、今後、むつ総合病院新病棟の整備が予定されていることから、官民連携による都市機能の高度化及び各施設の一体的空間の形成により、多様なにぎわいとコミュニティの創出を図る。また、低未利用地の有効活用による公園区域の拡充により、まちの回遊性向上と歩行者ネットワークの強化を図るとともに、総合病院と金谷公園の一体的な医療機能及び防災機能の強化により、安全・安心して暮らしやすいまちの実現を図る。(金谷公園の改修、歩行空間、防犯カメラ等の整備等)		214,000	89,000	331,000	957,000	2,216,000
	【居住誘導区域人口密度(人/ha)】	22.4 R3年度	22.4	22.4	22.4	22.4	22.4
	【金谷公園利用者数(人/年)】	31,162 R3年度	31,200	31,200	32,000	33,000	35,000
下水道排水設備工事費補助金事業	下水道接続人口向上のため、公共下水道事業で整備された区域の市民の皆様へ下水道接続の案内を行い、接続工事費に対して補助金(新築以外)を交付する。		6,059	6,000	6,000	6,000	6,000
	【下水道接続人口(人)】	2,111 R3年度	2,279	2,448	2,616	2,785	2,953

6. 施策の進捗状況

令和5年度施策内容の進捗状況(中間評価)	区分	選択区分	【評価の理由】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	B	昭和町地区交通安全対策事業及び金谷都市拠点地区都市構造再編集中支援事業については、概ね計画どおりに進められており、概ね良好と考える。 下水道への接続人口向上に向け、郵送や広報むつでの広報活動ができており、概ね良好と考える。

令和5年度施策内容 の進捗状況 (総合的な内部評価)	区分 A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	選択区分 B	【評価の理由】 昭和町地区交通安全対策事業は、概ね計画どおりに進められていることから、概ね良好と考える。 金谷都市拠点地区都市構造再編集集中支援事業については、支障物件の移転に時間を要し一部次年度への繰越が発生したものの、事業全体として概ね計画どおりに進められていることから、概ね良好と考える。 下水道事業は、新たな整備を中止したことから、当初の目標値に届かなかったが、下水道の代替えとする合併浄化槽の整備を含んだ指標である汚水衛生処理率(3-(3)-②指標)は、計画値41.9%に対し実績値42.1%と目標を達成できていることから、概ね良好と考える。
			【今後の取組の方向性】 昭和町地区交通安全対策事業及び金谷都市拠点地区都市構造再編集集中支援事業については、関係機関や地権者等との円滑な調整に努め、事業の進捗を図る。 下水道事業については、今後も継続して広報活動を続け、新たな整備を中止した影響を勘案しつつ、下水道接続人口の増加を目指す。

7. 施策の進捗状況(外部評価)

令和5年度施策内容 の進捗状況 (総合的な外部評価)	区分 A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている - わからない	選択区分	評価割合		【主な意見】
			A	0.0%	
			B	90.0%	
			C	10.0%	
			D	0.0%	
			-	0.0%	

施策評価調書(令和5年度)

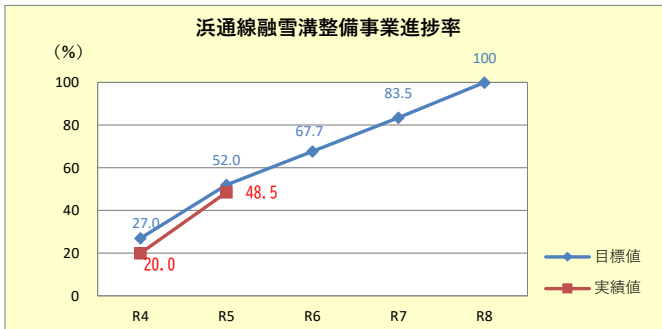
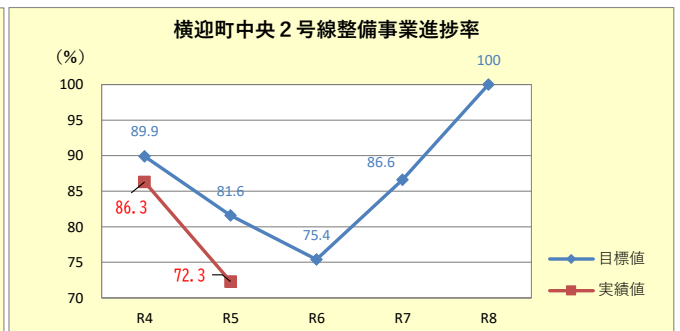
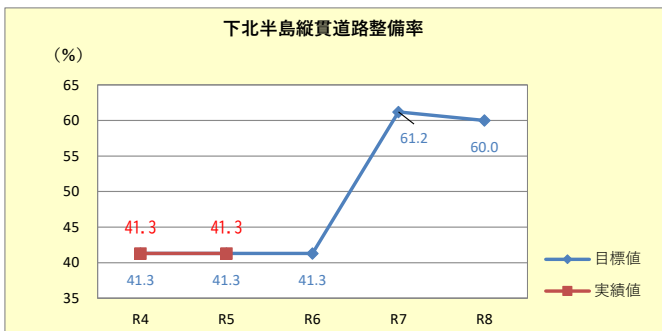
1. 施策体系と施策関係部局

基本方針	3. 高齢者福祉・医療・暮らしの充実	関係部局
施策項目	(4)コンパクト・プラス・ネットワーク	都市整備部
施策内容	②道路基盤の整備	上下水道局

2. 基本計画における指標(KPI)

[上段:目標値 下段:実績値]

指標名	単位	基準値	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
下北半島縦貫道路整備率	(%)	39.0	41	41.3	41.3	61.2	60.0
		令和3年度	41.3	41.3			
横迎町中央2号線整備事業進捗率	(%)	77.6	89.9	81.6	75.4	86.6	100
		令和2年度	86.3	72.3			
浜通線融雪溝整備事業進捗率	(%)	17.4	27.0	52.0	67.7	83.5	100
		令和2年度	20.0	48.5			








3. 年次目標【令和5年度】

内容	実績(目標)	達成状況報告
横迎町中央2号線整備事業進捗率	72.3%(81.6%)	用地買収箇所の物件移転について、年度内での移転が完了できなかったことに伴い、道路整備工事は施工延長を210mに縮小して実施した。
浜通線融雪溝整備事業進捗率	48.5%(52.0%)	ロードヒーティング部分施工による影響で繰越となったが、進捗については概ね良好である。

《参考:令和4年度実績》

内容	年次目標	実績	評価区分	取組状況(評価結果)
横迎町中央2号線整備事業進捗率	89.9%	86.3%	B 概ね良好	横迎町中央2号線整備事業については、概ね計画どおりに進められており、概ね良好と考える。 浜通線融雪溝整備事業については、概ね計画通りに工事は進んでおり、概ね良好と考える。
浜通線融雪溝整備事業進捗率	27%	20%		

4. 関連するSDGsのゴール(17)とターゲット(169)

	8.3		8.9		11.1		11.2		11.3
	11.7		11.a						

5. 令和5年度主要事業

【単位:千円】

事業名	事業内容		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
	重要業績評価指標	基準値	決算額	予算額	予定額	予定額	予定額
横迎町中央2号線整備事業	都市計画道路横迎町中央2号線は、市街地東側の国道279号むつバイパスから県道下北停車場線までの区間全体延長3,570mで、田名部地区と中央地区を結ぶ路線として重要な道路である。 また、市役所やむつ警察署が立地する防災拠点地区において、国道338号バイパスの代替路線として重要な路線であり、防災機能の向上に必要な路線である。		40,634	197,491	180,000	180,000	-
		【事業進捗率(%)】	68.1 R3年度	70.4	81.6	90.8	100
道路整備事業	浜通線、中荒川・中山線について、狭隘であり、歩行者及び車両の安全確保のため、舗装打ち換え、側溝及び融雪溝を整備するもの。 また、工事完了から長期間経過したことで、舗装面が劣化し、修繕が必要となっているが、個別施設計画を策定しておらず、国庫補助を適応できない状態となっていることから、舗装長寿命化修繕計画を策定することで国庫補助の獲得をし、計画的な道路の維持管理を図るもの。		21,956	183,907	210,000	100,000	-
		【-】	-	-	-	-	-

6. 施策の進捗状況(内部評価)

	区分	選択区分	【評価の理由】
令和5年度施策内容の進捗状況(中間評価)	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	B	横迎町中央2号線整備事業については、概ね計画どおりに進められており、概ね良好と考える。 浜通線融雪溝整備事業については、支障に係る対応を要しているが、工事は概ね良好に進んでいる。
			【今後の取組の方向性】 横迎町中央2号線整備事業については、用地買収等が完了した区域から道路整備工事を進める。 浜通線融雪溝整備事業については、予算及び交付金確保に向けて次年度以降の計画を検討する。

	区分	選択区分	【評価の理由】
令和5年度施策内容の進捗状況(総合的な内部評価)	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	B	横迎町中央2号線整備事業については、物件移転の未了に伴い、施工可能な範囲で道路整備を実施した。 浜通線融雪溝整備事業については、用地買収及び工事を並行しているが概ね良好に進んでいる。
			【今後の取組の方向性】 横迎町中央2号線整備事業については、早期の物件移転に向けた交渉を継続することとし、物件移転の完了後に道路整備工事を進めることとする。 浜通線融雪溝整備事業については、予算及び交付金確保に努め、事業進捗を図る。

7. 施策の進捗状況（外部評価）

	区分	選択区分	評価割合		【主な意見】
令和5年度施策内容 の進捗状況 (総合的な外部評価)	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている - わからない	/	A	0.0%	/
			B	75.0%	
			C	20.0%	
			D	0.0%	
			-	5.0%	

施策評価調書(令和5年度)

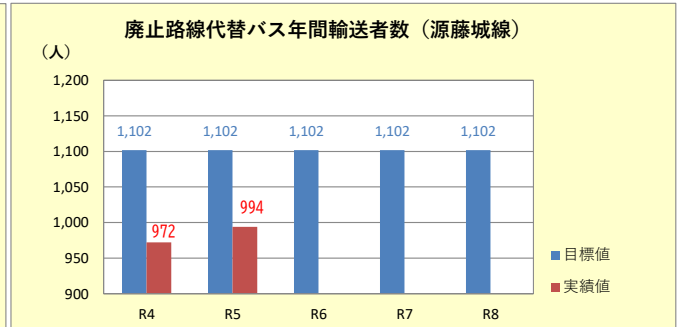
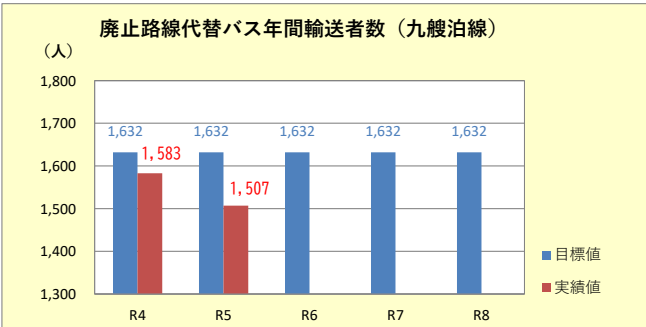
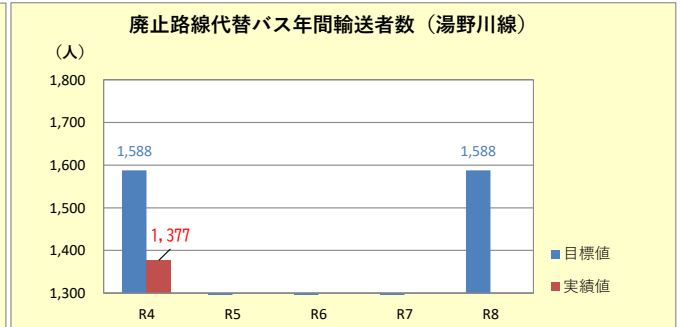
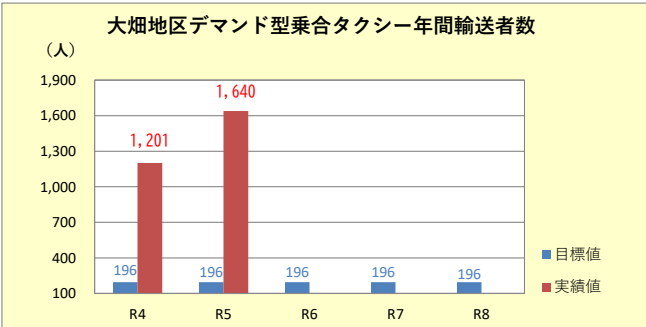
1. 施策体系と施策関係部局

基本方針	3. 高齢者福祉・医療・暮らしの充実	関係部局
施策項目	(4)コンパクト・プラス・ネットワーク	企画政策部
施策内容	③公共交通の確保	

2. 基本計画における指標(KPI)

[上段:目標値 下段:実績値]

指標名	単位	基準値	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
大畑地区デマンド型乗合タクシー年間輸送者数	(人)	196 令和2年度	196	1,640	196	196	196
廃止路線代替バス年間輸送者数(湯野川線)	(人)	1,588 令和2年度	1,588	-	-	-	1,588
廃止路線代替バス年間輸送者数(九艘泊線)	(人)	1,632 令和2年度	1,632	1,632	1,632	1,632	1,632
廃止路線代替バス年間輸送者数(源藤城線)	(人)	1,102 令和2年度	1,102	1,102	1,102	1,102	1,102
			972	994			









3. 年次目標【令和5年度】

内容	実績(目標)	達成状況報告
大畑～奥薬研地区デマンド型乗合タクシーにおける年間輸送者数	1,640人(196人)	タクシー事業者と定期的なヒアリングを実施。 地域住民の買い物利用のための利便性向上のため、令和6年度より、マエグストア大畑店の停留所を新設した。
川内～湯野川地区デマンド型乗合タクシー実証運行における年間輸送者数	399人(372人)	タクシー事業者の運転手不足問題等により、現行の運行体制の継続が難しいことから、令和6年度より、市の直営運行によるむつ市コミュニティタクシー(自家用有償旅客運送)を実施。
廃止路線代替バス年間輸送者数(九艘泊線、源藤城線)	2,501人(2,734人)	バス事業者と定期的なヒアリングを実施。 市の今後の公共交通の在り方について、検討を重ねた。

《参考：令和4年度実績》				
内容	年次目標	実績	評価区分	取組状況(評価結果)
年間輸送者数の維持	4,518人	5,133人	B 概ね良好	年間輸送者数の維持及びむつ市高齢者無料乗車証の交付枚数が計画値を上回ったこと、路線バス情報のGTFSデータ整備及び経路検索サービスへの対応においては、計画値3事業者のうち2事業者のデータを更新していることから、「B 概ね良好」とした。
路線バス情報のGTFSデータ整備及び経路検索サービスへの対応	3事業者	2事業者		
むつ市高齢者無料乗車証の交付枚数	2,514人	3,549人		

4. 関連するSDGsのゴール(17)とターゲット(169)

	3.9		4.3		8.6		10.2		11.2
	13.1								

5. 令和5年度主要事業

【単位：千円】

事業名	事業内容		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
	重要業績評価指標	基準値	決算額	予算額	予定額	予定額	予定額
デマンド型乗合タクシー運行事業	「薬研・小目名線」「川内～湯野川線」「川内町内線」の廃止に伴い、地域住民の交通手段を確保するため、タクシー会社へ委託し「デマンド型乗合タクシー」を運行している。		1,723	11,446	9,120	9,120	9,120
	【年間輸送者数(大畑地区)(人)】	381 R3年度	400	400	400	400	400
	【年間輸送者数(川内地区)(人)】	-	-	372	372	372	372
廃止路線代替バス運行対策事業	路線バスが廃止された後において、地域内の廃止路線を運行するバス事業者に対し補助金を交付することにより、路線を維持するとともに地域住民の生活及び移動に必要な交通手段を確保する。		6,543	5,046	3,570	3,570	3,570
	【廃止路線代替バス路線数(九艘泊線)(本)】	1 R3年度	1	1	1	1	1
	【廃止路線代替バス路線数(源藤城線)(本)】	1 R3年度	1	1	1	1	1
	【廃止路線代替バス路線数(川内～湯野川線)(本)】	1 R3年度	1	-	-	-	-

6. 施策の進捗状況(内部評価)

令和5年度施策内容の進捗状況(中間評価)	区分	選択区分	【評価の理由】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	B	各取組において概ね計画どおり進行しているため、「B概ね良好」とした。 【今後の取組の方向性】 今後において、適切な公共交通の維持確保に努めるため、事業者との定期的なヒアリング等を実施し、効率的かつ効果的な公共交通体系への見直しを図るとともに、持続性の高い公共交通ネットワークの形成を図る。

令和5年度施策内容の進捗状況(総合的な内部評価)	区分	選択区分	【評価の理由】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	B	各取組において概ね計画どおり進行しているため、「B概ね良好」とした。 【今後の取組の方向性】 今後において、公共交通事業者との定期的なヒアリング等を実施し、効率的かつ効果的な公共交通体系への見直しを図るとともに、市内における移動需要を公共交通に集約化し、持続性の高い公共交通ネットワークの形成を図る。

7. 施策の進捗状況（外部評価）

	区分	選択区分	評価割合		【主な意見】
				A	
令和5年度施策内容 の進捗状況 (総合的な外部評価)	A 順調に推移	/	B	90.0%	企業による無料「お買い物バス」には多くの市民が乗っているが事業継続の保証が無い。どう関わっていくのか。JRバス東北でも危機感をもっています。
	B 一定の進捗がある		C	10.0%	
	C 進捗は遅れている		D	0.0%	
	D 進捗は大幅に遅れている		-	0.0%	
	- わからない				

施策評価調書(令和5年度)

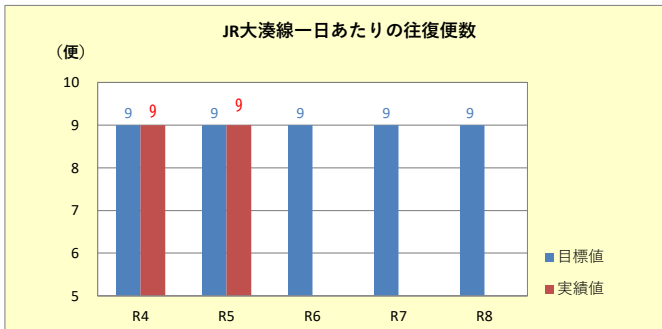
1. 施策体系と施策関係部局

基本方針	3. 高齢者福祉・医療・暮らしの充実	関係部局
施策項目	(4)コンパクト・プラス・ネットワーク	企画政策部
施策内容	④広域交通ネットワークの形成	

2. 基本計画における指標(KPI)

【上段:目標値 下段:実績値】

指標名	単位	基準値	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
JR大湊線一日あたりの往復便数	(便)	9	9	9	9	9	9
		令和2年度	9	9			



3. 年次目標【令和5年度】

内容	実績(目標)	達成状況報告
国・県に対する要請活動	2回(2回)	11月6日開催の青森県知事との意見交換会にて「下北半島縦貫道路の整備促進」「国道279号の整備促進及び国直轄移管」「国道338号の整備促進」について要望した。 また、2月14日には青森県選出国會議員及び国土交大臣政務官へ「国道279号及び下北半島縦貫道路の整備促進」について要望した。
国道279号風間浦バイパス概略計画PIプロジェクト地域懇談会	1回(1回)	9月12日、第3回地域懇談会を開催し、沿線地域住民との間で、全線バイパス案とする国道279号風間浦バイパス概略計画について合意形成が図られた。 3回にわたり実施した地域懇談会により概略ルート帯が選定され、バイパスの概略計画が決定したことについて、市民に対し広報12月号及びHPにて周知した。
JR大湊線活性化協議会による調査事業	1事業(1事業)	9月20日、令和5年度第1回JR大湊線活性化協議会総会を開催し、令和5年度においては、大湊線に関する基礎データの調査、収集及び分析に取り組むためのアンケート調査を実施することとした。 大湊線アンケート調査事業 ・10~12月:調査設計、アンケート作成・印刷・12月22日から:アンケート発送 ・1月31日まで:アンケートメ切・2月から:アンケート集計及び分析

《参考:令和4年度実績》

内容	年次目標	実績	評価区分	取組状況(評価結果)
国・県に対する要請活動	2回	3回	A 良好	年次目標としていた要請活動の回数を達成しており、また、7月28日のJR東日本における利用の少ない線区の経営情報の開示以降、県内初の協議会を設立したことから、評価区分は「A良好」とした。
JR東日本に対する要請活動	2回	2回		
JR大湊線沿線自治体を中心とした協議会の設立	1協議会	1協議会		

4. 関連するSDGsのゴール(17)とターゲット(169)

	3.9		4.3		8.6		9.1		10.2
	11.2		13.1						

5. 令和5年度主要事業

【単位:千円】

事業名	事業内容		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
	重要業績評価指標	基準値	決算額	予算額	予定額	予定額	予定額
下北総合開発期成同盟会・下北半島振興促進連絡協議会事業	国道279号及び国道338号は、本市にとって地域住民の命を守るために必要な重要な路線である。国道279号は、緊急時の避難道路あるいは支援物資の輸送道路としての役割を担う「下北半島縦貫道路」の完成と「むつ市から大間町までのバイパス化」、国道338号は狭隘箇所の改良など、両路線ともに早期整備が望まれている。このことから、周辺自治体と協力して当該路線に関する要望活動を行い、早期整備につなげる。		352	673	407	407	407
	【下北半島縦貫道路整備率(%)】	39.0 R3年度	42.0	42.0	42.0	60.0	60.0
	【国・県に対する要望活動回数(回)】	2 R3年度	2	2	2	2	2
下北地域公共交通総合連携協議会負担金	下北圏域市町村が参画し、むつ市が事務局となっている「下北地域公共交通総合連携協議会」への負担金。当該協議会では平成29年度に「下北地域公共交通網形成計画」を策定し、計画に基づいた公共交通利用促進事業を実施するとともに観光その他の地域間交流の促進を図る。		200	200	200	200	200
	【地域間幹線路線数(本)】	6 R3年度	6	6	6	6	6

6. 施策の進捗状況(内部評価)

令和5年度施策内容の進捗状況(中間評価)	区分	選択区分	【評価の理由】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	B	B

令和5年度施策内容の進捗状況(総合的な内部評価)	区分	選択区分	【評価の理由】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	B	B

7. 施策の進捗状況(外部評価)

令和5年度施策内容の進捗状況(総合的な外部評価)	区分	選択区分	評価割合		【主な意見】
A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている - わからない			A	10.0%	
			B	70.0%	
			C	15.0%	
			D	0.0%	
			-	5.0%	

施策評価調書(令和5年度)

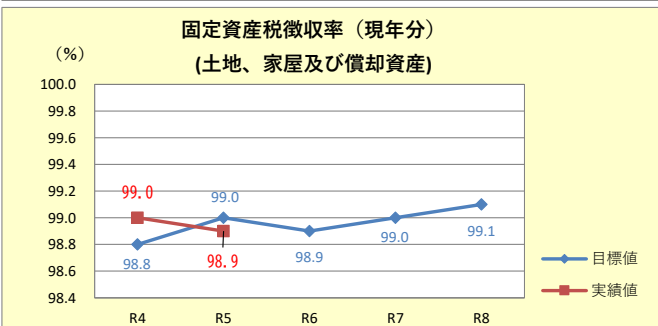
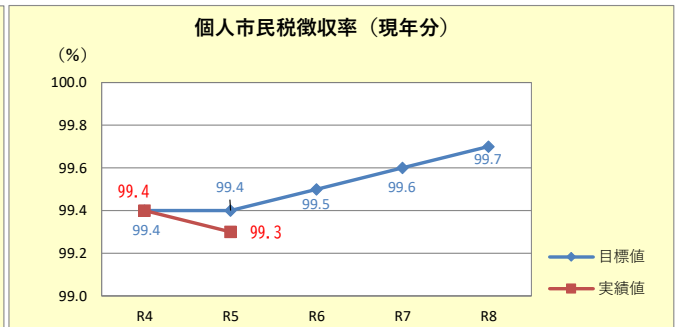
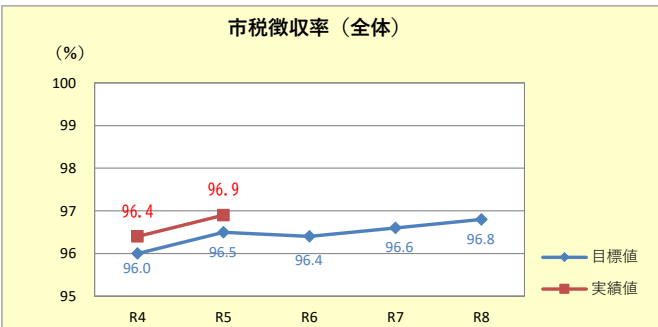
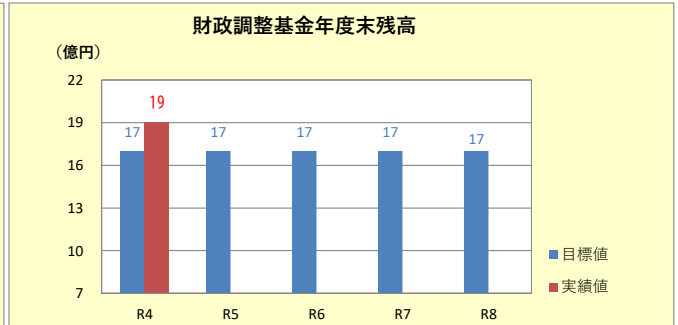
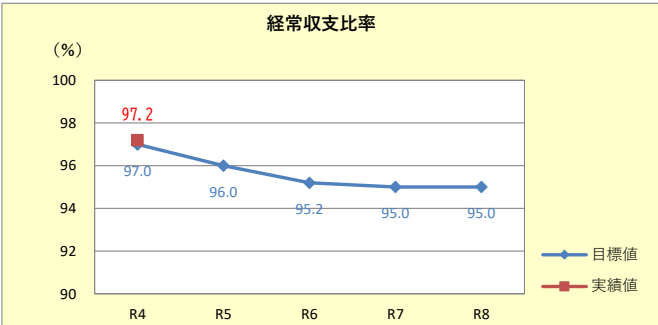
1. 施策体系と施策関係部局

基本方針	3. 高齢者福祉・医療・暮らしの充実	関係部局
施策項目	(5)行財政基盤	財務部
施策内容	①財政の健全化	

2. 基本計画における指標(KPI)

[上段:目標値 下段:実績値]

指標名	単位	基準値	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
経常収支比率	(%)	98.1	97.0	96.0	95.2	95.0	95.0
		令和2年度	97.2	-			
財政調整基金年度末残高	(億円)	10	17以上	17以上	17以上	17以上	17以上
		令和2年度	19	-			
市税徴収率(全体)	(%)	95.5	96.0	96.5	96.4	96.6	96.8
		令和2年度	96.4	96.9			
個人市民税徴収率(現年分)	(%)	99.3	99.4	99.4	99.5	99.6	99.7
		令和2年度	99.4	99.3			
固定資産税徴収率(現年分) (土地、家屋及び償却資産)	(%)	98.7	98.8	99.0	98.9	99.0	99.1
		令和2年度	99.0	98.9			




















3. 年次目標【令和5年度】

内容	実績(目標)	達成状況報告
財政調整基金残高の維持	17億円見込み (17億円以上)	令和6年3月補正後の残高は約14億円であるが、執行残等の精査により、計画値は維持できる見込みである。
市税徴収率(全体)	96.9%(96.5%)	夜間・休日の収納相談窓口の実績は、件数560件、収納税額1,573万円となっている。差押件数は223件、差押額は2,787万円、充当税額は1,366万円となっている。収入未済額の縮減策として、財産調査の結果により徴収困難と判断されるものに対して、適切に滞処分停止及び不能欠損を行った。(市税不能欠損額2,271万円) 口座振替依頼延件数は63,031件、スマホ及びバーコード決済の利用件数は2,777件となっている。
個人市民税徴収率(現年)	99.3%(99.4%)	
固定資産税徴収率(現年) (土地、家屋及び償却資産)	99.0%(99.0%)	

《参考：令和4年度実績》

内容	年次目標	実績	評価区分	取組状況(評価結果)
財政調整基金残高の維持	17億円以上	約13億9,000万円	B 概ね良好	市税の収納率について、3月末時点で前年同期比の0.6ポイント増となっており、前年比0.2ポイント増とした目標値の96.0%を確保できる見込みであることから徴収対策については良好である。 燃料費の高騰による補正等により財調残高が減少しているものの、一定程度の財調残高が確保されていることから概ね良好との判断とするが、引き続き、燃料高騰等の影響を注視する必要がある。
市税徴収率(全体)	96.0%	96.0%		
個人市民税徴収率(現年)	99.1%	99.4%		
固定資産税徴収率(現年) (土地、家屋及び償却資産)	99.0%	99.0%		

4. 関連するSDGsのゴール(17)とターゲット(169)

	1.3		2.1		3.6		4.3		5.5
	6.6		7.1		8.9		9.1		10.4
	11.2		12.5		13.1		14.3		15.4
	16.6		17.14						

5. 令和5年度主要事業

【単位：千円】

事業名	事業内容		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
	重要業績評価指標	基準値	決算額	予算額	予定額	予定額	予定額
			目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
財政の健全化(「むつ総合病院債務負担行為履行」のみ事業費計上) ・基金繰替運用 ・有効な地方債の活用 ・新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の活用	新たな財源の確保や有利な起債の活用等、歳入確保に努めつつ、歳入に見合った予算編成と適切な執行管理により、普通建設事業実施に伴う公債費の増加やむつ総合病院の対する債務負担行為の履行等、財政運営上の諸課題に対応しつつ、財政運営の健全化と安定化を図る。		140,000	140,000	140,000	140,000	140,000
	【経常収支比率(3ヶ年平均)(%)】	98.1	96.9	96.4	95.0	94.8	95.4
	【財政調整基金年度末残高(億円)】	10	18.90	20.26	20.26	20.26	19.26
	【むつ総合病院債務負担行為残額(億円)】	23.5	20.7	19.3	17.9	16.5	15.1
		R2年度					

事業名	事業内容		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
			決算額	予算額	予定額	予定額	予定額
	重要業績評価指標	基準値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
市税徴収率の向上	市税は、行政運営を行うため必要かつ極めて重要な財源であることから、納税者の理解の下、「公平かつ適正な課税」を念頭におきつつ「効率的で効果的な徴収対策」を講じ、安定的に確保する必要があるため、徴収強化のほか、口座振替の推進、コンビニ収納に係る税目の拡充等、納税機会の拡大を意図した徴収確保対策を展開し、市税全体の徴収率の底上げを図る。		0	0	0	0	0
	【市税徴収率(全体)(%)】	95.5 R2年度	96.0	96.5	96.6	96.7	96.8
	【個人市民税徴収率(現年分)(%)】	99.3 R2年度	99.1	99.4	99.5	99.6	99.7
	【固定資産税徴収率(現年分)(土地、家屋及び償却資産)(%)】	98.7 R2年度	99.0	99.0	99.0	99.1	99.1

6. 施策の進捗状況(内部評価)

令和5年度施策内容の進捗状況(中間評価)	区分	選択区分	【評価の理由】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	B	現状の財調残高から概ね良好と判断されるが、降雪量次第では大きく残高が減少する可能性がある。市税の収納率について、前年同期と比較して、各税目とも現年徴収率は、やや下回っているものの、滞繰徴収率は大きく上回っており、これまでの各徴収対策の効果によるものと評価している。
			【今後の取組の方向性】 引き続き財政の健全化に向け、事業のスクラップアンドビルドに努める。市税について、引き続き、適正な課税事務及び徴収率向上に向けた徴収事務を進めるよう努めていく。

令和5年度施策内容の進捗状況(総合的な内部評価)	区分	選択区分	【評価の理由】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	B	現状の財調残高から概ね良好と判断されるが、不測の事態等により残高が減少する可能性がある。 市税について、現年課税分は、各税目の計画値どおり推移し、滞納繰越分は、前年度を6.3%上回る実績となっている、市税全体の徴収率は計画値を達成しており、これまでの各徴収対策の効果によるものと評価している。
			【今後の取組の方向性】 引き続き財政の健全化に向け、事業のスクラップアンドビルドに努める。市税について、適正な課税事務及び徴収率向上に向けた徴収事務を進めるよう努めていく。

7. 施策の進捗状況(外部評価)

令和5年度施策内容の進捗状況(総合的な外部評価)	区分	選択区分	評価割合		【主な意見】
A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている - わからない			A	5.0%	
			B	90.0%	
			C	5.0%	
			D	0.0%	
			-	0.0%	

施策評価調書(令和5年度)

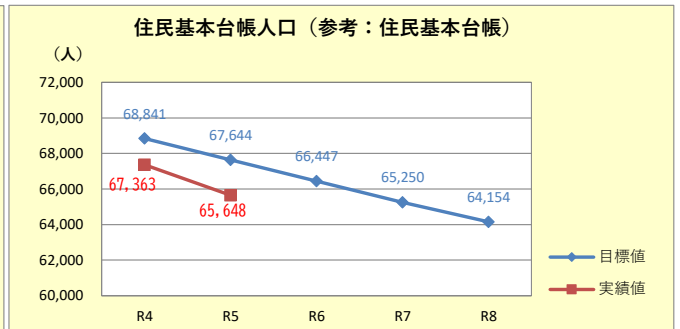
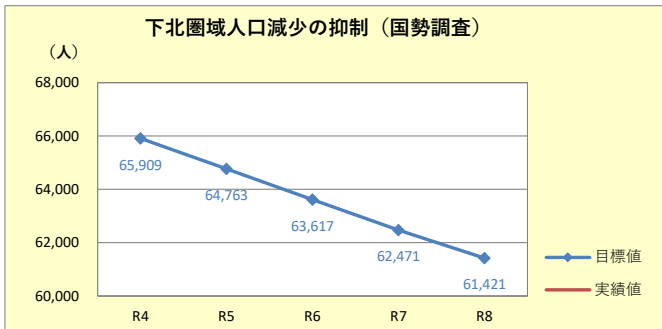
1. 施策体系と施策関係部局

基本方針	3. 高齢者福祉・医療・暮らしの充実	関係部局
施策項目	(5)行財政基盤	企画政策部
施策内容	②広域行政の推進	

2. 基本計画における指標(KPI)

【上段:目標値 下段:実績値】

指標名	単位	基準値	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
下北圏域人口減少の抑制(国勢調査)	(人)	68,200	65,909	64,763	63,617	62,471	61,421
		令和2年度	-	-	-	-	-
住民基本台帳人口(参考:住民基本台帳)	(人)	71,234	68,841	67,644	66,447	65,250	64,154
		令和2年度	67,363	65,648	-	-	-



3. 年次目標【令和5年度】

内容	実績(目標)	達成状況報告
共生ビジョン懇談会でのB評価(やや効果がある)以上の事業割合	69% (50%:全26事業)	共生ビジョン懇談会委員から各事業について評価いただき、B評価以上が全体の69%であった。 また、市町村長会議を開催し、第3次共生ビジョンの策定方針について協議した。

《参考:令和4年度実績》

内容	年次目標	実績	評価区分	取組状況(評価結果)
共生ビジョン懇談会でのB評価(やや効果がある)以上の事業割合	50%(全26事業)	50.0%	B 概ね良好	新型コロナウイルスの影響により、市町村長会議及び第2回共生ビジョン懇談会は書面評決となったが、協定の変更について滞りなく承認を得た上で、変更に至ったため概ね良好とする。

4. 関連するSDGsのゴール(17)とターゲット(169)

	11.2		14.2		15.4		16.6		17.17
--	------	--	------	--	------	--	------	--	-------

5. 令和5年度主要事業

【単位:千円】

事業名	事業内容		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
	重要業績評価指標	基準値	決算額	予算額	予定額	予定額	予定額
			目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
下北圏域定住自立圏推進事業	下北圏域においては、平成27年に「定住自立圏共生ビジョン」を策定し、定住自立圏の取組を推進している。また、下北圏域定住自立圏共生ビジョン懇談会を活用したPDCAサイクルを運用し、効果的な事業実施を図る。		238	594	929	594	594
	【共生ビジョン懇談会でのB評価(やや効果がある)以上の事業割合(%)】	50.0	50.0	55.0	60.0	65.0	70.0

6. 施策の進捗状況（内部評価）

令和5年度施策内容 の進捗状況 (中間評価)	区分 A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	選択区分 B	【評価の理由】 概ね計画どおり進行しているため、「B概ね良好」とした。
			【今後の取組の方向性】 令和4年度の事業評価については、第2回担当課長会議及び共生ビジョン懇談会を経て決定する。 また、令和7年度から令和11年度の5か年計画とする第3次下北圏域定住自立圏共生ビジョンの策定に向けて、令和6年1月開催予定の市町村会議にてその方針を定めることとしている。

令和5年度施策内容 の進捗状況 (総合的な内部評価)	区分 A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	選択区分 B	【評価の理由】 第2次下北圏域定住自立圏共生ビジョンに位置づけている26事業について、圏域町村と協力・連携し取り組むことで、年次目標を達成することができた。 KPIの『人口減少の抑制』に関しては、今後取組の効果が表れてくるものと考えため、施策としては「B 概ね良好」とする。
			【今後の取組の方向性】 令和7年度から令和11年度の5か年計画とする第3次下北圏域定住自立圏共生ビジョンの策定に向けて、担当課長会議、共生ビジョン懇談会、市町村長会議を開催し、事業やKPI等の見直しを実施した上で、令和6年度中での策定を行う。

7. 施策の進捗状況（外部評価）

令和5年度施策内容 の進捗状況 (総合的な外部評価)	区分 A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている - わからない	選択区分	評価割合		【主な意見】 遠くない将来、下北半島は一つの自治体とならなければ維持できないと思う。リーダーシップを持って粛々と計画をお願いします。
			A	0.0%	
			B	95.0%	
			C	5.0%	
			D	0.0%	
			-	0.0%	

施策評価調書(令和5年度)

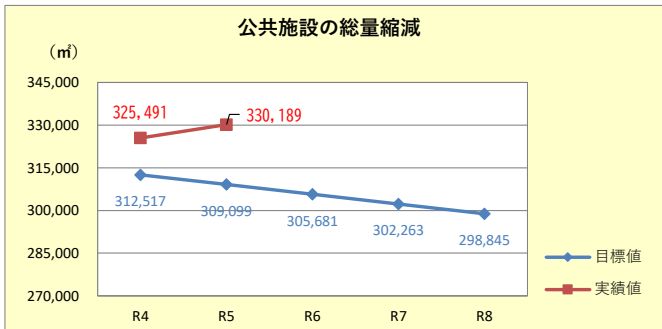
1. 施策体系と施策関係部局

基本方針	3. 高齢者福祉・医療・暮らしの充実	関係部局
施策項目	(5)行財政基盤	財務部
施策内容	③公共施設マネジメントの推進	

2. 基本計画における指標(KPI)

【上段:目標値 下段:実績値】

指標名	単位	基準値	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
公共施設の総量縮減	(㎡)	315,935.23	312,517	309,099	305,681	302,263	298,845
		令和2年度	325,491	330,189			



3. 年次目標【令和5年度】

内容	実績(目標)	達成状況報告
未利用施設の利活用	0(1提案)	令和4年度に採択された提案について、今年度、対象施設の譲渡を行い未利用財産の有効活用と市有施設327.90㎡の総量縮減につながった。 令和5年度の提案実績はゼロで目標を下回る結果となった。次年度以降、対象施設の見直し等も行いながら、引き続き未利用財産の有効活用と市有施設の総量縮減に務める。
次年度解体・改修(長寿命化)施設の選定	3施設(3施設)	10月に21施設の現地調査を行い、市営桜木町市営住宅4棟、湯野川濃々園及び脇野沢野営場の3施設について、解体及び改修に係る令和6年度予算を確保できた。
施設の解体	4施設(2施設)	令和5年度は、松川及び宿野部の2市営住宅団地のほか、旧宇田運動公園及び旧関根中学校の一部について解体工事を行った。

《参考:令和4年度実績》

内容	年次目標	実績	評価区分	取組状況(評価結果)
未利用施設の利活用	1提案	1提案	B 概ね良好	市有財産利活用民間提案制度の提案が採択され、市の未利用財産が民間事業者によって活用されることになった。ネーミングライツについても、継続の契約となった。施設解体のための予算化は1施設であったが、予算編成全体の中での判断となるので前進はしたものと評価している。
ネーミングライツパートナーの募集	1件	1件		
次年度解体・改修(長寿命化)施設の選定	5施設	1施設		

4. 関連するSDGsのゴール(17)とターゲット(169)

	11.7		12.7						
--	------	--	------	--	--	--	--	--	--

5. 令和5年度主要事業

【単位:千円】

事業名	事業内容		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
	重要業績評価指標	基準値	決算額	予算額	予定額	予定額	予定額
			目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
財産管理事業 ・市有財産活用民間提案制度 ・解体・改修施設選定に向けた現地調査 ・施設の解体	人口減少や高齢化が進行する中においても、安全・安心して快適な公共施設を提供するため、これらの適切な配置と計画的な維持管理等、統括的な公共施設マネジメントを行うほか、市有財産の維持管理や各種保険に関する事務を行う。		10,460	11,151	11,151	11,151	11,151
	【公共施設総量(㎡)】	315,935 R2年度	312,517	309,099	305,681	302,263	298,845

6. 施策の進捗状況(内部評価)

令和5年度施策内容の進捗状況(中間評価)	区分	選択区分	【評価の理由】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	B	B

令和5年度施策内容の進捗状況(総合的な内部評価)	区分	選択区分	【評価の理由】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	B	B

7. 施策の進捗状況(外部評価)

令和5年度施策内容の進捗状況(総合的な外部評価)	区分	選択区分	評価割合		【主な意見】
			A	0.0%	
A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている - わからない			B	85.0%	
			C	10.0%	
			D	0.0%	
			-	5.0%	
			A	0.0%	

施策評価調書(令和5年度)

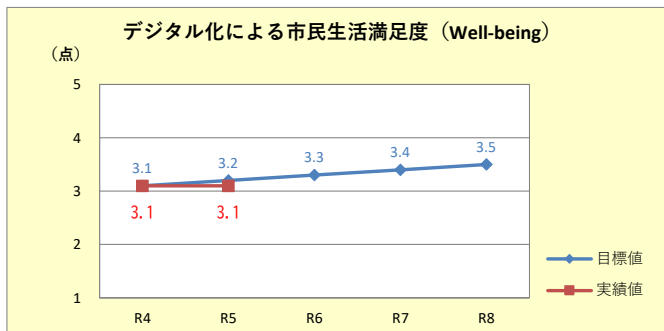
1. 施策体系と施策関係部局

基本方針	4. デジタル化の推進	関係部局
施策項目	(I) デジタル実装	総務部
施策内容	① 地域DXの実践	

2. 基本計画における指標(KPI)

【上段:目標値 下段:実績値】

指標名	単位	基準値	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
デジタル化による市民生活満足度(Well-being)	(点)	-	3.1	3.2	3.3	3.4	3.5
		-	3.1	3.1			



3. 年次目標【令和5年度】

内容	目標	達成状況報告
住民パスポートアプリ構築	1システム構築 (1システム構築)	3月25日におつ市住民パスポートアプリ「むちゅば」をリリースした。

《参考:令和4年度実績》

内容	年次目標	実績	評価区分	取組状況(評価結果)
スマートシティ構想推進に係る体制構築	1団体 協議会設立	1団体 協議会設立	B 概ね良好	むつ市スマートシティ推進協議会を設立し、地域内の連携体制を構築した。

4. 関連するSDGsのゴール(17)とターゲット(169)

	1.3		2.4		3.7		4.7		5.b
	6.6		7.1		8.3		9.1		10.2
	11.3		12.8		13.1		14.2		15.4
	16.3		17.14						

5. 令和5年度主要事業

【単位:千円】

事業名	事業内容		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
	重要業績評価指標	基準値	決算額	予算額	予定額	予定額	予定額
			目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
むつ市住民パスポートで暮らし快適事業	むつ市の子育て応援として、令和5年4月から始まった18歳までの医療費無償化は、対象者6,200人を数え、その医療受給者証の発行をスマホで行うこと、これまで75歳以上を対象として行ってきた路線バス・デマンドタクシー無償化のしくみをスマホに置き換えるため、マイナンバーカードをxIDアプリと組み合わせた「住民パスポート」に取り込み新たなサービスを展開する。		-	170,259	22,323	22,323	22,323
	【住民パスポートサービス利用者数(人)】	-	-	100	3,000	7,000	8,000
	【医療受給者証表示サービス利用率(%)】	-	-	10.0	40.0	70.0	75.0
	【高齢者路線バス・デマンドタクシー運賃無償化申請率(%)】	-	-	95.0	70.0	50.0	45.0

6. 施策の進捗状況(内部評価)

区分	選択区分	【評価の理由】
令和5年度施策内容の進捗状況(中間評価)	B	<p>スマートシティ構想を推進する基礎となる都市OS(パーソナルデータ基盤)を導入し、ソフトウェアとしてのアプリを構築するための要件定義を終えたことから3月リリースに向けての取り組み状況は概ね良好といえる。</p> <p>【今後の取組の方向性】</p> <p>パーソナルデータ連携基盤へのサービス追加についてコストパフォーマンスを踏まえて検討していくこととしたい。</p>

区分	選択区分	【評価の理由】
令和5年度施策内容の進捗状況(総合的な内部評価)	A	<p>スマートシティ構想を推進する基礎となる都市OS(パーソナルデータ基盤)を導入し、ソフトウェアとしてのアプリを構築しリリースできたことから取り組み状況は良好といえる。</p> <p>【今後の取組の方向性】</p> <p>パーソナルデータ連携基盤へのサービス追加についてコストパフォーマンスを踏まえて検討していくこととしたい。</p>

7. 施策の進捗状況(外部評価)

区分	選択区分	評価割合		【主な意見】
令和5年度施策内容の進捗状況(総合的な外部評価)	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている - わからない	A	30.0%	
		B	65.0%	
		C	5.0%	
		D	0.0%	
		-	0.0%	

施策評価調書(令和5年度)

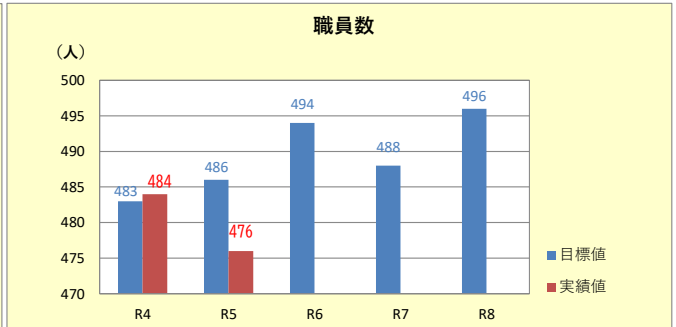
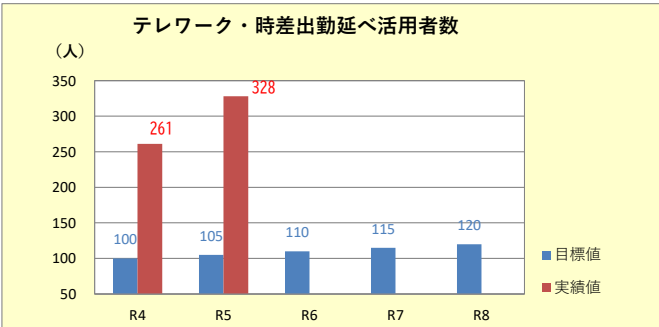
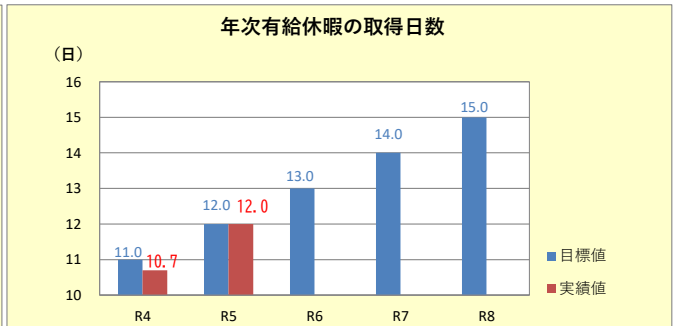
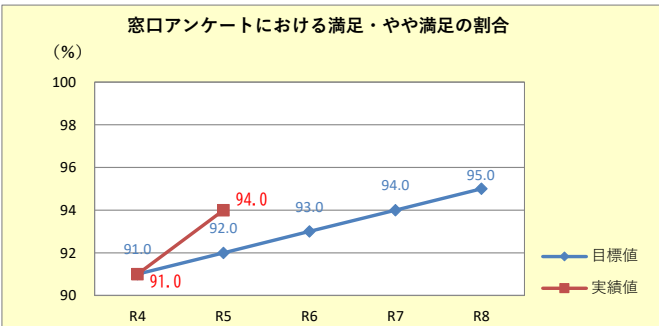
1. 施策体系と施策関係部局

基本方針	4. デジタル化の推進	関係部局
施策項目	(1) デジタル実装	総務部
施策内容	② 自治体DXによる効率的な行政運営	

2. 基本計画における指標(KPI)

[上段:目標値 下段:実績値]

指標名	単位	基準値	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
窓口アンケートにおける満足・やや満足の割合	(%)	90.4	91.0	92.0	93.0	94.0	95.0
		令和2年度	91.0	94.0			
年次有給休暇の取得日数	(日)	10.8	11.0	12.0	13.0	14.0	15.0
		令和元年度	10.7	12.0			
テレワーク・時差出勤延べ活用量	(人)	-	100	105	110	115	120
		-	261	328			
職員数	(人)	502	483	486	494	488	496
		令和3年度	484	476			



3. 年次目標【令和5年度】

内容	実績(目標)	達成状況報告
窓口アンケートにおける満足・やや満足の割合	94.0%(92.0%)	令和6年1月に実施した窓口アンケートの結果は、「満足」及び「やや満足」の割合が94.0%となり、計画値を上回った。
テレワーク・時差出勤延べ活用量	328人(105人)	通年での延べ活用量は、テレワーク20人、時差出勤308人の合計328人であった。年間を通して活用され、職員の柔軟な働き方の実現に寄与している。
LoGoフォームの活用数	443手続き(250手続き)	(R5) 341件のフォームが作成され、7月以降は毎月100件以上のフォームが稼働。回答件数でも約19,000件/年の回答が集まるなど非常に業務効率化に寄与している。

《参考：令和4年度実績》				
内容	年次目標	実績	評価区分	取組状況(評価結果)
窓口アンケートにおける満足・やや満足割合	91.0%	91.0%	B 概ね良好	職員一人ひとりのワークライフバランスが充実されるよう多様な働き方や休暇取得について周知を図った。また、様々な役職を対象に接遇に係る研修を行い、窓口サービスの向上に務めた。デジタルを活用した業務効率化のためLoGoフォームの全庁的な導入のほか、様々なツール等の情報収集・検討を随時行い、関係部署へ情報提供を行った。
テレワーク・時差出勤延べ活用者数	100人	261人		
LoGoフォームの活用数	50手続き	84手続き		

4. 関連するSDGsのゴール(17)とターゲット(169)

	8.2		9.1		11.1			
---	-----	---	-----	---	------	--	--	--

5. 令和5年度主要事業

【単位：千円】

事業名	事業内容		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	
	重要業績評価指標	基準値	決算額 目標値	予算額 目標値	予定額 目標値	予定額 目標値	予定額 目標値	
業務効率化推進事業	RPA(ロボティック・プロセス・オートメーション)等の導入により、業務自動化による効率的な処理及び職員の負担軽減を図る。 また、LoGoフォームの利用により、インターネットを介した手続き方法への転換を図り、市民等の利便性の向上と業務の効率化を一体的に進める。		8,420	9,051	9,051	9,051	9,051	
		【RPA構築により業務効率化された事業数(事業)】	2	2	2	2	2	
		【LoGoフォームで作成された延べ手続き数(件)】	-	100	250	275	300	325
			-					

6. 施策の進捗状況(内部評価)

令和5年度施策内容の進捗状況(中間評価)	区分	選択区分	【評価の理由】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	A	年間を通じた取組状況の計画値に対して、大きく上回る実績値となっており、良好であると評価できる。 【今後の取組の方向性】 人員が減っても業務が滞ることの無いように、業務効率化に資するツールを活用することで、効率的な行政運営を目指していきたい。

令和5年度施策内容の進捗状況(総合的な内部評価)	区分	選択区分	【評価の理由】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	A	年間を通じた取組状況の計画値に対して、大きく上回る実績値となっており、良好であると評価できる。 【今後の取組の方向性】 人員が減っても業務が滞ることの無いように、業務効率化に資するツールを活用することで、効率的な行政運営を目指していきたい。

7. 施策の進捗状況(外部評価)

令和5年度施策内容の進捗状況(総合的な外部評価)	区分	選択区分	評価割合	【主な意見】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている - わからない		A	
		B	30.0%	
		C	5.0%	
		D	0.0%	
		-	0.0%	

施策評価調書(令和5年度)

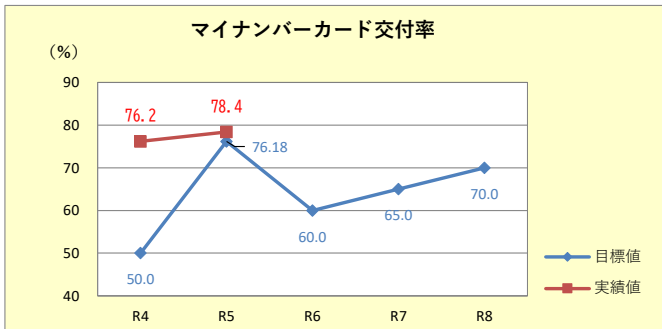
1. 施策体系と施策関係部局

基本方針	4. デジタル化の推進	関係部局
施策項目	(1) デジタル実装	総務部
施策内容	③ 情報ネットワークの利活用の推進	

2. 基本計画における指標(KPI)

【上段:目標値 下段:実績値】

指標名	単位	基準値	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
マイナンバーカード交付率	(%)	36.7	50.0	76.18	60.0	65.0	70.0
		令和3年度	76.2	78.4			



3. 年次目標【令和5年度】

内容	実績(目標)	達成状況報告
住民パスポートアプリでのマイナンバーカードを活用したサービス数	3件(2件)	むつ市住民パスポートアプリ「むちゅば」に「医療費受給資格証の表示」、「高齢者無料乗車証(AGEHA)の表示」のほか、協賛店舗でサービスが受けられる「むつ市民カード」機能を実装した。
コンビニ交付の周知活動	4回以上(4回)	サービス開始後も窓口混雑緩和のため、HP、ポスター、市公式LINE、広報むつにて利用促進を随時行っている。 コンビニ交付対応の証明書交付実績(5月~3月まで) ⇒全体の12.32%(市民課) ・コンビニ:5,027通 ・窓口:35,780通 ⇒全体の2.9%(税務課) ・コンビニ: 341通 ・窓口:11,270通

《参考:令和4年度実績》

内容	年次目標	実績	評価区分	取組状況(評価結果)
スマート窓口の推進	2システム導入	2システム導入	B 概ね良好	スマート窓口の推進に大きく寄与するシステムの導入に向けて、関係課と連携して事業を進めることができた。 ICTリーダー育成事業については例年より研修募集開始時期の遅れがあったが申込を完了することが出来、全員が受講修了している。
個人情報保護コースの全職員の修了率	100%	100%		
新採用職員及び業務システム利用職員の情報セキュリティコースの修了率	100%	100%		

4. 関連するSDGsのゴール(17)とターゲット(169)

	8.2		9.1		11.1				
--	-----	--	-----	--	------	--	--	--	--

5. 令和5年度主要事業

【単位:千円】

事業名	事業内容		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
	重要業績評価指標	基準値	決算額	予算額	予定額	予定額	予定額
			目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
スマート窓口推進事業	むつ市の子育て応援として、令和5年4月から始まった18歳までの医療費無償化は、対象者6,200人を数え、その医療受給者証の発行をスマホで行うことと、これまで75歳以上を対象として行ってきた路線バス・デマンドタクシー無償化のしくみをスマホに置き換えるため、マイナンバーカードをxIDアプリと組み合わせた「住民パスポート」に取り込み新たなサービスを展開する。		-	170,259	22,323	22,323	22,323
	【アプリで利用可能なマイナンバーカードを活用したサービス数(件)】	-	-	2	3	4	5
マイナンバーカード対応事業	マイナンバーカードの申請支援、交付、マイナポイントの申請支援により、マイナンバーカードの普及促進及び円滑な交付を行う。		61,481	59,899	35,420	35,420	35,420
	【マイナンバーカード交付率(%)】	36.7 R3年度	40.0	50.0	60.0	70.0	80.0

6. 施策の進捗状況(内部評価)

令和5年度施策内容の進捗状況 (中間評価)	区分	選択区分	【評価の理由】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	B	住民パスポートアプリ内のコンテンツの要件定義を終えたことから、3月リリースに向けての取り組み状況は概ね良好といえる。
			【今後の取組の方向性】 公的個人認証による行政手続きができるサービスを増やしていき、24時間いつでも利用可能なオンライン市役所を目指す。

令和5年度施策内容の進捗状況 (総合的な内部評価)	区分	選択区分	【評価の理由】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	B	住民パスポートアプリ内のコンテンツをリリースできたことから、取り組み状況は概ね良好といえる。
			【今後の取組の方向性】 公的個人認証による行政手続きができるサービスを増やしていき、24時間いつでも利用可能なオンライン市役所を目指す。

7. 施策の進捗状況(外部評価)

令和5年度施策内容の進捗状況 (総合的な外部評価)	区分	選択区分	評価割合		【主な意見】
A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている - わからない			A	10.0%	スマホ教室も大切ですね。
			B	90.0%	
			C	0.0%	
			D	0.0%	
			-	0.0%	

施策評価調書(令和5年度)

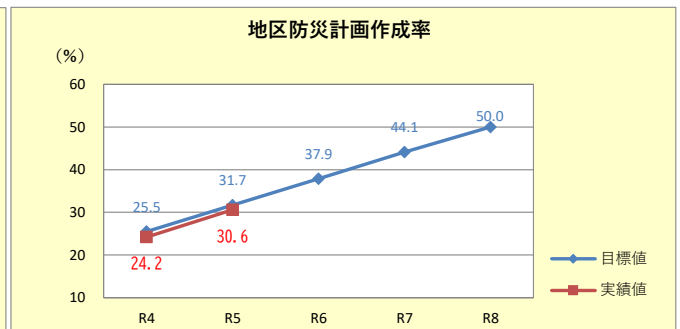
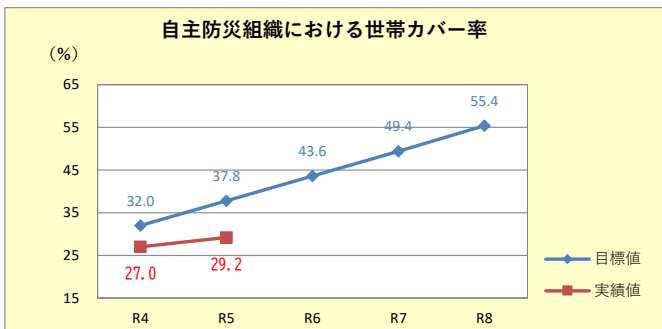
1. 施策体系と施策関係部局

基本方針	5. 危機管理・防災力の向上	関係部局
施策項目	(1)安全・安心	総務部
施策内容	①防災対策の充実	

2. 基本計画における指標(KPI)

[上段:目標値 下段:実績値]

指標名	単位	基準値	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
自主防災組織における世帯カバー率	(%)	26.2	32.0	37.8	43.6	49.4	55.4
		令和2年度	27.0	29.2			
地区防災計画作成率	(%)	19.3	25.5	31.7	37.9	44.1	50.0
		令和2年度	24.2	30.6			




3. 年次目標【令和5年度】

内容	実績(目標)	達成状況報告
自主防災組織の新規設立	3組織(5組織)	市からの呼びかけにより令和5年度は3組織設立となり、自主防災組織は合計36組織となった。
地区防災計画の新規作成	3組織(5組織)	市からの呼びかけにより令和5年度は3組織が計画を作成し、地区防災計画は合計36組織分となった。

《参考:令和4年度実績》

内容	年次目標	実績	評価区分	取組状況(評価結果)
自主防災組織の新規設立	2組織	1組織	C やや不良	自主防災組織が1組織設立、地区防災計画が1組織分の作成に至った。町内会からの自主防災組織についての相談は増加しているが、地区防災計画については実績が乏しいことからやや不良と考える。
地区防災計画の新規作成	4地区	1地区		

4. 関連するSDGsのゴール(17)とターゲット(169)

	11.1								
---	------	--	--	--	--	--	--	--	--

5. 令和5年度主要事業

【単位：千円】

事業名	事業内容		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
	重要業績評価指標	基準値	決算額	予算額	予定額	予定額	予定額
消防団・自主防災組織と連携した地域防災力向上推進事業	自主防災組織率の低迷から、広報紙やホームページ等、あらゆる媒体を通じて、市民一人ひとりの防災意識の向上を図るとともに、自主防災組織の必要性を周知する。 また、自主防災組織の設立時における資機材の給付や自主的な防災活動のための備蓄品提供を実施するとともに、出前講座等で自助共助の必要性を説明し、自主防災組織の設立を促していく。		403	1,244	1,244	1,244	1,244
	【自主防災組織数(組織)】	31 R2年度	37	42	48	54	62
	【自主防災組織における世帯カバー率(%)】	26.2 R2年度	32.0	37.8	43.6	49.4	55.4
	【地区防災計画作成率(%)】	19.3 R2年度	25.5	31.7	37.9	44.1	50.0
防災情報伝達手段整備事業	災害時における情報の伝達収集等を適切に行うため、アナログ式防災行政無線のデジタル化を図り、情報伝達手段の多様化、多重化を推進する。		0	730,740	-	-	-
	【デジタル更新率(%)】	10.0 H28年度	77.0	100	-	-	-
地域防災計画関連費	災害対策基本法等に基づき、各種災害における防災に関し必要な体制の確立及びとるべき措置を定める「むつ市地域防災計画」各編の修正等を行うための「むつ市防災会議」を開催、運営し、その内容を協議、検討、決定する。		0	25,943	418	418	418
	【むつ市地域防災計画各編の見直し(回)】	1 H27年度	1	1	1	1	1

6. 施策の進捗状況(内部評価)

	区分	選択区分	【評価の理由】
令和5年度施策内容の進捗状況 (中間評価)	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	C	上半期で新たに2組織が設立し、自主防災組織は合計35組織となった。令和5年7月に実施した自主防災体験研修会の受講町内会から相談を受け、設立に向けて調整しているが、さらなる設立促進を図る必要がある。
			【今後の取組の方向性】 自主防災組織については、防災対策資機材及び防災活動支援品等の助成制度とあわせて広報のみならず、研修受講町内会等へ、結成に関する積極的な呼び掛けを行っていく。また、地区防災計画の策定には、ガイドラインの提示のみならず、地区特性に沿った計画となるよう、住民に寄り添った支援を行っていく。

	区分	選択区分	【評価の理由】
令和5年度施策内容の進捗状況 (総合的な内部評価)	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	C	令和5年度は自主防災組織が3組織設立、地区防災計画が3組織分の作成に至ったが、当初の計画にはわずかに及ばなかったため、やや不良とした。
			【今後の取組の方向性】 自主防災組織については、防災対策資機材及び防災活動支援品等の助成制度とあわせて広報のみならず、研修受講町内会等へ、結成に関する積極的な呼び掛けを行っていく。また、地区防災計画の策定には、ガイドラインの提示のみならず、地区特性に沿った計画となるよう、住民に寄り添った支援を行っていく。

7. 施策の進捗状況（外部評価）

	区分	選択区分	評価割合		【主な意見】
				A	
令和5年度施策内容 の進捗状況 (総合的な外部評価)	A 順調に推移	/	B	20.0%	防災士の組織化、役割分担などの明示も 必要になってきます。
	B 一定の進捗がある		C	70.0%	
	C 進捗は遅れている		D	5.0%	
	D 進捗は大幅に遅れている		-	5.0%	
	- わからない				

施策評価調書(令和5年度)

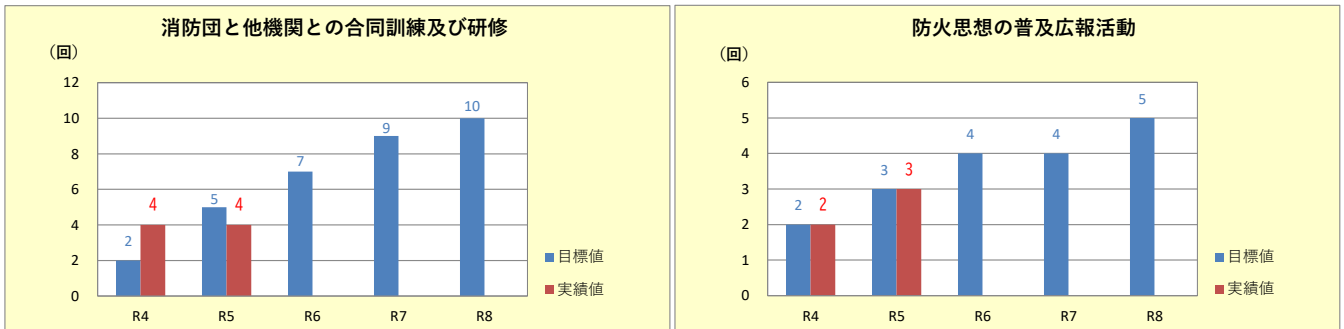
1. 施策体系と施策関係部局

基本方針	5. 危機管理・防災力の向上	関係部局
施策項目	(1)安全・安心	総務部
施策内容	②消防・救急体制の充実	

2. 基本計画における指標(KPI)

【上段:目標値 下段:実績値】

指標名	単位	基準値	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
消防団と他機関との合同訓練及び研修	(回)	2	2	5	7	9	10
		令和2年度	4	4			
防火思想の普及広報活動	(回)	0	2	3	4	4	5
		令和2年度	2	3			



3. 年次目標【令和5年度】

内容	実績(目標)	達成状況報告
消防団と他機関との合同訓練及び研修	4回(5回)	むつ、大畑の各地区において、春の火災予防運動時に火災を想定した常備消防と消防団(2地区計16分団が参加)の合同訓練を実施し、火災対応時の連携強化を図れた。 むつ、川内、大畑、脇野沢の各地区において、秋の火災予防運動時に火災を想定した常備消防と消防団(4地区計35分団が参加)の合同訓練を実施し、火災対応時の連携強化を図れた。 このほか川内地区では、消防団、自主防災組織、地域住民そして学校との合同避難訓練を実施するなど、津波避難対応時における各機関の連携強化を図れた。
防火思想の普及広報活動	3回(3回)	むつ、川内、大畑、脇野沢の各地区において、春の火災予防運動時に常備消防と消防団(4地区全分団車両が参加)の防火パレードを実施した。地域の防火思想の普及を進めており、今後も継続していく。 むつ、川内、大畑、脇野沢の各地区において、秋の火災予防運動時に常備消防と消防団(4地区全分団車両が参加)の防火パレードを実施した。 また、しもきた克雪ドームで行われた「MGF2023」に消防ブースを出展し、住宅用火災警報器の設置・交換及び消防団員入団促進等の広報活動を行った。

《参考:令和4年度実績》

内容	年次目標	実績	評価区分	取組状況(評価結果)
消防団と他機関との合同訓練及び研修	2回	4回	A 良好	消防団協力事業として、「むつ市消防団応援の店」事業を開始した。 新型コロナウイルスの感染状況を注視しながら、感染防止対策をとって各種活動を実施できており、良好と考える。
防火思想の普及広報活動	2回	2回		

4. 関連するSDGsのゴール(17)とターゲット(169)

	11.1							
--	------	--	--	--	--	--	--	--

5. 令和5年度主要事業

【単位:千円】

事業名	事業内容		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
	重要業績評価指標	基準値	決算額	予算額	予定額	予定額	予定額
消防団協力事業	むつ市消防団に積極的に協力している事業所等を「消防団協力事業所」として認定し表示証を交付する事業と、むつ市消防団員に対し飲食店等から「消防団応援の店」として各種サービスを提供する事業とをあわせて、消防団活動への理解、入団促進を図り、地域防災力を充実強化する。		24	17	15	16	15
	【消防団充足率(%)】	81.7 H28年度	74.0	76.8	80.4	83.2	86.0
むつ市消防ビジョン懇話会運営費	現在の消防力の維持を前提に、市の常備消防及び非常備消防における持続可能な消防・救急体制の確立を目的とした「むつ市消防ビジョン」の計画内容に変更が生じた場合に開催する「むつ市消防ビジョン懇話会」と、「むつ市消防ビジョン」を推進するための調査、検討、検証を行う「むつ市消防ビジョン推進委員会」を開催、運営する。		29	53	112	112	112
	【職員の適正配置(人)】	145 H30年度	143	142	141	139	140
	【消防団充足率(%)】	81.7 H28年度	74.0	76.8	80.4	83.2	86.0

6. 施策の進捗状況(内部評価)

区分	選択区分	【評価の理由】
令和5年度施策内容の進捗状況 (中間評価)	C	【評価の理由】 火災対応訓練のみならず、水害時における土のう工法など、多様化する災害に対応するため、常備消防とのさらなる連携を図り、様々な合同訓練を実施していく必要がある。
		【今後の取組の方向性】 消防施設、設備の計画的な整備と併せて、常備消防職員の適正配置、消防団員の集約や再編、車両の更新計画など「むつ市消防ビジョン推進委員会」の協議の中で取り組んでいき、20年後も持続可能な消防体制の今後のあり方について検討を進めていく。

区分	選択区分	【評価の理由】
令和5年度施策内容の進捗状況 (総合的な内部評価)	B	【評価の理由】 火災対応訓練のみならず、水害時における土のう工法など、多様化する災害に対応するため、常備消防のみならず、自主防災組織等とのさらなる連携を図り、様々な合同訓練を実施していく必要がある。
		【今後の取組の方向性】 消防施設、設備の計画的な整備と併せて、常備消防職員の適正配置、消防団員の集約や再編、車両の更新計画など「むつ市消防ビジョン推進委員会」の協議の中で取り組んでいき、20年後も持続可能な消防体制の今後のあり方について検討を進めていく。

7. 施策の進捗状況(外部評価)

区分	選択区分	評価割合		【主な意見】
		A	B	
令和5年度施策内容の進捗状況 (総合的な外部評価)	/	A	5.0%	消防団員の確保と技術向上を願います。
		B	75.0%	
		C	20.0%	
		D	0.0%	
		-	0.0%	

施策評価調書(令和5年度)

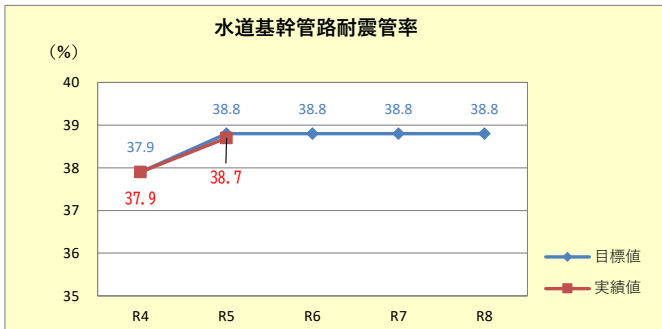
1. 施策体系と施策関係部局

基本方針	5. 危機管理・防災力の向上	関係部局
施策項目	(1)安全・安心	上下水道局
施策内容	③水道の安全・安定供給の確保	

2. 基本計画における指標(KPI)

【上段:目標値 下段:実績値】

指標名	単位	基準値	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
水道基幹管路耐震管率	(%)	36.2	37.9	38.8	38.8	38.8	38.8
		令和2年度	37.9	38.7			



3. 年次目標【令和5年度】

内容	実績(目標)	達成状況報告
水道基幹管路耐震管率	38.7%(38.8%)	発注状況(3月末契約額ベース) 緊急時給水拠点確保等事業 100% 水道施設整備事業 100% 建設改良事業(配水管整備事業等) 100% 発注工事は全て完了している。

《参考:令和4年度実績》

内容	年次目標	実績	評価区分	取組状況(評価結果)
水道基幹管路耐震管率	37.9%	37.9%	B 概ね良好	一部事業については計画の変更により次年度施工としたが、発注した事業の完成により水道基幹管路耐震管率の目標値は達成しており、概ね良好と考える。

4. 関連するSDGsのゴール(17)とターゲット(169)

	3.9		4.2		6.1		6.2		6.3
	6.4		6.5		6.a		6.b		11.1

5. 令和5年度主要事業

【単位：千円】

事業名	事業内容		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
	重要業績評価指標	基準値	決算額	予算額	予定額	予定額	予定額
			目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
緊急時給水拠点確保等事業	災害等緊急時における給水拠点の確保のために行う配水池、緊急時用連絡管、貯蓄施設、緊急遮断弁、大容量送水管、重要給水施設配水管の整備事業及び基幹水道構造物の耐震化事業。脇野沢地区の重要給水施設に水道水を配水する配水管の更新により安定的な水道水の供給を図る。		214,280	307,538	0	0	0
	【水道基幹管路耐震管率(%)】	36.2 R2年度	37.9	38.8	38.8	38.8	38.8
水道施設整備事業	継続事業等に伴う給水管の切替工事を行い、漏水防止の強化を図る。		114,587	438,327	463,800	214,000	204,000
	【水道基幹管路耐震管率(%)】	36.2 R2年度	37.9	38.8	38.8	38.8	38.8
建設改良事業(配水管整備事業等)	継続事業以外の耐震性の低い管路及び老朽管について、耐震性能が高い管種にすることにより大規模地震等の断水リスクを減少させる。		110,979	248,556	88,500	90,200	104,300
	【水道基幹管路耐震管率(%)】	36.2 R2年度	37.9	38.8	38.8	38.8	38.8

6. 施策の進捗状況(内部評価)

令和5年度施策内容の進捗状況 (中間内部評価)	区分	選択区分	【評価の理由】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	B	<p>【評価の理由】</p> <p>県発注道路工事の進捗関係で新設耐震管設置を令和6年度に延期したことにより実績値が0.1%減少した(今年度計画工事については10月末までの予定分を発注し、計画通り進捗していることから、概ね良好と考える)。</p> <p>【今後の取組の方向性】</p> <p>工事の施工監理を計画的に行い、年度内に予定している事業を完成させる。</p>

令和5年度施策内容の進捗状況 (総合的な内部評価)	区分	選択区分	【評価の理由】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	A	<p>【評価の理由】</p> <p>県発注道路工事の進捗関係で新設耐震管設置を計画的に令和6年度に延期したことにより実績値が0.1%減少した(今年度計画工事については3月末までの予定分工事は完了し、計画通り進捗していることから、良好と考える)。</p> <p>【今後の取組の方向性】</p> <p>引続き健全な水道事業運営の範囲で、老朽化した水道施設や配水管の耐震化を含めた計画的な更新を行うことにより、安全・安心な水道水の供給を図る。</p>

7. 施策の進捗状況(外部評価)

令和5年度施策内容の進捗状況 (総合的な外部評価)	区分	選択区分	評価割合		【主な意見】
A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている - わからない			A	40.0%	都会に比べて水道代がとても高い。
			B	60.0%	
			C	0.0%	
			D	0.0%	
			-	0.0%	

施策評価調書(令和5年度)

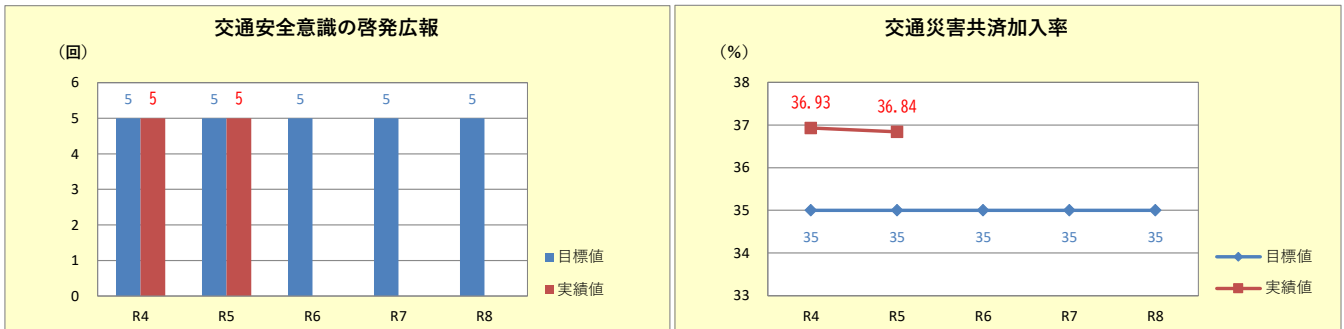
1. 施策体系と施策関係部局

基本方針	5. 危機管理・防災力の向上	関係部局
施策項目	(1)安全・安心	民生部
施策内容	④交通安全の確保	

2. 基本計画における指標(KPI)

【上段:目標値 下段:実績値】

指標名	単位	基準値	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
交通安全意識の啓発広報	(回)	4	5	5	5	5	5
		直近平均値	5	5			
交通災害共済加入率	(%)	35.0	35.0	35.0	35.0	35.0	35.0
		県目標値	36.93	36.84			



3. 年次目標【令和5年度】

内容	実績(目標)	達成状況報告
交通安全啓発	5回(5回)	法律の改正や季節ごとの交通安全運動期間に併せ広報紙やFMアジュール等での周知・啓発及びむつ警察署等の関連団体と連携した街頭活動を実施した。 2月に市内小・中学生を対象とした交通安全作品コンクール展示会を実施した。
交通災害共済加入促進PR	3回(3回)	3月末時点での加入率は、36.84%。前年度末は36.93%であり、前年比で0.09%減少しているが、県内市部では最も高い加入率となっている。

《参考:令和4年度実績》

内容	年次目標	実績	評価区分	取組状況(評価結果)
交通安全啓発	5回	5回	B 概ね良好	FMアジュールやHP等複数の媒体を活用した周知のほか、コロナ禍で中止していた街頭行動を実施することができたが、9月に死亡事故が発生。引き続き関係団体と連携して交通安全意識の高揚を図っていく。
交通災害共済加入促進PR	3回	3回		

4. 関連するSDGsのゴール(17)とターゲット(169)

	3.6		11.2					
--	-----	--	------	--	--	--	--	--

5. 令和5年度主要事業

【単位:千円】

事業名	事業内容		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
	重要業績評価指標	基準値	決算額	予算額	予定額	予定額	予定額
			目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
一般交通安全事業	交通事故防止、交通死亡事故ゼロを目指すため、むつ市交通問題対策協議会や交通安全指導隊へ補助金を交付し、市民の交通安全意識向上のための取組を支援するとともに、交通安全施設の設置及び改良等の要望受付や道路照明灯の管理を行う。		1,394	1,843	1,843	1,843	1,843
	【交通安全意識の啓発広報(回)】	4	5	5	5	5	5
		R3年度					

事業名	事業内容		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
			決算額	予算額	予定額	予定額	予定額
	重要業績評価指標	基準値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
子ども達の交通安全対策事業	新入学児童に見舞金給付制度のある黄色い帽子を配付し、交通事故防止を図る。また、交通整理員の配置や交通安全母の会連合会への補助等により、将来の本市を担う児童生徒のための交通安全対策を実施する。		6,389	6,753	6,753	6,753	6,753
	【交通安全意識の啓発広報(回)】	4 R3年度	5	5	5	5	5
交通広場管理費	交通安全思想の普及徹底と正しい交通ルールの実践の推進を図ることを目的として設置。子ども達を対象とした交通安全教育の一環として、信号機、横断歩道、踏切等を実際に体験できる下北半島唯一の交通安全教育施設の管理を行う。		1,364	1,437	1,437	1,437	1,437
	【利用団体数(団体)】	7 R3年度	8	8	8	8	8
交通災害共済	交通事故による災害を受けた者を救済するための共済制度を設け、もって住民の生活の安定と福祉の推進に寄与することを目的とした、青森県交通災害共済加入及び請求事務。		46	615	615	615	615
	【交通災害共済加入率(%)】	35.0 R3年度	35.0	35.0	35.0	35.0	35.0

6. 施策の進捗状況(内部評価)

令和5年度施策内容の進捗状況 (中間評価)	区分	選択区分	【評価の理由】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	B	【評価の理由】 複数の手段を用いて幅広い世代へ周知・啓発を実施している。 【今後の取組の方向性】 警察や交通安全協会等の関係団体と連携を図りながら啓発活動を充実させ、交通安全を意識する機会を増やすことで交通事故・交通死亡事故ゼロの街を目指す。
令和5年度施策内容の進捗状況 (総合的な内部評価)	区分	選択区分	【評価の理由】
A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	B	【評価の理由】 交通安全作品コンクールを実施するなど、若年層の交通安全に対する意識醸成につながる活動を実施した他、複数の手段を用いて幅広い世代へ周知・啓発を実施している。 【今後の取組の方向性】 警察や交通安全協会等の関係団体と連携を図りながら啓発活動を充実させ、交通安全を意識する機会を増やすことで交通事故・交通死亡事故ゼロの街を目指す。交通災害共済は、加入促進に繋がるPRを継続し、加入率向上に努めていく。	

7. 施策の進捗状況(外部評価)

令和5年度施策内容の進捗状況 (総合的な外部評価)	区分	選択区分	評価割合		【主な意見】
A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている - わからない			A	10.0%	
			B	85.0%	
			C	0.0%	
			D	0.0%	
			-	5.0%	

施策評価調書(令和5年度)

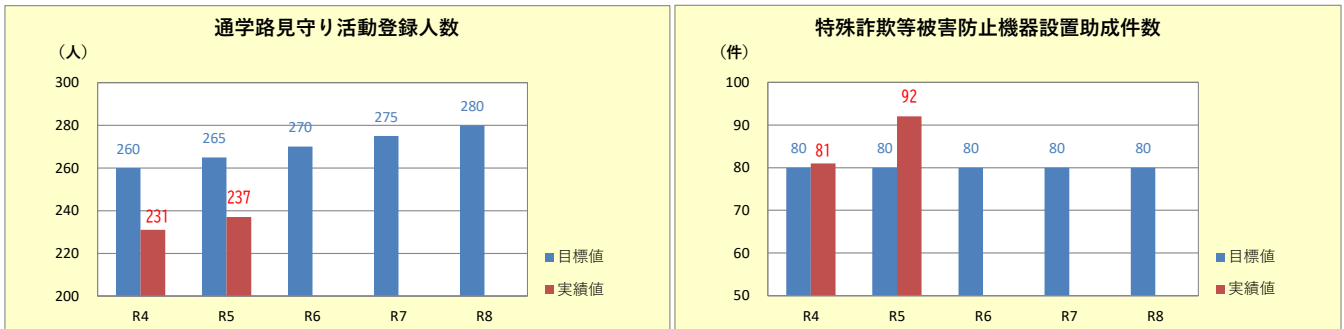
1. 施策体系と施策関係部局

基本方針	5. 危機管理・防災力の向上	関係部局
施策項目	(1)安全・安心	福祉部
施策内容	⑤防犯対策の充実	経済部

2. 基本計画における指標(KPI)

【上段:目標値 下段:実績値】

指標名	単位	基準値	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
通学路見守り活動登録人数	(人)	259	260	265	270	275	280
		令和2年度	231	237			
特殊詐欺等被害防止機器設置助成件数	(件)	57	80	80	80	80	80
		令和2年度	81	92			



3. 年次目標【令和5年度】

内容	実績(目標)	達成状況報告
通学路見守り活動登録人数	237人(265人)	個人での登録者もいたが、高齢や健康上の問題により、令和5年度末で活動を終了される方が多かった。また、共働きの増加や町内会への未加入が団体申込減少の理由と考えられる。活動の周知については、広報誌や学校を通して保護者へチラシを配布している。
出前講座や街頭配布等による広報活動	8回(8回)	出前講座2回(40名参加)、街頭配布6回(745名に配布)で広報活動を実施。

《参考:令和4年度実績》

内容	年次目標	実績	評価区分	取組状況(評価結果)
通学路見守り活動登録人数	260人	231人	B 概ね良好	ポスター掲示や「広報むつ」への掲載、各町内会への周知を継続的に実施することによって、見守り活動の認知度が向上していることから、概ね良好と考えている。 特殊詐欺等被害防止機器設置助成件数が81件となり、KPIを達成。出前講座、街頭配布も目標値以上の回数を達成し、認知度向上に努めた。
出前講座や街頭配布等による広報活動	8回	10回		

4. 関連するSDGsのゴール(17)とターゲット(169)

	3.8		11.7		17.17			
--	-----	--	------	--	-------	--	--	--

5. 令和5年度主要事業

【単位:千円】

事業名	事業内容		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
	重要業績評価指標	基準値	決算額	予算額	予定額	予定額	予定額
通学路見守り活動	児童・生徒の登下校時の安全・安心の確保のため、「通学路等見守り隊」として登録いただいた団体、個人の方に緑色のベストの貸出を行う。		22	38	44	44	44
	【通学路見守り活動登録人数(人)】	260 R3年度	260	265	270	275	280
特殊詐欺等被害防止機器設置助成金	還付金詐欺に関する不審電話が市内高齢者等を中心に多発し、実被害も確認されているため、還付金電話に効果のあるナンバーディスプレイ機能や録音機能のついた電話機器の購入に係る費用を支援する。		414	383	383	383	383
	【被害防止機器設置補助事業申請者数(件)】	57 R3年度	80	80	80	80	80

6. 施策の進捗状況(内部評価)

令和5年度施策内容の進捗状況(中間評価)	区分	選択区分	【評価の理由】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	B	<p>ポスター掲示や「広報むつ」への掲載、各町内会への周知を継続的に実施することによって、見守り活動の認知度が向上し、昨年度の実績と比べて登録者が増加していることから、概ね良好と考えている。 特殊詐欺等被害防止機器設置助成金の周知に努め、9月末時点で36件と目標値の半数近くの設置及び助成を達成した。</p> <p>【今後の取組の方向性】 市民の自主的な防犯対策の推進を図るため、犯罪等に関する情報提供を行うとともに、防犯の啓発に努め、地域のコミュニティや各団体による見守り活動を推進していく。 引き続き啓発活動を継続し、周知を徹底することで、詐欺被害等の防止に努めたい。</p>

令和5年度施策内容の進捗状況(総合的な内部評価)	区分	選択区分	【評価の理由】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	B	<p>広報紙等で周知するだけでは登録人数の増加は見込めなくなっているため、新たな対策を講じる必要がある。 特殊詐欺等被害防止機器設置助成金の周知に努め、3月末時点で92件と目標を上回る設置助成件数を達成した。</p> <p>【今後の取組の方向性】 市民の自主的な防犯対策の推進を図るため、犯罪等に関する情報提供を行うとともに、防犯の啓発に努め、地域のコミュニティや各団体による見守り活動を推進していく。 引き続き啓発活動を継続し、周知を徹底することで、詐欺被害等の防止に努めたい。</p>

7. 施策の進捗状況(外部評価)

令和5年度施策内容の進捗状況(総合的な外部評価)	区分	選択区分	評価割合		【主な意見】
A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている - わからない			A	0.0%	
			B	90.0%	
			C	5.0%	
			D	0.0%	
			-	5.0%	